

第3次佐伯市総合計画策定に 関するアンケート調査 結果報告書

令和8年9月
佐伯市

目 次

I アンケート調査の概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査概要.....	3
3 報告書の見方.....	3
II アンケート調査結果.....	4
1 あなた自身のことについて.....	4
2 佐伯市での暮らしについて.....	12
3 施策の満足度・重要度について.....	41
4 地域における幸福度について.....	70
5 働くことについて.....	79
6 佐伯市の将来の姿について.....	83
7 地域活動・社会参画について.....	95
8 デジタル技術の活用について.....	100
III 市民意識調査（参考分）の概要.....	137
1 調査の目的.....	137
2 調査概要.....	137
IV 市民意識調査（参考分）結果.....	138
1 あなた自身のことについて.....	138
2 佐伯市での暮らしについて.....	142
3 施策の満足度・重要度について.....	155
4 働くことについて.....	167
5 佐伯市の将来の姿について.....	169
6 地域活動・社会参画について.....	173
7 デジタル技術の活用について.....	177
V まとめと考察.....	186
1 調査の趣旨と全体傾向.....	186
2 市民の暮らし.....	186
3 第2次総合計画の評価（満足度と重要度）.....	187
4 デジタル化について.....	187
5 情報発信について.....	188
6 道路・生活交通.....	188
7 産業・雇用振興と地場産業の育成.....	189
8 子育て支援と次世代育成について.....	189
9 住宅環境の整備と住みよいまちづくりについて.....	190
10 災害に強いまちづくりと安全・安心の確保について.....	190
11 地域活動・自治会組織の持続可能性について.....	191
12 おわりに.....	191

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市のまちづくりの基本となる計画である「第3次佐伯市総合計画」（令和10年度～令和16年度）の策定にあたって、今後の市政運営や施策推進に対する市民の皆様の御意見をお聴きし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	市民アンケート調査
調査対象者	市内在住の15歳以上の方（無作為抽出）
調査期間	令和8年5月20日（水）～令和8年6月8日（月）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式及びWEB回答方式
配布数	3,000件
有効回収数	1,419件
有効回収率	47.3%

3 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n（number of cases）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇クロス集計表について、「その他」「不明・無回答」を除き、回答割合の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛けをしています。

◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、分析対象外としています。

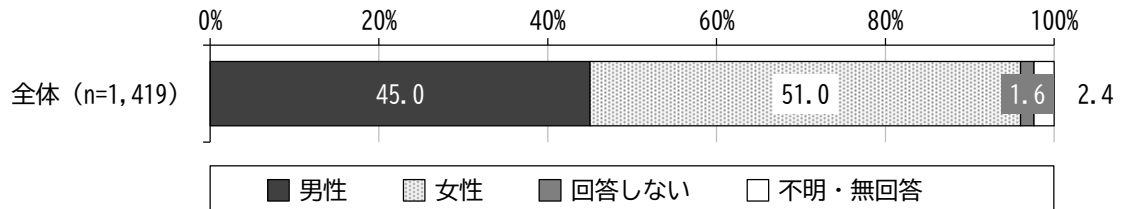
◇その他や自由記述回答欄の記載内容は、回答者本人の意思を尊重し、原則そのまま掲載しています。

Ⅱ アンケート調査結果

1 あなた自身のことについて

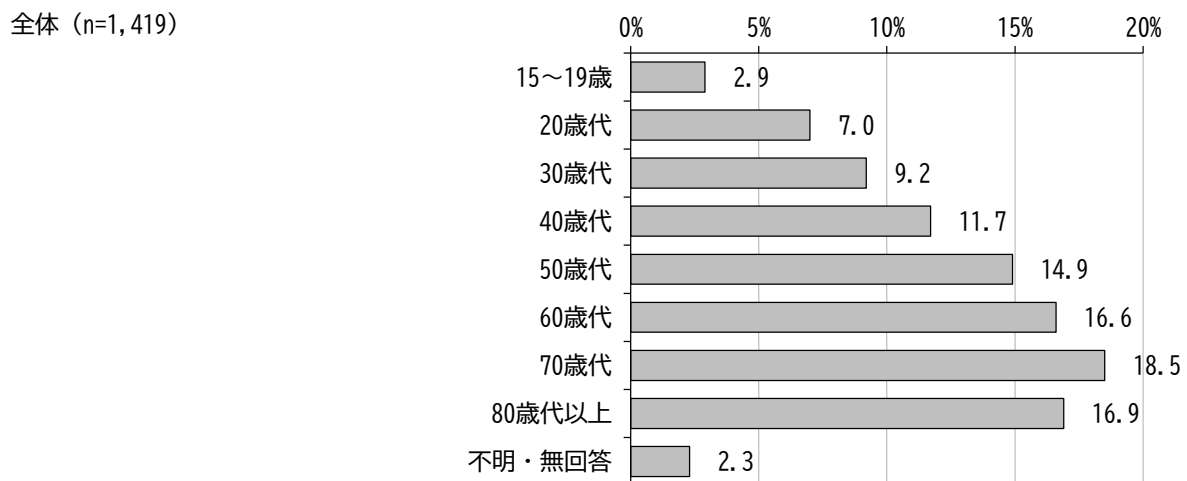
問1 性別をお答えください。【1つに○】

「女性」が51.0%と最も高く、次いで「男性」が45.0%、「回答しない」が1.6%となっています。



問2 年齢をお答えください。【1つに○】

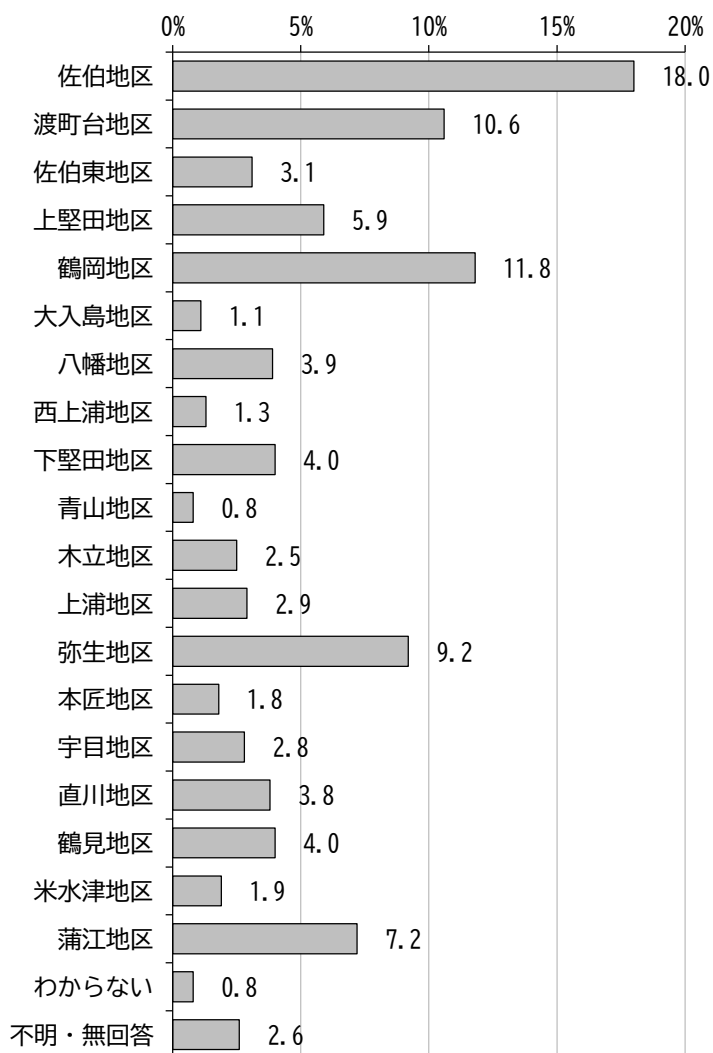
「70歳代」が18.5%と最も高く、次いで「80歳代以上」が16.9%、「60歳代」が16.6%となっています。



問3 お住まいの地区はどちらですか。【1つに○】

「佐伯地区」が18.0%と最も高く、次いで「鶴岡地区」が11.8%、「渡町台地区」が10.6%となっています。

全体 (n=1,419)



■クロス集計

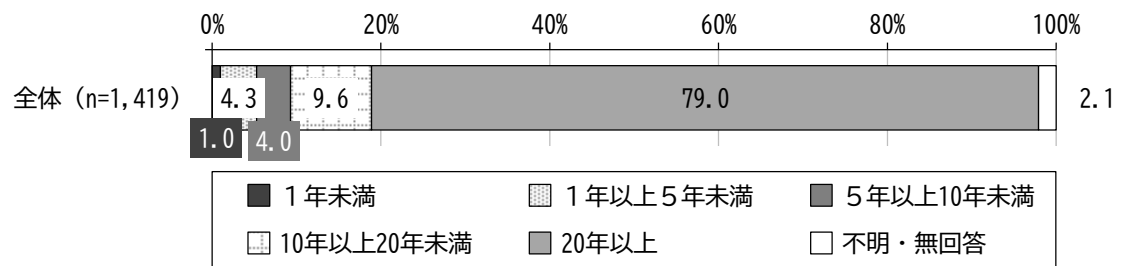
居住年数別でみると、すべての居住年数で「佐伯地区」が最も高くなっています。

単位：％		佐伯地区	渡町台地区	佐伯東地区	上堅田地区	鶴岡地区	大入島地区	八幡地区	西上浦地区	下堅田地区	青山地区
全体（n=1,419）		18.0	10.6	3.1	5.9	11.8	1.1	3.9	1.3	4.0	0.8
居住年数別	1年未満（n=14）	42.9	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	1年以上5年未満（n=61）	39.3	9.8	1.6	4.9	16.4	0.0	0.0	0.0	3.3	1.6
	5年以上10年未満（n=57）	22.8	10.5	1.8	1.8	17.5	1.8	1.8	3.5	1.8	1.8
	10年以上20年未満（n=136）	25.0	16.2	2.9	7.4	12.5	0.7	2.2	0.7	4.4	0.7
	20年以上（n=1,121）	15.9	10.3	3.3	6.2	11.7	1.2	4.6	1.3	4.2	0.8

単位：％		木立地区	上浦地区	弥生地区	本匠地区	宇目地区	直川地区	鶴見地区	米水津地区	蒲江地区	わからない	不明・無回答
全体（n=1,419）		2.5	2.9	9.2	1.8	2.8	3.8	4.0	1.9	7.2	0.8	2.6
居住年数別	1年未満（n=14）	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
	1年以上5年未満（n=61）	0.0	3.3	6.6	0.0	0.0	1.6	1.6	3.3	1.6	3.3	1.6
	5年以上10年未満（n=57）	1.8	0.0	10.5	0.0	3.5	1.8	7.0	3.5	7.0	0.0	0.0
	10年以上20年未満（n=136）	1.5	2.2	8.1	1.5	2.2	1.5	0.0	0.0	7.4	2.9	0.0
	20年以上（n=1,121）	2.9	3.0	9.7	2.0	3.0	4.4	4.6	2.0	7.7	0.4	0.8

問4 佐伯市に何年住んでいますか。(合併前の旧市町村含め)【1つに○】

「20年以上」が79.0%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が9.6%、「1年以上5年未満」が4.3%となっています。



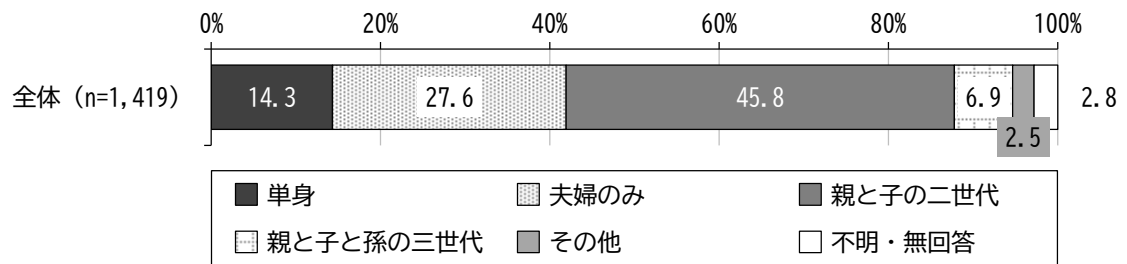
■クロス集計

居住地区別でみると、〔佐伯地区〕から〔蒲江地区〕では、「20 年以上」、〔わからない〕では「10 年以上 20 年未満」「20 年以上」が最も高くなっています。

単位：％		1 年 未 満	1 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		1.0	4.3	4.0	9.6	79.0	2.1
居 住 地 区 別	佐伯地区 (n=255)	2.4	9.4	5.1	13.3	69.8	0.0
	渡町台地区 (n=150)	0.0	4.0	4.0	14.7	76.7	0.7
	佐伯東地区 (n=44)	2.3	2.3	2.3	9.1	84.1	0.0
	上堅田地区 (n=84)	0.0	3.6	1.2	11.9	83.3	0.0
	鶴岡地区 (n=168)	0.0	6.0	6.0	10.1	78.0	0.0
	大入島地区 (n=16)	0.0	0.0	6.3	6.3	87.5	0.0
	八幡地区 (n=56)	0.0	0.0	1.8	5.4	92.9	0.0
	西上浦地区 (n=18)	0.0	0.0	11.1	5.6	83.3	0.0
	下堅田地区 (n=57)	1.8	3.5	1.8	10.5	82.5	0.0
	青山地区 (n=12)	0.0	8.3	8.3	8.3	75.0	0.0
	木立地区 (n=35)	0.0	0.0	2.9	5.7	91.4	0.0
	上浦地区 (n=41)	4.9	4.9	0.0	7.3	82.9	0.0
	弥生地区 (n=130)	0.0	3.1	4.6	8.5	83.8	0.0
	本匠地区 (n=25)	4.0	0.0	0.0	8.0	88.0	0.0
	宇目地区 (n=40)	2.5	0.0	5.0	7.5	85.0	0.0
	直川地区 (n=54)	0.0	1.9	1.9	3.7	90.7	1.9
	鶴見地区 (n=57)	0.0	1.8	7.0	0.0	91.2	0.0
	米水津地区 (n=27)	0.0	7.4	7.4	0.0	81.5	3.7
	蒲江地区 (n=102)	1.0	1.0	3.9	9.8	84.3	0.0
	わからない (n=11)	9.1	18.2	0.0	36.4	36.4	0.0

問5 家族構成をお答えください。【1つに○】

「親と子の二世代」が45.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が27.6%、「単身」が14.3%となっています。

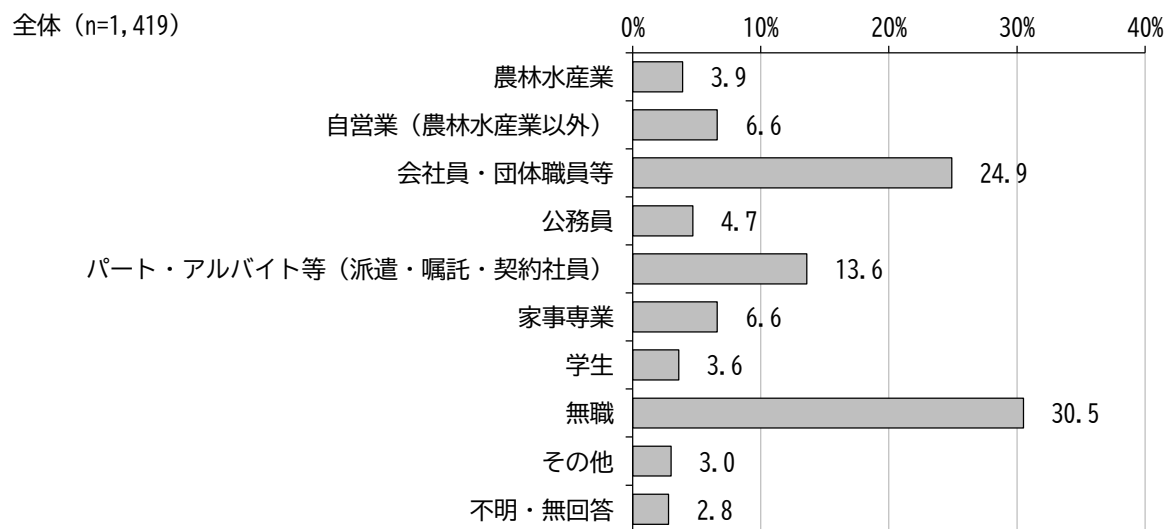


【その他回答】

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| ・兄弟姉妹（9） | ・親と子（3） | ・入所施設（2） |
| ・死別 | ・彼氏と住む | ・事実婚 |
| ・四世代 | ・親と孫 | ・夫婦と障がい者 |
| ・夫婦、おば | ・同居人 | ・祖母と親と子 |
| ・祖母と母と親と子 | ・親、子、姉妹、姪 | |

問6 主たる職業をお答えください。【1つに○】

「無職」が30.5%と最も高く、次いで「会社員・団体職員等」が24.9%、「パート・アルバイト等（派遣・嘱託・契約社員）」が13.6%となっています。

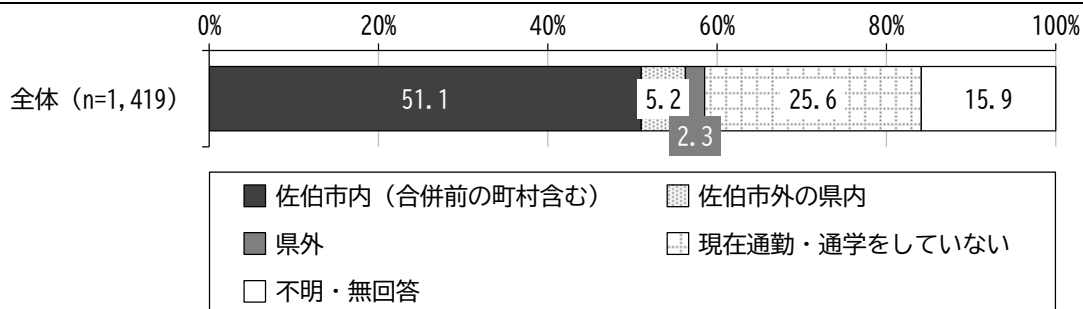


【その他回答】

- ・医療従事者（6）
- ・年金（2）
- ・個人事業主
- ・介護
- ・7月、11月～3月のみパート
- ・児童クラブ
- ・水産加工業
- ・経営者
- ・建設業
- ・佐伯シルバー人材センター
- ・事務員
- ・精神障がい
- ・自営手伝い
- ・年金と土地賃貸料
- ・牧師
- ・会計年度任用職員
- ・公認会計士、税理士
- ・業務委託

問7 通勤先・通学先をお答えください。【1つに○】

「佐伯市内（合併前の町村含む）」が51.1%と最も高く、次いで「現在通勤・通学をしていない」が25.6%、「佐伯市外の県内」が5.2%となっています。



【その他回答】

（県内）

- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| ・大分市（30） | ・津久見市（14） | ・臼杵市（7） | ・別府市（2） |
| ・中津市（2） | ・豊後大野市（2） | ・竹田市 | ・野津 |
| ・大分市松岡 | | | |

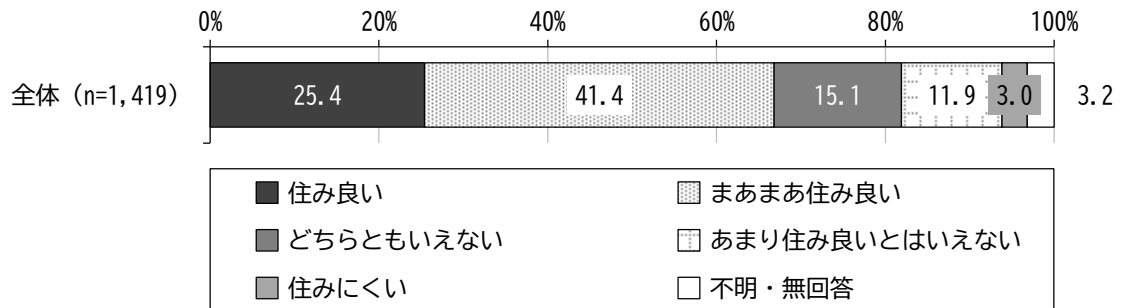
（県外）

- | | | | |
|--------|------------|---------|---------|
| ・福岡（4） | ・松山 | ・愛知県 | ・熊本 |
| ・島根 | ・鹿児島市 | ・久留米市 | ・佐賀市 |
| ・延岡市 | ・関東圏内 | ・つくば市 | ・広島県広島市 |
| ・熊本市 | ・東京都世田谷区 | ・熊本市 | ・長久手市 |
| ・大阪府堺市 | ・北九州市 | ・福岡県福岡市 | ・山口県周南市 |
| ・小郡市 | ・愛媛県伊予郡砥部町 | ・みやま市 | ・東京都新宿区 |

2 佐伯市での暮らしについて

問8 佐伯市は、住み良いまちと思いますか。【1つに○】

「まあまあ住み良い」が41.4%と最も高く、次いで「住み良い」が25.4%、「どちらともいえない」が15.1%となっています。



■クロス集計

年齢別でみると、すべての年齢で「まあまあ住み良い」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、〔佐伯東地区〕〔西上浦地区〕では「住み良い」、〔大入島地区〕では「どちらともいえない」、〔青山地区〕では「住み良い」「まあまあ住み良い」、〔本匠地区〕では「まあまあ住み良い」「あまり住み良いとはいえない」、その他の居住地区では「まあまあ住み良い」が最も高くなっています。

幸福度別でみると、〔1点〕では「住み良い」「あまり住み良いとはいえない」、〔2点〕では「あまり住み良いとはいえない」、〔3点〕では「どちらともいえない」、〔10点〕では「住み良い」、その他の幸福度では「まあまあ住み良い」が最も高くなっています。

単位：%		住み 良い	い ま あ ま あ 住 み 良 い	な ど い ち ら と も い え ない	と あ ま り い え な い 住 み 良 い	住 み に く い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		25.4	41.4	15.1	11.9	3.0	3.2
年 齢 別	15～19歳 (n=41)	29.3	39.0	22.0	7.3	0.0	2.4
	20歳代 (n=100)	27.0	35.0	14.0	17.0	5.0	2.0
	30歳代 (n=130)	24.6	45.4	10.8	13.8	4.6	0.8
	40歳代 (n=166)	27.1	41.0	17.5	9.0	4.8	0.6
	50歳代 (n=212)	26.4	38.2	19.3	12.7	1.4	1.9
	60歳代 (n=235)	20.0	43.0	17.4	13.6	3.0	3.0
	70歳代 (n=262)	26.0	42.7	13.4	10.7	2.7	4.6
	80歳代以上 (n=240)	27.5	42.9	10.8	9.6	2.5	6.7

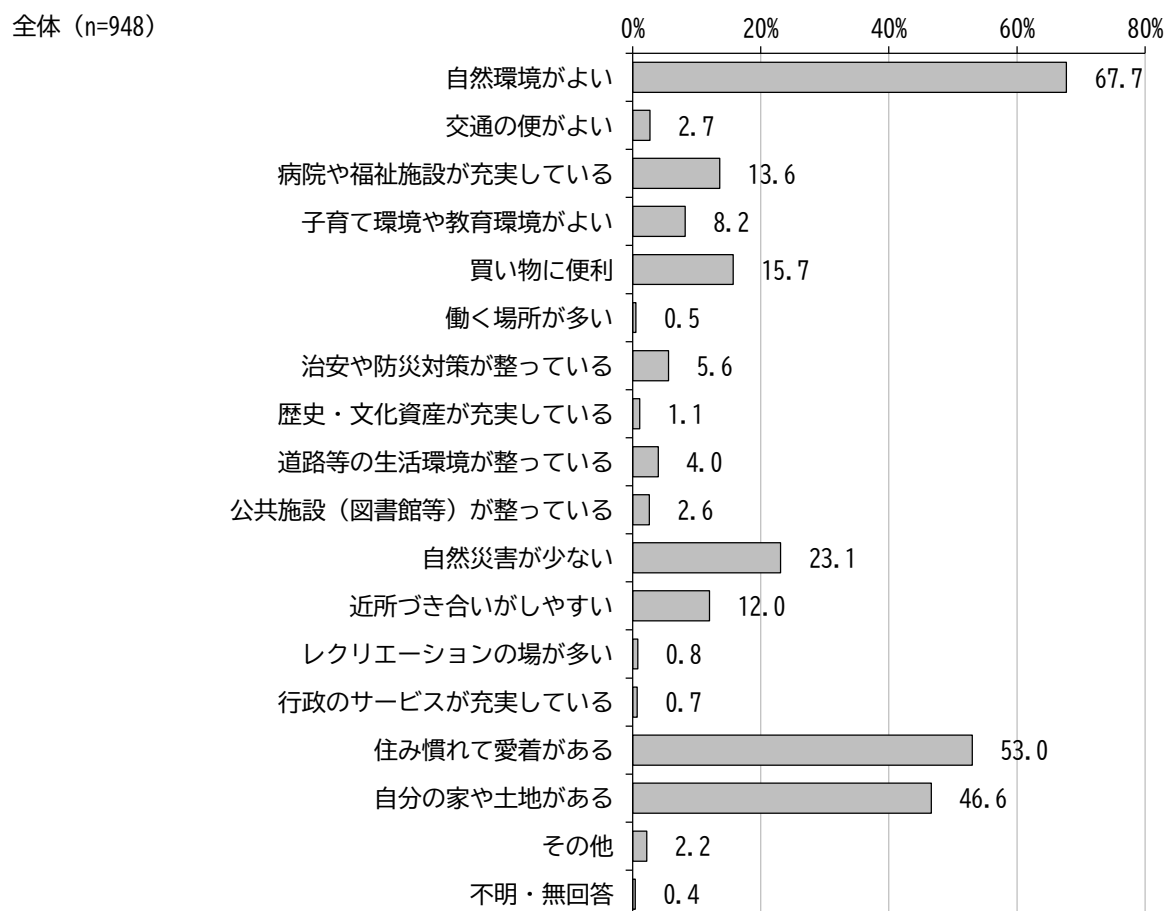
単位：％		住 み 良 い	い ま あ ま あ 住 み 良 い	な ど い ち ら と も い え	と あ は ま い え 住 み 良 い	住 み に く い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=1,419）		25.4	41.4	15.1	11.9	3.0	3.2
居 住 地 区 別	佐伯地区（n=255）	27.1	41.2	14.9	10.2	2.7	3.9
	渡町台地区（n=150）	32.0	40.7	15.3	7.3	2.0	2.7
	佐伯東地区（n=44）	43.2	34.1	13.6	6.8	0.0	2.3
	上堅田地区（n=84）	23.8	47.6	16.7	7.1	0.0	4.8
	鶴岡地区（n=168）	31.5	44.6	8.9	9.5	2.4	3.0
	大入島地区（n=16）	25.0	18.8	31.3	25.0	0.0	0.0
	八幡地区（n=56）	32.1	41.1	7.1	12.5	3.6	3.6
	西上浦地区（n=18）	27.8	22.2	22.2	11.1	11.1	5.6
	下堅田地区（n=57）	31.6	35.1	21.1	10.5	1.8	0.0
	青山地区（n=12）	41.7	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	木立地区（n=35）	17.1	60.0	11.4	8.6	2.9	0.0
	上浦地区（n=41）	9.8	43.9	14.6	19.5	9.8	2.4
	弥生地区（n=130）	30.8	46.2	8.5	10.0	2.3	2.3
	本匠地区（n=25）	12.0	28.0	24.0	28.0	0.0	8.0
	宇目地区（n=40）	15.0	47.5	12.5	17.5	2.5	5.0
	直川地区（n=54）	22.2	27.8	25.9	11.1	5.6	7.4
	鶴見地区（n=57）	15.8	31.6	24.6	24.6	0.0	3.5
	米水津地区（n=27）	3.7	40.7	11.1	29.6	11.1	3.7
	蒲江地区（n=102）	12.7	46.1	17.6	14.7	5.9	2.9
	わからない（n=11）	0.0	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0

単位：％		住み 良い	まあ まあ住み 良い	ど ちらとも いえ ない	あ まり住 み良 いとは い え ない	住 みに く い	不 明・ 無 回 答
全体（n=1,419）		25.4	41.4	15.1	11.9	3.0	3.2
幸 福 度 別	0点（n=8）	0.0	12.5	0.0	25.0	62.5	0.0
	1点（n=11）	27.3	18.2	9.1	27.3	18.2	0.0
	2点（n=21）	4.8	19.0	14.3	42.9	19.0	0.0
	3点（n=39）	5.1	25.6	33.3	25.6	7.7	2.6
	4点（n=46）	6.5	32.6	19.6	26.1	15.2	0.0
	5点（n=291）	13.7	40.5	23.4	17.5	2.4	2.4
	6点（n=133）	15.0	50.4	18.0	10.5	3.0	3.0
	7点（n=251）	23.5	51.0	15.5	6.4	1.2	2.4
	8点（n=319）	32.3	47.0	8.2	7.8	0.6	4.1
	9点（n=83）	36.1	42.2	13.3	4.8	0.0	3.6
	10点（n=141）	53.2	28.4	5.0	10.6	0.7	2.1

問8で「住み良い」または「まあまあ住み良い」を回答した方

問9 佐伯市が住み良いと感じる理由は何ですか。【3つまで○】

「自然環境がよい」が67.7%と最も高く、次いで「住み慣れて愛着がある」が53.0%、「自分の家や土地がある」が46.6%となっています。

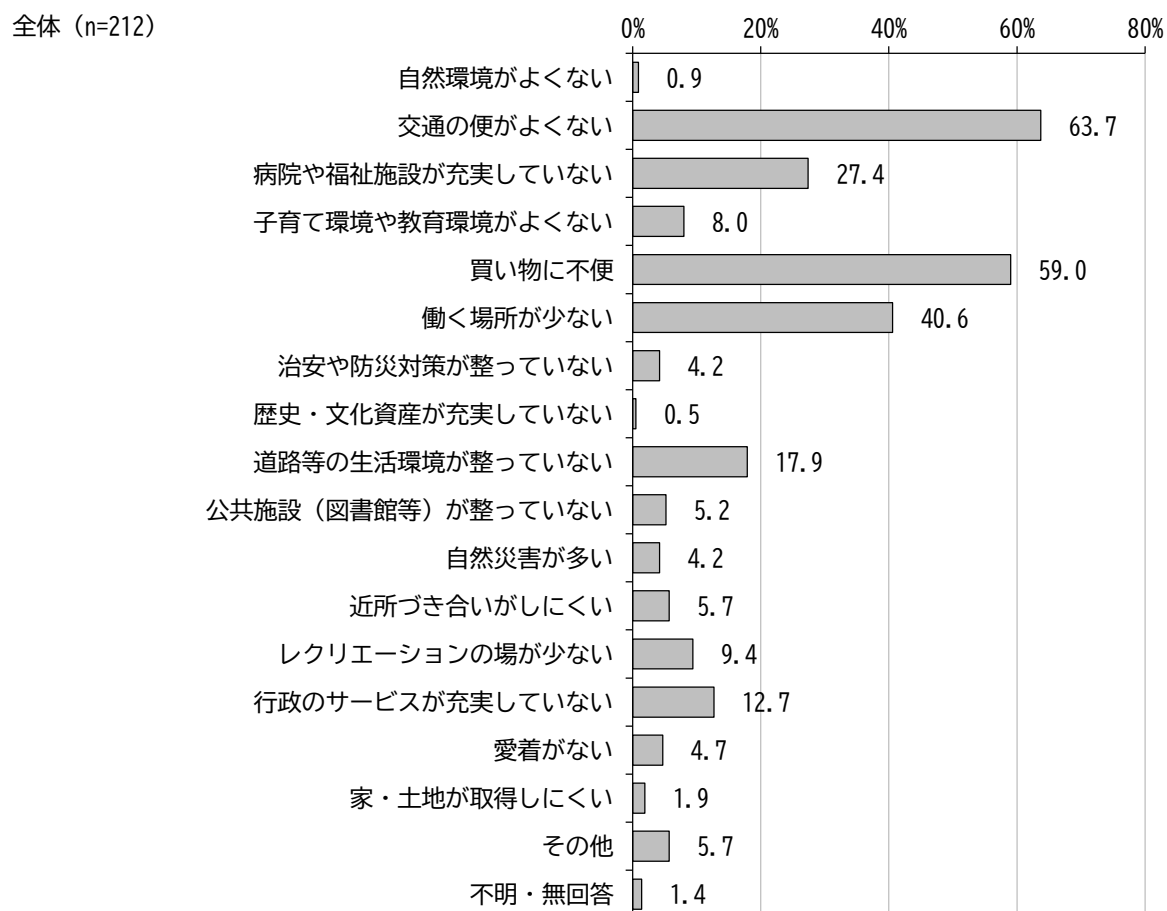


【その他回答】

- ・食べ物おいしい（3）
- ・人が少ない
- ・高校まで育った場所で何より暖かい
- ・特に不便なことがない
- ・人混みが少ない
- ・交通量が少ないから運転しやすい
- ・物価が安い
- ・家族が住んでいるから
- ・身内が近くにいます
- ・海産物が美味しい
- ・親きょうだい近くに住んでいる
- ・人口がほど良い。渋滞がない
- ・祖父母の介護のためなので、しかたない
- ・交通の便がもう少し良かったらいいのに

問8で「あまり住み良いとはいえない」または「住みにくい」を回答した方
問10 佐伯市の住みにくいと感じる理由は何ですか。【3つまで○】

「交通の便がよくない」が63.7%と最も高く、次いで「買い物に不便」が59.0%、「働く場所が少ない」が40.6%となっています。



【その他回答】

- ・ 交通マナーが良くない（車）特に老人
- ・ 高齢者の交通ルール、マナー
- ・ 大学がない
- ・ 都市部までが遠い
- ・ 税金が高い
- ・ 水道料金など地区での差が大きい
- ・ 自分の家があるからしかたなく住んでいる老人ばかりになっている
- ・ 老人の町都会のような店がない。同じ店が多すぎ
- ・ 道沿いにトイレが無い。または少ない
- ・ 行きたいと思える場所がない
- ・ 飲食店等が少ない
- ・ JRの便が早すぎる。大分市へ通学する高校生が通いやすい環境ではない。図書館の開館時間が短い（遅く開館し、早い閉館）
- ・ 大企業を拒むため、発展しない。CANONを追い出した件とか
- ・ 水道料金を毎回でなく2ヶ月1回はどうでしょう。基本料金も安くなるし、検針者も楽だし他の町は実行してますよ。若者達働く企業が少ない？

■クロス集計

年齢別でみると、〔20 歳代〕では「買い物に不便」「働く場所が少ない」、〔30 歳代〕では「働く場所が少ない」、〔40 歳代〕〔50 歳代〕〔60 歳代〕では「交通の便がよくない」、〔70 歳代〕〔80 歳代以上〕では「買い物に不便」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、〔佐伯地区〕〔上浦地区〕では「買い物に不便」、〔渡町台地区〕〔鶴見地区〕〔蒲江地区〕では「交通の便がよくない」、〔鶴岡地区〕では「働く場所が少ない」、〔弥生地区〕では「交通の便がよくない」「買い物に不便」「働く場所が少ない」、〔米水津地区〕では「交通の便がよくない」「買い物に不便」が最も高くなっています。

単位：％		く自然 環境がよ	く交 通の便がよ	い設 病なが 院い充 や実福 し社施	く教 子育 育い環 境がよ	買 い物に 不便	な働 いく場 所が少	な策 いが安 整や防 つて災 い対	い産 なが史 い充・ 実文化 して資	い環 道境が 路い等 の整の つ生 て活	整書公 つ館共 等施設 （等） ながへ い図
全体 (n=212)		0.9	63.7	27.4	8.0	59.0	40.6	4.2	0.5	17.9	5.2
年 齢 別	15～19歳 (n=3)	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	20歳代 (n=22)	0.0	59.1	18.2	9.1	63.6	63.6	4.5	0.0	9.1	4.5
	30歳代 (n=24)	0.0	45.8	29.2	20.8	41.7	50.0	4.2	0.0	8.3	12.5
	40歳代 (n=23)	0.0	56.5	26.1	8.7	30.4	47.8	4.3	0.0	21.7	8.7
	50歳代 (n=30)	0.0	73.3	30.0	6.7	56.7	40.0	0.0	0.0	26.7	6.7
	60歳代 (n=39)	2.6	79.5	25.6	5.1	71.8	43.6	10.3	0.0	23.1	0.0
	70歳代 (n=35)	0.0	54.3	31.4	8.6	60.0	37.1	0.0	0.0	17.1	2.9
	80歳代以上 (n=29)	3.4	65.5	31.0	0.0	75.9	13.8	3.4	3.4	13.8	3.4

単位：％		い自然 災害が多	が近 し所 にづ くき い合 い	少シ レな い ンリ の工 場 が	いス 行な が政 充の 実サ しー てビ	愛着 がない	得家 し・ に土 く地 いが 取	その他	不明・ 無回答
全体 (n=212)		4.2	5.7	9.4	12.7	4.7	1.9	5.7	1.4
年 齢 別	15～19歳 (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	20歳代 (n=22)	0.0	4.5	9.1	4.5	13.6	0.0	9.1	0.0
	30歳代 (n=24)	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0
	40歳代 (n=23)	0.0	0.0	8.7	13.0	13.0	0.0	13.0	8.7
	50歳代 (n=30)	6.7	0.0	13.3	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0
	60歳代 (n=39)	0.0	5.1	2.6	2.6	2.6	2.6	7.7	0.0
	70歳代 (n=35)	2.9	14.3	8.6	22.9	5.7	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=29)	6.9	10.3	10.3	24.1	0.0	0.0	0.0	3.4

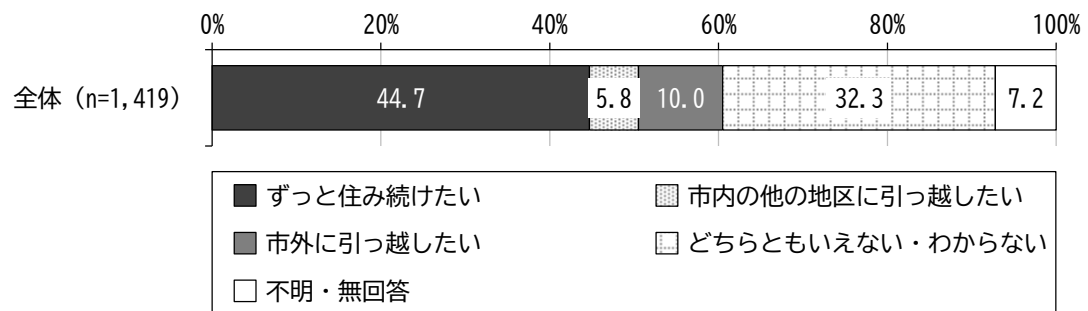
単位：％		く な い 環 境 が よ	く 交 通 の 便 が よ	い 設 が な い 充 実 し て 施	病 院 や 福 祉 施	く 教 育 環 境 が よ	買 い 物 に 不 便	な 働 い く 場 所 が 少	な 策 い が 安 い 整 つ て 対	治 安 な い 防 災 対	産 業 が 充 実 し て 資	歴 史 な い 文 化 的	環 境 が 整 つ て 生	道 路 等 の 生	書 館 等 が 設 け ら れ て い	公 共 施 設 が 設 け ら れ て い	
全体 (n=212)		0.9	63.7	27.4	8.0	59.0	40.6	4.2	0.5	17.9	5.2						
居住地区別	佐伯地区 (n=33)	0.0	54.5	9.1	15.2	57.6	45.5	6.1	0.0	18.2	6.1						
	渡町台地区 (n=14)	0.0	50.0	42.9	14.3	42.9	35.7	0.0	0.0	21.4	28.6						
	佐伯東地区 (n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0						
	上堅田地区 (n=6)	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7						
	鶴岡地区 (n=20)	0.0	45.0	50.0	10.0	30.0	55.0	5.0	0.0	15.0	0.0						
	大入島地区 (n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	八幡地区 (n=9)	0.0	55.6	0.0	0.0	77.8	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0						
	西上浦地区 (n=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0						
	下堅田地区 (n=7)	0.0	85.7	28.6	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0						
	木立地区 (n=4)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0						
	上浦地区 (n=12)	0.0	75.0	41.7	0.0	91.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0						
	弥生地区 (n=16)	6.3	50.0	25.0	12.5	50.0	50.0	6.3	0.0	0.0	0.0						
	本匠地区 (n=7)	14.3	71.4	28.6	0.0	85.7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0						
	宇目地区 (n=8)	0.0	75.0	37.5	0.0	62.5	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5						
	直川地区 (n=9)	0.0	77.8	11.1	11.1	77.8	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0						
	鶴見地区 (n=14)	0.0	71.4	21.4	7.1	64.3	35.7	7.1	0.0	42.9	7.1						
	米水津地区 (n=11)	0.0	81.8	36.4	9.1	81.8	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0						
	蒲江地区 (n=21)	0.0	71.4	28.6	4.8	66.7	38.1	4.8	0.0	23.8	0.0						
	わからない (n=2)	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0					

単位：％		い 自 然 災 害 が 多	が 近 し 所 に づ く き い 合 い	少 シ レ ク な い ン リ の エ 場 が	い ス 行 な い 政 の 実 し て ビ	愛 着 が な い	得 家 し ・ に 土 地 が 取	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=212)		4.2	5.7	9.4	12.7	4.7	1.9	5.7	1.4
居住地区別	佐伯地区 (n=33)	0.0	0.0	12.1	6.1	9.1	3.0	15.2	3.0
	渡町台地区 (n=14)	0.0	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0
	佐伯東地区 (n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上堅田地区 (n=6)	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	鶴岡地区 (n=20)	10.0	10.0	15.0	20.0	0.0	15.0	10.0	0.0
	大入島地区 (n=4)	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八幡地区 (n=9)	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	西上浦地区 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	下堅田地区 (n=7)	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	木立地区 (n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上浦地区 (n=12)	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
	弥生地区 (n=16)	12.5	0.0	12.5	31.3	6.3	0.0	18.8	0.0
	本匠地区 (n=7)	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇目地区 (n=8)	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	直川地区 (n=9)	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	鶴見地区 (n=14)	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0
	米水津地区 (n=11)	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	蒲江地区 (n=21)	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	わからない (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※〔青山地区〕は (n=0) のため省略

問 11 あなたは、将来も今住んでいる地区に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

「ずっと住み続けたい」が44.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない・わからない」が32.3%、「市外に引っ越したい」が10.0%となっています。



■クロス集計

居住地区別でみると、〔西上浦地区〕〔本匠地区〕〔米水津地区〕では「ずっと住みたい」「どちらともいえない・わからない」、〔上浦地区〕〔鶴見地区〕〔わからない〕では「どちらともいえない・わからない」、その他の居住地区では「ずっと住みたい」が最も高くなっています。

居住年数別でみると、〔20 年以上〕では「ずっと住みたい」、その他の居住年数では「どちらともいえない・わからない」が最も高くなっています。

単位：％		い ず つ と 住 み 続 け た	引 市 つ 内 越 の し 他 た の い 地 区 に	い 市 外 に 引 つ 越 し た	い ど ・ ち わ ら か ら も い え な	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		44.7	5.8	10.0	32.3	7.2
居 住 地 区 別	佐伯地区 (n=255)	38.8	3.9	13.7	36.5	7.1
	渡町台地区 (n=150)	48.0	6.0	11.3	27.3	7.3
	佐伯東地区 (n=44)	52.3	2.3	11.4	27.3	6.8
	上堅田地区 (n=84)	50.0	2.4	4.8	34.5	8.3
	鶴岡地区 (n=168)	43.5	4.2	14.3	32.1	6.0
	大入島地区 (n=16)	43.8	6.3	12.5	37.5	0.0
	八幡地区 (n=56)	50.0	1.8	7.1	35.7	5.4
	西上浦地区 (n=18)	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0
	下堅田地区 (n=57)	49.1	7.0	8.8	29.8	5.3
	青山地区 (n=12)	75.0	0.0	0.0	8.3	16.7
	木立地区 (n=35)	51.4	5.7	5.7	34.3	2.9
	上浦地区 (n=41)	24.4	12.2	9.8	41.5	12.2
	弥生地区 (n=130)	58.5	2.3	9.2	23.1	6.9
	本匠地区 (n=25)	36.0	4.0	4.0	36.0	20.0
	宇目地区 (n=40)	50.0	2.5	0.0	40.0	7.5
	直川地区 (n=54)	61.1	11.1	5.6	16.7	5.6
	鶴見地区 (n=57)	29.8	14.0	5.3	42.1	8.8
	米水津地区 (n=27)	33.3	14.8	3.7	33.3	14.8
	蒲江地区 (n=102)	38.2	9.8	13.7	29.4	8.8
	わからない (n=11)	18.2	9.1	27.3	45.5	0.0

単位：％		ずっと住み続けたい	市内の他の地区に引越したい	市外に引越したい	どちらともいえない・わからない	不明・無回答
全体（n=1,419）		44.7	5.8	10.0	32.3	7.2
居住年数別	1年未満（n=14）	14.3	0.0	14.3	64.3	7.1
	1年以上5年未満（n=61）	29.5	1.6	26.2	39.3	3.3
	5年以上10年未満（n=57）	29.8	1.8	24.6	42.1	1.8
	10年以上20年未満（n=136）	25.0	5.1	22.8	42.6	4.4
	20年以上（n=1,121）	49.2	6.2	7.0	29.4	8.1

問 12 佐伯市が持っている多くの魅力のうち、あなたが特に誇れるもの・大切にしたいものは何ですか。【具体的に下の枠内に2つまで記入】

回答一例	
1. 「食の魅力（海の幸・山の幸・地産地消・飲食店）」関連	
（佐伯）寿司	魚（海産物、海の幸）が美味しい、新鮮
お米と水がおいしい所	ごまだし
（佐伯）ラーメン	鮮度一番のすしのネタの大きさ、うまさ
食べ物（海のもの山のもの）が全て美味しい	畑の野菜が美味しい
ごまだしうどん	市内の居酒屋や寿司屋など、とても美味だと思う
（番匠川の地下水による）水道水のうまさ	かんきつ類がとてもおいしい。魚もおいしい
魚介類が美味しい	しいたけ
からあげ	水産加工品
魚などの海産物が美味しい	佐伯産の魚。特に佐伯産のいりこで取った出汁は絶品です。
海産物、特に天然魚と養殖魚の両方が美味しい	海と山の幸
魚の市場〇（まる）	海鮮に限らずとも、素晴らしい飲食店が多い。
農産物	海の魚介類の養殖（ひらめ・うなぎ）
新鮮な魚を使った寿司や、カキなどの海の恵み	食が充実
ジビエ料理	美味しい海鮮 など

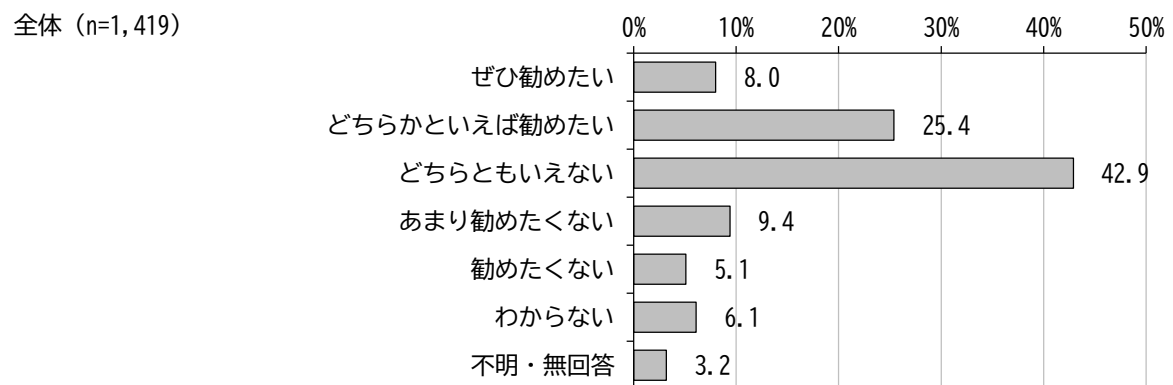
回答一例	
2. 「豊かな自然環境・景観・アクティビティ」関連	
自然（緑が多く癒される）	番匠川
（リアス）海岸	河口、海が近く空気が良い
浦に多くの魅力あり	城山
本匠の水車	豊後二見ヶ浦
レクリエーションができる山	瀬会海岸
元越山	藤河内溪谷
星のきれいさ	空の公園とてもいいです。山から見る海、アジサイ等
田園風景	城山は風情がある。三の丸の城下町も味がある。
海山川いろんな自然のアクティビティが楽しめる	清流
海辺の景色（山の景色と海水の美しさ）	佐伯湾の景観（上浦湾、鶴見湾、米水津湾、蒲江湾）
尺間山	自然豊かな環境、特に水産資源が豊富。
釣りができる	綺麗鳥の鳴き声や夜は静かで虫の声がよく聞こえる
心落ち着く美しい自然	海・山・空といった自然の色が美しいこと
海や川の自然と虫	綺麗な川
自然豊かでムササビが見れる	運動公園の充実
海の水質が綺麗	磯、沖磯
キャンプ場	住吉の大楠 など

回答一例	
3. 「人情・地域コミュニティ・歴史文化・安心な暮らし」関連	
地元の意識	知り合い、顔見知りがいる
城下町	何もない所が良い
さいき城山桜ホール	静かな場所で住みやすい
自分の家や土地がある	人がやさしい
素朴	親切な方が多い
人づきあいが深い、助け合い	シャイでぶっきらぼうなくせに温かい人柄
市民ミュージカル	人が良い人が多い
人情が厚いと思う	地域住民の人柄が良い
伝統文化（大名行列、神楽など）	暮らしやすい（特に子育てしやすい）
大災害（自然、人為とも）がない	人が認め合って生活していること
地域の人や知人と助け合える繋がりが多い	子育て。桜ホールや他の支援センターも有り難い。
大都会と違って車の騒音もなく住みよい所	長閑なところ。治安も良いので安心できる。
温かい雰囲気	歴史と文化のみち
犯罪が少ない	治安の良さ
春まつりや火まつり、ほたるまつりなど風物詩を大事にしているところ	
など	

回答一例	
4. 「産業・都市機能・交通・ほどよい田舎感」関連	
造船	コスモタウン
人口密度が低い、静か、長閑	道の駅
水産業	物価が安く自給自足が可能
静かな場所で住みやすい	それなりの商業施設が揃っている
大都会と違って車の騒音もなく住みよい所	ドライブで行ける観光地が多い
商業施設同士が近い	水産資源
行政、病院、学校が近くにある	冬も割にあたたく住みやすい
閑静な街	交通
高速道路	自転車に対する行政のアプローチ
コンパクトに何でもそろっている	買い物に困らない
10 号線	気候が良い
日本、世界に誇れる海事産業	特急電車が停まること
ほどよい田舎	生活にちょうどいい規模の町
一次産業はもちろん、興人、造船などの製造メーカー	ゴミの分別が楽
宇目には自然がたくさんあり、市内に行けば、海もあり子供にたくさんの体験をさせてあげられる	
歴史ある造船業のほか、海運業には発展の可能性がある。	
程よい田舎で住みやすく、かつ、生活に必要なものをほとんど市内で揃えることができる。	
など	

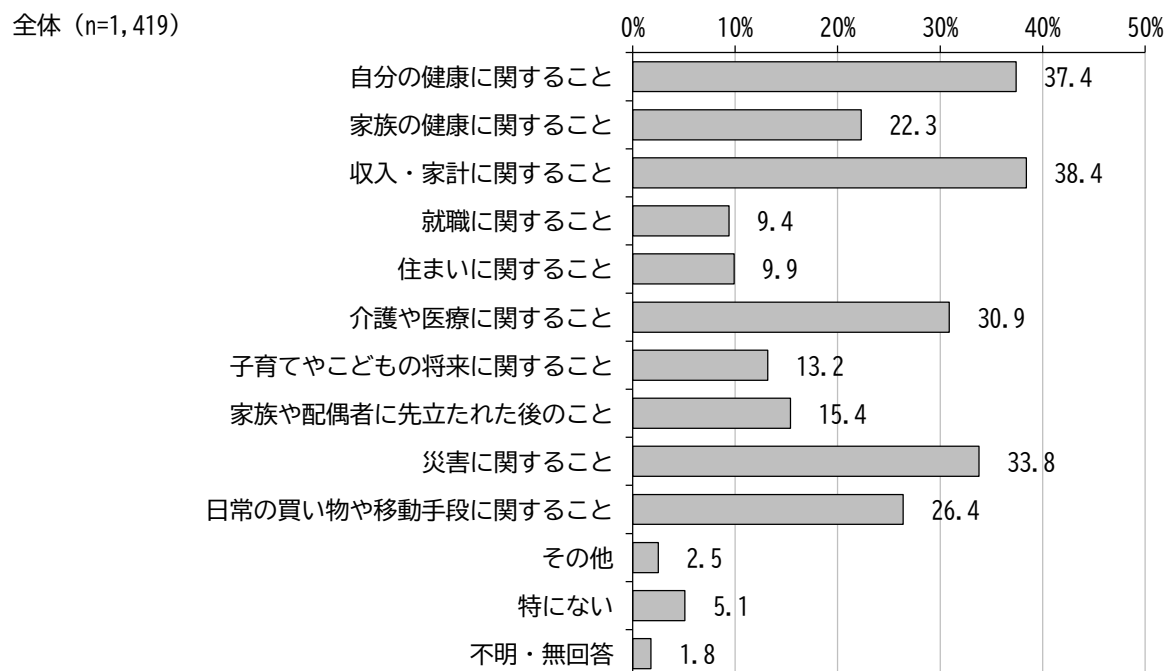
問 13 あなたは、佐伯市での暮らしを市外の人に勧めたいと思いますか。【1つに○】

「どちらともいえない」が42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば勧めたい」が25.4%、「あまり勧めたくない」が9.4%となっています。



問 14 あなたは、現在の暮らしについて、どのような不安や悩みを感じますか。【3つまで○】

「収入・家計に関すること」が 38.4%と最も高く、次いで「自分の健康に関すること」が 37.4%、「災害に関すること」が 33.8%となっています。



【その他回答】

- ・ 自分の実家との距離
- ・ 相続した不動産の処分
- ・ 後継ぎ
- ・ 免許返納した後、交通の便が不安
- ・ 障がい者の子供の事
- ・ 赤ちゃんを産む施設がほとんどない事
- ・ 高齢化した時の暮らし
- ・ 学業のこと
- ・ 地域の持続可能性
- ・ 夢の実現に関すること
- ・ ハンディキャップがあり不安です。一人ではできない
- ・ 少子高齢化
- ・ 交通の便が悪すぎる
- ・ 教育環境
- ・ 子育て支援に厚すぎる感がある
- ・ 物価高
- ・ 障がい者雇用
- ・ 人口の減少
- ・ 治安
- ・ 税金、年金、物価高、市政、国政の墮落
- ・ 外国人の増加

■クロス集計

年齢別でみると、〔15～19 歳〕では「就職に関すること」、〔60 歳代〕〔70 歳代〕〔80 歳代以上〕では「自分の健康に関すること」、その他の年齢では「収入・家計に関すること」が最も高くなっています。

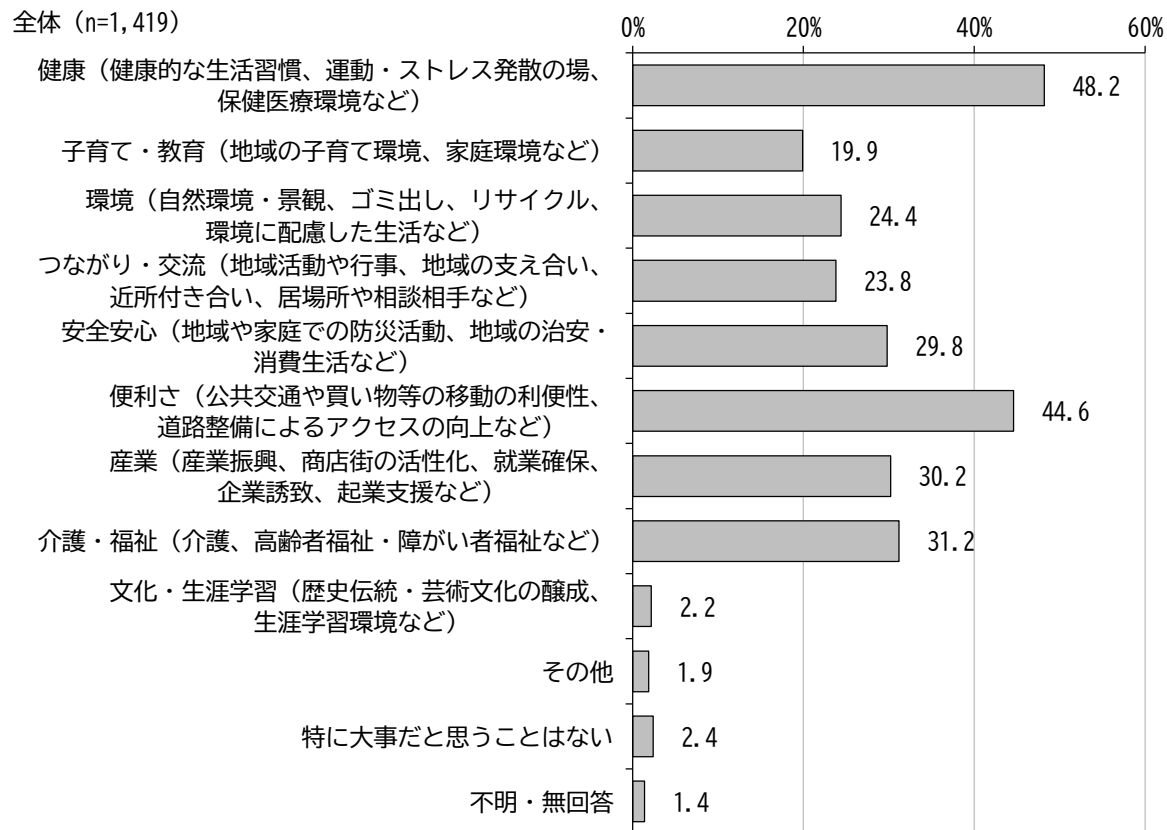
家族構成別でみると、〔単身〕〔夫婦のみ〕では「自分の健康に関すること」、〔親と子の二世帯〕〔親と子と孫の三世帯〕では「収入・家計に関すること」が最も高くなっています。

単位：％		こ と 自 分 の 健 康 に 関 す る	こ と 家 族 の 健 康 に 関 す る	こ と 収 入 ・ 家 計 に 関 す る	就 職 に 関 す る こ と	住 ま い に 関 す る こ と	こ と 介 護 や 医 療 に 関 す る	来 子 育 て や こ ど も の 将 来 に 関 す る こ と	た れ た 後 の こ と 家 族 や 配 偶 者 に 先 立 た れ た こ と	災 害 に 関 す る こ と	日 常 に 関 す る 物 や 移 動	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		37.4	22.3	38.4	9.4	9.9	30.9	13.2	15.4	33.8	26.4	2.5	5.1	1.8
年 齢 別	15～19歳 (n=41)	2.4	7.3	26.8	46.3	9.8	4.9	14.6	0.0	36.6	34.1	4.9	17.1	0.0
	20歳代 (n=100)	14.0	14.0	43.0	27.0	10.0	12.0	13.0	12.0	40.0	22.0	4.0	10.0	1.0
	30歳代 (n=130)	20.0	21.5	57.7	16.9	8.5	10.8	40.8	16.2	36.9	17.7	1.5	4.6	0.8
	40歳代 (n=166)	20.5	19.9	57.2	14.5	5.4	30.7	35.5	10.2	39.2	18.1	4.2	3.0	1.2
	50歳代 (n=212)	27.8	25.5	45.3	9.9	17.0	31.6	12.7	13.7	33.0	24.5	0.9	4.2	1.9
	60歳代 (n=235)	43.4	19.6	39.6	4.7	11.9	31.5	6.0	18.3	32.8	23.8	3.4	6.4	1.7
	70歳代 (n=262)	54.6	27.5	26.7	1.1	8.0	37.4	3.1	15.6	29.4	31.3	2.7	4.2	2.7
	80歳代以上 (n=240)	56.7	24.2	18.8	1.3	7.5	45.8	1.3	20.8	32.5	36.3	1.3	4.2	2.5
家 族 構 成 別	単身 (n=203)	51.7	7.9	32.0	7.4	14.3	35.0	3.0	4.9	34.0	35.5	3.0	4.9	2.5
	夫婦のみ (n=392)	43.6	27.8	33.4	3.8	9.9	37.2	3.3	26.0	31.9	28.8	1.5	4.1	1.5
	親と子の二世帯 (n=650)	29.2	22.9	43.4	13.1	9.5	26.2	20.6	12.3	35.8	21.8	2.8	5.7	2.0
	親と子と孫の三世帯 (n=98)	32.7	25.5	37.8	13.3	4.1	28.6	24.5	16.3	31.6	28.6	4.1	5.1	1.0

問 15 あなたは、佐伯市で暮らすにあたって「特に大事」だと思うことはどれですか。

【3つまで○】

「健康（健康的な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など）」が 48.2%と最も高く、次いで「便利さ（公共交通や買い物等の移動の利便性、道路整備によるアクセスの向上など）」が 44.6%、「介護・福祉（介護、高齢者福祉・障がい者福祉など）」が 31.2%となっています。



【その他回答】

- ・身内に高齢者が多く、運転免許の返納を考える人がいるが、年金だけだと公共交通機関を利用するのが不安で返納できずにいます。そして交通事故をよく起こし、身を護るこちらも不安です。
- ・近くのトンネルの照明が時間により、中の照り返しの関係で見づらい。重大事故につながる。
- ・ひとり親への支援が大事（親と同居で、たとえ親の所得が高くても母子家庭の親に支援を受けさせるべき）
- ・学生の頃から運転免許を無料で取得させたり、仕事に有利な資格を無料で取得させた方がよいのでは？
- ・子どもたちの進学、部活動の地域移行
- ・家庭環境
- ・後継者不足で、特に漁業は深刻
- ・不動産の利用（山林、田、畑）
- ・子育て支援はわかるが、高齢者が住みやすくなる様な環境づくりをしてほしい
- ・今一番に思っているのは、お店が無い事です
- ・治安の良さ（交通マナーや日常的なモラル、犬のふんや猫のエサよりマナー）。海外の人が多すぎて、今後、都市で起きている問題が地方へおこりそう。助成金？補助金目当てで入れすぎ。
- ・弱い立場（障がい、高齢など）の人への思いやり、対策
- ・金
- ・他人の事をとにかく言う人が多い
- ・減税

■クロス集計

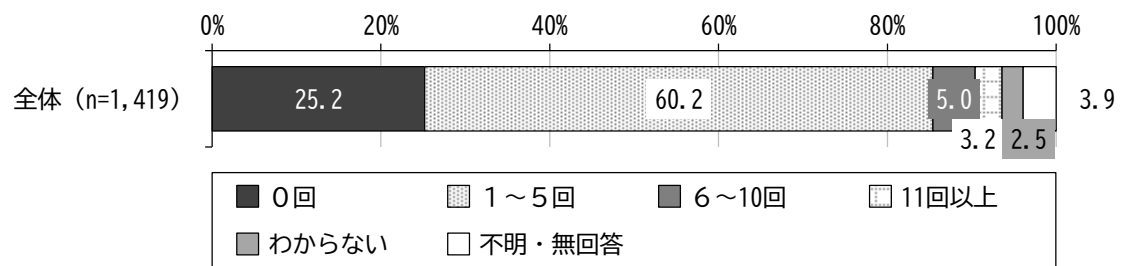
年齢別でみると、〔15～19 歳〕では「安全安心（地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など）」、〔20 歳代〕〔40 歳代〕〔50 歳代〕では「便利さ（公共交通や買い物等の移動の利便性、道路整備によるアクセスの向上など）」、〔30 歳代〕では「子育て・教育（地域の子育て環境、家庭環境など）」、〔60 歳代〕〔70 歳代〕〔80 歳代以上〕では「健康（健康的な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など）」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、〔親と子の二世帯〕では「便利さ（公共交通や買い物等の移動の利便性、道路整備によるアクセスの向上など）」、その他の家族構成では「健康（健康的な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療環境など）」が最も高くなっています。

単位：％		療養・健康・ストレス発散の場、保健医療環境など	子育て・教育（地域の子育て環境、家庭環境など）	自然環境・景観、環境に配慮した生活など	環境・自然環境・景観、環境に配慮した生活など	合い、地域の交流（地域活動や行事など）	つながり・交流（地域活動や行事など）	安全安心（地域や家庭での防災活動、地域の治安・消費生活など）	移動の利便性、道路整備によるアクセスの向上など	支援（産業振興、企業誘致、起業性）	産業（産業振興、企業誘致、起業性）	介護・福祉（介護、高齢者福祉）	文化・生涯学習（歴史伝統・芸術文化の醸成、生涯学習環境など）	その他	特に大事だと思わない	不明・無回答
全体（n=1,419）		48.2	19.9	24.4	23.8	29.8	44.6	30.2	31.2	2.2	1.9	2.4	1.4			
年齢別	15～19歳（n=41）	29.3	24.4	41.5	17.1	46.3	43.9	29.3	9.8	4.9	0.0	2.4	0.0			
	20歳代（n=100）	40.0	34.0	25.0	15.0	32.0	49.0	28.0	16.0	0.0	4.0	3.0	0.0			
	30歳代（n=130）	34.6	56.2	15.4	14.6	39.2	44.6	35.4	12.3	3.1	3.8	1.5	0.8			
	40歳代（n=166）	41.0	41.0	14.5	16.9	32.5	48.8	39.8	27.7	0.6	0.6	2.4	1.2			
	50歳代（n=212）	45.8	16.0	31.1	19.8	28.8	48.6	35.4	26.4	3.8	0.5	1.9	0.9			
	60歳代（n=235）	49.8	11.5	23.4	27.7	31.5	48.1	29.8	28.1	0.9	3.4	3.0	1.7			
	70歳代（n=262）	55.0	8.4	26.0	28.2	24.4	43.1	29.0	38.5	2.7	1.9	1.5	2.3			
	80歳代以上（n=240）	59.6	3.3	23.3	33.3	25.8	34.6	20.0	54.2	2.9	0.8	3.3	1.7			
家族構成別	単身（n=203）	58.1	5.4	23.6	30.0	25.6	43.8	22.7	38.9	3.0	2.5	2.5	2.0			
	夫婦のみ（n=392）	51.5	11.0	28.1	28.8	29.1	42.6	29.1	36.5	1.8	1.8	2.0	1.0			
	親と子の二世帯（n=650）	42.9	28.5	22.2	19.5	32.8	46.2	33.1	26.0	2.2	1.7	2.5	1.4			
	親と子と孫の三世帯（n=98）	46.9	28.6	19.4	20.4	28.6	43.9	35.7	31.6	2.0	2.0	2.0	2.0			

問 16 あなたが、市役所本庁舎を1年間に利用する頻度はどれくらいですか。【1つに○】

「1～5回」が60.2%と最も高く、次いで「0回」が25.2%、「6～10回」が5.0%となっています。



■クロス集計

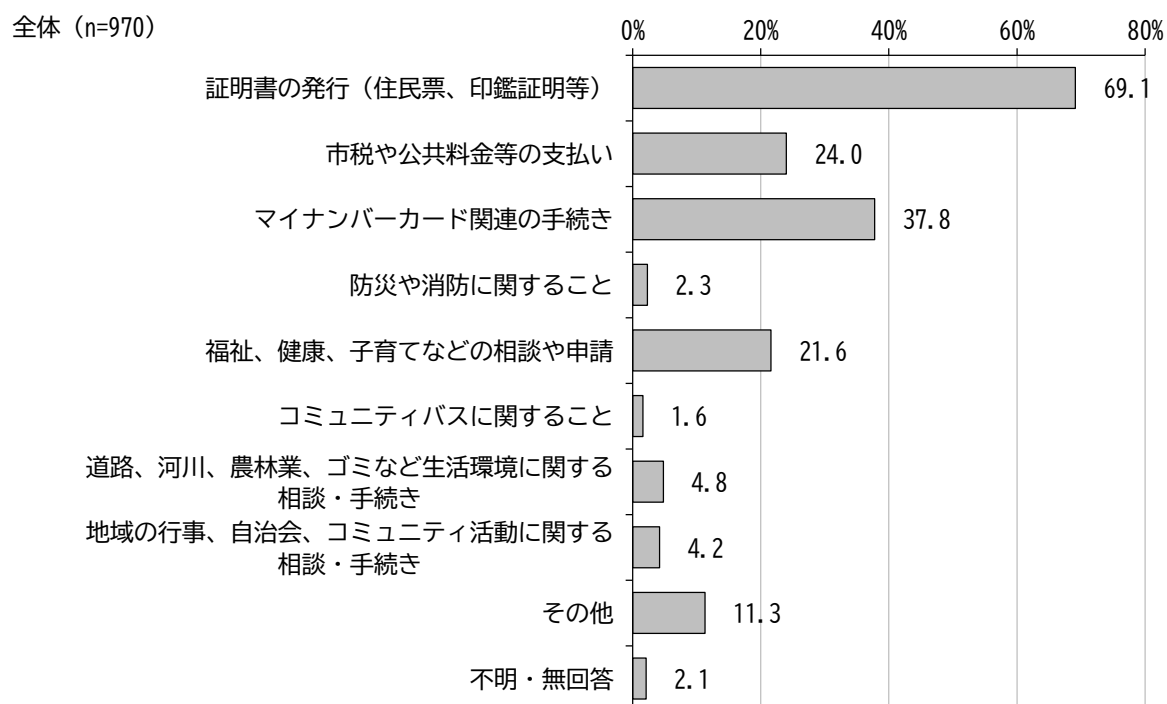
居住地区別でみると、〔上浦地区〕〔宇目地区〕〔直川地区〕〔米水津地区〕〔蒲江地区〕では「0回」、その他の居住地区では「1～5回」が最も高くなっています。

単位：％		0 回	1 ～ 5 回	6 ～ 1 0 回	1 1 回 以上	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=1,419）		25.2	60.2	5.0	3.2	2.5	3.9
居 住 地 区 別	佐伯地区（n=255）	16.1	67.1	9.0	2.7	1.6	3.5
	渡町台地区（n=150）	14.0	75.3	4.0	3.3	2.0	1.3
	佐伯東地区（n=44）	9.1	81.8	4.5	0.0	4.5	0.0
	上堅田地区（n=84）	22.6	63.1	2.4	2.4	4.8	4.8
	鶴岡地区（n=168）	13.7	67.3	6.5	6.0	2.4	4.2
	大入島地区（n=16）	18.8	75.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	八幡地区（n=56）	23.2	64.3	3.6	3.6	3.6	1.8
	西上浦地区（n=18）	5.6	83.3	11.1	0.0	0.0	0.0
	下堅田地区（n=57）	21.1	52.6	10.5	3.5	1.8	10.5
	青山地区（n=12）	0.0	75.0	8.3	8.3	8.3	0.0
	木立地区（n=35）	17.1	68.6	5.7	2.9	0.0	5.7
	上浦地区（n=41）	53.7	31.7	7.3	2.4	2.4	2.4
	弥生地区（n=130）	36.2	51.5	1.5	5.4	0.8	4.6
	本匠地区（n=25）	40.0	48.0	0.0	4.0	4.0	4.0
	宇目地区（n=40）	47.5	42.5	0.0	0.0	2.5	7.5
	直川地区（n=54）	50.0	40.7	1.9	0.0	3.7	3.7
	鶴見地区（n=57）	38.6	49.1	1.8	1.8	5.3	3.5
	米水津地区（n=27）	51.9	37.0	3.7	0.0	0.0	7.4
	蒲江地区（n=102）	44.1	42.2	3.9	2.9	2.9	3.9
	わからない（n=11）	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	0.0

問 16 で「1 ～ 5 回」、「6 ～ 10 回」または「11 回以上」を回答した方

問 17 市役所本庁舎を利用する際、どのような目的が多いですか。【3 つまで○】

「証明書の発行（住民票、印鑑証明等）」が 69.1%と最も高く、次いで「マイナンバーカード関連の手続き」が 37.8%、「市税や公共料金等の支払い」が 24.0%となっています。

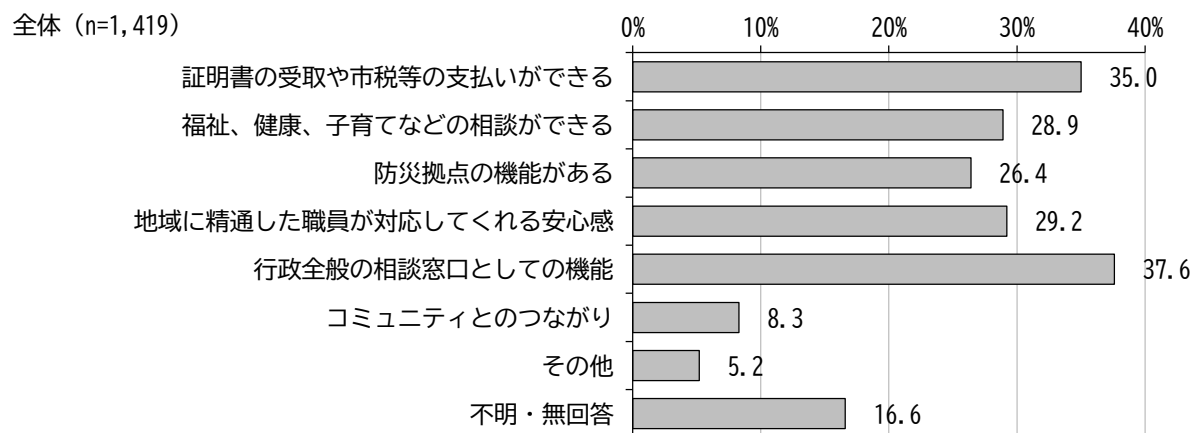


【その他回答】

- ・選挙（期日前投票等）（22）
- ・献血（4）
- ・小型家電の持ち込み（2）
- ・認知症サポーター養成講座に参加
- ・あんま券、タクシー代補助券受け取り
- ・税金（固定資産etc.）の問い合わせ
- ・市県民税の申告、交通共済継続申請
- ・研修
- ・検針員のため
- ・付き添い
- ・介護手当の申請等犬の登録
- ・問い合わせ全般
- ・住民税非課税、障がい者等福祉相談
- ・子どもの手続きや自営業関係の手続き
- ・選挙の仕事の申し込みをしているのに連絡をしてくれないのが気になる
- ・融通が利かない。ルールはあって当然だが、意味のわからないルールが多い
- ・仕事（9）
- ・申告（2）
- ・会議（2）
- ・ミドリのカーテン
- ・年末調整の手続き
- ・プレ券などの購入
- ・住所変更
- ・職業に関することで
- ・公共の仕事関係
- ・環境対策課、特殊ゴミBOX
- ・私的な相談
- ・捕獲器を借りる
- ・専門的な事を相談するとき手続きが早い
- ・障がい福祉課
- ・確定申告（6）
- ・ATM（2）
- ・選挙活動
- ・市美展の展覧会等
- ・市営住宅の家賃の支払い
- ・申請
- ・行政手続き
- ・職場関係
- ・業務関連
- ・介護関係、おむつ代等
- ・廃屋に関すること
- ・空き家対策
- ・ひまつぶし

問 18 市役所本庁舎に求めるものは何ですか。【3 つまで○】

「行政全般の相談窓口としての機能」が 37.6%と最も高く、次いで「証明書の受取や市税等の支払いができる」が 35.0%、「地域に精通した職員が対応してくれる安心感」が 29.2%となっています。

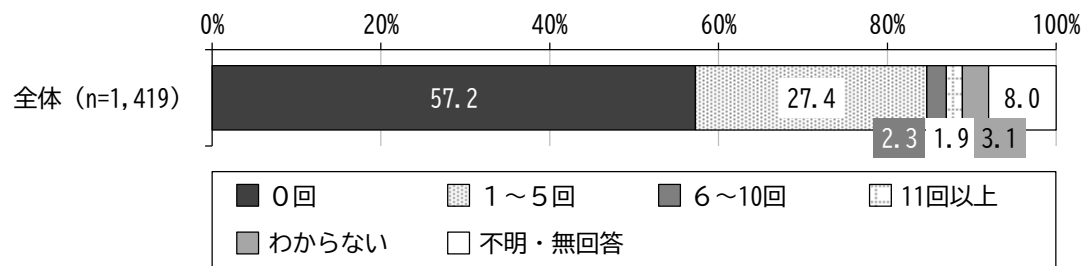


【その他回答】

- ・笑顔
- ・専門知識
- ・対応の早さ
- ・迅速かつ正確な事務処理
- ・土日営業
- ・振興局で用事は済む
- ・省人化
- ・不要な人材を解雇すること。(3)
- ・あいさつ、愛想がなく行きにくい
- ・対応の悪い方がいるので行きにくい
- ・市役所の職員さんが接しやすい人である事
- ・休日、平日 20:00 迄、利用できるようにしてほしい
- ・ATM がそろっていてほしい
- ・人によって対応が違いすぎる。公務員だから固い印象…もっとニコニコ
- ・相談者の立場に立って考えて欲しい。マニュアルで動くな AI の方が良い
- ・市民との距離感と心地よい環境をつくる（互いに思いやる心を持つ）
- ・無愛想、利用者の案内者いない、デスクワーク（企業のような）
- ・各課に行ってもこちらの質問に対して適正な回答する職員が少ない。少し勉強してほしい
- ・その係の事を勉強して、どの質問にも対応できるようにしてほしい（移動時）
- ・制度や決まりごとの番人に成り下がらず、生活弱者の健康的な暮らし方のために何ができるかを人として「考え」「調整」できる職員になって欲しい
- ・開庁時間を考慮していただけると助かります。職員のフレックスタイム制導入等
- ・捕獲器を頻繁に借りに行くのに、わざわざ3階まで行かないとならず、複数器借りた時は重くて持ちづらい。是非1階で借りたりできるようにしてほしい
- ・職員が多すぎるとおもいます。一般企業では考えられない程の人がいる。5 時前には帰る準備をしている！
- ・納税、証明はコンビニに行くので、市役所に多くは希望しない
- ・コミュニティバスに関する事
- ・土石流があり小さな川の工事をお願いに行くけど、10 年もなるがしてくれない…
- ・税金等のお知らせの迅速化。もう少し早くしてほしい。年々遅くなっていると感じる
- ・産業についての情報発信
- ・まだ学生なので市役所に色々と求めた事がない
- ・必要な人の必要な対応
- ・職員の勤勉さ
- ・時間がかからないように
- ・無理ですが行政サービス向上
- ・窓口の対応時間
- ・振興局にもっと権限を与える
- ・年金に対する親切、丁寧な対応
- ・もっと親身になること
- ・ONESTOP の窓口対応
- ・業務を正しく遂行すること
- ・もっと愛想良くして頂きたい
- ・市役所がわかりにくい
- ・バーコード決済
- ・選挙

問 19 あなたが、振興局や出張所を1年間に利用する頻度はどれくらいですか。【1つに○】

「0回」が57.2%と最も高く、次いで「1～5回」が27.4%、「わからない」が3.1%となっています。



■クロス集計

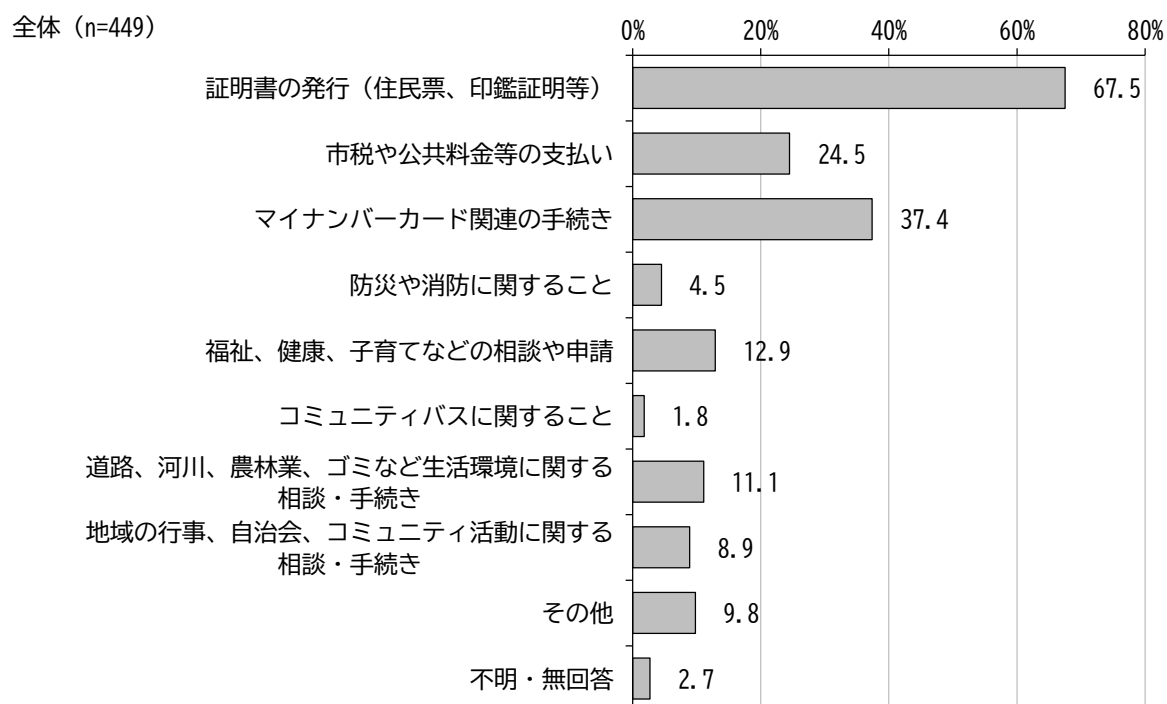
居住地区別でみると、〔上浦地区〕〔弥生地区〕〔本匠地区〕〔宇目地区〕〔直川地区〕〔鶴見地区〕〔米水津地区〕〔蒲江地区〕では「1～5回」、その他の居住地区では「0回」が最も高くなっています。

単位：％		0 回	1 ～ 5 回	6 ～ 1 0 回	1 1 回 以上	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		57.2	27.4	2.3	1.9	3.1	8.0
居 住 地 区 別	佐伯地区 (n=255)	76.1	9.8	1.2	0.0	4.7	8.2
	渡町台地区 (n=150)	80.0	9.3	0.0	0.0	2.0	8.7
	佐伯東地区 (n=44)	77.3	6.8	0.0	0.0	4.5	11.4
	上堅田地区 (n=84)	77.4	8.3	0.0	1.2	2.4	10.7
	鶴岡地区 (n=168)	76.2	10.1	0.6	1.2	4.2	7.7
	大入島地区 (n=16)	43.8	25.0	6.3	0.0	12.5	12.5
	八幡地区 (n=56)	75.0	5.4	3.6	0.0	1.8	14.3
	西上浦地区 (n=18)	77.8	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0
	下堅田地区 (n=57)	75.4	7.0	0.0	0.0	1.8	15.8
	青山地区 (n=12)	66.7	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3
	木立地区 (n=35)	74.3	8.6	0.0	5.7	0.0	11.4
	上浦地区 (n=41)	22.0	63.4	4.9	2.4	2.4	4.9
	弥生地区 (n=130)	23.8	65.4	2.3	3.1	0.8	4.6
	本匠地区 (n=25)	12.0	64.0	8.0	8.0	4.0	4.0
	宇目地区 (n=40)	17.5	62.5	10.0	5.0	2.5	2.5
	直川地区 (n=54)	20.4	59.3	5.6	1.9	5.6	7.4
	鶴見地区 (n=57)	29.8	52.6	5.3	1.8	5.3	5.3
	米水津地区 (n=27)	14.8	63.0	7.4	7.4	0.0	7.4
	蒲江地区 (n=102)	22.5	59.8	6.9	6.9	1.0	2.9
	わからない (n=11)	90.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0

問 19 で「1 ～ 5 回」、「6 ～ 10 回」または「11 回以上」を回答した方

問 20 振興局や出張所を利用する際、どのような目的が多いですか。【3 つまで○】

「証明書の発行（住民票、印鑑証明等）」が 67.5%と最も高く、次いで「マイナンバーカード関連の手続き」が 37.4%、「市税や公共料金等の支払い」が 24.5%となっています。

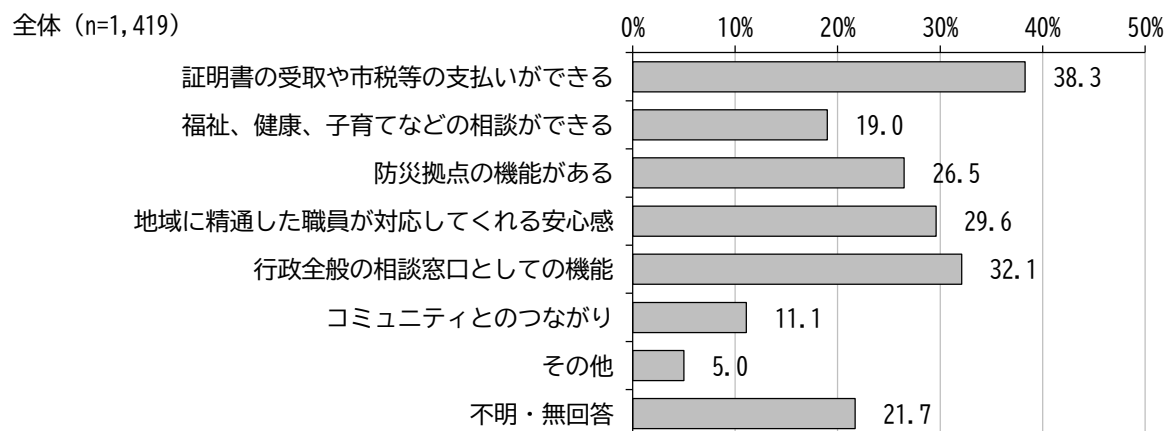


【その他回答】

- ・ 選挙（期日前投票含む）（11）
- ・ 仕事（4）
- ・ 交通指導
- ・ マイナカードの切替に行っただけ 1 回のみ
- ・ ネコ登録
- ・ 国保の手続き
- ・ 油、ペットキャップ回収
- ・ 仕事関係での会議
- ・ 業務関連
- ・ 自立支援医療受給者証
- ・ 書類提出

問 21 振興局や出張所に求めるものは何ですか。【3つまで○】

「証明書の受取や市税等の支払いができる」が 38.3%と最も高く、次いで「行政全般の相談窓口としての機能」が 32.1%、「地域に精通した職員が対応してくれる安心感」が 29.6%となっています。

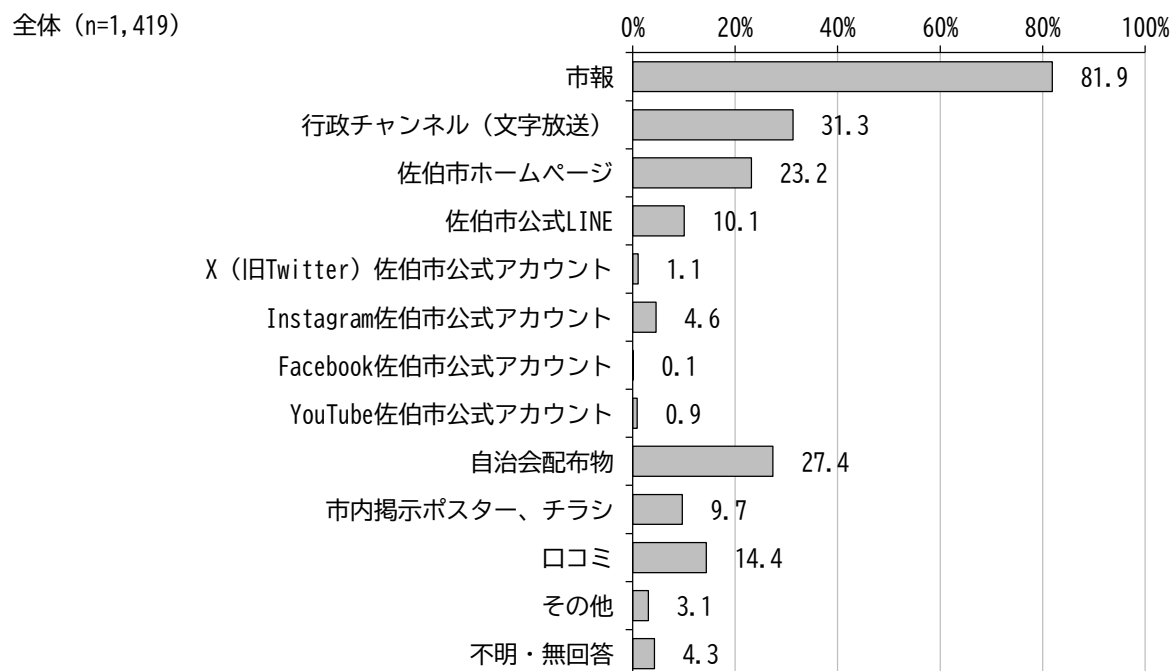


【その他回答】

- ・利用していない（したことがない）（5）
- ・市役所で間に合っている（2）
- ・どこにあるか知らない（2）
- ・対応の早さと知識のある人を増員してほしい!!
- ・職務の専門性
- ・あいさつ、愛想がなく行きにくい
- ・詳しい方がおられないので、本庁に行った方が早い
- ・市役所本庁舎だけしか行かない
- ・不要な人材を解雇すること。
- ・コストがかかるのでなくして欲しい
- ・地元を盛り上げてほしい
- ・窓口の対応時間
- ・無くしてコストカット
- ・必要性が少ない。統合するなど縮小した方が良い。
- ・各地域あることはいいことだけど、利用者も少ないのに、統合していくべきだと思う。施設の維持費とか勿体無い
- ・現在、市民とのつながりはないような気持ちですが、役割は何ですか？
- ・本庁と同じ対応ができる職員、1回1回本庁に確認されると時間ムダ
- ・振興局で出来ることが出来ず、本庁舎まで出向いたので、行政の機能を果たしてほしい。
- ・用がない、必要がない（2）
- ・土日営業（2）
- ・地域をまわり現状を調査
- ・市役所と同じ機能をもつ事
- ・相談の時、時間がかかりすぎ
- ・必要な人の必要な対応
- ・上っ面でなく頼れる職員を。少数精鋭
- ・利用度が少ないので良く分かりません
- ・省人化
- ・振興局はいらない
- ・休日、平日 20:00 迄、窓口を開けて欲しい
- ・利便性

問 22 佐伯市内の情報を得ている主な手段はどれですか。【3つまで○】

「市報」が81.9%と最も高く、次いで「行政チャンネル（文字放送）」が31.3%、「自治会配布物」が27.4%となっています。



【その他回答】

- ・ ケーブルテレビ（10）
- ・ 新聞
- ・ 町内放送
- ・ 公式以外のインスタグラム
- ・ インスタ、佐伯の情報を発信している人のインスタ
- ・ 佐伯市からのメール
- ・ 市報さいきは全戸配布希望。ひとり暮らしの方多い。区に入っていない方もほしい。プレ券配布していない家もある
- ・ さいきっち news（3）
- ・ 家族、知り合いからの情報
- ・ さいきほっとタイム、伝言板
- ・ 市民や観光客による Instagram の投稿
- ・ ネット
- ・ ラジオ（2）
- ・ ほっとメール、防災無線
- ・ saikiR
- ・ 積極的に取っていない

■クロス集計

年齢別でみると、すべての年齢で「市報」が最も高くなっています。

単位：％		市報	行政チャンネル（文字放送）	佐伯市ホームページ	佐伯市公式LINE	X（旧Twitter） 佐伯市公式アカウント	Instagram 佐伯市公式アカウント	Facebook 佐伯市公式アカウント	YouTube 佐伯市公式アカウント	自治会配布物	市内掲示ポスター、チラシ	口コミ	その他	不明・無回答
全体（n=1,419）		81.9	31.3	23.2	10.1	1.1	4.6	0.1	0.9	27.4	9.7	14.4	3.1	4.3
年齢別	15～19歳（n=41）	46.3	14.6	24.4	4.9	4.9	24.4	2.4	7.3	2.4	26.8	17.1	9.8	2.4
	20歳代（n=100）	61.0	20.0	26.0	10.0	1.0	8.0	1.0	2.0	12.0	16.0	15.0	6.0	2.0
	30歳代（n=130）	80.0	24.6	23.1	25.4	3.1	13.8	0.0	0.8	8.5	13.8	13.8	6.9	0.8
	40歳代（n=166）	79.5	26.5	31.3	21.1	2.4	9.0	0.0	0.0	15.7	7.2	13.9	3.0	1.8
	50歳代（n=212）	80.2	28.3	33.5	15.6	0.0	1.9	0.0	0.9	16.5	4.2	15.6	3.3	4.2
	60歳代（n=235）	86.4	31.5	28.5	8.1	1.3	2.1	0.0	0.0	28.9	8.9	11.1	1.3	5.5
	70歳代（n=262）	90.8	44.7	16.4	2.3	0.0	0.8	0.0	1.5	43.1	10.3	15.3	0.8	4.2
	80歳代以上（n=240）	87.9	34.6	10.0	1.7	0.4	0.8	0.0	0.0	45.8	8.8	15.0	2.9	7.1

3 施策の満足度・重要度について

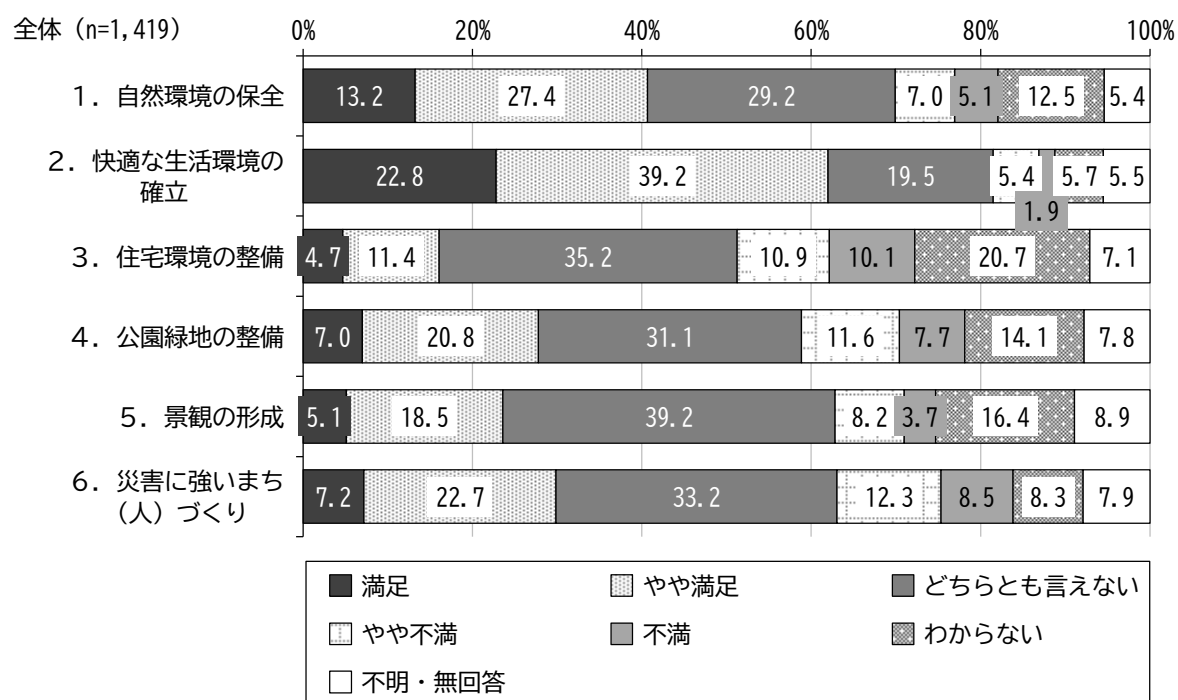
問 23 佐伯市では「第2次佐伯市総合計画」に基づき、各種取組を推進しています。

「これまで進めてきた取組の評価（満足度）」と「これから進めていく上での期待（重要度）」についてどのように感じているのか、現時点でのお考えを伺います。

「第2次佐伯市総合計画」の7つの基本目標のうち（1）～（7）ごとの取組について、満足度・重要度の項目の中から、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

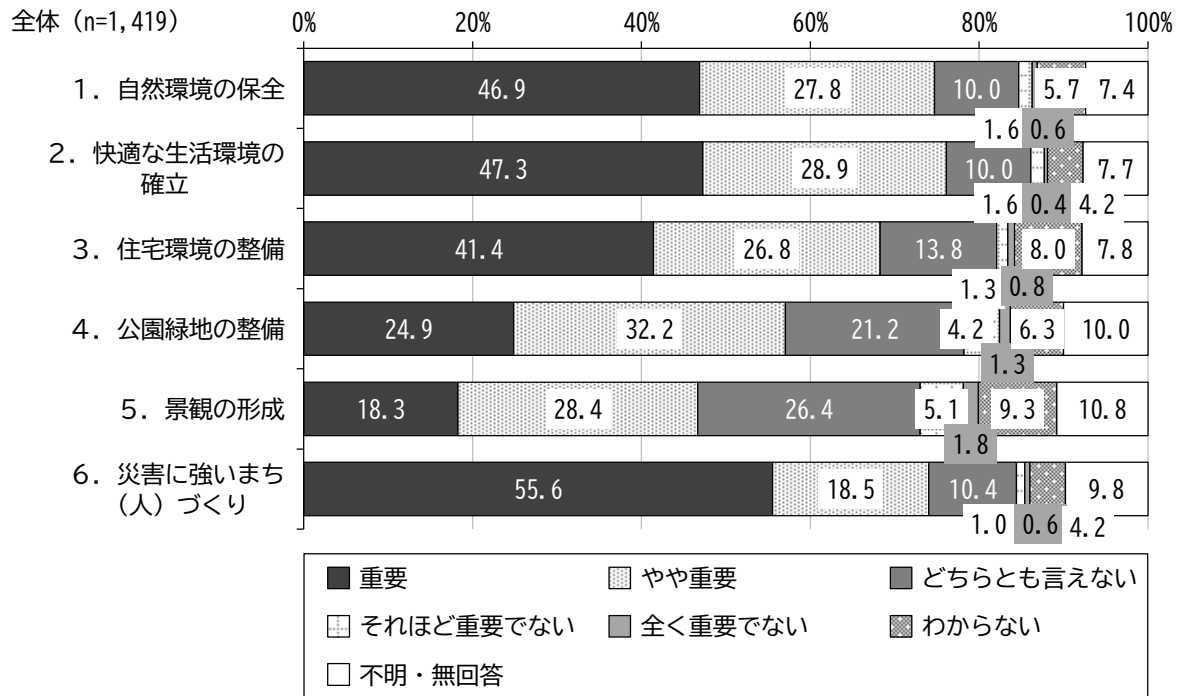
【満足度】（1）〔豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生〕【それぞれ1つに○】

〔2. 快適な生活環境の確立〕では「やや満足」、その他の項目では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。また、〔2. 快適な生活環境の確立〕では「満足」が2割台と他の項目と比べて高くなっています。



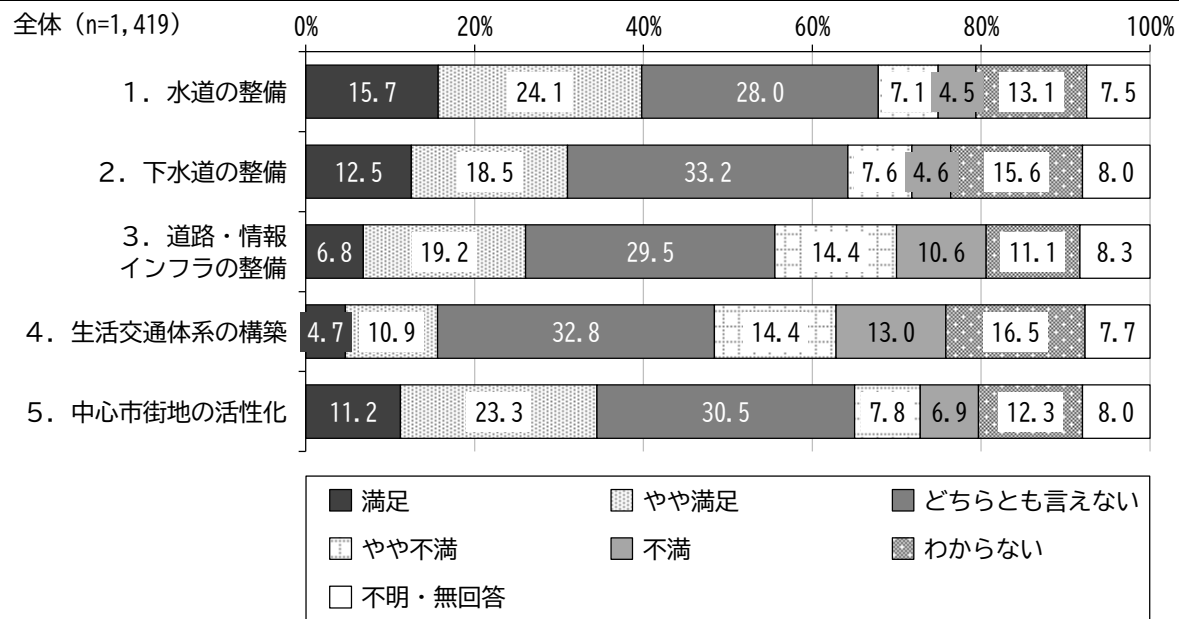
【重要度】（１）〔豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生〕【それぞれ１つに○】

〔４．公園緑地の整備〕〔５．景観の形成〕では「やや重要」、その他の項目では「重要」が最も高くなっています。特に、〔６．災害に強いまち（人）づくり〕では「重要」が５割台と他の項目と比べて高くなっています。



【満足度】（２）〔暮らしと産業を支える生活基盤の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



■クロス集計【満足度】４．生活交通体系の構築

年齢別でみると、すべての年齢で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。

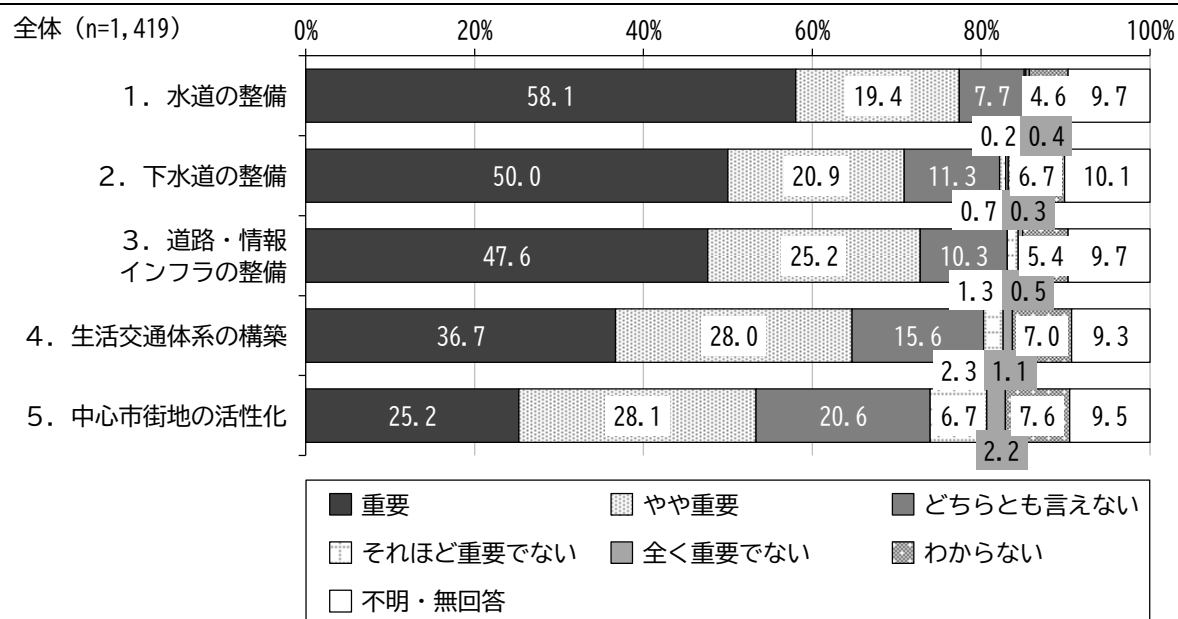
居住地区別でみると、〔大入島地区〕〔宇目地区〕では「やや満足」、〔木立地区〕では「どちらとも言えない」「不満」、〔本匠地区〕〔鶴見地区〕では「やや不満」、〔直川地区〕〔米水津地区〕では「不満」、〔わからない〕では「どちらとも言えない」「わからない」、その他の居住地区では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。

単位：％		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	不明・無回答
全体（n=1,419）		4.7	10.9	32.8	14.4	13.0	16.5	7.7
年齢別	15～19歳（n=41）	17.1	22.0	26.8	9.8	7.3	17.1	0.0
	20歳代（n=100）	9.0	12.0	39.0	9.0	16.0	13.0	2.0
	30歳代（n=130）	3.8	7.7	36.2	13.1	11.5	22.3	5.4
	40歳代（n=166）	3.0	5.4	44.0	18.7	9.6	16.9	2.4
	50歳代（n=212）	3.8	9.4	34.0	17.0	15.1	17.0	3.8
	60歳代（n=235）	2.1	8.9	38.7	15.3	14.9	11.9	8.1
	70歳代（n=262）	4.2	16.0	28.2	14.5	10.7	16.4	9.9
	80歳代以上（n=240）	6.3	12.5	20.4	12.9	15.4	17.5	15.0

単位：％		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	わからない	不明・無回答
全体（n=1,419）		4.7	10.9	32.8	14.4	13.0	16.5	7.7
居住地区別	佐伯地区（n=255）	7.1	9.4	33.7	13.3	11.4	16.5	8.6
	渡町台地区（n=150）	3.3	8.0	37.3	16.0	10.0	20.7	4.7
	佐伯東地区（n=44）	6.8	11.4	31.8	15.9	6.8	22.7	4.5
	上堅田地区（n=84）	2.4	10.7	29.8	16.7	9.5	20.2	10.7
	鶴岡地区（n=168）	5.4	7.7	36.3	14.9	14.9	14.3	6.5
	大入島地区（n=16）	12.5	37.5	6.3	18.8	25.0	0.0	0.0
	八幡地区（n=56）	1.8	5.4	41.1	5.4	16.1	23.2	7.1
	西上浦地区（n=18）	5.6	5.6	55.6	5.6	0.0	16.7	11.1
	下堅田地区（n=57）	5.3	17.5	36.8	12.3	5.3	19.3	3.5
	青山地区（n=12）	0.0	8.3	41.7	25.0	0.0	16.7	8.3
	木立地区（n=35）	2.9	14.3	25.7	20.0	25.7	2.9	8.6
	上浦地区（n=41）	7.3	17.1	29.3	22.0	4.9	17.1	2.4
	弥生地区（n=130）	3.1	10.0	40.8	10.8	10.0	20.0	5.4
	本匠地区（n=25）	0.0	12.0	16.0	24.0	12.0	20.0	16.0
	宇目地区（n=40）	7.5	27.5	20.0	12.5	17.5	2.5	12.5
	直川地区（n=54）	3.7	9.3	24.1	14.8	25.9	11.1	11.1
	鶴見地区（n=57）	3.5	12.3	22.8	24.6	17.5	12.3	7.0
	米水津地区（n=27）	0.0	7.4	29.6	3.7	33.3	18.5	7.4
	蒲江地区（n=102）	5.9	15.7	26.5	15.7	16.7	6.9	12.7
	わからない（n=11）	0.0	0.0	36.4	9.1	18.2	36.4	0.0

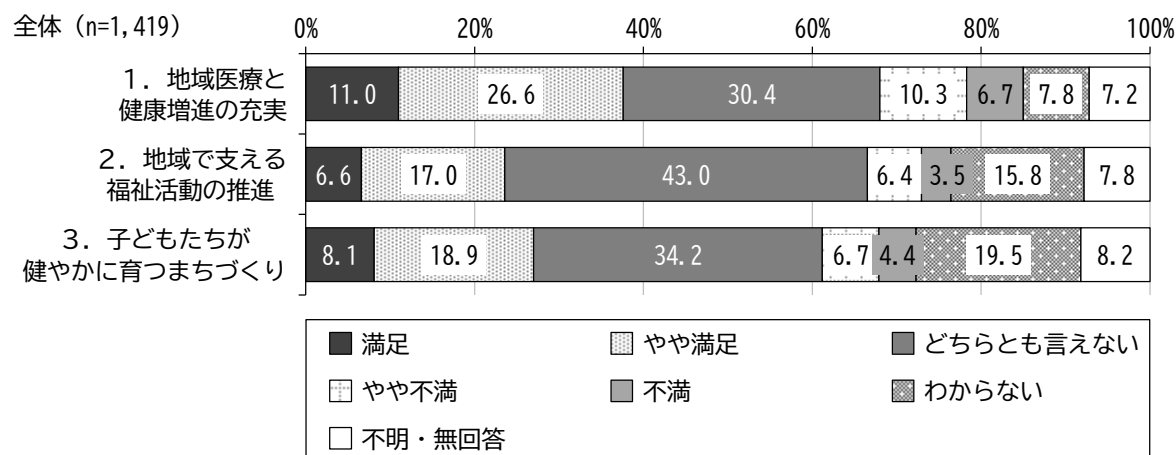
【重要度】（２）〔暮らしと産業を支える生活基盤の創生〕【それぞれ１つに○】

〔５．中心市街地の活性化〕では「やや重要」、その他の項目では「重要」が最も高くなっています。特に、〔１．水道の整備〕〔２．下水道の整備〕では「重要」が５割台と他の項目と比べて高くなっています。



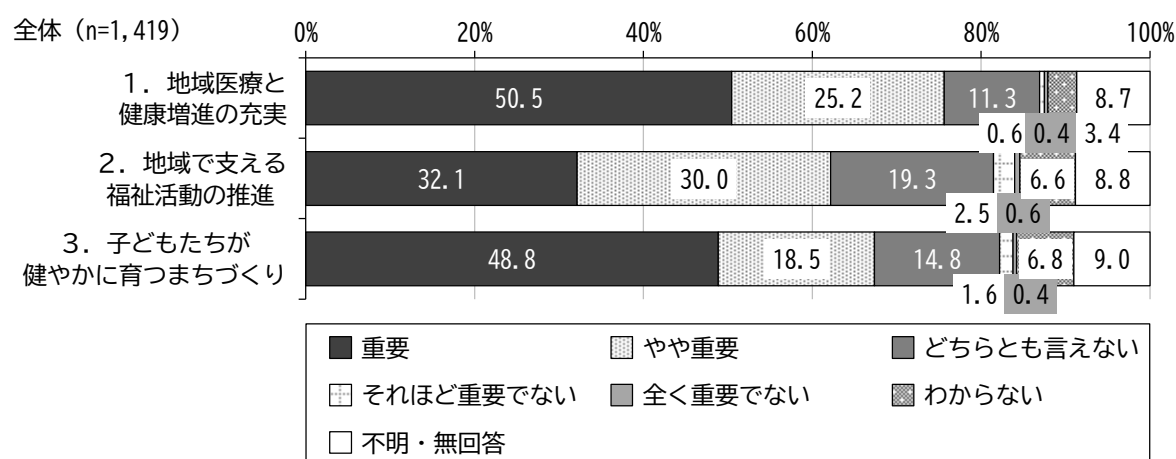
【満足度】(3)【健康で安心して暮らせる共生社会の創生】【それぞれ1つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。また、「1. 地域医療と健康増進の充実」では「やや満足」が2割台と他の項目と比べて高くなっています。



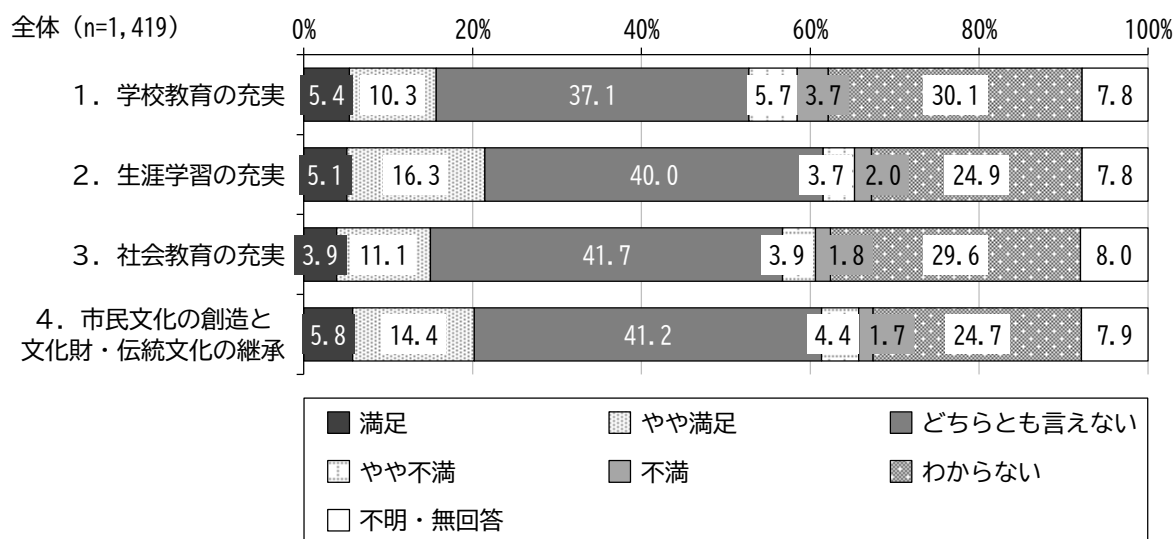
【重要度】(3)【健康で安心して暮らせる共生社会の創生】【それぞれ1つに○】

すべての項目で「重要」が最も高くなっています。特に、「2. 地域で支える福祉活動の推進」では「重要」が3割台と他の項目と比べて低くなっています。



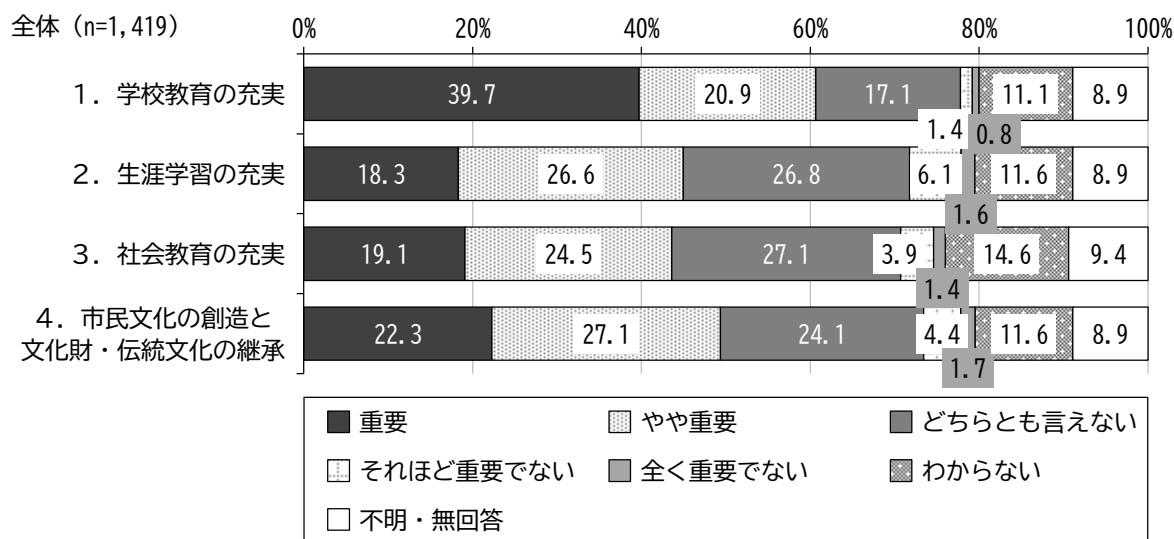
【満足度】（４）〔人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



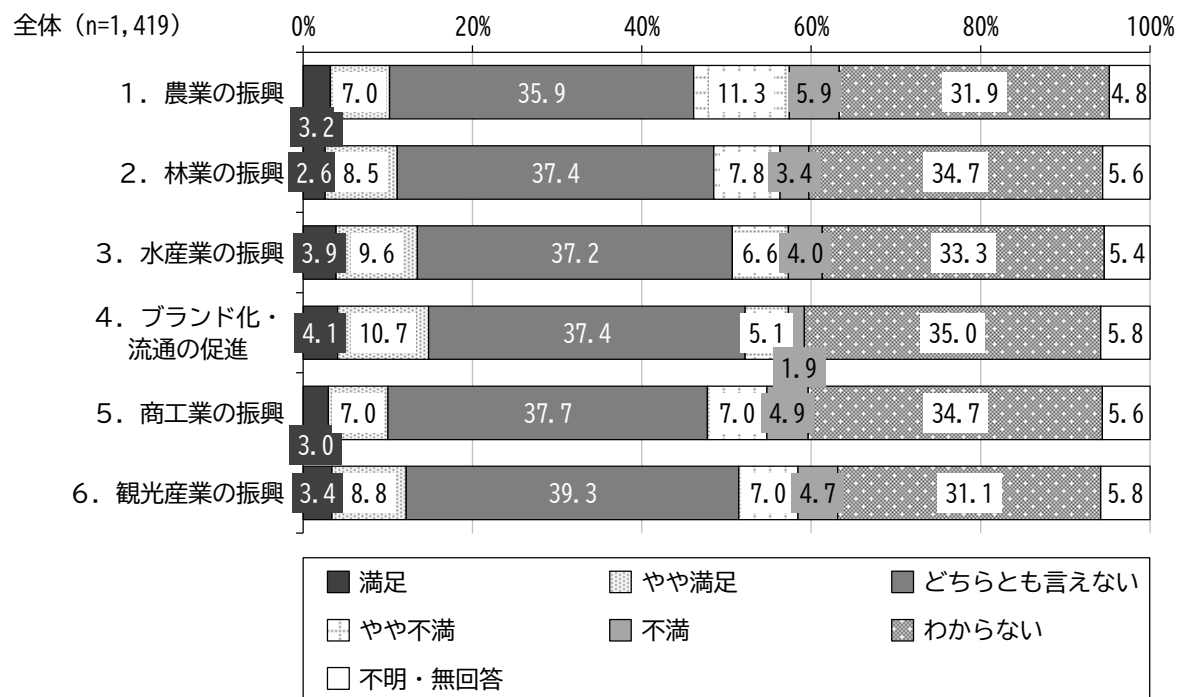
【重要度】（４）〔人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生〕【それぞれ１つに○】

〔1. 学校教育の充実〕では「重要」、〔4. 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承〕では「やや重要」、その他の項目では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



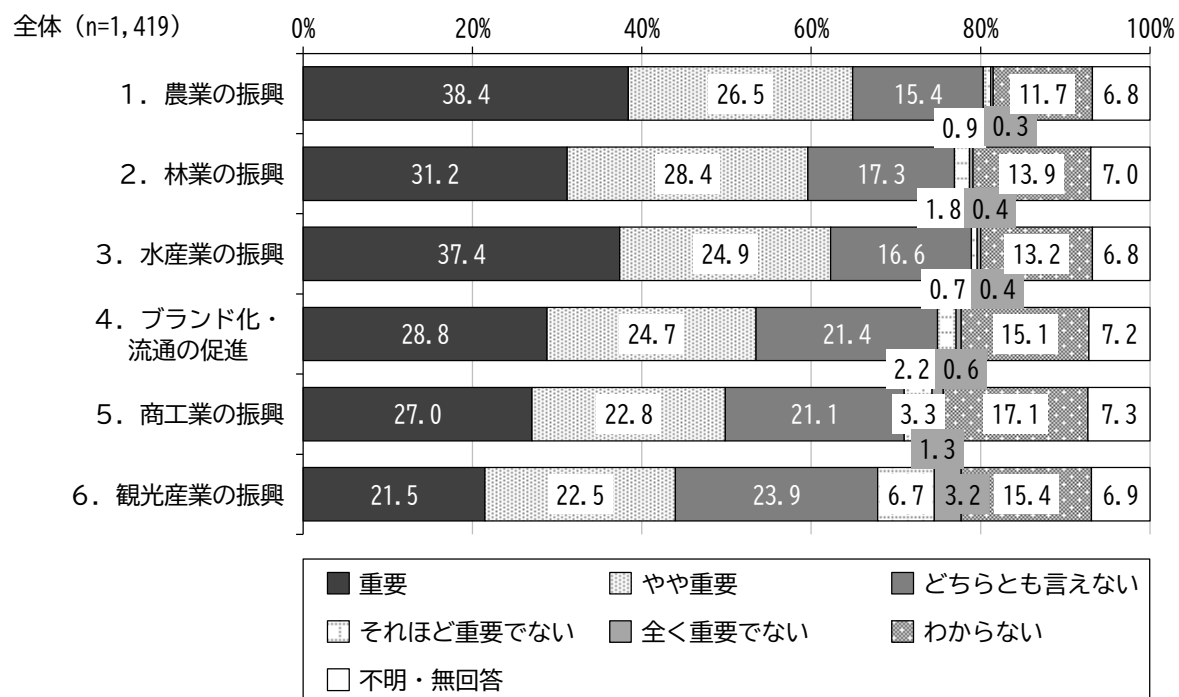
【満足度】（５）〔地域資源をいかした産業と観光の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



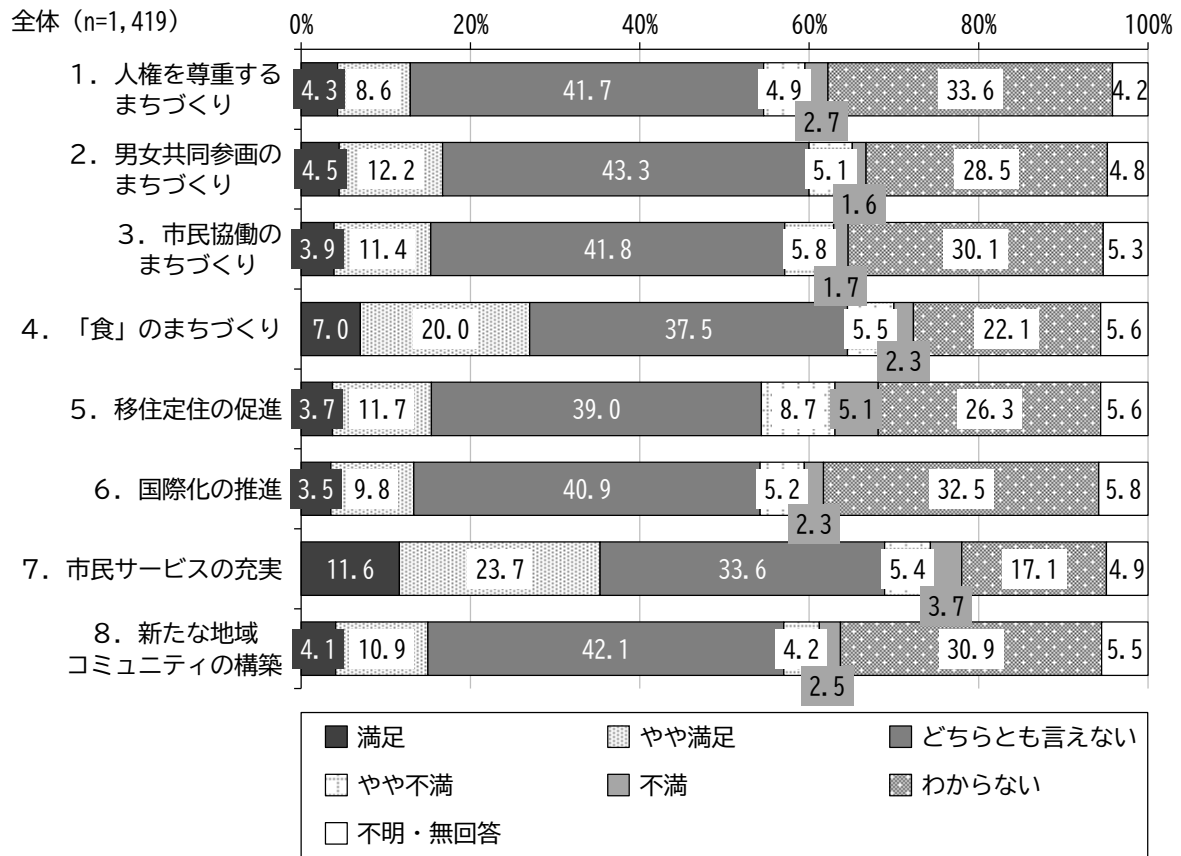
【重要度】（５）〔地域資源をいかした産業と観光の創生〕【それぞれ１つに○】

〔6. 観光産業の振興〕では「どちらとも言えない」、その他の項目では「重要」が最も高くなっています。



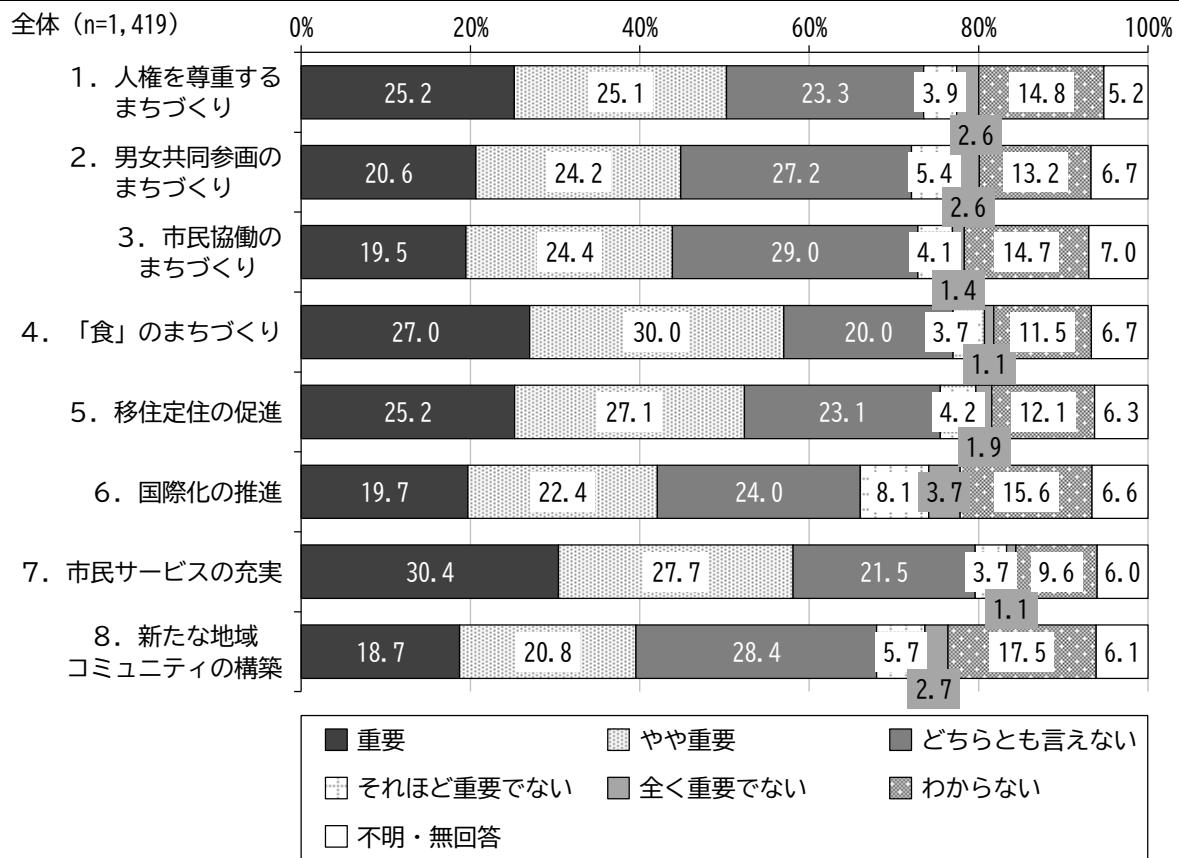
【満足度】（６）〔人が交流し、活力あふれるまちの創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。また、〔４．「食」のまちづくり〕〔７．市民サービスの充実〕では「やや満足」が２割台と他の項目と比べて高くなっています。



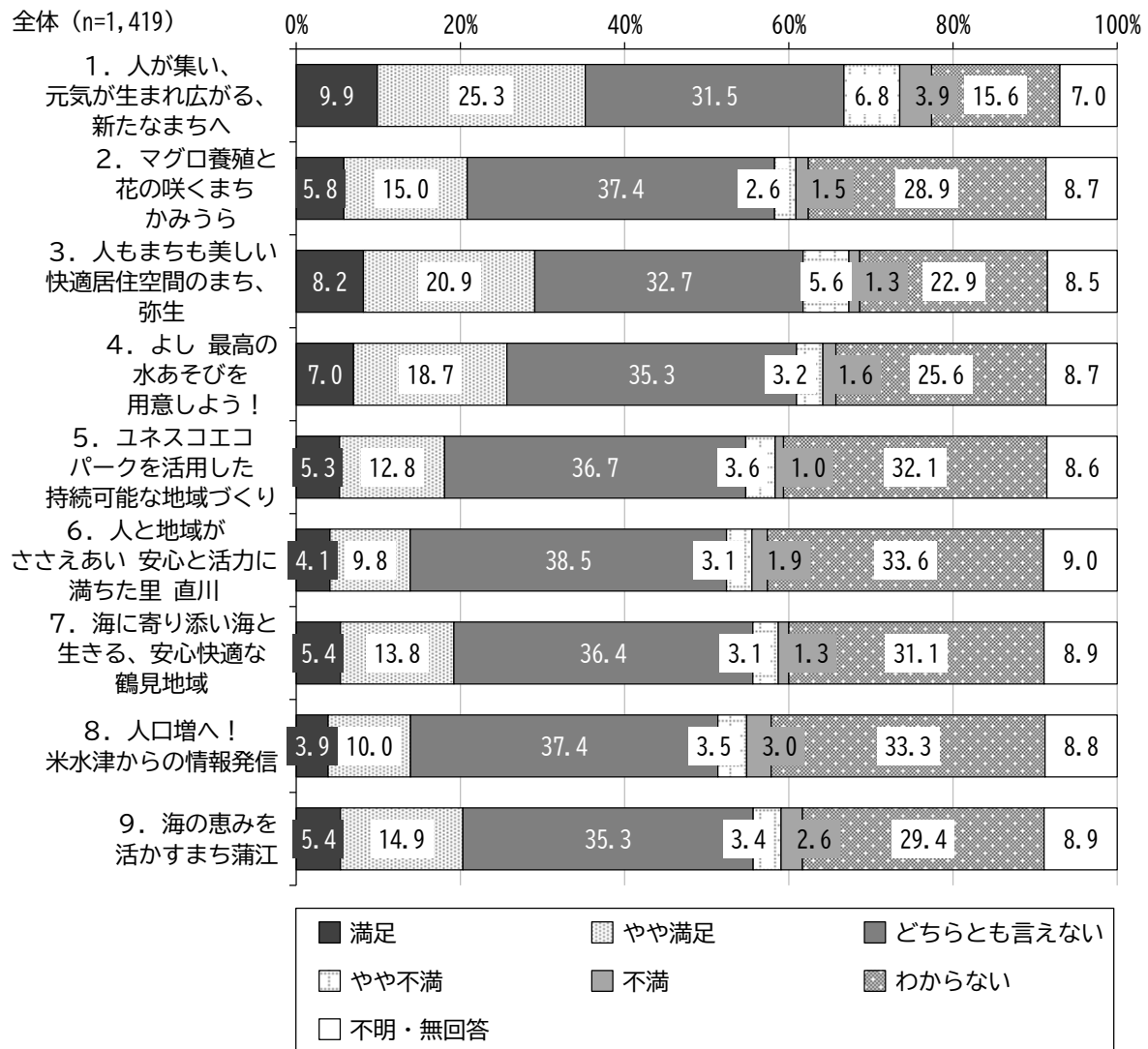
【重要度】（６）〔人が交流し、活力あふれるまちの創生〕【それぞれ１つに○】

〔１．人権を尊重するまちづくり〕〔７．市民サービスの充実〕では「重要」、〔４．「食」のまちづくり〕〔５．移住定住の促進〕では「やや重要」、その他の項目では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



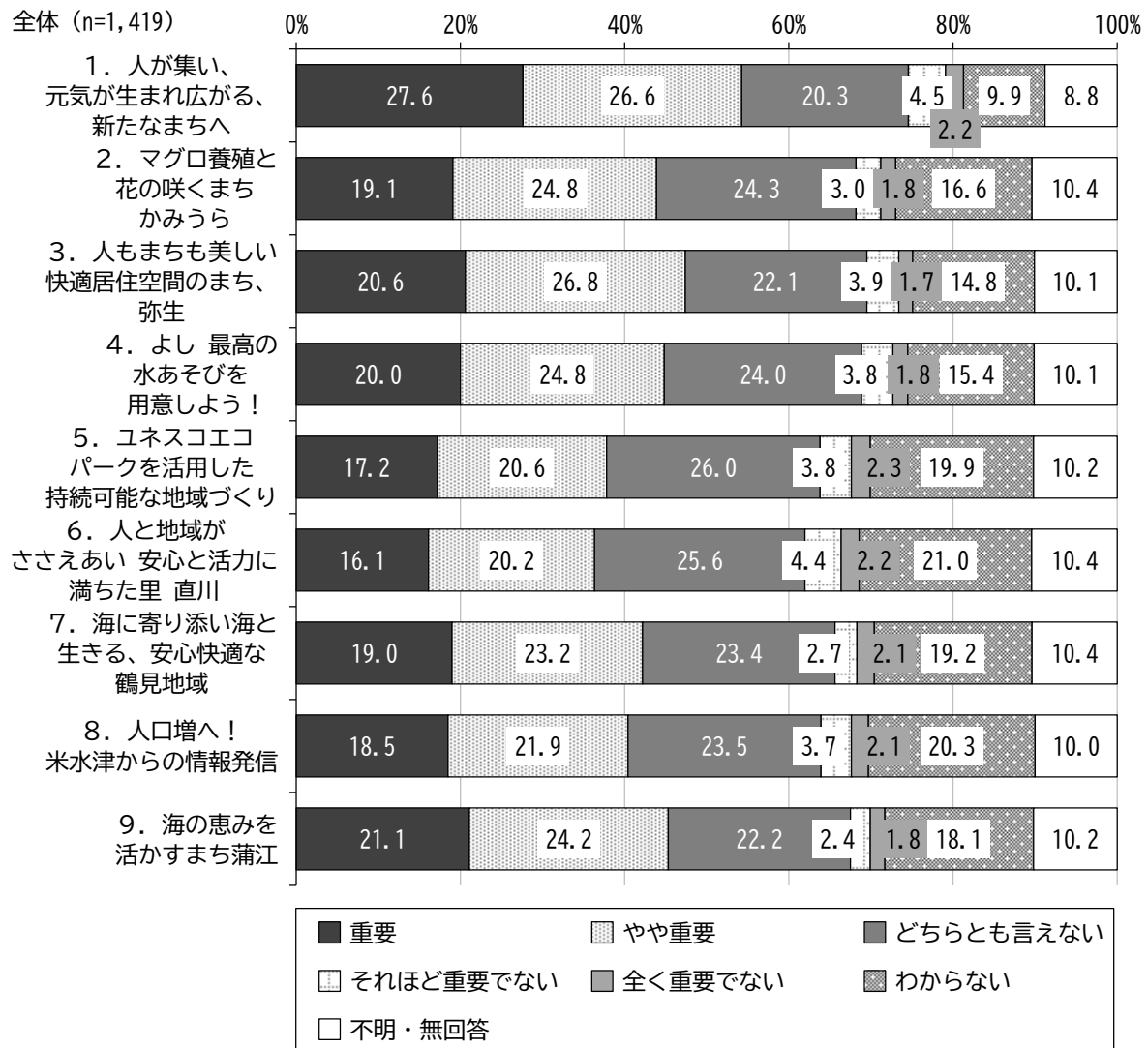
【満足度】（７）〔地域が輝くまちの創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。また、〔１．人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ〕では「わからない」が１割台と他の項目と比べて低くなっています。



【重要度】(7)〔地域が輝くまちの創生〕【それぞれ1つに○】

〔1. 人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ〕では「重要」、〔2. マグロ養殖と花の咲くまち かみうら〕〔3. 人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生〕〔4. よし 最高の水あそびを 用意しよう!〕〔9. 海の恵みを活かすまち蒲江〕では「やや重要」、〔5. ユネスコエコパークを活用した持続可能な地域づくり〕〔6. 人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川〕〔7. 海に寄り添い海と生きる、安心快適な鶴見地域〕〔8. 人口増へ! 米水津からの情報発信〕では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



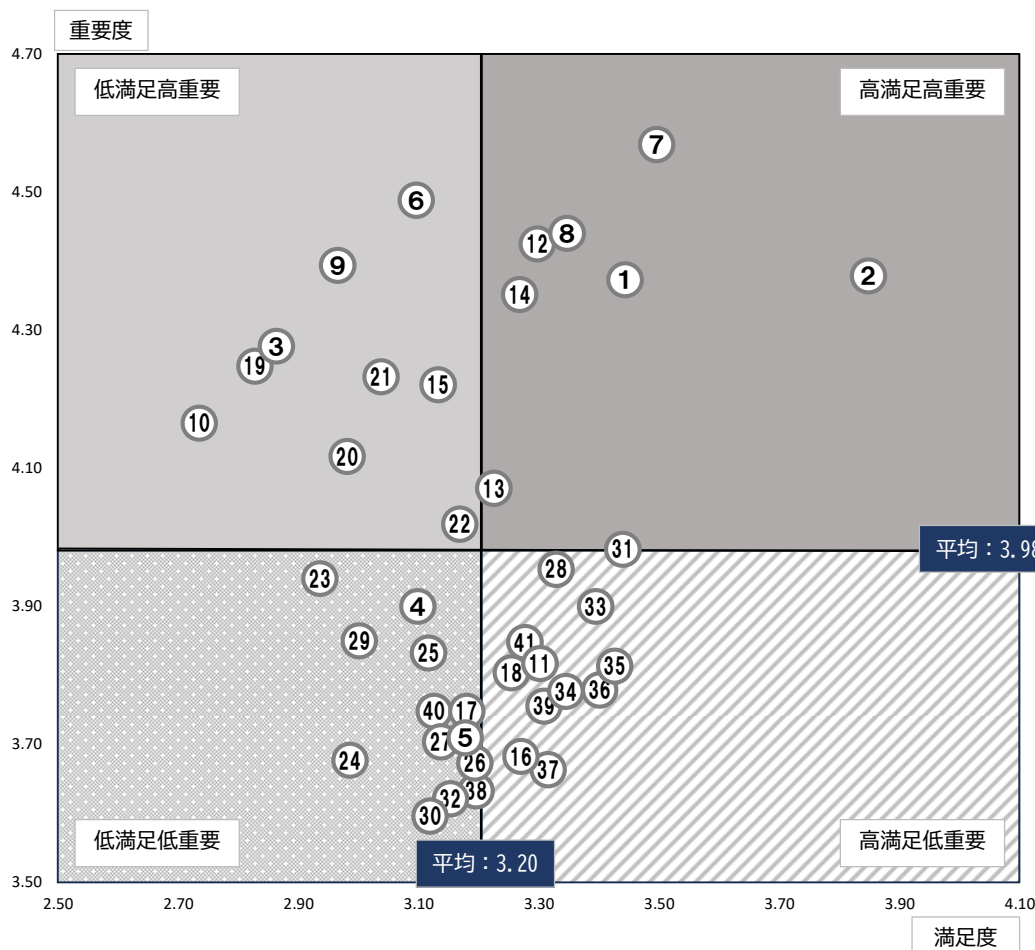
■満足度・重要度の結果散布図

重要度が高く、満足度は低い項目は、〔(1) 3. 住宅環境の整備〕〔(1) 6. 災害に強いまち（人）づくり〕〔(2) 3. 道路・情報インフラの整備〕〔(2) 4. 生活交通体系の構築〕〔(4) 1. 学校教育の充実〕〔(5) 1. 農業の振興〕〔(5) 2. 林業の振興〕〔(5) 3. 水産業の振興〕〔(5) 4. ブランド化・流通の促進〕となっています。

満足度も重要度も高い項目は、〔(1) 1. 自然環境の保全〕〔(1) 2. 快適な生活環境の確立〕〔(2) 1. 水道の整備〕〔(2) 2. 下水道の整備〕〔(3) 1. 地域医療と健康増進の充実〕〔(3) 2. 地域で支える福祉活動の推進〕〔(3) 3. 子どもたちが健やかに育つまちづくり〕〔(6) 7. 市民サービスの充実〕となっています。

満足度も重要度も低い項目は、〔(1) 4. 公園緑地の整備〕〔(1) 5. 景観の形成〕〔(4) 3. 社会教育の充実〕〔(5) 5. 商工業の振興〕〔(5) 6. 観光産業の振興〕〔(6) 1. 人権を尊重するまちづくり〕〔(6) 2. 男女共同参画のまちづくり〕〔(6) 3. 市民協働のまちづくり〕〔(6) 5. 移住定住の促進〕〔(6) 6. 国際化の推進〕〔(6) 8. 新たな地域コミュニティの構築〕〔(7) 6. 人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川〕〔(7) 8. 人口増へ！米水津からの情報発信〕となっています。

満足度は高く、重要度が低い項目は、〔(2) 5. 中心市街地の活性化〕〔(4) 2. 生涯学習の充実〕〔(4) 4. 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承〕〔(6) 4. 「食」のまちづくり〕〔(7) 1. 人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ〕〔(7) 2. マグロ養殖と花の咲くまち かみうら〕〔(7) 3. 人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生〕〔(7) 4. よし 最高の水あそびを 用意しよう！〕〔(7) 5. ユネスコエコパークを活用した持続可能な地域づくり〕〔(7) 7. 海に寄り添い海と生きる、安心快適な鶴見地域〕〔(7) 9. 海の恵みを活かすまち蒲江〕となっています。



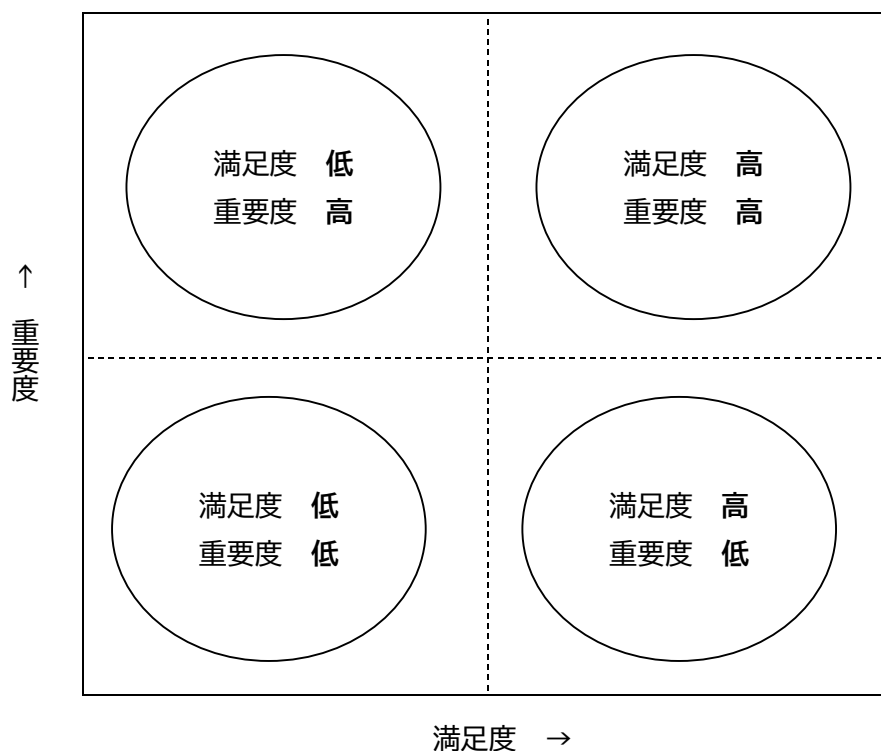
(1) 〔豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生〕		
1. 自然環境の保全 (①)	2. 快適な生活環境の確立 (②)	
3. 住宅環境の整備 (③)	4. 公園緑地の整備 (④)	
5. 景観の形成 (⑤)	6. 災害に強いまち (人) づくり (⑥)	
(2) 〔暮らしと産業を支える生活基盤の創生〕		
1. 水道の整備 (⑦)	2. 下水道の整備 (⑧)	3. 道路・情報インフラの整備 (⑨)
4. 生活交通体系の構築 (⑩)	5. 中心市街地の活性化 (⑪)	
(3) 〔健康で安心して暮らせる共生社会の創生〕		
1. 地域医療と健康増進の充実 (⑫)	2. 地域で支える福祉活動の推進 (⑬)	
3. 子どもたちが健やかに育つまちづくり (⑭)		
(4) 〔人が学び、人が生き、人が育つ教育の創生〕		
1. 学校教育の充実 (⑮)	2. 生涯学習の充実 (⑯)	3. 社会教育の充実 (⑰)
4. 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承 (⑱)		
(5) 〔地域資源をいかした産業と観光の創生〕		
1. 農業の振興 (⑲)	2. 林業の振興 (⑳)	3. 水産業の振興 (㉑)
4. ブランド化・流通の促進 (㉒)	5. 商工業の振興 (㉓)	6. 観光産業の振興 (㉔)
(6) 〔人が交流し、活力あふれるまちの創生〕		
1. 人権を尊重するまちづくり (㉕)	2. 男女共同参画のまちづくり (㉖)	
3. 市民協働のまちづくり (㉗)	4. 「食」のまちづくり (㉘)	
5. 移住定住の促進 (㉙)	6. 国際化の推進 (㉚)	
7. 市民サービスの充実 (㉛)	8. 新たな地域コミュニティの構築 (㉜)	
(7) 〔地域が輝くまちの創生〕		
1. 人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ (㉝)		
2. マグロ養殖と花の咲くまち かみうら (㉞)		
3. 人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生 (㉟)		
4. よし 最高の水あそびを 用意しよう! (㊱)		
5. ユネスコエコパークを活用した持続可能な地域づくり (㊲)		
6. 人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川 (㊳)		
7. 海に寄り添い海と生きる、安心快適な鶴見地域 (㊴)		
8. 人口増へ! 米水津からの情報発信 (㊵)		
9. 海の恵みを活かすまち蒲江 (㊶)		

※ (○) はP. 53の散布図番号

■結果散布図

問 23 の項目の満足度および重要度について、下図の 4 つの領域に分類し、整理を行いました。

<結果の分類>



領 域	説 明
満足度 低 重要度 高	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
満足度 高 重要度 高	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
満足度 低 重要度 低	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
満足度 高 重要度 低	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで問 23 の項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、絶対的な区分ではありません。

■ 満足度と重要度の算出方法

満足度 = (「満足」の件数 × 5 点 + 「やや満足」の件数 × 4 点 + 「どちらとも言えない」の件数 × 3 点 + 「やや不満」の件数 × 2 点 + 「不満」の件数 × 1 点) ÷ 「満足」～「不満」の回答者数

重要度 = (「重要」の件数 × 5 点 + 「やや重要」の件数 × 4 点 + 「どちらとも言えない」の件数 × 3 点 + 「それほど重要でない」の件数 × 2 点 + 「全く重要でない」の件数 × 1 点) ÷ 「重要」～「全く重要でない」の回答者数

問 24 前問（問 23）の各種取組に対して、御意見や御提案、御要望などを御記入ください。

回答一覧
道の駅やトキハのような安心空間の増加
自然を生かした食文化を大切にしてほしい。子どもの声がひびかなくなった地域はさみしい。でも高齢者のパワーは元気をもらえる。いろいろ欲ばりすぎているのだろうか。
あまり知識がない
浦々に対して、市内のみに行政が力を入れるから、人口の減少がここ 10 年で著しい。市長、市議はもう少し頭を使ってほしい。
自然の恵みに頼り過ぎている。まずきれいな町（市）作りから。今頃道路脇の雑草が見苦しい。印象が良くない。観光地はきっちりと整備されている。
自然豊かな佐伯市をこれからも大切に、住宅環境を整備し、住みよい町づくりをしてもらいたい。
各種取組を知らないことが多かったので、市報など、まず知ることが必要だと思いました。
心をゆったり安心する。ありがとう。
行政がどれほどからんでいるかわからないが、形だけの行事になっている感じがする。もっと腰をすえてじっくりと取り組むことが大切だと思う。
その地域の人たちに寄り添った取組になれば良いと思うが、まず生活環境を整えてほしい。
活発で目立つ人達が他の意見を聞くように思えない。悪いタテ社会が現存している。恩恵を受ける人と受けられない人の二極化はこれから先も出ると思う。女の人の社会、政界進出がこれから先も増えて欲しいが、汚っさん（おっさん）社会に気に入られている女性が、社会、政界の世界でもはびこっていると思う。今、働いているパートの中でも心療内科に通った女性がいる。他責、多罪傾向である。シングルマザーが多い。苦労しているので病んでいる。
1 年の中でイベントが少なく感じるので、もっとたくさんイベント等を行なってほしい（夏まつりなど）。
定住出来る環境。大学、企業の誘致。自然を利用し観光に力を入れる（交通の便を含めて）。
人口減少、子育ての充実に力をいれてほしい。若者が都会に行ってしまうので、仕事関係も考えていかないとけない。子供が雨の日、暑い日に遊ぶ場所がない。旧佐伯児童館や施設の充実を考えてない。室内で遊ぶ場所、フリーワイファイ、若者、子供が集まる場所がない。
観光事業充実（県内外からの観光客の増加を図る）。例：番匠川両岸に桜並木、モミジ並木を創る。
豊かな自然をこわさず大切にしましょう。佐伯市は川も山も海もとてもきれいです。佐伯の「寿司」を日本中、世界中に広めましょう。「佐伯の寿司が世界一」
少子高齢化や大都市へ人口が流出することで、各地域で人口の減少が進んでいるため、人口増をめざした取り組みが大切である。佐伯の魅力発信（自然、食、イベント等）。農業、漁業等の後継人の育成。交通手段の確保など。
佐伯市を発展、災害に強い町作りとして、全国に佐伯市を知ってもらいたい。
地域振興や福祉など色々取り組んでがんばっていますね。協力できずすみません。上浦に住んで感じるの、限界という言葉です。50 年後 100 年後を考えると「あれ、おれ一人だけに」近所は高齢者だけで 58 才の私が若手です。若い人は大学進学したらそのまま帰って住んでというのはレアケースです。有明企業誘致失敗が効いていると思います。熊本 TSMC が来るというだけで、周辺が活性化されているのを見れば、何に本腰を入れてやらなければならないかハッキリしています。
大変に広い佐伯市、それぞれの地域の特色をいかす取り組みは本当に御苦労が多いと思います。若者達もいろいろと頑張っていると思います。あっという間に高齢者になってしまいました…。
職員の意識の向上。
人口に対してのドラッグストアの数をどうにかしてほしい（多すぎ）。コストコ、トライアル、吉野家、資さんうどんなどの有名なお店を増やしてほしい。

回答一覧
各種取組がどんな事を今しているのかよくわからない。
偏りがないように民を公が支えてほしい。
とにかく若者が働ける場所と環境を作ってください。
桜ホールや港での祭り、小さな祭りを月に何度もするのではなく、1年に春と秋に2度大きな祭りをする方が人も多く集まるし、遠方にいる人も帰ってきやすいと思います。何度も祭りをするとも小さくても準備にお金もかかると思います。
市主導による長期的、持続的な地域活性化。施策の実行を市民側に委ねるだけでなく、市が中心となって長期的なビジョンを示し、持続的な地域活性化に向けて主導権を持って尽力ください。公共施設も建てて終わりではなく、将来的な維持管理や運営に必要なコストもしっかりと見込み、計画的な財政措置を講じてください。
九州一広い佐伯市、そのほとんどが山林。林業振興を強力に進めるべき。
現状大変満足しています。
地域別の色を出していて、とても良い事だと思う。
人口減少に伴い、地域の行事や地域とのつながりが少なくなっている。とはいえ、農業を通して地域を活性化させ、豊かな農村の暮らしを取り戻そうと力を注いでいる方は多い。離農者の農地対策を行政として打ち出し、地域農業の維持振興を図ってほしい。
人としての心、当たり前の生活、心豊かな人づくりで楽しい佐伯をつくれ！
本匠のホタルに関しては、もっと道を整備してほしい
各市長の取組で「いきいきサロン」等が細々となる。新市長の取組が不明で見えてこない。
海山に遊び場を作って
自然環境の保全について、自然への過干渉は駄目ですが、人類にとって心地よい環境を作れば、地元はもとより市外、県外、国外からの観光客を呼べる。その為には、道路行政と企画立案が大切。サラリーマン的発想では無理がある事を基本にすること。
大型商業施設導入（コストコやショッピングセンターなど）して他県からも人が来るようにしてほしい。働く世代が住みたいと思う街づくりをしてほしい。高齢者が多すぎる。個人事業主が頑張れるようにしてほしい。
観光で活性化させるのは魚以外むずかしそう。住みやすい町を目指したい。GUがあったらうれしい。
高齢者のため行政に任せる事のみです。
佐伯市が市民のために何をしているのか具体例がなく全く分からない、伝わっていない。子どもを育てていない世帯が切り捨てられているように感じる。
本匠地区に小規模なスーパー、コンビニが欲しい。
人口減少が続く中で、すべての目標（項目）を目指すのは、人的にも財政的にも無理があり、計画倒れになるのではないかと心配します。目標（項目）をしぼって計画を立てるべきではないでしょうか。
佐伯地域はとり組みすら知らない。広報が充足していないしわからない。
佐伯市がこれまでどのような目的をもって様々な取組をしてきたのか全く知らない。また地域が輝くまちの創生については、今回はじめて目にしたため、何もわからない。どのような目的が決められ、どのように取り組んでいるのか、知るすべはあるのだろうか。
移民は反対。
全体として旧市街地の様子及び活動を中心にアンケートを作成した様子がうかがわれる。
人口減少は少子高齢化で益々進んでいます。若者は将来のことを考え大分市へ流出している。佐伯市で将来（教育を含め）安心して暮らしていける施策を。
仲町商店街をもっと活性化してほしい。

回答一覧
項目にわからないがありますが、「知らない」を追加した方が良くないですか？あと大きな冊子であるのに返信用封筒が小さすぎる。
財政的に運用できるのであれば、どの地域でも活性化させればよいが、それは理想論で現実はずかしい。
佐伯市全体のことはほとんどわかりませんが、個人的に住み良い町だと思っています。これからもよろしくお願いします！
佐伯市が具体的にどういう取り組みをして、どう変化しているのか、どう変化しようとしているのかを知る機会がないから、よく分からない…。
宇目里山公園の整備・管理がされていない。ユネスコエコパークで地域一体となった取組を望む。藤河内溪谷開き、杉ヶ越もみじ祭りの復活、夏木山、傾山の登山会。
高齢化が進み、ほたる祭りの実行委員ができる人数が少なく（減って）、若い方に興味を持ってほしいが、情報料や補助金等が足りず困っています。できれば毎年続けていきたいです。
佐伯市は買い物に行くのに不便なことが多く、それに家賃も高いので、人口が減るのは仕方がないことだと思います。
色々質問がありましたが、実際どんな事をしているのかわからない。もっとわかるようにしてほしい。
佐伯地域にいますが、全体として活性化されていないと思う。日々の買い物が不便です（スーパーの閉店）。
実感がない
体が調子悪く、人の多い所へは大変なので、外出はしていない。
心身共に健全に暮らせる町づくりの推進を第一に考えてほしい。産業の衰退の懸念が今度はあるのかなと思う。人口が減少しないように歯止めをかける取組が最重要なのではないか。
住民に対し、もっと見える化する。具体策を講じてほしい。
企業誘致に取り組まないと人口減少が進み、市民に満足がいく行政サービスが出来なくなるのでは。
佐伯小学校周辺の桜の木整備。城下町の景観をそこなう植木の整備。
高齢者なので皆さんの取組みに感謝しています。
近くで遊びに行ける場所がない。大きな公園等、買い物が集中していないので、あちこちいかなければならないので不便である。道路がせまい。片側二車線の道が欲しい。
佐伯市のエリアはとてもエリアが広いです。道ばたやガードレール（さびている）、景観等（草ボウボウ）を整備してほしいです。人手が必要ですが、なんとか頑張ってキレイにしてほしいです。鶴御埼灯台も整備されておらず、残念に思いました。広告や宣伝はバッチリです!!
学校での一人一端末の意味…まとめの文章、作文はタブレット、写真を撮る、つたない文章をそこに入力した。レイアウトもデザインもめちゃくちゃレポート？提出。何の意味があるのか。国が言っているからやっているだけ。やらなきゃいけないからやっているだけ。被害者は子ども。入試の小論はまだ手書きでは？それで小論書けるのかな。親がどうにかしてやらなければならないのかな。
危険な空家が結構あるので、立ち入らないように対策をしてもらいたいと思います。
高齢化が進む今、どこに行くにも交通手段を最優先に考えてほしい。どの地域に集う場を設けても、その場に足を運ぶことができれば輝く創生も意味ないものになってしまう。コミュニティバス、タクシーの利用券を出してほしい。
以前は大手前周辺ですべてができていたが、消防署や警察署等が離れてしまったので都合が悪い。又、仲町駐車場もお客が使用できるようにしてもらいたい。
他県から弥生の道の駅に来られる方も多いと思います。道の駅の食堂にもっと魚メニューがあったら盛り上がるのでは。塩湯と道の駅どっちに行こうか？迷うぐらいあっても良い。弥生には寄り添う木というとてもキレイな場所があった事に、佐伯の住民何十年やってきて最近知りました。みんなにアピールしたいぐらいいい所です。
文化会館の跡地を観光に役立てて欲しいです。

回答一覧
人が中心、主体者となる（人によりそう）そういう社会、地域づくりをお願いしたい。
老齡の為、わかりにくい事があった
公金チューチューヤメロ
弥生道の駅の遊具がずっと壊れたままなので公園整備にも目を向けてほしい。
地域資源をいかした産業と観光の創生～地域が輝くまちの創生までは、佐伯市がどのような事をめざしてやっているのか目に見えない。よくわからない。実際、自分が当事者にならないとよくわからない。
水族館、大型店舗、各種合宿（各スポーツ選手）、プロ球団の誘致、大型企業誘致、交流人口増加、市内外の就職率の促進に効果あり。
各種取組は大変頑張っておられると思います。これからもよろしくお願いします。
もっとサブカルチャー関連のイベントを招致して、外部からの人の流動を増やすべき。
私は健康であるためになるべく外に出ようと思って、城山に登ったり、自転車でサイクリングに出たりするのですが、つかれて休む所がなく、あつい時は日かげもなく、それに一番はトイレに困ります。
それぞれの名のある人達をおよびして、いろいろなお話を聞きたいです。
公園の遊具が少なすぎる。街灯がLED だけど暗くて帰るのが怖い。電車やバスの本数が少ない（免許を持っていない学生などにとっては、めっちゃ不便）。学校の ipad が重たすぎて移動が大変（軽いノートパソコンみたいなのが良い）。
地域住民がストレスなく暮らせるまちづくりが行政が目指す原点だと思う。もはや発展を目指してはいけない。いかに美しく衰退するかを考える方がむしろストレスのない日常。元気な子供。不安のない老後。自然と死ねることなど、良い方向に行くのではと思う。発展や拡大しないことが新たな特徴となり得る。“楽に暮らせて自由に生きる。海と山と川の自然と共存する生活” が佐伯の特徴です。
地区の一部（6戸位）の話ですが、主要道路の高さと住居側の道路（歩道）の高さが違っており（歩道の方が低い）。大雨の時に河川から住居側に水が流入して困ることが何回かある。市の方へ改善を申し入れしたが、困難であるとの回答があった。主要道路の計画段階で分かっていたことなので、何とか対応を考えて頂きたい。梅雨や台風の時期を迎えるにあたり再考をお願いしたい。
景色が良い所が多いし、自然体験、レジャーとして楽しめるのではと思う。（地引き網体験、キャンプ場、サーフィン等）。釣り体験。
佐伯まで足をはこんでもらうことがまず難しいので、認知してもらうよう SNS での発信。住みたいと思わせたいなら生活をイメージできるようなコンテンツを作っていくといいんじゃないかと思った。あと、せっかく海の幸をふるさと納税などでアピールしたらいいのと思う。
各種取組についての実感がないので、満足度や重要度に回答する事が大変でした。住みやすい佐伯市であってほしいと思います。
施策の満足度、重要度について、自分の考えやその事に対して何一つ参加や思うことすらなくなっている事に気がつきました。長年、この地に住み、いろいろな活動にも参加してきましたが、何年も役割もなくなると考えも出てきません。アンケートの意味にも大変申し訳なく思います。ただ、高齢者の正直な思いです。
空き家対策
若者が安心して勤められる会社誘致。
市報は全戸に配布するのではなく、希望者とする。市議の減数化。市議の仕事の成果が見えない。成果によって報酬を出す。市職員も多く人員整理を行う。佐伯市としてコストダウンを計る。
さまざまな取り組みをするには、移動する方々は高齢者が多いために車で動く方が多い。その為には、広い駐車場がなければ参加しづらいので、イベントに参加しない（しづらい）と思われます（ゴミ箱が道路にはみ出している所が多すぎる）。
スーパーなどが近くにない為、高齢者は不便だと思う。

回答一覧
県内外の人たちに伝わる取り組みをしてほしいです。
高齢化している。若者の佐伯離れ（進学不便→就職→戻らない）。佐伯市内で働く若者（夫婦）土地を安く購入できるように。長期休暇にたくさんの人が帰省や観光者が来市する工夫が必要。不要な建物の解体、広場確保。
自然豊かな佐伯で行うツールド佐伯やマラソンはいつも楽しみにしています。これからも続けてほしいと思います。
情報発信が足りていない。まずは市内に向けた発信を！→それを市外へ発信！（これが足りていない）。無理ない目標から進めていくべき。具体的な企画はしょぼすぎ。もっと魅力的なものを！宇目や本匠でおもしろいことをできるんじゃない？ユネスコエコパークや自然（ホテル）はブランドでしょう。この期間は継続して行うべき←別府から観光客よぼうよ…。
さいき城山桜ホールの活用方法（ホールの解放など）。道路やトンネル工事に時間を要している印象があるため、離合が危険と感ずることが多い。
さいき城山桜ホール、地域活性に寄与しているのか？
若い力に期待。
高齢者が増えているので、色々とカード化したりするのについていけない。
質問の全般を通して、行政のしている仕事内容を映像化、デジタル化、見える化して、行政と市民が歩み寄れる環境づくりをして、施策への協力者を増やしていけないでしょうか。例えば、市が管理して安心、安全で利用できる地域限定のネットワークをつくって、情報リテラシーを上げられる環境づくりをしてはどうでしょうか。既にこのような活動をされているのであれば、申し訳ありません。
市役所、各窓口でのわからない対応に対して、他の部署に確認しないとなかなか手続きが進まず、時間がかかるので困っています。
周りがどんどんと空き家となり、我が家も私達で取りこわす時に解体費用の助成が…。
ぜひ継続して行ってほしい。
あまり人が手を加えず自然なままの状態を生かしたほうがいいと思う。ちょっとした穴場みたいな。
鶴岡公民館の建て替えをぜひ早くしてもらいたい（あの階段は足腰の悪い人は無理です）。
海山川、佐伯には宝物があります。地域が力を合わせ、楽しかった、又行きたいと思える取組を。
安心して暮らせる環境。
ゴミ処理について、日々あまりに多いプラゴミについてリサイクル（資源として）できないものかと思う。高齢者の免許返納の必要性和交通手段について、配慮をしてほしい。
免許証を返納した人の移動の確保等。
海外の人が多すぎるため、都市でおきる問題を想定とした対策。条例を先に通しておくべき。
佐伯市内の観光施設の充実への強化を、上岡地域の稲垣橋（番匠川）辺りから池船の河川公園を経て、自動車学校の附近の番匠川沿い、エコセンターのある河口附近まで灘山、元越山、竜王山、遠くは彦岳の姿素晴らしい眺め。河口の島々の浮かぶ様子、四国がうっすら見える様子、すばらしいです。もっと番匠川沿いの堤防沿いを観光向きに整備したら、もったいない。
ゴミに対して市民に苦情が多い。水道の整備がちゃんとできていない所がある。市内に病院を作るべき。(7)の取組は全て知らなかったなのでPR不足だと思う。もっと知ろう。上浦地区のイベントをやっているのも知らなかった。
佐伯市農政課、特に農業再生協議会の対応が大変良い。
歴史資料館はあるが、自然史博物館が佐伯にはない。ぜひ佐伯の豊かな自然と人とのかかわりが見える化する施設と人を配備してほしい。
佐伯市は海、川、山すべてに整った市です。空地多、観光客少、町の夜は暗すぎ。活性がない町には人々があふれ、観光客がにぎわいを求めて魚を食し、満足して頂きたい。佐伯ブランドに!!

回答一覧
満足度をきかれても取組の内容の詳細がわからないので答えられません。
人口減少、企業の誘致、大学専門学校の誘致
それぞれをつないで佐伯で3日間かけて楽しめるようなプランができるように、それぞれの地域すべてを活性化する必要がある。他市町村との差別化、サイキカラーを出せるようなビジョン作りが求められる。それと佐伯までの交通アクセスと民泊施設の充実。
城山周辺、三の丸の所は今どうなってますか？文化会館跡地が駐車場になると、城山に登る人達が便利になっていいのになと思います。車が入ろうとして引き返しているのをよく見かけていました。
パンフレットを見て観光地に行っても、道路の整備が行き届いていないことが多いので「一体、人に来てもらいたいか、来てほしくないのかどっちだ」と失望することが多々ある。パンフレット通りでないことが多すぎる!!
他の自治体との差別化が図られるといいと思う。本市の強みをつくりアピールしていく。
いろいろ取組をしていると思うが、正直これで佐伯がよくなると思えない。人口減少している今、どうなるのか不安。どんどん人口が減少していくと思っている。
海辺の地域より、宇目や本匠、直川が看板となる産業や地域の活性化、若者の定着が弱いので、山村部が協力して、水、茶、木材の強い産業を作る（大手の企業誘致など街おこしに力を入れる）
大分から佐伯に来られるように高速をもう1度無料に！無料じゃないからみんなそのまま宮崎へ行ったり、佐伯に寄らない。バラバラに色々なところに点々とお金を使うのでなく、大きなお金を使い、まとまった町作りをした方がよい。駅前には何もなし、なぜ離れた所にバラバラに作ってしまったのか。コスモタウン、モールなども屋根もなくいちいち車をとめなおす。子供がいる方には不便だし、温泉が出ないならスーパー銭湯などをコスモタウンに作るなどして市外の人に来てくれる町作りをして下さい。佐伯は魚しかない。商店街の中の店が空き家のところはキレイにして、安く貸すようにする。別府のように。そしたら空き家でくずれるよりマシだし、人も呼べる。
佐伯は広いので、弥生の道の駅の所か佐伯市内につくる。
養殖産業において海水汚染が見られる。
このようなアンケートも必要なのかどうか。今、高齢者が野菜を作ることも出来ない状況です。自分で野菜等を作ることが生きがい、健康の源です。シカ、イノシシ、ムジナ等の対策をきめ細かくするべきです。保護柵の設置等に基準を下げて対応されたい。
以前のように食品トレーの回収場所をふやしてほしい。
堤防決壊防止に注意して欲しい!!高物価をなんとかして欲しい。
平等平等言っていたら市が減びますよ。
各地区に何でも（生活用品等）を買える施設が欲しい。(5)の5.創業支援として、上記の施設を運営する会社の設立。
さいき城山桜ホールが開設されたり、コスモタウンができたりして佐伯に活気が出たように思います。
人口減少、若者流出でまち自体の将来が不安です。自治体、企業+個人が連携して、対策に取り組むことが不可欠だと思います。
島は台風が来ても避難するコミュニティセンターに行く手段がなく、高齢者避難と言われてもいやな思いをするだけです。
生活が不便になっている地域がある！市内まで買物に出ないといけないのに交通の便利が悪い。
上岡駅を旧大和冷機付近へ移動してもらう。コスモタウン、西田病院等、JRを利用して行けるようにする。JRの利用客増も？葛港周辺にはいかない（遠い）。
歴史資料館に城山のジオラマを展示してほしい。文化会館に以前展示してあった。鶴岡高校（現佐伯豊南高校）に置いていると聞いた。観光客や子供達に見てもらいたい。
誰が、いつ、何を、今どんな感じなのか。全くほとんどわかりません。実感的にもわからないので、満足度、重要度ともに〇つけづらかった。

回答一覧
河川の景観を整備してほしいです。
関わっていないのでぼぼわからない。もっと市民にわかる情報が欲しい。
佐伯は魅力がないので、もう少し若い考えで取組むといいと思います。内容が年寄りくさい。
仕事があれば人は集まりません
このアンケートにきかれた問に答えていると、根本を変えていかないと何も変わらないと思う。子供達の減少に対して各学年１クラスだと子供達は何も成長しない。子供が少ないのは、学校も充実してないし、そもそも出産する病院すら少なすぎて里帰り出産はできないし、出産に対して不安でしかない。耳鼻科も眼科も少なすぎて困る。若い子供達の遊び場もない（ボウリングやバッティングセンター）。人口減少まっしぐら。私は移住して９年、福岡に戻りたいです。
地域への予算優先
外部からの呼び込みだけでなく、従来の定住者が外部へ出ていく事を防ぐことが大切と考えます。
トンネル開通を早急をお願いしたい！
１～９を読みましたが、現在のニーズに少し欠けているように思います。いままでの企画も大変いいと思いますが、プラス思い切って新しい事をプラスアルファ考えないと発展しないと思っています。佐伯の行事に出かけるよう新しい企画してほしい。
6-8は逆に減らして、地域に窓口は１つとして欲しい。
自分の地域以外はあまり実感がない
福祉や教育だけでは佐伯市が衰退するだけなので、企業や観光に力を入れてほしい。
佐伯市が１０年、２０年…と住みやすい地域となるために、いろんな政策を期待します。活性化につながる企画は応援したい。
年々高齢化の中、買物、病院への交通が不便。
子育てに関して、今年度から給食費が無料になり大変助かっています。渡町台地区に住んでいますが、渡町台小学校が災害時の避難場所になっていますが、夜間のライトがないと聞いています。高台でいざ停電になった時など、大変困ると思うので、グラウンドにライトを付けるなどして、夜間の防災についても、もう少し考えていただきたいです。
GIGA スクール構想は考え直した方がいいのではないのでしょうか。
大災害に備えた「調整基金」の積み上げに特化し、個人や団体による「寄付」を奨励、推進する。受付窓口を市に常設し、受付額についても広報に定期掲載する。災害に対する意識や自治の精神の高揚を図り、甚大な被害に対する一助とする。公共交通により集客の恩恵を受けている病院や商業施設に、その運行経費の一部負担の協力を呼びかける。個別依頼ではなく、医師会や法人会、商工会等に対して試みる。
各地域（大分県外）より人が集まる商業施設の建設や催し物を SNS など発信していつてもらいたい。
自然環境の良さを生活の豊かさに直結させる施設に市の予算を集中して。税負担の低減を。例えば、就農者、就漁者支援への予算集中など。
高齢者の多い地区において、若者の活躍する場を多く計画に。他の区の人との交流を行ってほしいです。
わからない事が多く、答えるのがむずかしい。
市内中心にキレイで安く住める住宅ファミリー向けなどほしい。市内まで出かけるバスの本数がまだほしい（夜も）。佐伯にはおいしい物たくさんあるのにもっと PR してほしい。
佐伯市をもっと活性化してほしい。今は市の街に近い。
そもそも取組内容を知らない。企業誘致が上手くできてないと感じます。
ゴミの分別・リサイクルでプラスチック系ゴミを原油系材料にリサイクルできる様になったらと思う。
アンケートを記入するにあたり、自分が現在、佐伯市がどのような様な取り組みを行っているのかという事をほとんど知ら

回答一覧
ない事に気付かされました。市報はそれなりに目を通していますが、ケーブル TV は見ていません。ちゃんと知っておくべきだと思いました。
自分が住んでいる地域以外（旧佐伯市外）の創生活動は知らないものが多かったので、身近に感じられると良いと思った。女性の方が市長になった事により、男女共同参画のまち作りは進んでいると感じられる。
いろいろな取組について良いと思いますが、目立つ物が出てこない。
活動しているかわからない。
項目に対して答えづらい満足・重要度でした。
各種取組の多くが計画を読んでも概略しか分かりません。前問の意見を求めるなら各項目ごとに求めるべきだと思います。計画に掲げている項目についての更新がなされていないように思います。また、実績等が一見して確認できません。まずは市報などで実施経過などの情報発信をするとともに、中間とりまとめなどを行って出来ていること、出来ていないことを明確にして今後の方針を決定することが必要だと思います。各地に散策道路が設けられていますが、作りっぱなしで管理されていないため草や雑木が生い茂り通行を躊躇させるような状況が多々見られます。また展望所があっても雑木で視界が遮られ展望が皆無な場所もあります。散策路自体も安全な柵が老朽化し危険な場所になっているところもあります。いくら自然が綺麗でも、このような状況で外から客は来ませんし、呼ぼうとも思えません。施設の維持管理に費用が掛かるのは分かりますが、中央部だけを整備して地方を疎かにしては人口減少や観光客の減少が進む一方だと思います。
CD をイライラして割ってしまったことを悪いと思っている。
大入島に橋。いろんな意味で夢が広がる。
私は花が好きで、花を求めて県内あちこち出かけます。市内各地でもっと規模の大きなお花見ができれば、よそから人が来ていいと思います（米水津の空の公園はとても良いと思います）。
子供の遊べる場所がほしい。
交通の利便性や住民の高齢化を考えれば、地域格差があるのはやむをえない。
さいき城山桜ホールの年間スケジュール及び予定のチラシが欲しい。入場料の有無を知りたい。通信機器を一切持っておりません。知る方法が無い。
南海トラフと言いながら今まで災害もまぬがれて、生かされてありがたい事です。たくさんの方々に出会いながら、米寿まで佐伯に生き、私は佐伯が一番。田中市長さんではないけれど、良い所だと思っています。
佐伯市内の充実。食を生かしたまちづくり。
一次産業の重要性は必ず地域の活性化は必ず、地域の活性化（少子化対策）と若い人の雇用を真摯に伺い、経済（お金）を回すよう願う。
派手なイベントや単発なものではなく、息長く自然によりそった地域づくりがよい。
それぞれの地域の特性を活かして良いと思います。住んでいる人は当たり前すぎて気がつかないけれど、実はスゴイ！というものがどんどん発見できたらもっと良くなると思います。
広域の佐伯の中で全ての地域の活性化というのは人口面からみても無理な事。それよりも1つずつでの特徴を出す取り組みが良いと思う。
取組みがいろいろあるのは良いが、1つに絞って（佐伯市全体で）思い切ったまちづくり、食とレジャー（観光）を推すべき。うなぎやマリンレモンが全国で取り上げられているのをチャンスに素早く行動すべき。
過疎化、少子化対策お願いします。高齢消防団が増えています。
桜ホールもまだ利用した事ないので、若い人達の溜まり場になっているような感じがします。
県外から引っ越してきました。 他県に住んでいた時から、大分県、特に佐伯市は他を受け入れない閉鎖的なイメージです。20年近く住んでみてもあまり変わりません。市民の皆さんは佐伯市を魅力的な街として発信し、移住や観光客を受け入れたいと思っているの

回答一覧
でしょうか。それが良いとか悪いとかでなく、市民の本音と行政や町おこしの皆さんの思いに隔たりはないのかな…と感じます。
蒲江や米水津、鶴見は海が近いので南海トラフ地震の際、孤立する可能性が高いです。市はその点どうお考えですか？
佐伯市は漁業が有名なのでこれからももっと広めていけたらいいと思う。
特定の地域や産業への長年にわたる同じ助成は変化させていく必要があると感じます。移り変わりの激しい世の中でするので臨機応変に対応出来る仕組みが必要です。儲かっていた産業が急に衰退したり、その逆もあつたりと変化が激しい中、助成が本当に必要としている産業に届いているか疑問です。また特定地域への取り組みも効果が無ければ止めるか変えていく必要を感じます。
SNS 活用
市内だけでなく市外からも遊びにきてもらえる様な取り組みが必要だと思います。あと佐伯市に毎年決まった祭り(府内ぱっちんの様な)があれば市内から出て帰ってきたりしていずれは移住等もあるんじゃないかなと思う。
温暖化対策の取り組みをやって下さい。
佐伯市内の様子が新しく変わりつつあるのが感じられます。
地域活動支援は良いがそこへ行くまでのアクセスを良くして欲しい
ショッピングモールの誘致
弥生の道の駅の小さい子向けの遊具が使えないままだったり、弥生こども園の前の公園の遊具が使えないまま・少ないのが残念です。早急に対応の検討をお願いしたいです。
高齢者が多いが今いる若い世代が住みたいと思えるところが少ない
介護、子育て支援もいいが、産業を盛んにする方が後々税収が増えて様々な支援ができるのではないのか。
旧市内や海辺や山間部にサイクリングコースやドライブコースやウォーキングコース等を案内すると良いかもしれません。
①観光やふるさと納税などで収入アップする取り組みをもっと考える。 ②パチンコ店ではなく、カラオケ店やボウリング場、バッティングセンターなどのファミリーで集える場所を作る。 ③総合運動公園でスポーツ関係の習い事をしているが、コスモタウンなどの片隅を使い、スポーツ以外の習い事や、高齢者の集える場所を作る。
地域の観光促進にチカラを入れてほしい。
地域の高齢化は大変な問題だと感じています。限界集落が20年後には消滅集落へとになってしまうのではないかと危惧しております。人口流出や出生率の低下など一朝一夕にはどうにもならない、目には見えづらく、効果も実感出来にくいことではあるのですが、どうか施策は続けて頂きたいです。住み慣れたこの地域が行き詰まっていく感じをひしひしと感じております。豊かな自然の中に癒しを求め、終の住処に佐伯を選んで下さる方が増えることを切に願っております。
各地域が特色を活かした取り組みをされていると思います。
高齢者が多くなっていく中で交通の便は、どんどん悪くなっています。なんらかの対策を考えて、失敗を恐れずに行動していくべきだと思います。
私は学生ですが、自分が住んでいる地域以外の取り組みをあまり知りませんでした。どんなことを各自治体が行っているか若者は結構知らないと思います。
佐伯市郊外の地域における人口減少と高齢化への対策をして欲しい。 車両を使用しなければ食料品が手に入らない為、自動車免許を返納ができない社会問題を解決する取り組みを始めて欲しい。
子育て支援の充実を。学童保育の整備と補助。保育料の無償化は助かっています。
下堅田地区の堤防の整備をしてほしい、雑木林になっているところから猪がでて大変です。

回答一覧
道路が陥没して冠水しているところは綺麗にして欲しい。豪雨災害が増えているので、いつも水に浸かるところはポンプを設置するなど対策して欲しい。
もっと活性化するため、市職員全員総出で取り組み、盛り上げるべき。それを市内外の方々が感じられるようになれば、来訪者が増えて口コミでも広がりうまく機能してきます
あれもこれもはできない。目的を明確にし原資を絞らないと全てが中途半端で特色のない街にしかならないと思う。
・空き家が多いし空き地が多くて草が茂っていて虫も多くて困る ・自然災害に備えての一般家庭で使用する備蓄品など購入時の補助金 ・道路の凹み、電線、電柱の漏電が多い(雨天時に市内で漏電している電線発見、消防報告済) ・夜間、休日時の救急病院の受け入れ態勢がひどい(受け入れてくれない) ・各地域での伝統文化(祭りなど)地域の人のみならず、市からも補助、伝統文化を継承する手伝いをお願いしたい。
具体的に何をしたのか？どう変わったのかが分かっていなくて回答しきれず申し訳ありません。
たいそうなことをするより、まずはできる1歩から始めるといいと思う。
まだ各地域の特色活かしきっていない
振興局はいらない。行政の効率化を図るべきである
生活の利便性に課題があると思うので、そこに重点的に力を入れて人口の維持、増加を目指してほしい。
どの地域がどのような状況になっているのか、知る機会が少ないです。場所や事柄に特化した設問をされても…答える知識がありません。
各地域に出向かなければ、実感出来ないと思います。もっとPRした方がいいかもしれません。
知らないものも多かったので、今後お知らせ等あれば見てみようと思いました
企業誘致。いつも反対運動が起きてボシヤるイメージがあります
若い人を住ませたいなら必要ではないかと思います
子どもたちが遊ぶ公園の遊具を綺麗に整備してほしい。ずっと使えない状態になっていたり、撤去されたり、草がボーボーだったり。
公園に全然子どもたちがいなくて寂しい。
公民館も無くなって、遊べる室内施設がさくらっ子しかない。
さくらっ子には満足しているが、同様の遊び場施設を増やしてほしい。
生産者の保護
中途半端にするくらいなら思い切ったことをしないと成果は出ない。無難を選択するのなら、しない方がいい。
振興局のイベントとかは、単なるお祭りなので全く不要だと思う。野菜や魚を安売りするだけで、一次産業の所得向上の邪魔をしているだけだと感じる。
皆さん頑張って協力し合い良い地域作りに取り組んでいると思います、私自信も協力していきたいと思います。
様々な政策も良いとは思いますが、活性させるには人口が必要です。佐伯市の土地の広さ、安さを活かし、大企業誘致が良いのではと思います。実際、私の業界でも、熊本県にTSMCが来たからか、20～30歳代～の方々の活躍、勢いが目まぐるしいと言われています。
税金で色々な建物を建て、毎月の必要経費が流れるようにつかわれ、仕舞いには民間に委託。これでは、税金はいくらあっても足りないでしょう。会社経営ならば、即アウトです。もっと佐伯市にお金を産む事に尽力すると良いのではと思います。
言うことは簡単、実行は大変かと思いますが、市長をはじめとする皆様様に、是非、頑張って欲しいと思います。勝手なことばかり申しましたが、失礼をお許しください。
公園を綺麗にしてほしい。楽しい公園がほしい。
せっかく美味しい魚が取れるのだからそれを活かせる店・人材を育成して欲しい。

回答一覧
子どもというけど、働く場所や経済として魅力がないと住もうとは思わない。どの世代も住みやすい佐伯市でなければ子どもに力を入れても意味ない。高校や大学を卒業して、戻ってくる魅力がない
アンケートが長すぎて読めない
佐伯市は山海と最高の環境であるが空港も遠く、JR も少なく交通網が悪すぎる。
このような取り組みをしていることを知らなかった。
どの地域も魅力があると思うのですが、高齢化、人口減少が進むなかではコンパクトシティにしていく必要があると考えています。 自分が高齢になり、車が運転できない状態では周辺部では病院や買い物も不便と感じると思います。 中心部でさえ、どれだけ商業施設が残るかわからないので移住施策で補助金を出して周辺部への居住を勧めるのは疑問です。ましてや、田舎暮らしを求めて、佐伯市に関係のない高齢の方はすぐにまた空き家になると思います。 地域の人が少なくなれば、それは地域の魅力を守り、発展させていく人も少なくなるということはわかりますが、コンパクトシティと周辺部の活性化は相反するもので、財政面や教育を考えるとコンパクトシティ化を進めていくべきだと私は思います。
地域ごとに若者向けのイベントや地域の魅力を伝えるようにして若者を増やす政策をして欲しい
こっちに引っ越したばかりで、他の地域の事がよくわからない
各地域の人口の減少で、まちが少し廃れているのかなと思うので、若い人など、人口を増加できたらいいのかなと思いました。
今の佐伯市には人口減少に歯止めをかけるための政策が必要だと思います。
物価高や石油輸入に関する不穏な国際情勢を踏まえてプレ券以外にも市民の役に立てるような政策を検討、実施してほしい。
それぞれの地域の取り組みをあまり知らないということがわかりました。
Terus berbenah supaya menjadi kota yang lebih baik (訳：より良い街を目指し、改善・整備を続けてほしい) ※インドネシア語
佐伯市内中心部の施策に偏りがちな印象がある。周辺地区での施策が見えにくい。佐伯市は広域すぎて対策が難しいのは理解できる。いっそのこと、市内中心部への人口集約を促す取り組みに舵を切った方がよいのではないかな。
学生が出ていくばかりで帰ってこない。又は卒業後に県外へ出ていく。学生がしっかり佐伯市に残る様にならないければ未来はない。子供達が残らなければ、活力あるまちづくりは夢物語に終わる。
多方面にわたり、活用できる事や物、人材を探し、いかして、佐伯市の活性化につなげて頂きたいです。
もう少し田舎の日曜日などのバスを多くしてほしい。車がなければ生活出来ないのが現実。働くこともなかなか出来ない。佐伯は住みにくい。
年代によってはわからないことばかりです。学生がこの質問に答えられるとは思えません
それぞれの地域に暮らす人たちが、どの世代も安心して幸せに暮らせる事がいちばんだと思います。 佐伯市の中のどの地域に住んでも、便利で暮らしやすいと思えるようになればいいなと思います。
もっと取り組みを積極的にして欲しい
満足度を測るほど周知されていないので回答出来ない。そもそも発信力が問われると思う。
いつもいろいろ考えていてありがとうございます
高齢者で、車の運転ができない人の為の交通手段をもっと考えてほしい。
堤防の整備を行ってもらいたい、河川敷の木や雑草が多すぎる伐採すれば水嵩が増しにくくなるし、川底の土砂を減らすべき
蒲江の陸上養殖会社の東和水産がゲノム編集開発企業（リージョナルフィッシュ社／NTT G&F）に買収されたので、今後ゲノム編集魚が生産される確率は高い。

回答一覧
蒲江のブランド戦略に、生命倫理への問題が解決していない遺伝子操作をした技術は必要なのか問う。 食のまちづくり条例やオーガニックビレッジ宣言をした自治体として大切にしたいものは何なのか？ 食べることは生きることであり、100 年先も安心して暮らせるまちのために今できることを考えて欲しい。
せっかくきれいな本匠の川があるので、安心安全に遊んでもらえるために、ライフジャケットの普及活動が必要だなと感じています。遠方から来て遊ぶ人たちにもレンタルなどがあるといいな一と感じています。
現在生活している人達が有意義な生活がおくれて、幸せを感じられていればいいですね。 若い人も外に出る事も大事で、帰る所がある、と思えるような故郷になればと願っています。
豊かな自然を生かして、気軽に自然に触れることのできるイベント等がもっと増えたらいいと思う。
若者、移住者が佐伯市に定住するには産業(就労場所)が必要不可欠
人口及び市職員数の減少に伴い使用していない土地や施設、建物の処分を早急に行うこと。
他の地域のことはわからないので回答しづらい。わからない人に聞いても意味があるのかわからない。
適度な陸の孤島である事と、浦の美しさを生かしてリゾート開発や撮影の誘致に力を入れても面白い
知らない人が多いのでは。Instagram などの活用などは？既出であればご容赦ください。
せっかくのアンケートですが、佐伯市の色々な取り組みについてや、今の現状について、私が知っていること、理解していることが少なく、参考になる意見や回答ができなかったことが残念です。
市内が、外から人が集まり、賑わうのか？誰一人いない寂れた町になるか？外から人を呼び込むことが、最も重要。 そのためには、ハードじゃなくて、イベント（ソフト）を中心に活性化策を組み立てる方法が有効。 一番は「祭り」。今やっているのは、ただのパレード＋てき屋の集まりで、祭りとは言えないレベル。毎度同じで見る所がない。他県の「くんち」なんか見ると、命かけて盛り上げようと必死だ。 まずダシをかついで、全員同じ着物で練り歩く、規模が桁違いなのに驚く。 市全体が、祭りで一体となる。これ大事。 他は、イベントをたくさん、本気になって発案する。いろいろな客層を想定した催しを、常に開催している町を創る。 食のイベント、音楽イベント、スポーツイベント、文化イベント、 究極は、ラスベガスだ。あらゆるイベントを見ることができる。開催する場合、イベント内のみ有効な貨幣に両替させるのが安心。客を迎える側、客として来る他者、両方がワクワクする町が理想だ。
生活圏の安全対策を充実させ、暮らしやすい市民生活を目指して欲しい
年配者（年金受給者）の活用をした方が良い気がします（ボランティア的）
市民に周知されていない。
各種取組を周知する必要性
九州一の広大な面積を持つ当市において、著しい人口減少が進む中、居住地が分散しすぎている現状に強い危機感を抱いています。現状のままでは、水道や道路などのインフラ維持、生活交通体系の整備に莫大な行政コスト（余計な費用）がかかり続けることは明白です。市の存続に向け、以下の３点について具体的な政策転換を強く求めます。 1. 居住地の集約（コンパクトシティ化）と移動インフラの整備 居住地は旧市街地とその周辺に集約し、利便性を高めるべきです。中心部では空き家の有効活用や、若者が住みやすいよう家賃負担を軽減する支援（家賃補助や公営住宅の活用など）を行うことで、若年層の定住を促します。一方で、居住地と就業地を明確に分け、その間を円滑に行き来できるよう、効率的な道路網の整備を進めていただきたいと思います。 2. 広大な農地の集約と「半官半民企業」による若者の雇用創出 市内の広大な土地（農地）が有効活用されず、放置されている現状は大きな損失です。農業従事者の平均年齢が 60 代を超えている現実を踏まえ、個人の農地を集約化し、市と民間が連携した「半官半民」の農業法人（企業）を設立する

回答一覧
ことを提案します。これにより、若者を「サラリーマン（会社員）」として安定した条件で雇用し、持続可能な農業体制を築くべきです。 3. 負のスパイラルからの脱却と子育て・雇用環境の改善 人口が減少すればすべての産業が成り立たなくなり、働く場所を求めてさらに人が流出する「負のスパイラル」に陥ります。 市長が掲げる「子ども真ん中」の基本姿勢は、子育て世代として大変心強く感じております。しかし、どれだけ子育て施策を充実させても、親が働く場所が市内に無ければ、移住・定住の選択肢には入りません。雇用（産業）と子育て支援は両輪であるべきです。 また、現在お世話になっている児童クラブ（学童保育）を例に挙げても、児童数に対する施設の広さや環境、指導員の先生方の働き方や給与体系など、安心して子どもを預ける環境としては、まだまだ課題（改善の余地）が多く見受けられます。 一朝一夕にはいかない大改革であることは重々承知していますが、雇用を生み出し、真の意味で子どもたちの環境を守るために、できることから即座に行動を起こさなければ市として成り立ちません。未来を見据えた果敢な舵取りを期待いたします。
SNS から聞きたいと思います
日本のどこにいても行われている振興策のメニューになりがちなので、佐伯ならではの、蒲江ならではの、鶴見ならではの、といったユニークなもの、事、経験を打ち出してほしい。補助金がなくなったらすぐに萎んでしまいそうな施策が多いように思われ、持続可能な施策とするためにはということに拘って参りたい。
満足度に関しては周知されるのが難しいと感じます。見やすいのは市報ですが掲載に限界があり、興味がある人しかホームページなどは見ないのではと思います。重要度については市の発展の為に住みよい街として産業や子育てに更に力を入れてもらいたいです。
自分は佐伯の都市部に住んでいます。その上で、大変身勝手な意見だということを前置きにさせて意見させていただきます。 地域開発は非常に重要かつ急務であると存じますが、それでも地域に優先順位をつけて開発を行う必要があると考えます。 佐伯市は面積こそ広大ですが、人口の少ない街であると認識しています。お金や人手などの元手が有限である以上、人の多い地域を優先的に開発するべきだと考えます。 非常に身勝手な意見ですし、役所に勤められている皆様でしたらとうに浮かんだ考えではあると思いますが、どうぞ一読いただけると幸いです。
取り組みをほとんど知らなかったのが、重要かどうかよく分からない。もう少し焦点を絞って、もっとアピールした方が良いのではないかと感じた。
皆さん様々な分野での取り組みを良くされていると思う
佐伯は住み良い町かもしれないが、買い物や娯楽は市外へ出る人の方が多いのでは？面積が大きいのか、旧町村地域からの要望などを永久に後回しにしているのでは？
何か目玉がない。全てが中途半端に見えるし、感じる。PR が下手すぎる ウナギがバズるので必ずバックアップし、ウナギ完全養殖発祥の地で大々的に佐伯市を PR
広いので仕方ないのですが、散漫な印象は拭えません。夕張市の様に住居地を整理して税金や人的資源を集中するべきだと思います。
くどい。質問が多すぎる

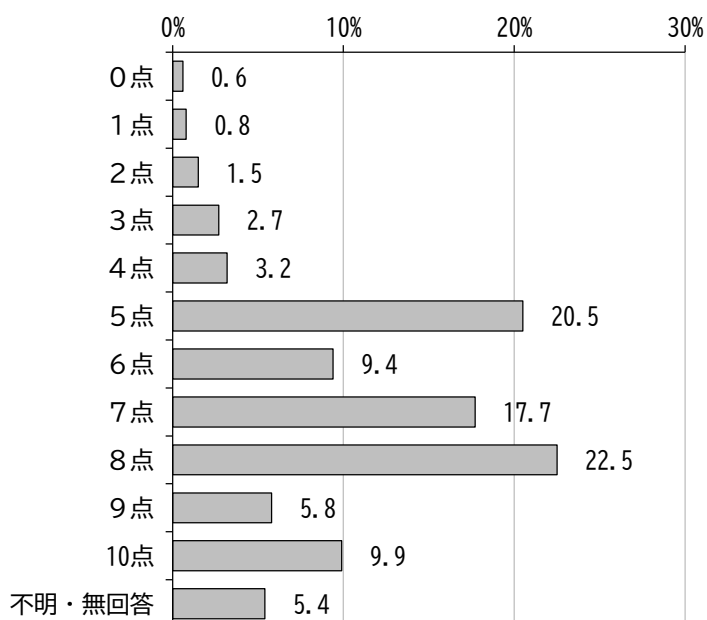
回答一覧
著名人の発信実績を、市の公式 PR に生かすべきです。過去に石原良純さんがテレビで「佐伯の寿司は日本一」と大絶賛した際、それをきっかけに全国から多くの観光客が訪れ、実際の店舗への誘客や SNS での口コミ拡散という明確な経済効果が生まれました。このような「佐伯城跡の絶景」や「食の魅力」に関する貴重なお墨付き発信を埋もれさせず、公式 HP やパンフレット、案内看板などに引用して、広告費をかけない強力な観光プロモーションに再活用するべきではないでしょうか。
特産品を食べる機会がもっとほしい

4 地域における幸福度について

問 25 あなたは現在、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。【0～10点の間で点数を記入】

「8点」が22.5%と最も高く、次いで「5点」が20.5%、「7点」が17.7%となっています。

全体 (n=1,419)

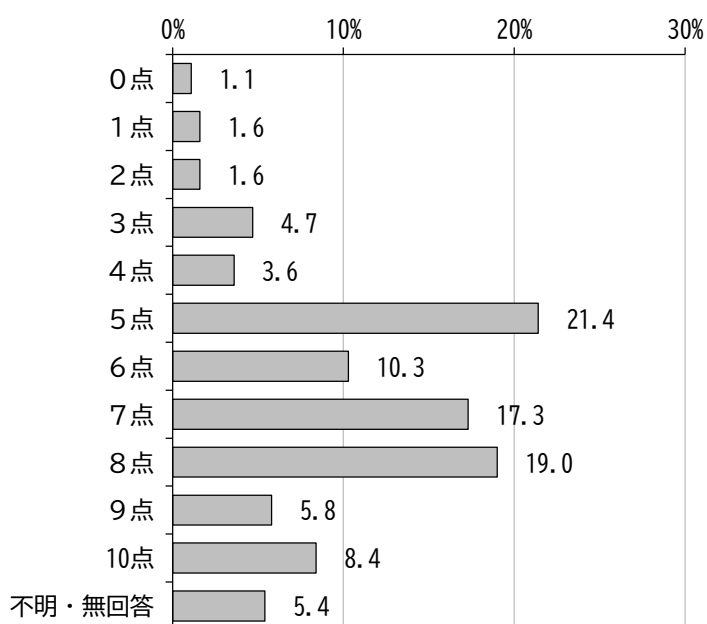


問 26 あなたは現在、暮らしている地域にどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。

【0～10点の間で点数を記入】

「5点」が21.4%と最も高く、次いで「8点」が19.0%、「7点」が17.3%となっています。

全体 (n=1,419)

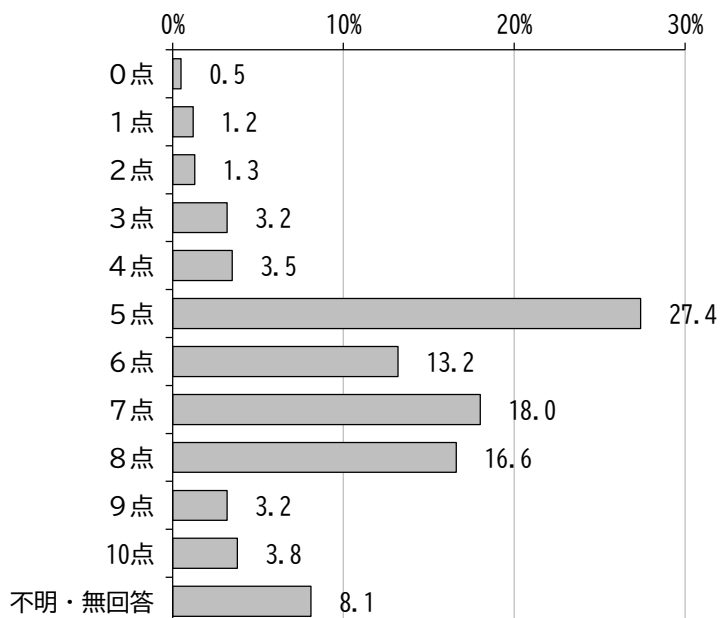


問 27 あなたの暮らしている地域の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。

【0～10点の間で点数を記入】

「5点」が27.4%と最も高く、次いで「7点」が18.0%、「8点」が16.6%となっています。

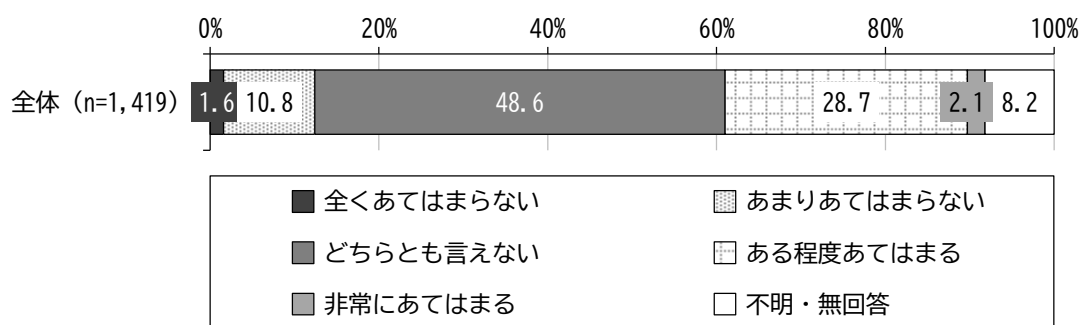
全体 (n=1,419)



問 28 あなたは自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。

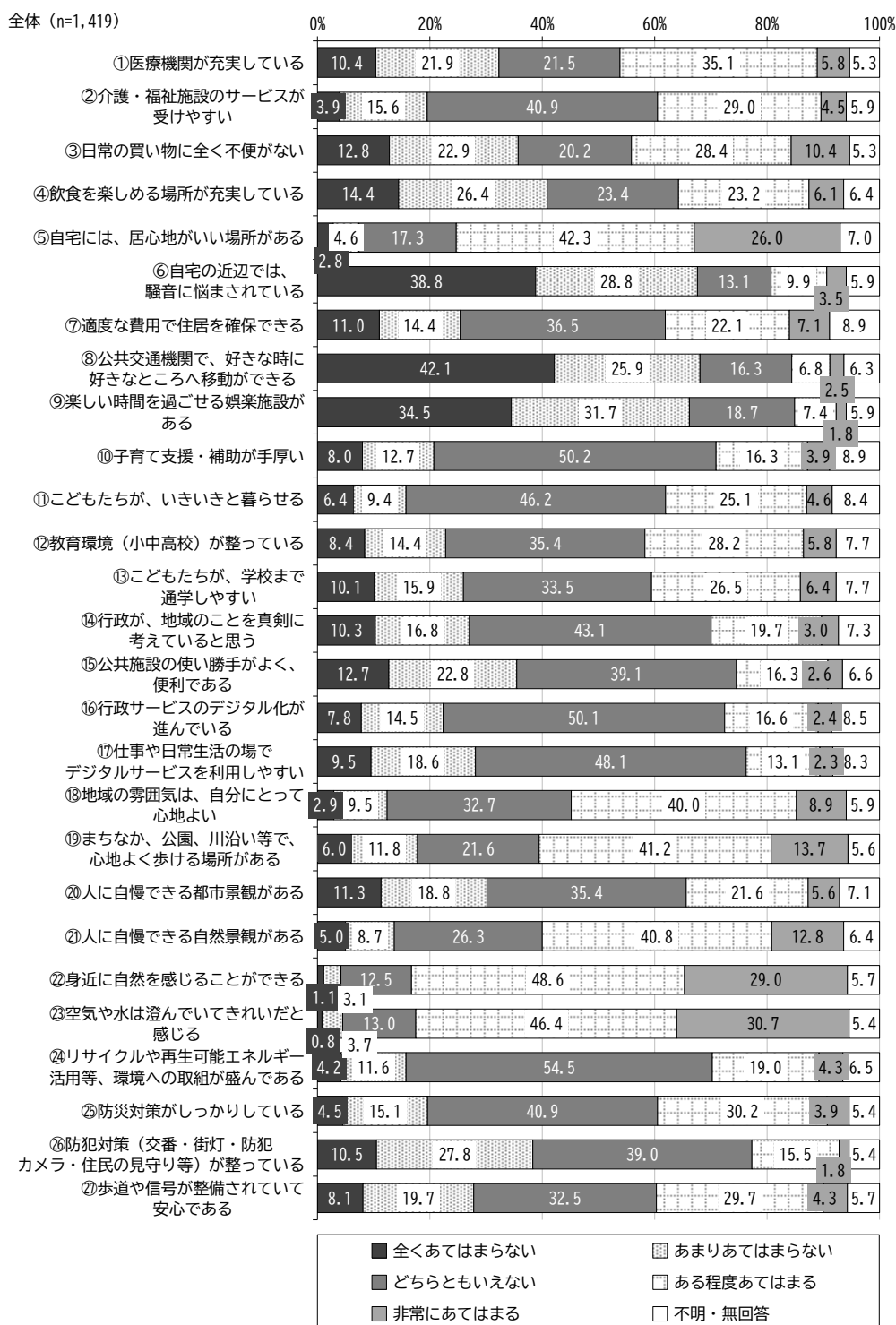
【1つに○】

「どちらとも言えない」が48.6%と最も高く、次いで「ある程度あてはまる」が28.7%、「あまりあてはまらない」が10.8%となっています。



問 29 暮らしている地域の生活環境に関する次の①から⑳の事柄について、どのようにお考えですか。【①から⑳の項目それぞれについて1つに○】

〔①医療機関が充実している〕〔③日常の買い物に全く不便がない〕〔⑤自宅には、居心地がいい場所がある〕〔⑬地域の雰囲気は、自分にとって心地よい〕〔⑭まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある〕〔⑮人に自慢できる自然景観がある〕〔⑯身近に自然を感じることができる〕〔⑰空気や水は澄んでいてきれいだと感じる〕では「ある程度あてはまる」、〔④飲食を楽しめる場所が充実している〕では「あまりあてはまらない」、〔⑥自宅の近辺では、騒音に悩まされている〕〔⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる〕〔⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある〕では「全くあてはまらない」、その他の項目では「どちらともいえない」が最も高くなっています。



■クロス集計 ⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる

年齢別でみると、〔15～19 歳〕では「あまりあてはまらない」、その他の年齢では「全くあてはまらない」が最も高くなっています。

単位：％		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる	不明・無回答
全体 (n=1,419)		42.1	25.9	16.3	6.8	2.5	6.3
年齢別	15～19歳 (n=41)	22.0	34.1	24.4	12.2	4.9	2.4
	20歳代 (n=100)	42.0	30.0	12.0	6.0	9.0	1.0
	30歳代 (n=130)	46.9	31.5	10.8	3.8	5.4	1.5
	40歳代 (n=166)	48.2	25.3	18.1	7.8	0.0	0.6
	50歳代 (n=212)	49.1	24.5	17.0	5.2	3.3	0.9
	60歳代 (n=235)	43.8	27.7	18.7	5.1	1.3	3.4
	70歳代 (n=262)	35.5	22.1	20.6	9.9	2.3	9.5
80歳代以上 (n=240)		37.5	23.3	12.1	7.9	0.8	18.3

■クロス集計 ②身近に自然を感じることができる

幸福度別でみると、〔1点〕〔9点〕〔10点〕では「非常にあてはまる」、その他の幸福度では「ある程度あてはまる」が最も高くなっています。

単位：％		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる	不明・無回答
全体 (n=1,419)		1.1	3.1	12.5	48.6	29.0	5.7
幸福度別	0点 (n=8)	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5
	1点 (n=11)	9.1	9.1	9.1	9.1	54.5	9.1
	2点 (n=21)	0.0	9.5	28.6	33.3	28.6	0.0
	3点 (n=39)	5.1	7.7	23.1	43.6	12.8	7.7
	4点 (n=46)	2.2	4.3	17.4	54.3	21.7	0.0
	5点 (n=291)	1.7	3.4	17.9	51.9	18.9	6.2
	6点 (n=133)	0.0	4.5	19.5	48.9	24.8	2.3
	7点 (n=251)	0.4	4.0	10.8	54.2	28.7	2.0
	8点 (n=319)	0.0	1.6	6.0	54.5	33.5	4.4
	9点 (n=83)	1.2	1.2	10.8	39.8	45.8	1.2
	10点 (n=141)	1.4	0.0	6.4	41.1	44.7	6.4

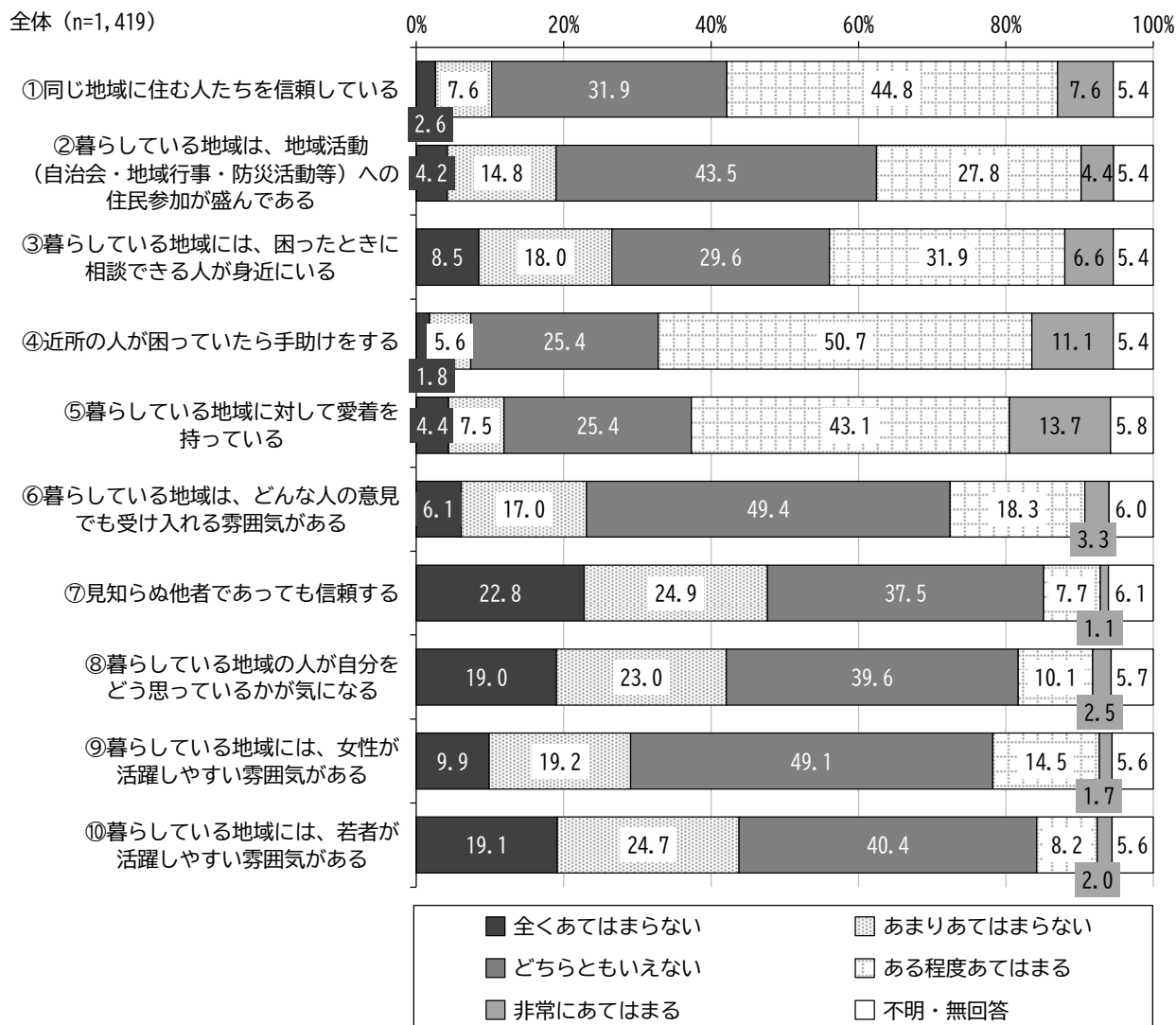
■クロス集計 ③空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

幸福度別でみると、〔1点〕では「どちらともいえない」、〔2点〕では「どちらともいえない」「ある程度あてはまる」、〔9点〕〔10点〕では「非常にあてはまる」、その他の幸福度では「ある程度あてはまる」が最も高くなっています。

単位：％		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる	不明・無回答
全体 (n=1,419)		0.8	3.7	13.0	46.4	30.7	5.4
幸福度別	0点 (n=8)	25.0	25.0	12.5	25.0	0.0	12.5
	1点 (n=11)	9.1	0.0	36.4	27.3	18.2	9.1
	2点 (n=21)	0.0	9.5	33.3	33.3	23.8	0.0
	3点 (n=39)	7.7	5.1	28.2	35.9	15.4	7.7
	4点 (n=46)	0.0	13.0	8.7	56.5	19.6	2.2
	5点 (n=291)	1.4	4.1	16.8	49.8	22.3	5.5
	6点 (n=133)	0.0	7.5	15.0	46.6	29.3	1.5
	7点 (n=251)	0.0	2.8	6.8	57.4	31.1	2.0
	8点 (n=319)	0.0	1.3	10.3	49.5	34.5	4.4
	9点 (n=83)	1.2	2.4	16.9	34.9	42.2	2.4
	10点 (n=141)	0.0	0.7	9.2	36.9	48.9	4.3

問 30 暮らしている地域の人間関係に関する次の①から⑩の事柄について、どのようにお考えですか。【①から⑩の項目それぞれについて1つに○】

〔①同じ地域に住む人たちを信頼している〕〔③暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる〕〔④近所の人困っていたら手助けをする〕〔⑤暮らしている地域に対して愛着を持っている〕では「ある程度あてはまる」、その他の項目では「どちらともいえない」が最も高くなっています。



■クロス集計 ⑤暮らしている地域に対して愛着を持っている

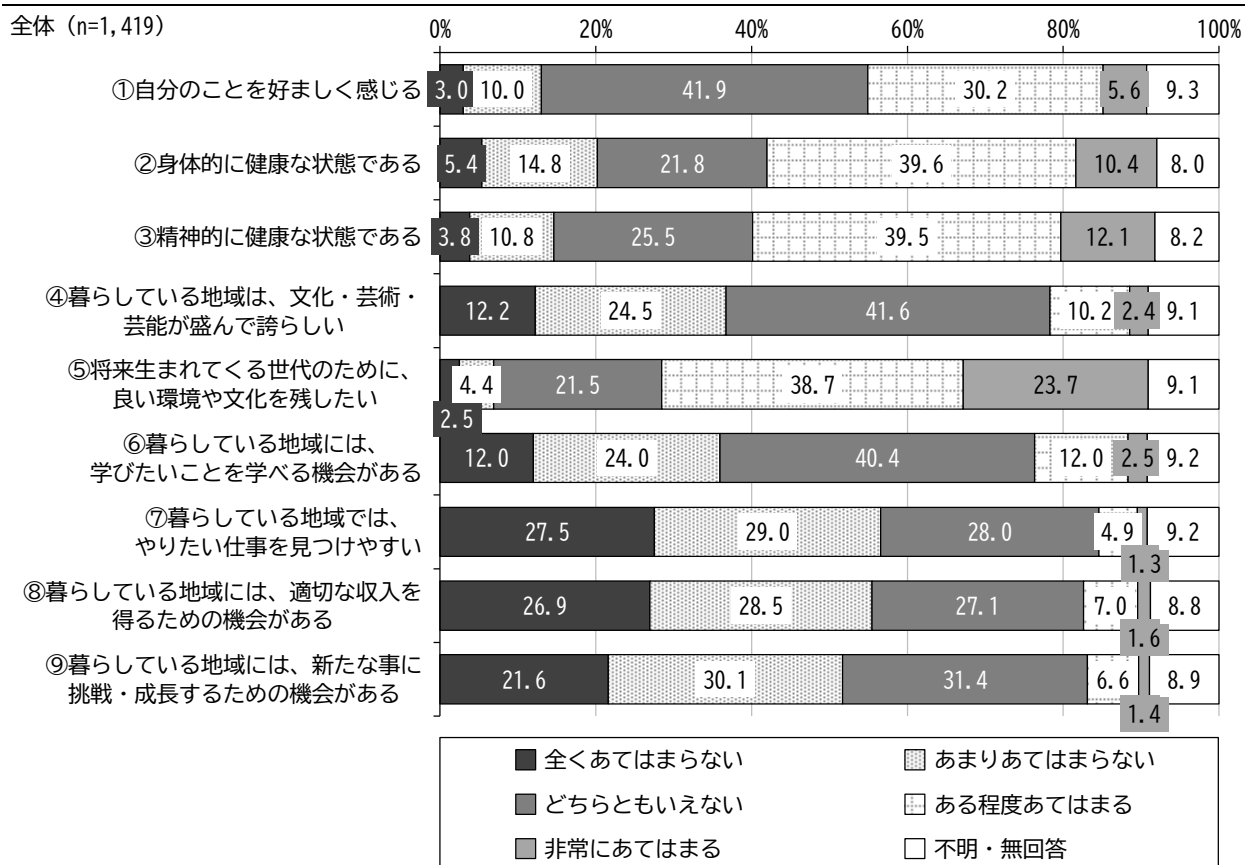
幸福度別でみると、〔1点〕では「全くあてはまらない」「あまりあてはまらない」「どちらともいえない」「ある程度あてはまる」「非常にあてはまる」が同率、〔2点〕〔3点〕〔4点〕〔5点〕では「どちらともいえない」、その他の幸福度では「ある程度あてはまる」が最も高くなっています。

単位：％		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ある程度あてはまる	非常にあてはまる	不明・無回答
全体 (n=1,419)		4.4	7.5	25.4	43.1	13.7	5.8
幸福度別	0点 (n=8)	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0
	1点 (n=11)	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1
	2点 (n=21)	23.8	28.6	33.3	9.5	4.8	0.0
	3点 (n=39)	15.4	15.4	38.5	20.5	5.1	5.1
	4点 (n=46)	13.0	15.2	34.8	32.6	2.2	2.2
	5点 (n=291)	5.8	10.0	35.7	34.7	7.6	6.2
	6点 (n=133)	2.3	8.3	32.3	44.4	9.8	3.0
	7点 (n=251)	1.6	8.0	25.9	51.0	10.0	3.6
	8点 (n=319)	3.1	3.4	18.8	55.5	15.7	3.4
	9点 (n=83)	2.4	3.6	15.7	56.6	19.3	2.4
	10点 (n=141)	1.4	4.3	15.6	39.0	36.9	2.8

問 31 自分らしい生き方に関する次の①から⑨の事柄について、どのようにお考えですか。

【①から⑨の項目それぞれについて1つに○】

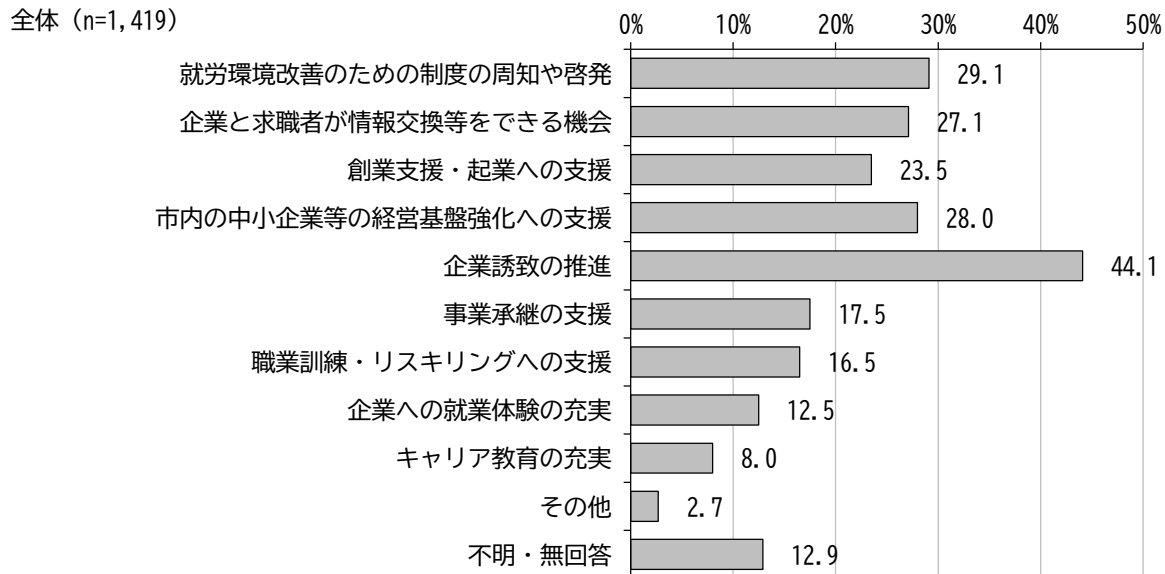
〔②身体的に健康な状態である〕〔③精神的に健康な状態である〕〔⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい〕では「ある程度あてはまる」、〔⑦暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい〕〔⑧暮らしている地域には、適切な収入を得るための機会がある〕では「あまりあてはまらない」、その他の項目では「どちらともいえない」が最も高くなっています。



5 働くことについて

問 32 雇用を創出・促進するために、どのような支援があるとよいと思いますか。【3つまで○】

「企業誘致の推進」が 44.1%と最も高く、次いで「就労環境改善のための制度の周知や啓発」が 29.1%、「市内の中小企業等の経営基盤強化への支援」が 28.0%となっています。



■クロス集計

職業別でみると、すべての職業で「企業誘致の推進」が最も高くなっています。

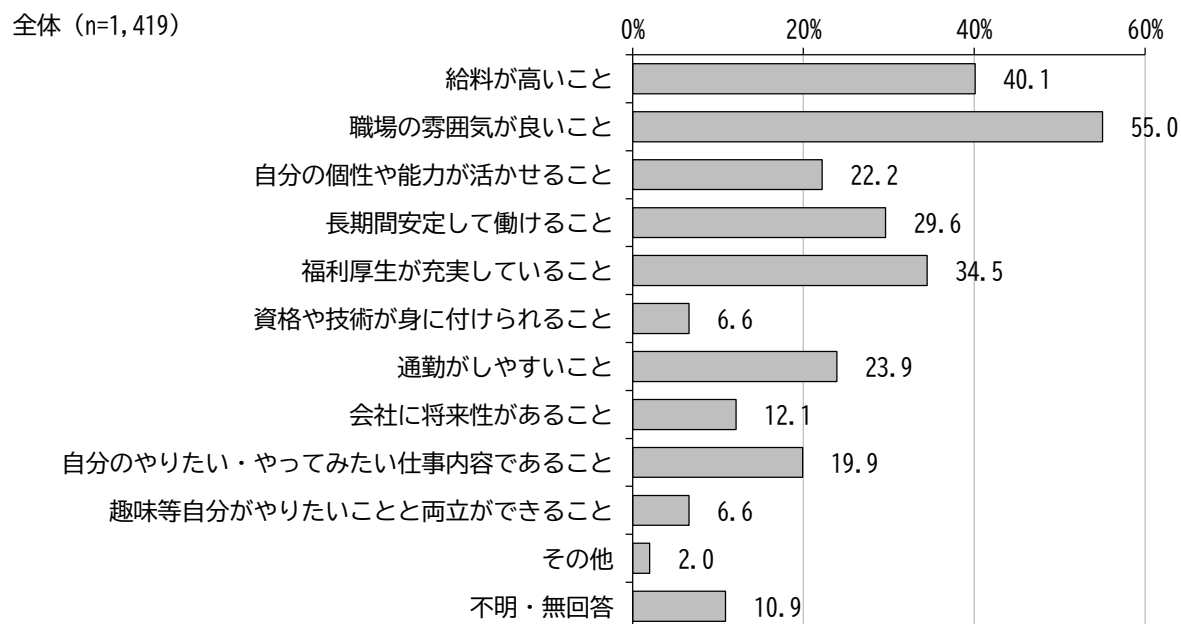
単位：%		制就 度の 環境 周知 改 善 の 啓 発 の た め の	換 企 業 と 求 職 者 が 会 情 報 交 換 の 機 会	援 創 業 支 援 ・ 起 業 へ の 支 援	営 市 内 の 中 小 企 業 等 の 支 援	企 業 誘 致 の 推 進	事 業 承 継 の 支 援	グ 職 業 へ の 訓 練 ・ リ ス キ リ ン グ	実 企 業 へ の 就 業 体 験 の 充 実	キ ャ リ ア 教 育 の 充 実	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,419)		29.1	27.1	23.5	28.0	44.1	17.5	16.5	12.5	8.0	2.7	12.9
職 業 別	農林水産業 (n=55)	21.8	14.5	32.7	30.9	45.5	29.1	9.1	9.1	3.6	3.6	20.0
	自営業 (農林水産業以外) (n=93)	26.9	22.6	29.0	32.3	48.4	35.5	11.8	9.7	3.2	1.1	7.5
	会社員・団体職員等 (n=353)	37.1	30.9	20.4	26.6	45.6	14.2	17.6	13.3	11.3	1.7	5.9
	公務員 (n=66)	28.8	21.2	31.8	31.8	54.5	27.3	16.7	10.6	15.2	6.1	3.0
	パート・アルバイト等 (派遣・嘱託・契約社員) (n=193)	36.3	30.1	20.2	25.4	36.8	12.4	26.4	13.5	8.8	1.6	8.3
	家事専業 (n=93)	23.7	26.9	29.0	31.2	34.4	19.4	20.4	14.0	4.3	2.2	18.3
	学生 (n=51)	35.3	35.3	27.5	21.6	41.2	17.6	7.8	23.5	21.6	5.9	2.0
	無職 (n=433)	21.2	26.3	22.9	28.6	44.3	16.2	12.9	11.3	5.1	3.2	21.9

【その他回答】

- ・福祉関連の仕事場の障がい者支援。雇用者や利用者の賃金 UP
- ・リモートワーカー誘致の環境を整える
- ・一部企業に偏らない様な支援
- ・家から出れない人間の為の内職の紹介
- ・賃金
- ・企業の賃金を市職員と同額にする
- ・協助の促進と補助
- ・労働者に対する基盤強化。支援
- ・耕作放棄地多々（有効活用して若者が共同。指導者がいない。高齢者常に草刈りに追われている）
- ・障がいのある子どもを預けるための福祉サービスの充実
- ・就労者の住宅支援
- ・就労継続支援事業所の増加
- ・障がい者が働きやすい場所があると良い
- ・リモートワークで暮らしやすい街作り
- ・若者を佐伯市に呼び戻す理由
- ・自然環境が抜群にいいのだから、リモートで仕事のできる大手会社などに場所の提供をアピール
- ・農家や個人事業主への支援を行うことで小さな雇用を守る
- ・大手企業に土地を売る
- ・人が雇用できるような企業が必要、どんなに反対されても人が生活してくれないと、意味がない
- ・海上自衛隊の基地化
- ・地元へ就職するメリット
- ・減税して手取りを増やす

問 33 あなたが仕事を選ぶ際に重要と思うことはどんなことですか。【3つまで○】

「職場の雰囲気が良いこと」が 55.0%と最も高く、次いで「給料が高いこと」が 40.1%、「福利厚生が充実していること」が 34.5%となっています。



■クロス集計

職業別でみると、すべての職業で「職場の雰囲気が良いこと」が最も高くなっています。

単位：%		給料が高いこと	職場の雰囲気が良いこと	自分の個性や能力が活かせること	長期間安定して働けること	福利厚生が充実していること	資格や技術が身に付けられること	通勤がしやすいこと	会社に将来性があること	自分のやりたい仕事内容であること・やってみたい仕事内容であること	趣味等自分がやりたいことと両立ができること	その他	不明・無回答
全体 (n=1,419)		40.1	55.0	22.2	29.6	34.5	6.6	23.9	12.1	19.9	6.6	2.0	10.9
職業別	農林水産業 (n=55)	40.0	52.7	20.0	36.4	27.3	5.5	16.4	9.1	29.1	3.6	3.6	16.4
	自営業 (農林水産業以外) (n=93)	43.0	54.8	36.6	15.1	21.5	12.9	21.5	17.2	25.8	9.7	1.1	6.5
	会社員・団体職員等 (n=353)	53.3	62.0	18.4	35.1	41.9	5.7	22.1	14.4	15.3	7.6	0.3	3.7
	公務員 (n=66)	51.5	54.5	31.8	33.3	40.9	0.0	19.7	18.2	21.2	10.6	1.5	1.5
	パート・アルバイト等 (派遣・嘱託・契約社員) (n=193)	44.0	70.5	11.9	32.1	35.8	1.6	38.3	6.2	20.2	6.2	2.1	5.7
	家事専業 (n=93)	33.3	60.2	21.5	24.7	38.7	7.5	20.4	4.3	24.7	4.3	1.1	12.9
	学生 (n=51)	52.9	62.7	21.6	29.4	35.3	3.9	17.6	5.9	25.5	11.8	2.0	5.9
	無職 (n=433)	26.1	42.5	24.2	27.9	30.5	9.7	22.4	13.6	18.0	5.3	3.9	20.1

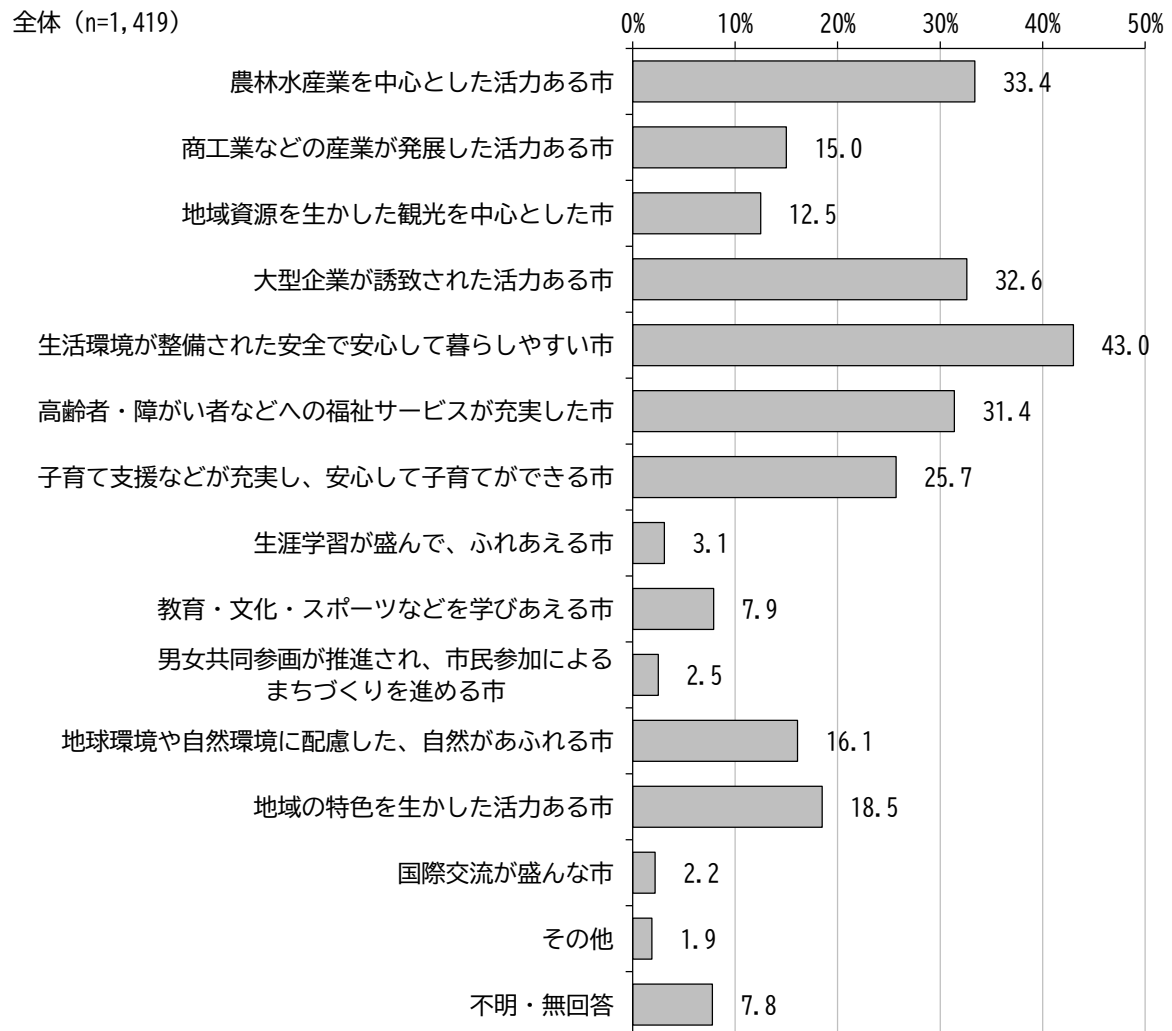
【その他回答】

- ・気持ち良く働かせてくれる、意外とない
 - ・どここの職場でもいじめがあるので、これ無くさないと思人が続かないと思う
 - ・納得のいく給料であること（高いことにこだわらない）
 - ・労働の負荷が軽く、心身の健康を害さない
 - ・生命の危険が少ない職業
 - ・信頼できる上司がいる事
 - ・可愛い人がいる事
 - ・心身の健康を損なわないこと
 - ・年金生活
 - ・休日が多いこと、残業がないこと
 - ・休みやすい
 - ・就業時間
 - ・子育てと両立できるか
 - ・ワークライフバランスがとれること
 - ・子供のことで急に休んでも理解があるかどうか
- など

6 佐伯市の将来の姿について

問 34 あなたが望む佐伯市の都市像（将来像）は、どのようなものですか。【3つまで○】

「生活環境が整備された安全で安心して暮らしやすい市」が 43.0%と最も高く、次いで「農林水産業を中心とした活力ある市」が 33.4%、「大型企業が誘致された活力ある市」が 32.6%となっています。



【その他回答】

- ・あまりかかわりすぎず、外国人が増えすぎない
- ・子供を産み育てやすい環境をつくる市
- ・街中心部の発展
- ・互いに批判のない町
- ・地元企業が元気な市
- ・人口半減するので厳しい
- ・歴史の保存
- ・自衛隊をもってくる
- ・人口が増えればよい
- ・CD をたくさん売っているお店があるまち
- ・若人が過ごしにくい…
- ・廃れていく
- ・何もなし
- ・交通インフラ
- ・地域共生社会
- ・若者が増加しなければ、高齢者では将来に希望が持てない。若者定住の施策が最優先課題である。
行政が住民の一人として意識を高め、公共事業として活動できるハードルを下げ、不安と共存する都市であってほしい
- ・海が近くても津波対策済、山間部でも災害対策済な都市
- ・どこまで効率よく少子化と人口減を受け入れていけるか
- ・大学を誘致して、外から若者が来る市。地元の若者が定着する市。外へ出て行かない市

■クロス集計

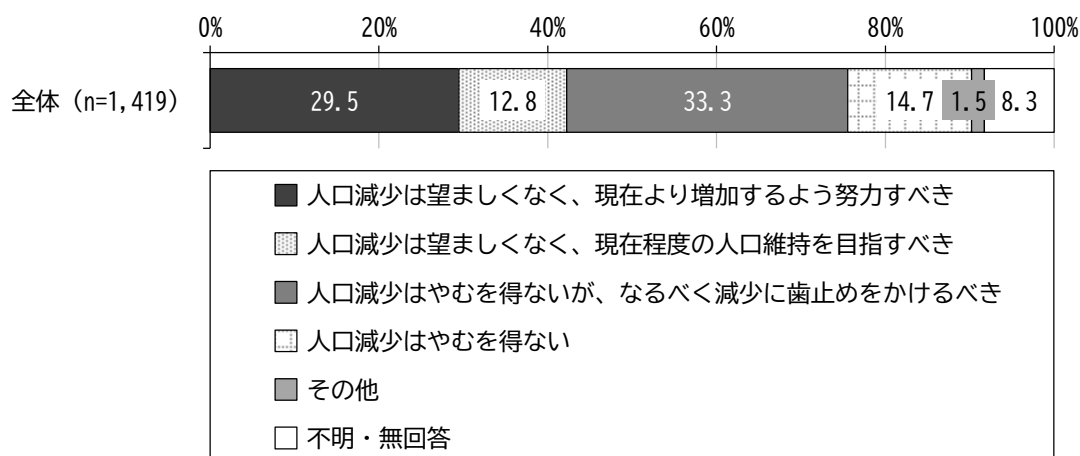
年齢別でみると、〔30 歳代〕では「子育て支援などが充実し、安心して子育てができる市」、〔40 歳代〕では「大型企業が誘致された活力ある市」、〔80 歳代以上〕では「高齢者・障がい者などへの福祉サービスが充実した市」、その他の年齢では「生活環境が整備された安全で安心して暮らしやすい市」が最も高くなっています。

単位：％		た農 活林 水産 業市 を中 心と し	展商 した 業活 力な どの 産業 が 発	光地 域中 心資 源を 生か した 観	活大 型企 業が 誘致 され た	や安 全で 安心 し暮 らした 市	生生活 環境 が整 備さ れた 市	実し た福 祉サ ービ スが 充	高 齢者 ・障 がい 者な ど	でし、 育て る安 心し て子 育が 充 実	れ生 涯学 習が 盛ん で、 心	な教 育・ 文化 ・ス ポー ーツ	ちれ づ、 男女 共同 参画 が推 進さ れる 市
全体 (n=1,419)		33.4	15.0	12.5	32.6	43.0	31.4	25.7	3.1	7.9	2.5		
年 齢 別	15～19歳 (n=41)	29.3	14.6	19.5	29.3	46.3	31.7	31.7	2.4	17.1	9.8		
	20歳代 (n=100)	36.0	20.0	12.0	26.0	47.0	14.0	30.0	1.0	14.0	5.0		
	30歳代 (n=130)	26.9	10.8	10.8	27.7	51.5	17.7	56.2	7.7	10.8	3.1		
	40歳代 (n=166)	31.9	18.7	12.0	42.8	42.2	30.7	38.6	2.4	7.8	1.8		
	50歳代 (n=212)	32.1	17.0	14.6	35.4	47.2	29.7	22.6	1.9	9.4	0.9		
	60歳代 (n=235)	29.8	11.1	14.5	32.3	43.4	32.8	18.7	1.7	7.7	0.9		
	70歳代 (n=262)	38.5	13.7	10.7	28.6	43.9	39.3	18.7	4.2	4.2	2.3		
	80歳代以上 (n=240)	36.3	15.4	12.5	33.3	32.5	40.4	15.8	3.3	5.8	3.8		

単位：％		れ配 る地 域市 環境 、自 然が 環境 にあ ふに	活地 域の 特色 を生 かした	国 際交 流が 盛んな 市	そ の 他	不 明・ 無回 答
全体 (n=1,419)		16.1	18.5	2.2	1.9	7.8
年 齢 別	15～19歳 (n=41)	9.8	19.5	2.4	2.4	2.4
	20歳代 (n=100)	17.0	15.0	6.0	0.0	2.0
	30歳代 (n=130)	23.8	16.9	1.5	1.5	2.3
	40歳代 (n=166)	12.0	15.1	3.6	3.6	2.4
	50歳代 (n=212)	17.5	17.0	2.4	3.8	3.3
	60歳代 (n=235)	17.0	21.7	1.7	1.7	10.6
	70歳代 (n=262)	15.3	22.5	1.5	0.8	11.1
	80歳代以上 (n=240)	12.9	14.6	1.3	0.8	15.0

問 35 佐伯市の人口減少について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。【1つに○】

「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が 33.3%と最も高く、次いで「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき」が 29.5%、「人口減少はやむを得ない」が 14.7%となっています。

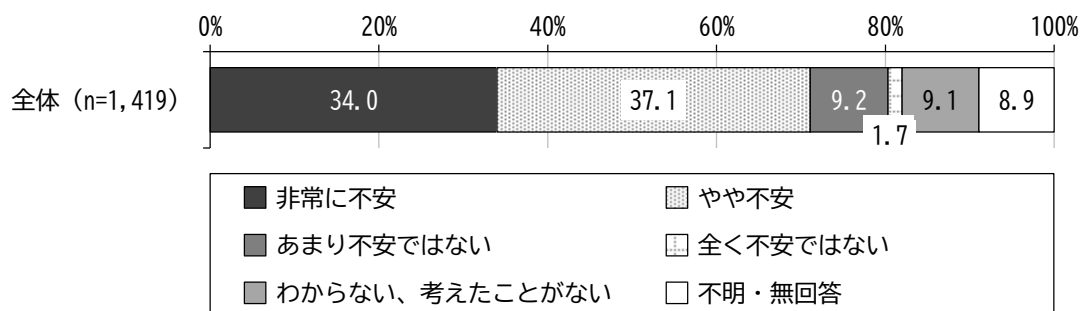


【その他回答】

- ・子どもも育てやすい。ゆとりがもてるような環境づくりから
- ・佐伯出身者でさえ市外、県外へ出ていくのだからやむを得ない
- ・手遅れ
- ・高齢者にもっと職場を
- ・佐伯市でおみあいイベント
- ・人口減少をおぎなえるかもしれないロボットに仕事を任せて快適な地方を目指すのはどう？快適なら人は集まる
- ・減少したなりにやっていく
- ・人口減少は望ましくなく、現在より緩やかに増加させるべき
- ・人口減少を逆に利用すべき。ここで暮らしている人たちをより大切にしてほしい
- ・大学を卒業した若者が帰って働ける場を作らなければ発展はない
- ・人口減少はやむを得ないが、海外の人で増加はちがう。
- ・人口減少を前提とした、効率よく無駄を省いたコンパクトシティを目指す。人口が多いことが善とする考えがおかしい
- ・当然の結果
- ・若者の仕事がない
- ・人口減少はのぞましくないが海外からの移住など増やすのは違うと思う。
- ・高齢化社会においては、人口減少は仕方がないとしても、増やす努力は必要と思います。
- ・資源を集約
- ・人口の減少に歯止めをかける取り組み、という形よりも今佐伯で暮らしている方が如何に豊かに充実した日々を過ごせるかを考える方が良い形となる気がします。また人口減少の5年後10年後を見据え、そのときに向けた公共サービスの形を整備・準備していく必要があると思います。

問 36 あなたは、佐伯市の人口減少が進むことに対して、将来の不安はありますか。【1 つに○】

「やや不安」が 37.1%と最も高く、次いで「非常に不安」が 34.0%、「あまり不安ではない」が 9.2%となっています。



■クロス集計

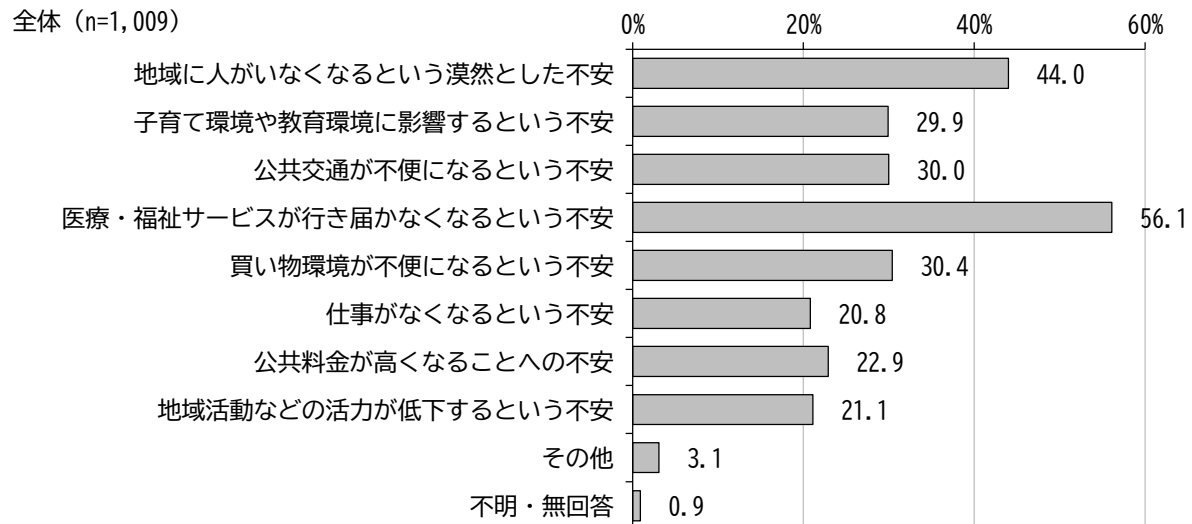
年齢別でみると、〔15～19 歳〕〔30 歳代〕〔40 歳代〕〔80 歳代以上〕では「非常に不安」、〔20 歳代〕〔50 歳代〕〔60 歳代〕〔70 歳代〕では「やや不安」が最も高くなっています。

単位：%		非常に不安	やや不安	あまり不安ではない	全く不安ではない	わからない、考えたことがない	不明・無回答
全体 (n=1,419)		34.0	37.1	9.2	1.7	9.1	8.9
年齢別	15～19歳 (n=41)	29.3	26.8	19.5	2.4	19.5	2.4
	20歳代 (n=100)	26.0	37.0	18.0	5.0	12.0	2.0
	30歳代 (n=130)	42.3	33.1	10.0	3.1	8.5	3.1
	40歳代 (n=166)	44.0	35.5	9.6	2.4	6.0	2.4
	50歳代 (n=212)	26.9	47.2	13.2	1.4	7.5	3.8
	60歳代 (n=235)	32.3	39.6	9.4	2.1	8.1	8.5
	70歳代 (n=262)	33.6	38.9	5.7	0.0	8.0	13.7
	80歳代以上 (n=240)	35.4	29.6	3.8	0.4	11.7	19.2

問 36 で「非常に不安」または「やや不安」を回答した方

問 37 市の人口減少について、どのようなことに不安を感じますか。【3つまで○】

「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が 56.1%と最も高く、次いで「地域に人がいなくなるという漠然とした不安」が 44.0%、「買い物環境が不便になるという不安」が 30.4%となっています。



■クロス集計

年齢別でみると、〔15～19 歳〕では「地域に人がいなくなるという漠然とした不安」、〔30 歳代〕では「子育て環境や教育環境に影響するという不安」、〔80 歳代以上〕では「地域に人がいなくなるという漠然とした不安」「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」、その他の年齢では「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が最も高くなっています。

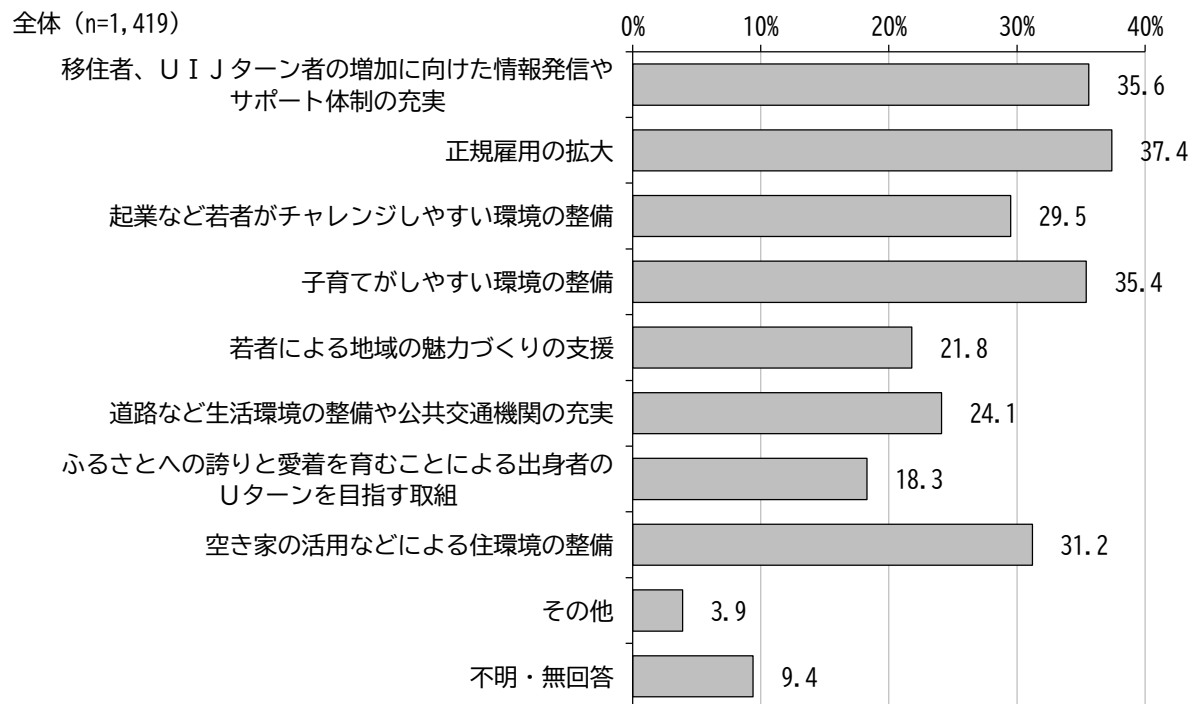
単位：％		と地域 いう人 が漠然 とした 不安	に子育 て環境 や教育 不安境	とい う交通 が不便 になる	う不安 行 き届か なくな るとい う不安	医療・ 福祉サ ービス が不安	買 い物環 境が不 便にな る不安	仕 事がない という 不安	公 共料金 が高くな る不安	地 域活動 などの活 力低下 する不安	その他	不明・ 無回答
全体（n=1,009）		44.0	29.9	30.0	56.1	30.4	20.8	22.9	21.1	3.1	0.9	
年 齢 別	15～19歳（n=23）	52.2	47.8	8.7	43.5	13.0	34.8	4.3	30.4	8.7	0.0	
	20歳代（n=63）	34.9	38.1	27.0	44.4	22.2	28.6	25.4	15.9	3.2	1.6	
	30歳代（n=98）	31.6	59.2	17.3	36.7	28.6	35.7	15.3	21.4	6.1	0.0	
	40歳代（n=132）	36.4	37.9	28.0	53.0	25.0	25.8	22.7	21.2	4.5	0.8	
	50歳代（n=157）	35.0	26.1	31.8	59.9	33.1	25.5	28.0	16.6	2.5	1.3	
	60歳代（n=169）	49.7	24.3	35.5	58.0	30.2	17.2	23.7	24.3	1.2	0.6	
	70歳代（n=190）	47.9	21.1	35.3	67.4	30.0	12.6	24.2	24.2	2.6	0.5	
	80歳代以上（n=156）	57.1	21.2	29.5	57.1	38.5	12.2	19.2	19.9	2.6	1.9	

【その他回答】

- ・外国人の増加によって安全に思えなくなる
- ・日本人がいなくなるのではないかという不安（外国人が増えているからだ）
- ・外国人が増えるのはちょっと…
- ・人口減少なのに海外人増加に対する治安の悪化に不安。
- ・個人の負担（税等すべて）が大きくなること
- ・税収の減少、つまり公共サービスの低下、自治体の破産
- ・税収が減って市の財政が大変になる。
- ・障がい基礎年金が貰えなくなるのではという不安
- ・税収負担
- ・人口減少により税収減など様々な悪影響が出る
- ・現産業の維持ができるのか
- ・大きい会社がない。自衛隊の町にする
- ・あまり活気が無いとさみしいし、観光人気もある程度必要。大きい会社が来て他市町村、他県からの移住、佐伯市民も働く場として助かるので、誘致努力は必要だと思う。
- ・8戸で30人いた地区が2戸で3人になっています。あと20年もすれば地区はなくなってしまうと思います
- ・空き家が多くなり不用心である
- ・地価の下落
- ・若者の定住減が心配
- ・子育ての環境は良いのに、せっかく育てた子が戻って来られない、帰って来ても定住できない
- ・高校がなくなる。
- ・高齢化により医療の負担は増えるのに働き手がいなくなり、医療従事者の人数不足で厳しい働き方になる
- ・市として全てのことが機能しなくなるという不安
- ・万事に活力がなくなる
- ・地球という財産の喪失（人、産業、文化）陸の孤島化
- ・佐伯市が減ること
- ・生活が地域で完結しなくなる不安
- ・サービスの質や活力が減るのは二の次で人が居なければお金巡らず、消費がないので地域から撤退する企業が増える。結果より多くの人口減に繋がる
- ・ほとんどあてはまる
- ・選択肢にある医療、公共交通、仕事の減少などは、すべてが連動して起こる地続きの問題であり、特定の項目だけを選ぶことはできません。どれか一つが欠ければ生活は成り立たず、すべてに不安を感じています。個別の問題として切り離すのではなく、市全体が縮小していく構造そのものへの対策を求めます。

問 38 転出者数の抑制及び移住促進のために、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。
【3つまで○】

「正規雇用の拡大」が 37.4%と最も高く、次いで「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が 35.6%、「子育てがしやすい環境の整備」が 35.4%となっています。



■クロス集計

年齢別でみると、〔15～19 歳〕〔20 歳代〕〔30 歳代〕では「子育てがしやすい環境の整備」、〔40 歳代〕〔50 歳代〕では「正規雇用の拡大」、〔60 歳代〕〔70 歳代〕〔80 歳代以上〕では「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、〔佐伯地区〕〔佐伯東地区〕〔下堅田地区〕〔蒲江地区〕では「正規雇用の拡大」、〔渡町台地区〕〔弥生地区〕〔わからない〕では「子育てがしやすい環境の整備」、〔西上浦地区〕〔木立地区〕〔上浦地区〕〔本匠地区〕では「空き家の活用などによる住環境の整備」、〔青山地区〕では「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」「子育てがしやすい環境の整備」「空き家の活用などによる住環境の整備」、〔直川地区〕では「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」「正規雇用の拡大」、〔鶴見地区〕では「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」「道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実」、〔米水津地区〕では「道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実」「空き家の活用などによる住環境の整備」、その他の居住地区では「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が最も高くなっています。

単位：％		ポ増移 ト加住 体向者、 制けたU のたI 充情J 実報ター 信ン者 やサの	正 規 雇 用 の 拡 大	し起 や業 すな いど 環若 境者 のが 整チ 備ヤ レ ン ジ	備子 育て がし やす い環 境の 整	り若 の者 支に 援よ る地 域の 魅 力 づ く	公道 共路 交な 通ど 機生 関活 の環 充境 実の 整 備 や	タ育 ムふ ィんこと をさ 目と 指へ すの 取誇 組り 身と 者愛 の着 を	環空 境さ の家の 整活用 備など による 住	そ の 他	不 明・ 無回 答
全体 (n=1,419)		35.6	37.4	29.5	35.4	21.8	24.1	18.3	31.2	3.9	9.4
年 齢 別	15～19歳 (n=41)	24.4	34.1	34.1	46.3	34.1	17.1	41.5	31.7	2.4	2.4
	20歳代 (n=100)	28.0	36.0	26.0	44.0	21.0	36.0	15.0	27.0	6.0	3.0
	30歳代 (n=130)	32.3	39.2	26.2	54.6	23.1	17.7	17.7	23.8	9.2	4.6
	40歳代 (n=166)	33.1	51.8	32.5	45.2	20.5	24.7	15.7	30.1	6.0	1.2
	50歳代 (n=212)	35.8	42.5	27.4	33.5	20.3	29.2	12.3	30.7	5.2	7.5
	60歳代 (n=235)	41.3	39.1	25.1	29.8	19.6	25.1	17.4	38.3	2.1	8.9
	70歳代 (n=262)	38.5	32.4	34.4	30.5	23.3	23.3	17.9	35.9	1.5	13.4
	80歳代以上 (n=240)	35.4	28.3	30.0	26.7	23.3	19.2	24.2	27.5	2.5	18.3

単位：％		ポ ー ト 増 加 に 向 け た 情 報 発 信 や サ イ タ ー ン 者 の 充 実	移 住 者 、 U I J タ ー ン 者 の サ イ タ ー ン 者 の 充 実	正 規 雇 用 の 拡 大	し や す い 環 境 の 整 備	起 業 な ど 若 者 が チ ャ レ ン ジ	備 子 育 て が し や す い 環 境 の 整 備	若 者 に よ る 地 域 の 魅 力 づ く の 支 援	公 道 路 な ど 生 活 環 境 の 整 備 や 公 共 交 通 機 関 の 充 実	タ ー ン を 目 指 す 取 組 み の 充 実	ふ る さ と へ の 誇 り と 愛 着 を 育 む こ と に よ る 出 身 者 の サ イ タ ー ン 者 の 充 実	環 境 の 整 備	空 き 家 の 活 用 な ど に よ る 住 民 の 利 便 さ の 提 高	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=1,419）		35.6	37.4	29.5	35.4	21.8	24.1	18.3	31.2	3.9	9.4				
居 住 地 区 別	佐伯地区（n=255）	32.9	42.0	28.2	33.3	23.5	25.1	19.6	26.7	6.7	7.8				
	渡町台地区（n=150）	36.0	41.3	28.7	45.3	19.3	20.0	20.7	28.7	4.0	7.3				
	佐伯東地区（n=44）	31.8	47.7	31.8	36.4	27.3	11.4	11.4	22.7	2.3	15.9				
	上堅田地区（n=84）	40.5	36.9	26.2	35.7	22.6	15.5	20.2	34.5	3.6	14.3				
	鶴岡地区（n=168）	37.5	35.1	26.8	35.1	22.0	27.4	17.3	32.7	1.8	7.1				
	大入島地区（n=16）	43.8	18.8	31.3	18.8	25.0	31.3	25.0	37.5	0.0	18.8				
	八幡地区（n=56）	50.0	32.1	33.9	28.6	21.4	25.0	21.4	30.4	3.6	5.4				
	西上浦地区（n=18）	55.6	33.3	16.7	55.6	11.1	16.7	5.6	66.7	0.0	5.6				
	下堅田地区（n=57）	38.6	43.9	42.1	35.1	22.8	19.3	14.0	26.3	5.3	7.0				
	青山地区（n=12）	33.3	25.0	33.3	33.3	8.3	25.0	0.0	33.3	8.3	25.0				
	木立地区（n=35）	25.7	40.0	40.0	28.6	31.4	25.7	20.0	42.9	0.0	8.6				
	上浦地区（n=41）	26.8	36.6	19.5	29.3	17.1	24.4	12.2	53.7	4.9	9.8				
	弥生地区（n=130）	32.3	41.5	30.8	44.6	25.4	20.0	18.5	30.0	6.2	3.8				
	本匠地区（n=25）	20.0	24.0	32.0	36.0	24.0	28.0	28.0	44.0	0.0	12.0				
	宇目地区（n=40）	45.0	30.0	22.5	37.5	27.5	15.0	25.0	30.0	0.0	15.0				
	直川地区（n=54）	37.0	37.0	25.9	31.5	14.8	25.9	14.8	33.3	0.0	20.4				
	鶴見地区（n=57）	38.6	36.8	35.1	22.8	28.1	38.6	28.1	26.3	3.5	1.8				
	米水津地区（n=27）	25.9	25.9	22.2	33.3	11.1	37.0	7.4	37.0	7.4	22.2				
	蒲江地区（n=102）	31.4	32.4	31.4	31.4	20.6	30.4	13.7	30.4	2.9	13.7				
	わからない（n=11）	45.5	27.3	18.2	63.6	9.1	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1				

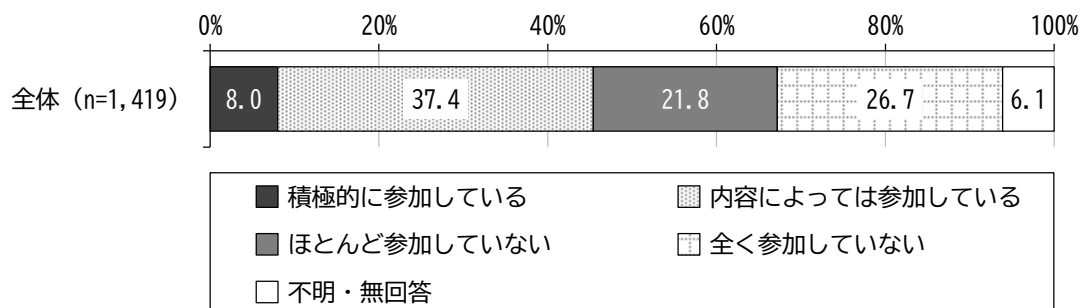
【その他回答】

- ・企業誘致（大企業、有名企業の誘致を含む）（10）
- ・コストコ、トライアル、イオンモールなどの商業施設の誘致（2）
- ・ひとり親（親と同居で親の所得が高くて）への手厚い支援
- ・他県、都会は収入が多い、単価がちがう、これをうめる
- ・九州圏外との協力
- ・働く場所づくり
- ・全世代が安心して暮らせる持続可能な街づくりへの尽力。※移住在住関係なく
- ・高賃金
- ・不妊治療を経験しました。佐伯→大分市内まで通院が大変。佐伯市内でできたらと何度も思いました
- ・住んでいない人の不動産等への責任を明確にして、追及してほしい。転出者は地域に残したゴミについて責任を取ってもらいたい
- ・仕事と住居、子育てをしやすいという環境を整える。外国との交流にも力を入れ、海外留学せずとも英語が身につく環境をつくり、国内留学できたらいいと思う（市外の学校に通わせようとか思わない）
- ・介護施設の充実、移住したくなる環境づくり、大分県府までの特急電車費 1/10
- ・ブルーワーカーの給与の低さ & 休日の少なさ
- ・農業への会社参入による農地の積極的活用
- ・就職先が充実していること
- ・地域の特色を生かした産業の育成
- ・いろんなジャンルの商業施設。大分市に行かなくてもいい。イオン等、仲町商店街の活性化
- ・高校以上の学校の誘致
- ・多種多様な企業
- ・市営住宅等の家賃が高すぎる
- ・不可能
- ・CD を売る
- ・リモートワークがしやすい環境の整備
- ・市は転出の理由を正しく把握分析する
- ・平均以上で安定した収入を得ることが出来る職場
- ・遊び場
- ・大きい会社を何個もつくる。
- ・高校とか卒業したまま、佐伯市で仕事ができる起業勧誘
- ・給与水準を上げることと、子育て世帯に限らずプライベートの時間をきちんと確保できること。
- ・海上自衛隊の基地化
- ・福祉が充実している
- ・道路以外の公共交通の充実=>観光客、高齢者、子供の移動手段の確保
- ・若者が暮らしやすい環境整備(公共交通、住環境)、事業承継の積極的支援
- ・多額の移住支援金
- ・独身世代にも利点があるような仕組みづくり
- ・寛容な風土の醸成
- ・居心地が良くなるよう地域の雰囲気を温かくする

7 地域活動・社会参画について

問 39 あなたは、地域や様々なグループで行われる地域活動に参加していますか。【1つに○】

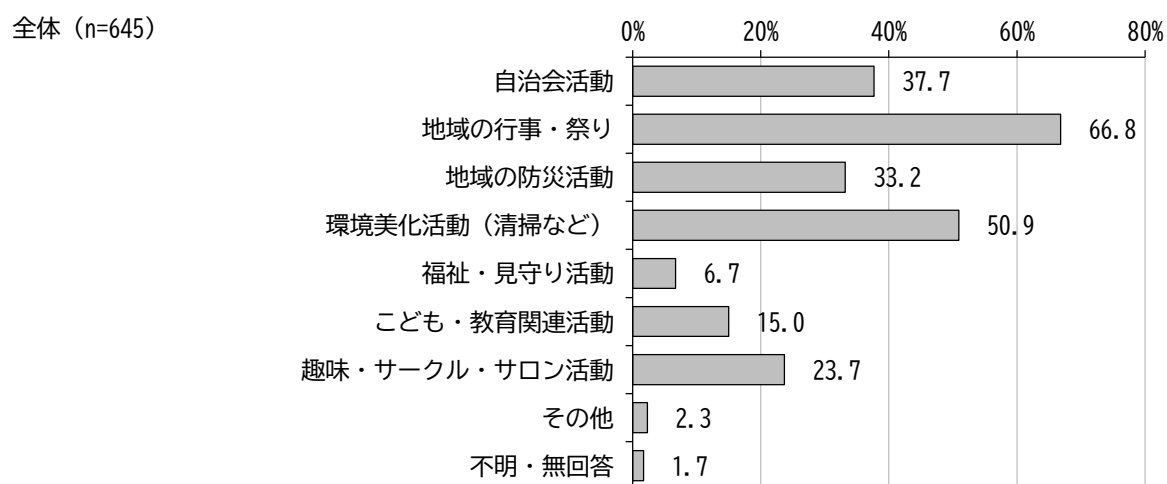
「内容によっては参加している」が37.4%と最も高く、次いで「全く参加していない」が26.7%、「ほとんど参加していない」が21.8%となっています。



問 39 で「積極的に参加している」または「内容によっては参加している」と回答した方

問 40 あなたは、どのような地域活動に参加していますか。【あてはまるものすべてに○】

「地域の行事・祭り」が66.8%と最も高く、次いで「環境美化活動（清掃など）」が50.9%、「自治会活動」が37.7%となっています。



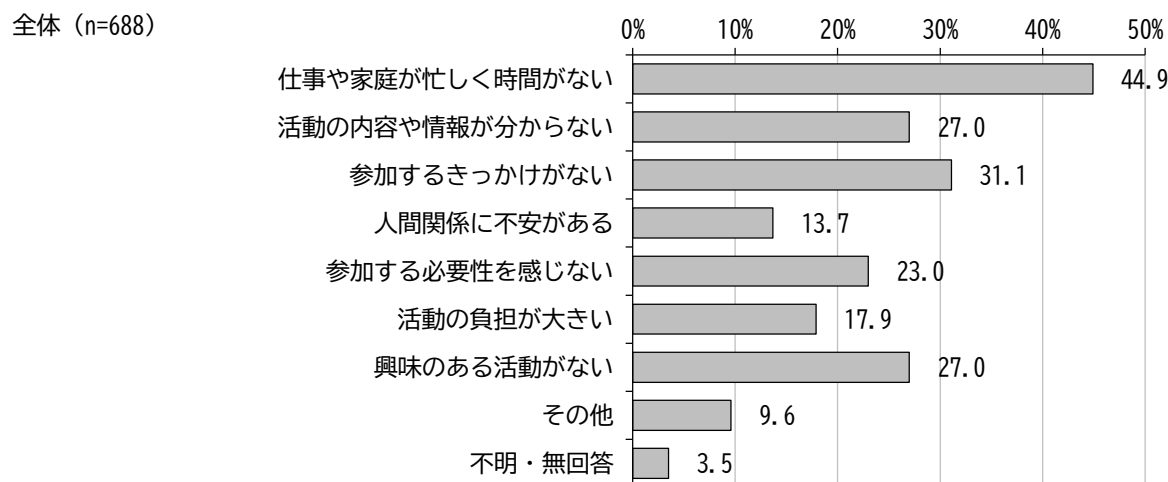
【その他回答】

- ・ ボランティア活動（2）
- ・ スポーツ推進
- ・ 老人会 GG 参加しています
- ・ まちづくりグループ
- ・ 体操教室
- ・ グラウンドゴルフ
- ・ さくら猫の活動
- ・ スポーツイベント
- ・ 生涯学習教室
- ・ 国際交流

問 39 で「ほとんど参加していない」または「全く参加していない」と回答した方

問 41 地域活動にあまり参加していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「仕事や家庭が忙しく時間がない」が 44.9%と最も高く、次いで「参加するきっかけがない」が 31.1%、「活動の内容や情報が分からない」「興味のある活動がない」が 27.0%となっています。

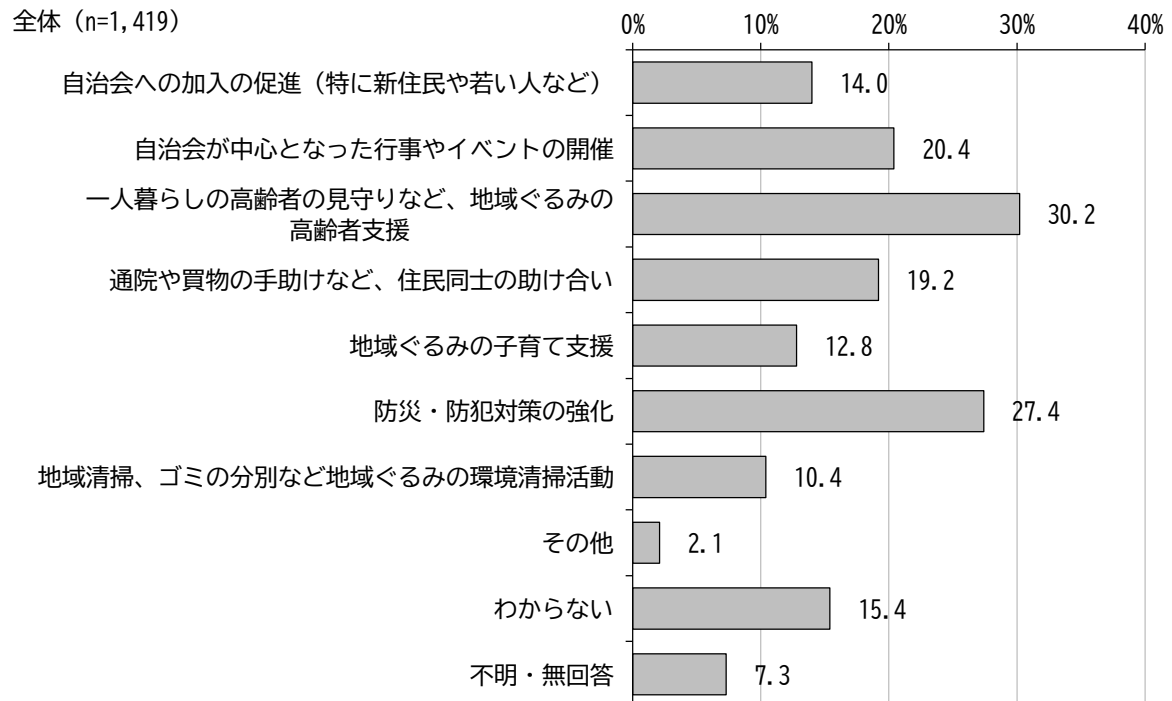


【その他回答】

- ・ 高齢の為 (18)
- ・ 交通手段 (移動手段) がないから (3)
- ・ 介護中のため (介護で家から出られない) (2)
- ・ 老人ばかりで動ける人が少ない
- ・ 体力的に無理
- ・ 耳が遠く足が悪いため
- ・ 参加したくない
- ・ 目が見えないから参加しない
- ・ 病弱
- ・ 心身の健康に不安がある
- ・ 90 歳のおばあさんで子供から止められる
- ・ 学校が忙しいため
- ・ 県外で暮らしている
- ・ 保守的で差別的なところが、古い考えの男共が嫌い
- ・ 仕事がシフト制で一ヶ月前には翌月のシフトが出る。また、日開催が多い気がする。基本、平日が休みなもので出れない
- ・ 米寿今まで頑張りました。運動普及推進員、民生委員等、頑張らせて頂きました (15 年間)。ありがたい今まででした。
- ・ 体調が良くない (6)
- ・ 足腰が悪い (痛い) (4)
- ・ つれあいが参加している (3)
- ・ 体が悪い為 (2)
- ・ 夫婦ともに足腰の病気の為
- ・ 仕事の疲れで休息
- ・ 体調のコントロールが難しい
- ・ 年齢と体調
- ・ 健康面の不安
- ・ 体の負担
- ・ 身体不如意
- ・ 病氣療養中
- ・ 部活が忙しい

問 42 あなたは、地域のコミュニティや自治会を活性化させるために重要だと思うことは何だと思いますか。【2つまで○】

「一人暮らしの高齢者の見守りなど、地域ぐるみの高齢者支援」が 30.2%と最も高く、次いで「防災・防犯対策の強化」が 27.4%、「自治会が中心となった行事やイベントの開催」が 20.4%となっています。

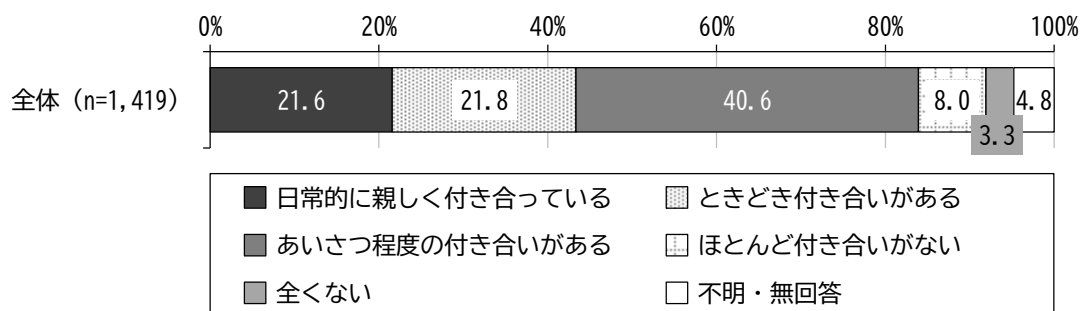


【その他回答】

- ・自治会活動が活性化したほうが良いという意識をもたせること
- ・可能な限りの負担の軽減
- ・自治会のあり方の見直し（新住民、若い人でもだが、高齢を理由におしつけられても困る）。
- ・自治会の若返り
- ・①～⑦まで出来ていないのに自治会が必要ですか？
- ・高齢化し過ぎで活動自体難しいのではないかと思います、それでも地域活動が必要ですか？
- ・若者の意見を反映し、時代に合わない古い慣習や謎ルールを撤廃すること。そして、活動が無報酬の義務にせず、負担に応じた適正な対価を支払う仕組みを作ること。
- ・自治会の民間委託
- ・地域コミュニティ活動への支援に参加
- ・老人など自助ではどうにもならない生活の苦勞に協働で取り組むことを応援してほしい（人的、金銭的）
- ・自由に使える居場所の誘致。テーマなしの地域住人交流会の開催
- ・加入促進や見守り、支援、助け合い等への導く方法を考える
- ・普段の日常のなかで互いに挨拶をする習慣
- ・他から見て、加わりたいと思わせる魅力
- ・重要性を感じない
- ・住民の負担になるので何もしないほうがいい
- ・人間関係
- ・高齢化率の低下
- ・若者を増やす！としか言いようがない
- ・地域住民それぞれの幸福度の向上
- ・大分エコセンターみたいな使用できる不用品のリサイクル、ゆずり合いができる場所が欲しい
- ・市営、県営住宅の家賃を下げてほしい
- ・窓口を1つにする
- ・他県の活気がある都市や町に市の上層部等が積極的に視察して参考にするべき
- ・合併での運営検討の呼びかけ

問 43 あなたは、日頃の程度近所や地域の人と付き合いがありますか。【1つに○】

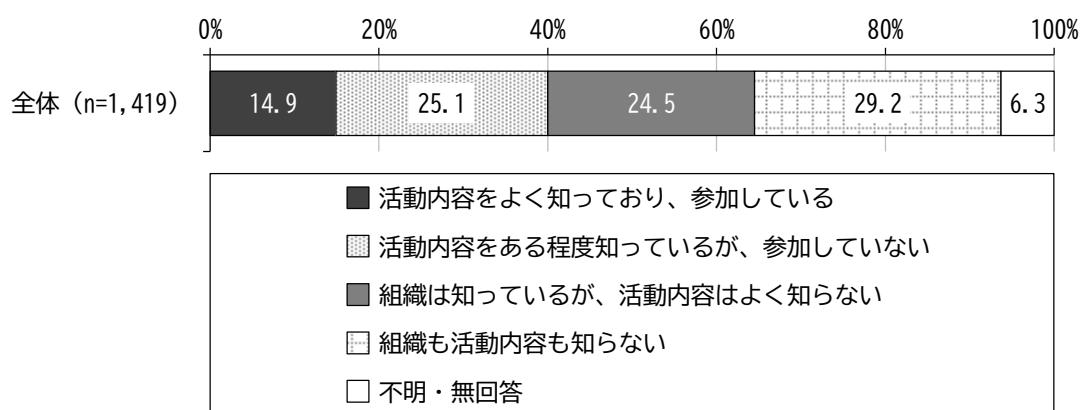
「あいさつ程度の付き合いがある」が40.6%と最も高く、次いで「ときどき付き合いがある」が21.8%、「日常的に親しく付き合っている」が21.6%となっています。



問 44 あなたは、お住まいの地域にあるコミュニティ組織について、どの程度知っていますか。

【1つに○】

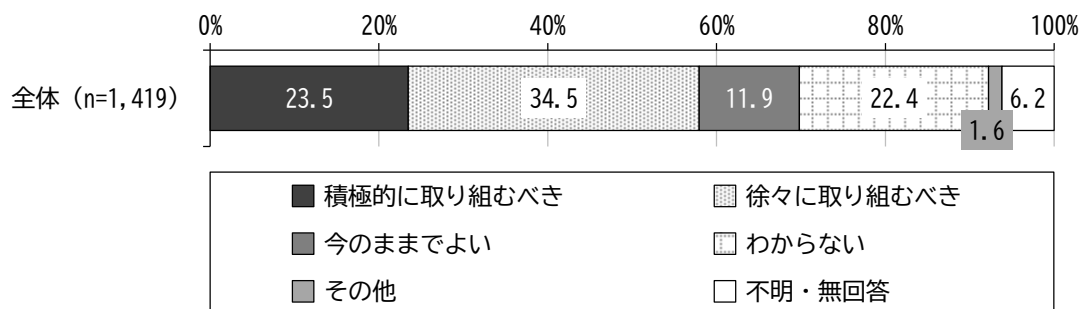
「組織も活動内容も知らない」が29.2%と最も高く、次いで「活動内容をある程度知っているが、参加していない」が25.1%、「組織は知っているが、活動内容はよく知らない」が24.5%となっています。



8 デジタル技術の活用について

問 45 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取組について、どのようにお考えですか。【1つに○】

「徐々に取り組むべき」が34.5%と最も高く、次いで「積極的に取り組むべき」が23.5%、「わからない」が22.4%となっています。



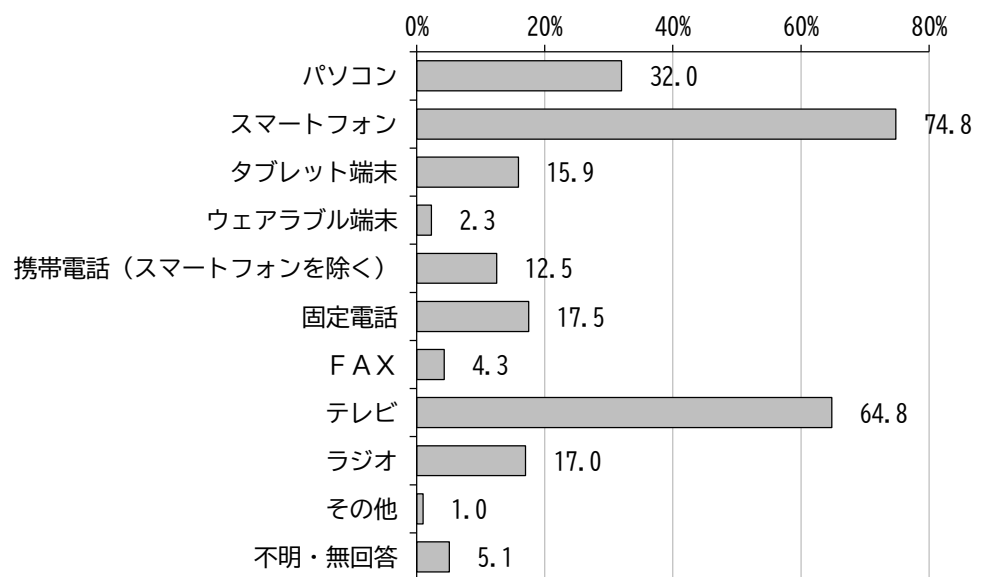
【その他回答】

- ・高齢者には大変に難しい（3）
- ・取り組むべきと思うがついて行けない
- ・老人は携帯電話の取り扱いが出来ない。行政で指導してくれる窓口が望ましい
- ・取り扱いが出来ない人が多いと思う
- ・デジタル活用できる人とできない人の二極化ができそう
- ・全部デジタル化したときに、できる人とできない人がいるので、アナログとデジタルのハイブリッド
- ・高齢者が無理なく利用出来るデジタル化にして頂きたい
- ・高齢者に対するサポートを確実にしつつ、便利で手軽な制度にしてほしい
- ・高齢者のことも考えてほしい
- ・デジタル化は行政の為か？市民が便利で使い易さが無いとダメ
- ・高齢者に優しい自治体であってほしい
- ・タブレットなど配るのであれば
- ・逆にどの程度使われているのか知りたい

問 46 あなたが日常的に利用している情報通信機器は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「スマートフォン」が74.8%と最も高く、次いで「テレビ」が64.8%、「パソコン」が32.0%となっています。

全体（n=1,419）

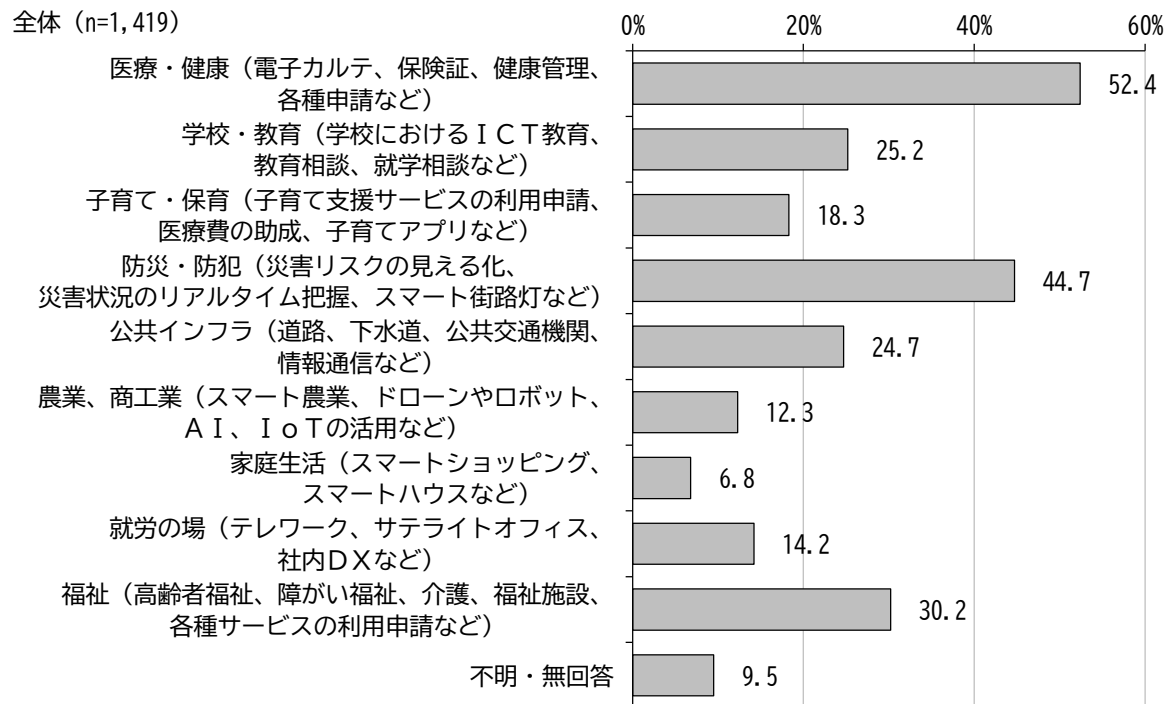


【その他回答】

- ・新聞（4）
- ・市報等書面が一番良いと思う
- ・ケーブルテレビ
- ・ユーチューブ

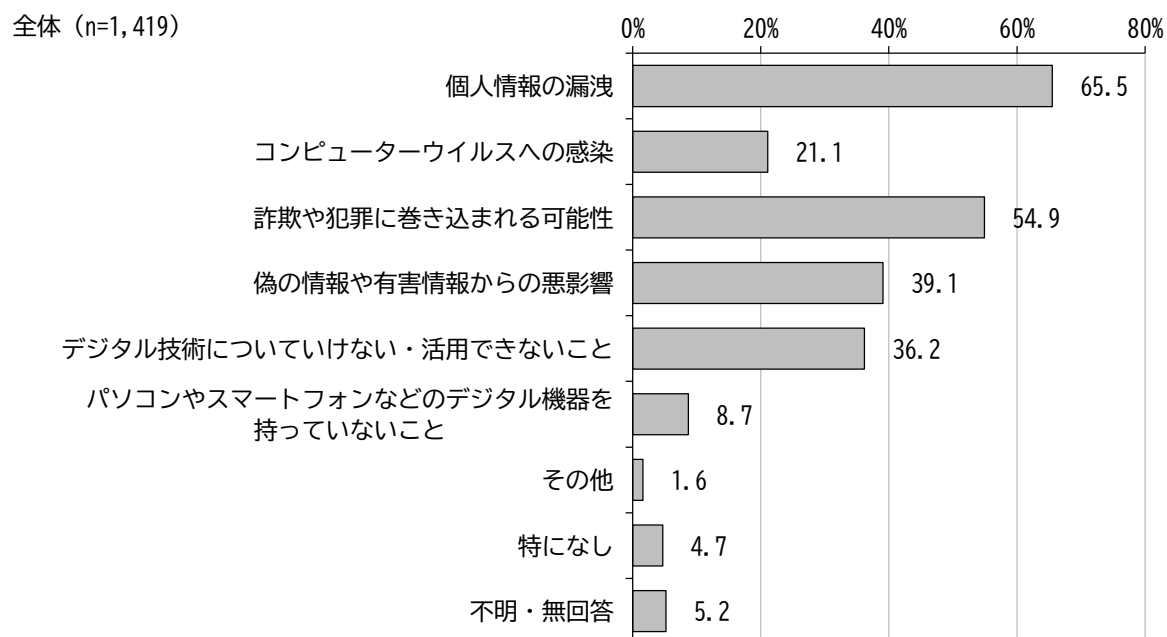
問 47 今後、佐伯市で特にデジタル技術の導入など、デジタル化の推進が必要だと思う分野は何ですか。【3つまで○】

「医療・健康（電子カルテ、保険証、健康管理、各種申請など）」が 52.4%と最も高く、次いで「防災・防犯（災害リスクの見える化、災害状況のリアルタイム把握、スマート街路灯など）」が 44.7%、「福祉（高齢者福祉、障がい福祉、介護、福祉施設、各種サービスの利用申請など）」が 30.2%となっています。



問 48 あなたは、社会のデジタル化が進む中で不安に思うことはありますか。【3つまで○】

「個人情報の漏洩」が 65.5%と最も高く、次いで「詐欺や犯罪に巻き込まれる可能性」が 54.9%、「偽の情報や有害情報からの悪影響」が 39.1%となっています。



【その他回答】

- ・高齢者はスマホを持っていない人がいます。デジタル化は高齢者にはやさしくありません。
- ・年老いて操作が出来なくなる
- ・デジタル化は良いがついて行けない。教室等教育してほしい（振興局等で）。
- ・高齢者には難しいかと思う
- ・高齢者がついていけるか心配
- ・目の健康
- ・能力低下
- ・なぜデジタルが必要なのか、どの様に考えているのか知りたい
- ・任意という名のマイナンバーの強制感
- ・デジタル化を豊かさにつなげられていない
- ・過去の情報が保存されなくなる
- ・停電時の対応
- ・AI による仕事の移行（AI で代替できる仕事が多くなるので、人間が働く仕事を柔軟に変える必要がある→リスキリングや転職などの環境整備ができていない）

問 49 佐伯市の発展に向けて、大切にしたいキーワードは何ですか。【具体的に下の枠内に3つまで記入】

回答一例	
1.「自然環境・食・地域資源」関連	
豊かな自然	養殖の魚
絶景(城山)&絶品(寿司)パッケージ	魚(料理・魚釣り・土産)
佐伯の豊かな自然と風土を大切にすること	海、山、川
自然環境の保全と地場産業の育成	海の幸・山の幸
鰻	自然環境を資源とした、企業や世界進出
自然と豊かな恵みを体験(キャンプ、旅行)	自然(海山川)の景観を楽しめる観光
地産地消	海の恵み(魚貝エビなど)を生かした料理屋
食材や特産品のアピール	うまいものがたくさんあるまち
佐伯寿司	海産物(その加工品)
食とオーガニック	森林
食のブランド化	地域の特性を活かした取組
ユネスコエコパーク	人に自慢できる自然景観
大自然の活用	温暖な地域性の活用
桜	アウトドア
食のアピール(魚)	特産品
佐伯の強みを活かす(魚が美味しいところ、自然)	など

回答一例	
2.「子育て・教育・次世代育成」関連	
子どもファースト(子どもの教育費、医療費支援)	子育て支援で子育てしやすい町に。人口減少を防ぐ。
子どもたちがいつでも自由にボール遊びができる広場	大学校、専門学校創設
子供を心やす	子どもが帰ってこれる町
市からの出産祝い	豊かな教育環境
子どもを大事に	子どものいる女性が働きやすい職場
若者の育成	幼小中教育の質の充実
子育てしやすい(公園が増えて欲しい)	子供が楽しめるイベント
子ども、お年寄り、障がい者に優しい社会	教育
教育基盤の強化	子育て支援の拡大
若い世代への支援	子どもの見守り
来たい。と思える公園や施設を作る。	子どもの居場所
子どもたちに質の高い教育を。	安心子育て
学校は紙に書く教育も大事	子供達の教育をもう少し高度にする事
子供が楽しめるイベント	1人でも多く子供が生まれてくる市でありたい
子供を産み、佐伯で育てて行きたいと思える支援の充実	
出産したい、子どもたちと一緒に住みたいと思える街づくり	など

回答一例	
3. 「企業誘致・雇用・産業振興」関連	
企業誘致して働く場所を作る	農業の法人化
若者が定住できる魅力的な就労環境	安定した就職
造船のみに頼らない企業誘致等	1.5 次産業
仕事、雇用	商店街の発展（活性）
農林水産業の振興	稼げる普通に暮らせる幸せな町作り
一次産業の発展	若者を惹きつける仕事の提供
働ける大きな工場	障がい者の福祉、雇用の充実
就業率日本一	高齢者に職場
林業の発展	賃金上昇
起業	就労場所の提供
リモートワーク	就労環境の整備(所得向上)
産業基盤整備	大手企業や中小企業が増えること
就労環境	新産業創生
ロボット革命	大企業の誘致や地場産業強化による雇用と収入の安定化
働く場所（Uターンしたい若者は多いが働く場所がない）	
若者の働き場の確保（孫が大学を出て帰っても働き場所がない）	など

回答一例	
4. 「人口減少対策・移住・定住」関連	
人口減少（歯止め）	若者の流出を防ぐ
佐伯市に移住する取組	新しい仲間を受容れる寛容さ
U・I ターン促進	若者定住・定着
浦の再活性	人口維持
集落の疲弊除去	交流人口の増加
若者の移住支援	限界集落
過疎化	若者が帰ってくる町づくり
若者が他に出ていなくて良いように	住みやすい
移住の促進	Uターン者
若い人が佐伯で働けるような市にしたい	佐伯市以外からの移住者を増やす
移住者への支援	活気のある市街
便利な市	若い家族の定着（従業員等）
持続可能性	市外へのアピール
出生率 UP	若者が住みたくなる佐伯市へ
大学卒業後に戻って来る若者が増える	若者の増加
若者が他に出ていなくて良いように	佐伯市に移住する取組
魅力のある佐伯へ	など

回答一例	
5. 「生活インフラ・交通・商業利便性」関連	
公共交通の充実（電車・コミュニティバス）	市外に出なくても市内で満足できる様な施設や遊び場
人を呼べる商業施設をつくる	（公共）交通機関の整備、充実
アクセス	コンパクトシティ
インフラ（整備）	買い物難民0
商店街の発展（活性）	高速道路
新幹線	商業（の発展）
どこでもワイファイ可	サイゼリアとバーミヤンの出店
ドン・キホーテ出店	ラーメン、うどん等麺類チェーン店の誘致
JR、バス等、大分市への交通面の改良	商業施設の整備
道路の整備	歩道の整備
交通インフラ整備	集う所
アミュプラザ佐伯駅	スターバックス
生活インフラの確保	港湾整備
交通機関	デジタル化
1人暮らしになると、買物に行けなくなるので移動販売等を増やしてほしい など	

回答一例	
6. 「福祉・医療・防災・安心安全」関連	
医療、健康（マイナンバーチェック）	災害に強いまちづくり
高齢者の自立支援のまちづくり	医療機関、体制の充実
子ども、お年寄り、障がい者に優しい社会	介護の充実
介護のキツさの改善を望む（金銭的、精神的、肉体的）	高齢者福祉
高齢者の生きがい	ひとり親支援
地域の支え活動の拡充	医療介護施設の充実
全世代型安心インフラ	災害対応・対策
自宅で福祉サービスを受けられる	弱者に対してもっと心を砕いて欲しい
お年寄りや子供の見守り	医療費の軽減
低収入者へ補助	医療福祉の安定性
福祉サービスの充実	津波対策（避難ビル）
介護福祉	防災に関しての意識向上
防災支援	ライフラインの整備
保健医療支援	障がい者雇用と福祉の充実
病院福祉の充実	地域医療 など

回答一例	
7. 「人情・地域コミュニティ・行政運営」関連	
地域を思いやる心	助け合える町
市長から市民への考えの積極的開示	人情
市議員の意識	差別なし
地域の壁を取り除いた佐伯市全体での取り組み	助け合い
情報共有	協働の最適化
近所（地域）のつながり	人とのふれあい
絆	市役所職員の研修の充実
信頼	市政改革
行政のあり方	地元コミュニティ（声掛け、協調、見守り）
ともに助け合う	人にやさしい市
みんなで助け合う	ひとりにしない
行政充実	共助
市のリーダーシップ	無駄を無くせ
人にやさしく、人につくす	市職員の真剣さ
市議会のマンネリはダメ	行政の効率化 など

問 50 佐伯市のまちづくり等について御意見がありましたら、率直なお考えをお聞かせください。

回答一覧
中心部から離れていて不便。いわゆる片田舎な場所です。医療、防災、福祉と佐伯市が取り組んでいると思います。私たちの地域も高齢化が進んで何をすることも大変になっています。医療、災害時、通所…すべてに車がないと移動できません…が、道路のインフラが進んでおらず、そのうち救急車、災害時の移動、通所へ通う事もできなくなるのではないかと心配でなりません。どうか早く、早く道路の整備をお願いしたいです。命にかかわる事になりかねません。
子ども、障がいのある方、高齢者（弱い立場）に住みやすいところは、みんな住みやすい。そんな自分がきた道、ゆく道を考えたまちづくりができたらいいな。
何をしていたのか発信があれば、ある程度と納得できると思う。知られていない発信はしていないことと同じだと思う。TikTokとか時々見かけたりする。もう少し色々な人に知ってもらいたい。
在宅ワークを増やすべきと思う。子供と一緒にいられる時間が少なく、それでも稼がないとやっていけない母子家庭…。親と同居であっても手厚い支援を受けさせてほしい。親である私の医療費なんてなく、しんどいです。
これは切なるお願いです。議会にかけて頂きたい。市、中心部のスーパーなどの買い物に行く所がありません。高齢者にとって非常に不便で、健康への心配もあります。大型でなくても良いので、衣、食（特にこれ）ができるお店を作ってほしいです。お願いします。市長さんもかわられたので
若い人の県外、市外への移住があきらかなんだから、佐伯市に来ると子育て、教育すごいじゃんと思わせる。（すでに充実していると私は思っています）そう思わせる為には、他の市も情報を出しているのだから、インパクトが大切だと思う。その際に明石市等モデルにしたり。「出産祝い金どーんと100万円市から有難う」みたいなタイトルで若い人の移住を促進させれば将来的には…。先行投資は大切です。
広い市全エリアに同じ様にサービスを充実できないと思う。現在の高齢者（特に70～80才代）ではなく50～60才代以降の世代が充実して生活できる環境を目指してほしい。生活エリア、水産、工業、農業、林業エリア分けして産業と生活、暮らしを両立した市を目指すべきと考える。
旧町村からの公共交通機関がない。高齢者の免許返納後は非常に不便である。
大入島と陸で結ばれる様にしてほしい。魚のおいしい佐伯市です。移住者を受け入れて人口を増やし、活性化をはかってもらいたい。外国人にはきびしく、のっとられない様、法をきびしくしてほしい。
昔からある物を大切にしたい気持ちも分かるが、新しい物もどんどん取り入れて、若い子達や子供達が他県に行かなくても楽しめるようにしてあげてほしい。雨の日は特に遊べる所が無く、交通手段も少ない子供達が少しかわいそうに思う。
佐伯市は南海トラフが来た際に一番危険な市だと思います（県内で）。高齢者も多く少子化も進む中、人口を減らすわけにはいかないと思います。だからもっと防災意識を高め、危ない地区や場所に事前に注意喚起をしたり、対策をすることで、佐伯市全体を守る必要があると思います。
城下町を歩いてみると人のいない事、お茶を飲むところも1ヶ所のみ。途中で何か気持ちをひく店、他にもあればと思う。
現在、各種祭り、産業などなど、バラバラでやっている感じがする。もっと佐伯市全体で計画的に発信できるところがあれば良い。その中心を担うのが、市役所（事務局）の仕事ではないだろうか？
長野県南箕輪村、北海道土士幌町、島根県邑南町、千葉県流山市等の人口減少対策を！
雇用の場のないところへ定住、移住は難しいです。働くところがあれば、生活環境もそれなりに整い、若者の流出も少しは止めることができ、若い人たちが佐伯で家庭をもてば、子どもも増えるのでは？地域の行事（伝統芸能、清掃活動、消防団活動等）も継続できていくのでは？とか思ったりします（市役所の職員は自治会の活動に積極的に参加等してほしいです）。

回答一覧
生活する上で特に困った事はないので、いまいちアンケート自体ピンときません。公平なまちづくりができていれば、それで良いと思います。
取り残される人がいないように…。
なんでも二極化が進んでいる。渡町台小学校にイジメがあるらしく、小学校入校の時に引越した家族がいる。イマドキのイジメは相手によって態度を変えるので、大人でも孫がいるような老女でもそう。シニアのパートの世界でも、大人しく真面目な人が働きにくい。そんなゆがんだタテ社会を作っている佐伯の街は良くない。秋田県みたいにフィンランド形式の教育をしたらどうか。
定住出来る環境。大学、企業の誘致。自然を利用し観光に力を入れる（交通の便を含めて）。
子育て世代からしたら、外で遊ぶ場所がなく、公園や施設などの遊具の設備があまりなくなっておらず、点検などしたり、室内で遊ぶ場所を増やしてほしい。年代別に作ってほしい。小さい頃からの職業体験なども増やしてほしい。学校で学ぶ事は教科書よりも外にでて色々体験した方が、確実にいいです。何でもデジタル化もメリット、デメリットがあり、書く事はさせてほしいですが、教科書は重いので、タブレット活用でもいいと思いますが、紙とエンピツは使った方がいい。
観光事業の充実強化。
気になっているのは空き家が多いこと。人が住まないと家も家の廻りもすぐダメになります。若い人の定住、みんなすぐ大分へ行きます。買い物、仕事。佐伯市は給料が安いのに家賃は県内で一番高いです。
高齢者で買い物に行けない人がいるのではないかと時々考えることがある（車を運転しない、近くにスーパーがない、体調が悪い、足腰が痛いなど）。移動販売車があることは知っているが…。
私は 71 才なので先は短いですが、自然あふれるこの町が大好きです。大きな災害がおこらない事をいのります。
佐伯市まちづくり、発展といわれても、何を？どんな形をもって成功した（成功例は？）、発展したという回答すればいいかわかりません。そんな事より今の私の親の世代が亡くなって空き家だらけ。コミュニケーションがどうにもならない。家の自然倒壊、それにともなう事故、所有者（大家）不明の家、不法侵入、公共サービス今までどおり？いずれ整理されるのかな？と不安なイメージしか出てきません。それでも生きますけど。
空港に遠いなどの交通の不便さがあり、高齢化にともない、遠くへの外出が少なくなったが、若者達にとってはその事等が問題なのかもしれません。田舎ならではのよさもたくさんあるのではと思います。
台風などの時にかん水する道路が旧市内でも多い。もっと情報収集して対応してほしい。旧市内、バスなどない地区もあり、高齢者の通院や買い物などの支援対策を考えてほしい。送水管、水道管の老朽化対応をしてほしい。
各項目の重要性はわかるが、夫婦共高齢の為、今の生活が続けられるよう努力していくつもりです。
主人が常に城山の石垣が町の方からよく見えるように木を切って欲しいと言っていました。この頃よく見えるようになり大変喜んでいます。できればもう少し見えやすくと言っていますが。
宇山のスポーツ公園に道の駅を作って、佐伯ラーメン店、うどん店、その他食べ物、衣類（佐伯で作っている物）等、販売したらもうかる。宮崎からも大分からも客が来ます。
プレ券について、本当に貧しい人は今回の金額では購入できない人もいると思うし、プレ券を取り扱う店舗は現金収入が減少し、資金繰りが苦しくなると思います。他市のマネをするのではなく、現金給付が最も望ましいと考えます。議会等でもっとよく検討すべきだと思います。今は子育て、教育を重点の行政で良いのですが、もう少し本当に貧しい老人の生活も考えるべきだと思います。他に企業の誘致を積極的に行なってほしい。

回答一覧
佐伯市の子育てサービスが以前より充実していると思うが、働く人たちが土日休みでなかったり、大変そうだなと感じることもある。桜ホールでよくイベントがあったり、人が多く集まる機会があるのはすごいと思う。子どもたちが安心して成長できる街になればと思う。特別なサービスは必要ないので、シンプルで良い。
収入を得る場所があれば、生活のために人は定着するが、交通の便が悪ければ良い所を選ぶため、田舎から人が流出し、高齢者だけが住む村となり、税収も見込めない。働く場所を確保し、交通インフラを整えた上で、子育て支援を充実させれば若者も定着し、人口と税収が安定すると思う。
古いトンネルを新しくする。
海崎のトンネルが雨の日水がふき出る時があり、不安です（新しいトンネルができますが）。結婚して市外に住む人も多く、少子化、産婦人科が少ないなど、佐伯市に愛着がありますが、市外の方が住みやすそうだと思うところもあります。子育て、通学面でも大分の中心地からは遠いですが、大手チェーンのお店があるところはすごいなと思います。
大分方面の高速が高すぎる。延岡迄は無料故、ちょっとした買物に移動するには大分市より延岡市の方が安い!!大分県人として、これで良いのか?はなはだ疑問に思う!!
職種が少ないので、若者たちのために仕事を増やすように職種を増やして下さい。あと、交通の事では、交通の便がよくないので、交通機関を良くして下さい。
市長職は大変だと思いますが、がんばって下さい。
旧佐伯市内の道路がせまい。電柱が邪魔で危険を感じる。
全体的に人と仕事が減っていると実感している。他県に就職した子ども達が帰りたい時に佐伯では満足のいく就職がなく、帰れないと言う。このまま私たちが年をとって限界集落になるのではという不安もある。少しでも「田舎だけど安定していて便利」な市になるように努力したい。
自然豊かな町なのは素晴らしい事だと思うが、市民の暮らしが潤う事の方が重要だと思う。企業誘致などで若い人が働ける場所を多く作り、佐伯市が活気づくような取り組みを期待します。
子育て、医療、福祉などももちろん大事ですが、後世にすみやすい佐伯市を残す為には、道路整備などの生活環境を整える事が1番大事だと考えます。地区のこの道路が悪いとなった時に順番待ちとかではなく、すぐ対応できる体制作りをお願いします。
若者は都会に出て行きます。なぜか?佐伯は暗い、何も無い、働きたい場所もなければ給料も安い。バスも電車も少なく住みづらい。
市の持っている物の利用をどう考えているのだろうか。例えば、廃校利用について、選挙の時、廃校はどうするのとたずねたら皆で考えようと答えたが、その後何の話も私の耳に入っていない。県道7号線にはヘリポートが何か所もあるが、37号線はゼロだ。
自分達も佐伯市で暮らしていて、何も気づかないのはおかしい。
今のままで充分だと感じています。
佐伯市も広いので全ての地域に同じ事をしようとしても絶対うまくいかない。その地域に見合った取り組みをしてほしい。旧市内と旧郡部では、人の考え方も全然違う。
若者が都会に出る理由を考えてみては?佐伯には遊ぶ場所も働く場所もなく、夜は暗くトンネルでさえ暗い。バスや電車の時間も少なく、利用したくても利用できない。シルバーマークの車も多く、車がないと生活できない状況。タクシー補助券も充実させて良いのではないのでしょうか?
若者が市外にいかなくても休日の余暇が市内でできるように娯楽施設をつくってほしい(映画館、スタバ、ボウリング、ミスド)。
防災対策を強化してもらいたいです。

回答一覧
野生鳥獣による農作物被害が深刻です。現在、市は電柵設置への補助金がありますが、捕獲したイノシシやシカをウイナーや精肉などのジビエ商品として、加工、販売する公の処理施設がありません。有害鳥獣問題の根源的な解決なくしては、佐伯市の農林業の発展は望めません。処理施設を作れば注目度は高いと思います。
佐伯独自のまちづくり。同じ状況の各市町村に市職員を出張し、交流を深めてほしい。佐伯をよろしく！
スタバ、コメダ、3 coins、もしくはスタンダードプロダクツや LAKOLE など出来てほしいです。コスモスやドラモリはもういいです（笑）
1. 鶴見半島の観光開発 2. 海岸部から宇目町までの高度差活用の農業企画 3. 災害が少なく、温暖な気候の特性を生かした事業企画 4. 土地の広さを活用して、親子3代が飯を食べる農業を企画する。田地以外の農地の整備（広さ約10ha 基準）
公園の草が多くて散歩しにくく虫も気になる。除草剤は使わず、きちんと整備してほしい。ペットを飼っている人も多いので、ペットと暮らしやすい佐伯市を目指してほしい。
アンケートの量が長いので、もう少しページ数を少なくした方がいいと思います（20 ページ→10 ページくらいがいいと思います）。
離島は不便です。市内に買物に行くのに交通費がかかります。生活するのに大変です。
公園の草刈りやトイレなどの清掃が行き届いている所がすばらしいなといつも感じている。
番匠川をはじめとする豊かな自然を後世に残してもらいたい。高齢者が多く、施設に入りたいのに入れなかったり、介護士が少なく入所者が手厚い介護が受けられていない現状を改善してほしい。
身近にコミュニティセンターが出来たが、地区がどう発展するのか楽しみです。来年車を手放すのでコミュニティバスが移動手段になりますが、元気で桜ホールに来年も行かれることを願っています。若い人の働く場所が少ないこと、高齢者ばかりになってきてます。市制も難しいとは思いますが、がんばって下さい。
なかまち商店街の活性化（変革）。
子どもに手厚いイメージはあるが、かやの外の扱いを受けている人にとっては、何をしているのかさっぱり分からない。自分にとってメリットがあることを仮にしてくれているのだとしても情報がとどいてこない。アピールが下手なまちだと思う。臼杵市は自然と情報が入ってきて分かりやすいイメージがあるが、佐伯市は桜ホールで何をやっているのかすら知らない人が多い。宝の持ち腐れか税金のムダづかいでは？
地域、自治会活動でトップにいる方々の高齢化、考え方の古さ、役に固執があるときく。若い方々が活動（中心的役で）出来ると良い。
稲垣橋、長瀬橋の老朽化で間に（コスモタウンからかかる）橋を一つかけてほしいです。
各種補助制度の活用状況を精査し、無駄を省くことで資源の有効活用を目指して欲しい！
ケーブルテレビの情報料をとられるのは考えてほしい。全く見ていません。
計画倒れにならないことを願います。
理念が先行しすぎないように、無駄がないように。地に足をつけて、声の大きいマジョリティの声だけをきくだけでなく、サイレントマジョリティの声をくみとる努力を。
地域柄、隣人や地域の人個人情報を知りすぎている怖さがある。他県から佐伯市に来た私にとって、とても怖いことである。車のナンバー、子供の仕事など…慣れていかなければなりません。佐伯市への大きな不満は空港があまりにも遠い。新幹線も（小倉や博多）遠すぎることです。いつか新幹線の開通を願っています。
佐伯市とかに大型企業ができるといいなと思う。
佐伯市街は生きてる活気がない。佐伯駅前～大手前の様子。人が少ないとはいえ街自体動きがないように感じる。ひとつの例、大手前のバス待合室での様子で感じた事。高齢の方がバス待ちしてて、つぶやいた

回答一覧
言葉が「ここは何もない。何か食べる物か食べるところはないか？」と話していたが、私もまったく同感。何もない。人の動きもない。ふしぎな佐伯市の中心街。何とかありませんか？市の方（市役所）は時々、街を見まわるのも考えではないかと。さびれる一方です。再考をお願いします。
高齢化が進む中、専門医がない診療科目もあるので、医者佐伯市に連れて来て欲しい。
自転車用の道路整備をしてほしい。大きな店があちこち散っていて買い物の車移動が大変。蛇崎あたりにコンビニがあると便利と思う。
地域の体育館で卓球をしています。カーテンがボロボロで開け閉めが出来ません。年配の方が多いため、まぶしくて出来ない人もいます。直してほしいと思うのですが、お願いしても無理と言われるそうです。そんな所にも目をむけてほしいです。
過疎化で市内まで行かなければ買い物や病院もない暮らし。大分市へ行かなければ若者が遊べる場所、家族で遊べる場所がないところ。高齢者や障がい者や特定疾患患者への補助が充実していないところ。大きい市に比べると面積が広くても全てにおいて不十分なところ。
とにかく若者がもっと増え、子ども達が増えていかないと今後の発展はありえません。どうかその面の取り組みを!!
保育、福祉関係の職員の給料を上げるべきだと思います（少子高齢化の改善につながる）。
今後はどうやって高齢者の割合が大きくなり、高齢者の町になるのは必須。子どもの数を増やそうとしても、とうてい無理。少子化は日本全体で進んでいく。ならば、逆に老人が多く住み、高齢者が住みやすい町を目指してみてもどうか。高齢者福祉等にかかわる雇用も多くなる。福祉の充実だけでなく、高齢者が生き生きと働ける町。
人、自然、スポーツを大切にすれば、必ず栄えると信じている。自然はいろいろなものをつくる名人。人間はそれを生かす名人。
高齢になって免許返納した後の交通の便を考えると不安。暮らしにくそうだと思う（90才こえても運転している方もいて危険だと思う）。救急告示病院が機能していないと思う。断られることもある。休日当番医以外に告示病院があることをもっと広報して、受け入れもして欲しい。
コミュニティバス、スクールバスの有効利用。地域の簡易水道の統合。
佐伯ラーメンの廃止。博多ラーメンチェーン店をどんどん入れる。大企業を誘致して鉄工組合等の廃止。老人が多くて若者が興味持たない町は、あと10～20年で滅びる。
佐伯市民には素晴らしい陸上選手がいるのに、もっと陸上に力を入れたら良いと思う。陸上競技場はどんどん設備が古くなり、大会も行われていないと聞きます。残念です。
まちづくりなので関係がないのかもしれませんが、市民は買い物や病院に困っている人が多いです。市外の病院に通院している人も多いです。市長は子ども、子ども…と言いますが、高齢者のことも考えてほしいです。
市長及び市職員の積極的な姿勢を望みます！
汲心亭の維持管理について、草庵の屋根、ワラびきの痛み、竹垣、植木等の予算をもうけて欲しい。県外、国外からの観光客も多いが、少し恥ずかしい気がする。文化の振興は建物、附随するに気を配って欲しい。城山の石垣を見せるのはいつか。木を切り倒して自然を破壊するのは反対である。
若者が住みたい、働きたい、働ける場所、環境の整備と大企業の誘致を優先課題とした取り組みをしないと、佐伯市が数十年後には消滅するのではと不安。
高齢者にも分かりやすい（デジタル化になるため）情報や指導をすすめてほしい。そうしないと活用できません。

回答一覧
人口が減少は日本全体の課題ではあるが、高齢になっても社会の一員という立ち位置で生活できる事が、佐伯にとっても重要な優先順位かと思う。健康第一で年を重ねるのが理想的な生き方であり、社会とのつながりが重要→佐伯の活性化!!佐伯はとても好きです。
市政（市議）が住民ともっと多くの対話の場を持ってほしい。
子供が少ないので合併は仕方ないが、子供を育てる環境がなければ若い人は住まない。子供が少なければ、逆にそれをメリットや強みにできる取り組みなどの魅力を見つけないと、田舎から人がいなくなる。
企業誘致に真剣に取り組んでほしい。
道路のガードレール無しが目につきます（子供たちの登下校時）。高齢化による事故の不安。市税の徴収が負担になっている方が多いと聞きます。支援や補助を増やして頂きたい。
こんなアンケートをあんな大きな封筒に入れて送ってきて、このアンケートの紙と郵送代等、なんかすごくもったいない事をしていませんか？こんなアンケートを作る時間も…。今は物価高で市民も大変な思いをしています。こんなことにお金（税金）を使うのではなく、市民税を下げるように無駄なことにお金を使わないで頂きたい。
（観光）例えばになりますが、「鶴御埼」をおとずれたユーチューバーが「いい所なのに人気がない。うっそうとした感じ。広報がヘタクソ」と言っていました。本匠の水車が汚い等、がっかりさせない様な環境にする。（大企業の設置）県内で最大面積を誇る佐伯市に大企業が来ると、働く人が増加し、それに伴う生活経済が潤う。（公園などの設置）佐伯市は子供が遊べる公園がない。孫達をゲームセンターに連れて行くしかない為、臼杵、津久見、延岡に連れて行っています。たくさんの遊具をそろえた大きな公園があると、佐伯市以外からも来る可能性はないでしょうか？飲食店や商業施設も潤うのではと思います。
地域に人が少なくなっていて高齢者ばかりです。若い方々に負担がかかるとは思いますが、よろしくお願いします。
相談に行ってもマニュアル通りに持って行こうとする。自分の仕事が増えるのが嫌だから、自分が何とか力になろう、この市民のために仕事しようと思っている人間が何人いるのだろうか？市民の税金で自分達はご飯が食べれている事を忘れないで欲しい!!でなければ、人間より AI ロボットの方がまだマシ。マニュアル通りに行ってくれるでしょう。人間なら人間のために仕事して下さい!!
片側2車線の道路が欲しい。遊び場が欲しい。桜ホールにはあまり行った事がない。なぜつくったのか？つくるなら仲町通りも組み込んで欲しかった。中心地ににぎわいがあればいいと思う。城山から仲町通りの活用を考えてみてはどうでしょうか。
防災施設の充実をお願いしたい。粗大ゴミの日を年に1度でよいので近くの集積所に復活していただきたい。そのために資源ゴミ、不燃ゴミの日を減らしてもよい。
蒲江在住ですが、買い物や外食は佐伯市内より延岡へよく行きます。延岡はイオンやスタバ、コメダ珈琲 etc. もっと企業誘致すべきだと思います。
かつて佐伯市では、コンクリート工場があったそうですね。それ以前にも御手洗社長のキャノン工場の誘致の話もありました。しかし地元の反対など、労働組合の反対もあり、なくなりました。港を開拓する話もなくなりました。自然を守ることは大切ですが、大企業の仕事があれば、若い世帯が定着することは難しいと思います。全国1位の消滅都市になってしまいます。こちらで何か良い言葉がないかと考えています。「ピンチはチャンス」ととらえて、一緒に頑張りましょう！必ず打開策はあるはずです！
防災、または詐欺等の暗いニュースが毎日耳に入る為、明るい希望ももてる強い佐伯市の良い所を発信してほしい。皆が前向きになれば必ず佐伯市も良い方向へ前進すると確信します。
高齢者の運転のマナーやルールが守られてなさすぎて事故をおこそうでした。人口を増やすために、大きい会社や企業を誘致してほしい。商業施設を増やしてほしい。聖地巡礼できるような所を作る。

回答一覧
佐伯市の自然を生かした景観作りを季節ごとに行なったら良いのではないかと思います。
佐伯だけではなく、日本の地方は基本的にもう発展するのは難しいと考えています。ゆるやかに消えていく中で、文化を資料としてアーカイブできたらな、とは思いますが。
全体的に難しい内容でした。答えるのに疲れました。わかりやすいアンケートにして下さい。
高齢者への見守り。免許返納した後、タクシーの利用券など取り入れてほしい。独居人の不安を取り除けるように考えてほしい!!
近くに砂防ダムがあるが、点検しているのか不明である。常々点検して欲しいが、点検結果を聞きたい。砂防ダムが決壊すれば何のためのダムか分からなくなると思う。市役所の事務員は正職員と他の者を区別して欲しい。なぜなら同じ説明を二度することがあるから、以前はストラップで分けていたと思うが…。
鶴見区羽出より有明の方にいく道路のトンネル。入口に照明があっても中がまっくらで見えない。基準になっていてもいざ見ていると見えにくい。調査してください。
高齢化が進んでおり、買い物も近くでできない方々もいらっしゃいます。スーパー等住宅地に1軒くらいほしい所も多々あります。企業と行政はちがうので難しいとは思いますが、何とかしていただけたらと思います。あと、たまにボランティアでゴミ拾いをしていますが、歩道がない所や土手の坂の所など、危ない所にはゴミ拾いに行けていません。そういう所にかぎってたくさんゴミが落ちていました。お年寄りの見守り…お一人で亡くなられた話をよく聞きます。将来自分がどうなるのか心配になります。
市会議員の数が多いのではないかと思います。
道路を整備してほしい。そして交通の便が良くないと、人は集まらないと思います。
観光スポットが増えて、市外からも人が来る様なまちになると嬉しいです。
子供やお年寄りが安全に暮らせる町になってほしいです。
空家の活用、商店街の活性化（人通りが少なくてさみしい）。
大分県の他の市町村よりほぼ全ての項目で劣っていると思う。将来がとても心配。子育て支援が充実していない。インフラも整っていない。市役所は新しいが、中の場所がわかりにくい。働き口が少なく、女性は選べない。給料も安い。自由に使用できる施設が桜ホールに集中している。学校も古くトイレ等がまだまだ衛生的と言いきにくい所がある。
問題項目が多すぎて腹が立つ。途中でやめます。
日本の総人口は100年後には3,000万人になる。何をしてもムリ。外国人はいらない。女、子供が危ない。髪型を隠すほっかむりもいらない。ドロボーか？
自然豊かなところが佐伯市のまちづくりにおいて重要なところだと思うので、自然を生かした取り組みをしていくべきだと思います。
とにかく人がふえる活動をしてほしいです。大変な仕事と思いますが、お願いします。
老後が不安なく生活が出来る町。若者が就労できる場。デジタル化は老人には不向き。対人出来る場を。
行政がもっと佐伯の魅力をアピールしていくべきだと思う。市役所は17時に閉まりますが、17時05分には職員が帰っている様子をよく見かけます。17時に閉めて、それからパソコンを落としても5分以上かかるはず。いったい市民の為に、市民を思って仕事をしているのだろうかという疑問を感じます。勤務中のおしゃべりも目につきます。そんな中待たされるととても不快に感じます。
人間も自然の一部。第一次産業をしっかりと見直す。昔の人の生活を見つめて。
アンケート調査に答える際に、行政がどのような活動をしているか不明な事柄が多かったので、参考にできるホームページや簡単な資料が欲しいと感じた。
海、川、山に恵まれた広大な佐伯地域。人口減少と空き家の増加、小自治区の存続危機に直面している。

回答一覧
各地域コミュニティ組織協議会、行政、有識者を中心に県外移住希望者の定住できる安全安心な地域に向けて検討願います。
これからのコミュニティバスへの不安。
農業を継ぐ人が少なくなっているのです、会社にして働いてもらうのがよいのではと思います。昔のように映画館やボウリング場があればいいかなと思います。飲食店を仲町とかに集めたらわかりやすいのでは。
先の短い私には非常に難しいアンケートでした。ご苦労様でした。
民生委員の話をよく聞きますが、一体どのような事をしている人たちですか？全くわかりません。現在、私は一人暮らしですが、少し不安があります。でも一生懸命生きて行こうと思っております。余談ですが、近所に市役所の職員がいますが、全くあいさつしても返事もしません。えらい人でしょうね…。
市内にこの病院に行ったら安心という病院がほしいです。人口減少（人口流出）しないよう仕事の充実や魅力ある町づくりをお願いしたいです（市で何か企業の困りごとに助ける手だてはないか…）。出産からお祝い金（50万）プレゼント…など。
自分の周りには安定した職につけてない方が多くいます。そのためか独身者もいます。もう少し働く場が増えれば、改善されるのではと思われます。社会情勢や物価の高騰で厳しい状況ではありますが、未来のためにも一人ひとりが安定した生活が送れることを願っています。
今、ここで暮らしている人の問題の一つは、転出、死亡した人の財産がここにあり、保全に責任を持っていない無責任が地域の環境を悪化させていることです。廃屋、廃畑、山が負担になっている。行政は彼等に住民からの要請前に積極的に関与してほしい。保全するか寄付をするか、問うてもらいたい。寄付をしたい地権者の要望を積極的に受け入れてもらいたい（地域自治体の所有でも良い）。
若い人たちは外（大分市や県外、都会）に出て行く人ばかりだと思います。子育てしていても子育てしにくく、ずっと佐伯で生活したいとは思えないです。子どもたちにも大きくなったら田舎でもなく外に出てほしいと思っています。このままでは、高齢者ばかりになって若い人がいなくなる将来しか見えないです。習い事も少ないですし、どんな習い事があるのかもさっぱりわかりません。せめて年に1回4月にでも、習い事こんなのありますよというコーナーでも作って、色々知れて選べるとなと思います。
限界農業の中でまちづくりの具体案は、私の考え及ばないのが現状です。
佐伯市に何か企業が入れば、働く場所、雇用面でも活気づくのにと思います。カルチャーセンターの広い土地、使い道の計画はないですか。
有名人、著名人を佐伯市役所に雇い、手腕を振るってもらう。小中高生のアイデアを利用。各地域の名物おばちゃん、おいちゃんのメディア露出。
少子化によって子ども達の遊ぶ姿もみなくなり、高齢者が多くなったと感じますが、すべての年齢の人が安心してすごせる町づくりをして欲しいです。
どこでもやってる事に力を入れる必要は疑問。移住者が来なくなる環境づくり。大分市に住むより、佐伯市に住む方が住居費＋交通費で安くなるようにする。
旧南郡地域（弥生地区を除く）は高齢化が進み、一人暮らしも増えている。年をとっても住みなれた地域で暮らしたいと望んでも、店や病院もなく交通手段もコミバスに頼っているが、便数も少なく不便。難しい問題だと思う。
佐伯市は教育に対して熱心な人が多く、子どもも大学へ行く人が多かったです。しかし、働く企業がないとのことで帰省する人が少なく、人口は減るばかりです。教育は親に対してすべきだと思います。佐伯に帰ってくる子どもを育てる、そんな子育てをして欲しいと思います。
先日50年ぶりの高校のクラス会があり、同級生を大手前（桜ホール付近）を案内したところ、あまりの変貌に友はおどろき、私も歩きながら少しずつ変わりゆく佐伯市をちょっと得意げに自慢したのでした。あ

回答一覧
と何年この地でお世話になるだろうという思いと、これからも静かに佐伯らしく発展して行ってほしい思いを込めて、ありがとうございます。大好きな佐伯市。
定住人口の減少が今のままで続いたら、佐伯市の運営は立ちいかなくなる。人口 10 万人規模の町づくりをしてきたが、これが維持不可能になる。町の倒産につながる極めて深刻な状況に今あると思われる。その中で子供の出生数が年々少なくなっている。何とか子供が増える手立てを足元から一つ一つやっていくことが大切だと思う。
道路の歩道に植木が多すぎて歩行者など通行しづらい。街灯が少なすぎ。市内、市街地は暗すぎて恐怖を感じる。若者、高齢者の仕事の手が足りない（働く場所が少ない）。役所（振興局など）の人員が多いのでは？暇そうにしている人が多く見られる時があります。
意見交換がうまくいくこと。
私は高齢ですが、佐伯市の発展を祈ります。
場所が鶴見で免許持っていないため、佐伯から帰る時間のバスがないため、今こまっています。鶴見行きのバスを増やしてほしいです。
観光客増加の為（山田水産のうなぎで増えるのかも…）自然もいかし、川や海のつりぼり場（子供連れも危なくない）を増やす。ニュー佐伯など無人の建物を解体し、広場自由解放（キッチンカー、小さな噴水、アスレチック）。お金をかけず遊べる佐伯、自然とふれあえる佐伯、若者の佐伯ばなれ阻止、リターン希望増、すたれている仲町を若い人たちの住宅街（求めやすい金額）空家解体金額補助金。市の公用車を小中学校に配置。緊急車両として、不登校生徒の訪問、声かけの利用車として。
元気な老人だが、車に乗れなくなったら行きたい所へ出かけられない。ワンコインバスの街中、スポーツ施設への運行を強く願う毎日です。
道路の脇にある木を植えてますが、費用がかかるし山がすぐ近くにあるので、必要ないと思います。維持費もかかるので、同じ植えるのなら桜の木や草花がいいのではと思います。
佐伯市は子育て支援も手厚く、市長さんをはじめ子育て目線でのサービスが充実してありがたい。
まちづくりの壮大な時とはわかりませんが、まずは人づくり、人を育てる環境（感情のある）。デジタル化も必要でしょうが、子供の頃からの“ナゼ？”を忘れない人を育ててほしい（物、人、自然に対して）。ストレスを軽減できる街をつくってほしい。
アンケートが外部委託の為、個人情報（住所 etc.）の流出への対策がとられているのか知りたい。
過去にあった商業施設、娯楽施設、運動施設等がなくなり、道路事情が良くなって他の地域へのアクセスが容易に出来るので、時々の特典イベントは他の地域に行っても、日々の生活は佐伯で安心、安全で楽しく暮らせるまちづくりを。
インフラ整備を第一に考えて欲しい。
人の意見に耳をかたむけ、相手の思いを考え、自己中心の人が多いため、人間性を気をつける事も大事。
佐伯市のまちづくり等に関心を持つ程余裕のある人は少ないと思う。日々重税に課されて生活する事で手一杯。
市は教育に力を入れている（？）ようですが、佐伯の高校に行く人、特に上を目指している人に塾の費用など援助して、大分の高校に行く人を少しでも減らす方法など。大分に行くのに家族と一緒に引っ越す家庭もあるようです。ますます人口減が進む一つではないか。副市長は二人もいますか。人口も2万以上も減、合併して10年以上もたち、市民は疑問に思っています。各部長が対応できるのではないかと。藤河内溪谷はユネスコに登録して良かったですか。道路や歩道の整備を言ったら、自然は壊せないとか。それは違うのではないかと。行きやすいようにしてこそ価値があるのでは。他の地域ではしているように思います。職員のやる気のなさを感じる。

回答一覧
どんな人でも働ける場所。年の人、障がいの人でもそれに応じた仕事があればいいと思います。
市民のために税金を使っていただき、現状維持が優先ではないか。
子供とか若い人の応援はいいですが、高齢者に対しての補助などもう少し欲しいです。 コミュニティバスの件ですが、まずバス停まで行けない人がいることを知ってもらいたい！鶴岡公民館の建て替えを早急をお願いしたい！
企業を増やし若い人が働きやすい佐伯に。子育てしやすい佐伯にと思います。 若い人が佐伯に残ってほしいです。
食はもっと積極的に発信するべき。おいしいお店も多いのに、発信の方法や仕方がいまいち。交通の便が悪いし、ホテルの受け入れも少ないので、宿泊してまで遊びに来ない。魅力は多いのに発信力、受け入れ力が低くて残念。人口減なのにバスや電車の利便性が向上するわけもないので、難しい…。防災についての発信は多く助かっています。
人口がどんどん減っていくなかで、広さが今後たいへんになるのではと思います。 合併したことで、山も海も豊富な自然や産物が佐伯市の売りだとは思いますが、隅々まで行政サービスや公共工事を行き届かせるには、負担も多くなってきて将来的なコンパクトシティについて、早く検討していくべきだと思います。
同じ県内の湯布院等に遅れを取っている。巻き返せ。
近くに避難地がなく災害の時遠くて行けない。避難場所がほしい。
シンボルの城山がはげてしまい悲しい。避難地なのに山としての機能は残しておかないと、石垣保全より大切なことだと思います。海外の人が多すぎる。その為都市部で考えられる事件が、今後ありうる。そのため市としても高齢者や子どもを守る対策をうつべき。交通の便もマナーも悪い。これらはどうかしないといけないと考える。
私は毎日ほぼ12時間働いています。でも生活は年々厳しくなっています。子供が一番それは当たり前。これが民間の現実です。でもそれで佐伯は良くなるの？本当にこの市を良くしたいと思う。気持ちと活力感が伝わらない（市民に）。
佐伯の自然を生かした町づくりや、子育てしやすい地域に買い物や病院に行きやすい市へ。
若者のはたらける町作り。
すべての人に優しく（障がいの有無、高齢者など）すべての人が暮らしやすいまちづくり（教育、福祉、行政すべてに）。
ごみ問題→各家庭より出る残ぱんの処理をごみに出さなくてよいようにしてはどうか？必ず市で活用方法で活動されていた方がいたようにあります。もう少し頑張ってみてはどうか？
市長がかわってからこのようなアンケートがあったり、女性目線で色々なことをしてもらえたり、以前よりよくなったと思うけど、昔と今もかわっていない所があるので、もう少しそこに力を入れるべき。12ページの取組をしているのであれば、自分みたいに知らない人もいますので、PRするべきだと思う。例えば、ちょっとした水道のトラブルがあっても問題を放置したままにされたことがあったりしたから、応急処置の仕方、非常状態が発生した時の対応力などのスキルを磨くべきだと思う。
米生産で農協の実質→個人業者に米の販売しない事。
富高国子市長に頑張ってもらいたい。
起業支援（佐伯で起業する人は宝物です）。移住支援（県一位を目指す）※特に若者の移住促進（里帰りも含む）。本物のオーガニック食品（今は本物ではない）を市民全体で作る。予防医学の啓蒙で医療費減を目指す→全ての自治体の参考になる。プロスポーツや大学の合宿を誘致する。給食をオーガニックにして成績を上げる。シニアカフェ（シニアで健康で働ける場）交流と学びの場。起業家育成学校の設立。

回答一覧
もう少し活気ある町にしてみたい。
観光に力を入れて観光名所等の整備（例えば、城山から武家屋敷通りに食事処を増やす）。商業施設を一ヶ所にあつめる。コスモタウン内にトキハインダストリーやニトリ、ナフコ、しまむら等をあつめる。トライアルの誘致!!
高齢化社会、生きがいのある佐伯市希望します。現在、子育ても大事ですが、今やるべきお年よりの為の生きがい、佐伯よろしく願います。
1. 地域とともにある学校づくり（CS）の取組。2. 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の取組。3. 地域コミュニティセンターの取組。1～3はどれも地域や人を元気づける取組だが、何をどこで連携するのの熟識が必要ではないか。地域ごとの重点を明確にしたい。
各種取り組みの実情はよく知りませんが、生活していて次のような感想を持っています。感想なので間違っているかも知れません。 ①全市的な人口減少 ②佐伯市周辺地域から旧市内への人口移動、その結果が旧市内にアパート建築が目立つこと ③特に周辺地域で、空き家がめだつが、他の地域に住む相続人は親の家屋敷を欲しがらないこと ④広い駐車場が取りにくいためであろうが、旧市街に大きなあるいは魅力のある商店が戻らず、市内に活気が感じられないこと。 （対策）佐伯市は、自然環境や景観に恵まれ、豊富な海産物に恵まれているのに、それに見合う観光客が来ているのだろうか。佐伯市には観光地らしい雰囲気がないと思われるのである。県や市は①③の対策として、若い人の移住を勧めている。しかし、当市では勤務先も乏しい今日、これに応じる人は極めて少数だろうと思われる。そこで提案であるが、現状の突破口になり得るかどうかのシミュレーションに過ぎないが、良ければご検討下さい。③の空き家を利用して観光客（家族）を招くことである。もちろん1軒の空き家の話ではない。近い地域で何軒かの空き家をまとめて管理し（管理者は市でも、空き家所有者の組合でも、会社でも良い。）、これを利用して、例えば関西の中小規模の会社（大会社は保養施設を持っている）とこの管理された空き家を保養所代わりに利用して貰うように交渉するのである。今は3日又はそれ以上の連休は年に8回もあるので利用価値は高いと思われる。ある程度の利用客が来るとなれば、その人達は、釣りとか海水浴とか、或いは船での近くの海岸の観光を希望するであろうから、海水浴場や釣り場の案内、交通手段、小さな観光船の手配もしておく必要がある。そういうサービスで最初の観光客の評価が良ければ、徐々に利用者も増えていくと思われる。地元のおいしい食材を使った食事を求める客も多いと思うので、料理店あるいは仕出し店も必要になる。
駅→バスで観光めぐりの1日。城下散歩。佐伯市民でも知らない名所多々。海→寿司→山川巡りの旅。格安料金で口コミはPRに。宿にお泊り（ビジネスより民宿に力を入れるとか、夏休み子供のキャンプ体験、船で海巡りとか）。佐伯の食の旅。子供会での1日バスツアー。数年前は1日バス、海（船）等で20人位のツアー。市外の方佐伯駅より港に集合。
バスが通ってほしい。タクシーに頼るしかない。なかなか来ない。私は88才。このアンケートは苦痛でした。もう少し若い人達にするべきかと思います。
公園の新設。市民が誰でも散策できる木陰のある公園があれば、健康な街にもなると思います。
服や食品トレイ等、リサイクルセンター（場所）等をもっと多く設置すれば、ゴミの減少化にもつながるのでスーパー等、設置場所等を増設して欲しい。
今住んでいる人のサービス向上はもちろんのこと、これから住んでいく人、リターンで戻ってくる人、人口増加のための企業誘致や学校（高校以上）の誘致など、未来のことを考えて政策してほしい。

回答一覧
子育て支援はかなり充実しているが、その子らが将来佐伯市にとどまってくれるのか、帰ってきてくれるのか不透明。子育てが終わった世帯は貯蓄もなく、すっからかんで税金を払っている。子育て世帯の様子をみていると「自分の税金…」と思ってしまう。
視力の悪い主人が自分のアンケートと思い、途中まで書いていますが色々間違ってアンケートしていて大変申し訳ありません。年寄りには少し大変なアンケートだと思います。
港付近の商店街の繁栄の見直しを考える。
子供が交通事故にて障がい者。福祉施設（グループホームなど）をつくってほしい。
広い佐伯市の特色を生かして大型企業等誘致して活気をつける。
地域とのコミュニケーションを取って、皆で老若男女が楽しく過ごせることを願う。
仕事が増え安定すれば、人が訪れ定住し、そしてまちがうるおい活性化するのではないかと思います。
せっかくキレイな海があるのに港の整備がない。キレイな公園などあったらよかったのに。他に魅力のある都市を参考にしたらよかったのでは？人口減少は止まらないと思うので、これからの取組は重要だと思います。佐伯はいろんなチャンスを逃していると思っています。
佐伯市に企業誘致の推進をお願いします。また、佐伯市がスポーツ等で活気のある町にしてもらいたいです。
若者が楽しく生活できるような魅力ある佐伯市に。就職したくなる企業を誘致する。
西日本一の広さのある佐伯市で、限界集落まですべて公共設備が行き届くのは無理です。場所を区切って住居地、商業地、行政地区等のかたまりで成長させるのが良いと思います。
若い人たちが生き活きと働ける職場が少ないので、働ける環境を増やす。結婚しない人が多いので、婚活（イベントなど）に力を入れて子供を増やしてほしい。
上堅田地区に住んでいますが、台風の度に長谷の交差点（ローソン付近）から周辺が毎年のように水没するので不安です。浸水対策（蛇崎のようにポンプの増設等）をお願いします。今年の夏も心配です。
一人暮らしで高齢の為に役にお役に立ちませず申し訳ございません。市長様、御身おいとい下さいませ。祈っております。
市民皆が住みやすいようにする。不便が多い。スーパーも少なくなり、道路もガタガタ…。都市計画税を納めても何もかわらない。どこにどういう風につかわれているのか知りたい。このアンケート調査票はもう少し皆がわかりやすいように簡単にしてほしい
市税など町のために使うお金など使うところが下手すぎる。あと企業を入れるべき!!みんながうるおい幸せになれる町作りをしてほしい。役所は他の人より給料がいいのだから順番に飲食店を利用すべき。このままじゃ店がなくなるのでは？
企業誘致等、雇用の創出が大切だと思います。働く所がなければ若者の転出は進む一方ですし、移住、Iターン、リターン等もなかなか厳しいのではと思います。
佐伯市は九州一不便な町（会社はこない）。佐伯の発展は自衛隊をよぶ事（陸自、海自）。本部か準本部をおく事。山が多い為、山の中に基地ができる（佐伯出身の自衛官が多い）。メリット道路がよくなる。
日々仕事でいそがしい中、アンケートはいやでしたが…前向きに考えて返答しました。佐伯市はとても住みやすく、私は安心出来る町だと思っています。環境もよく災害もあるけど、まあまあ、町の雰囲気や気にいっています。人口減少は不安ですが、人口増加するよう努力が必要だと思います。とても私には良い勉強になりました。ありがとうございました。
10～20年後、確実に高校が1～2校になるでしょう。将来は少子高齢がますます進むので、上記のキーワードを進めてほしい。

回答一覧
八幡地区に流れている２級河川戸穴川の支流、戸穴大橋から八幡小学校前の河川の一部で土砂の蓄積と雑草で、戸穴大橋付近では川幅の９割が土砂に埋まり、水の流れが遮られています。従来、川底はコンクリートで施工されているが、現在土砂により埋まっている現状です。平成 29 年 9 月 16 日の台風で河川が越水し、海崎、戸穴地区に床下浸水、床上浸水で大きな被害をもたらしました。川の土砂と雑草を除去し、防災対策としてほしい。県土木事務所に市の方からもお願いできないでしょうか。
あまり考える機会が無いので、今回のような取組みをされていたこと、またこの取組に参加させていただき、考える機会となったこと、ありがとうございます。海も山もあるすばらしい町だと思いますが、もっと外にアピールしていいと思います。佐伯の知名度をもっと広め、活気ある街になってほしいです。住みたい町に選ばれるような佐伯市になるとうれしいです。おつかれさまです。
アンケートの項目が多すぎる。
若者が働きがいのある職に就けるように、情報発信を充実させるとよいかなと思います。
明鏡止水一致団結。
道路が良くなってゴミのポイ捨てが多い。
佐伯のまちづくり、満足しております。50 年前に比べて道路整備、桜ホールの開設、コスモタウンの開発と努力されている姿が目当たりででき、すばらしいと思います。
山と海をどう生かすか。海は養殖事業等、更に学術提携し、推進。山は杉一辺倒の自然に手を入れて、山を活用した（山あいの片方）自然を創生する。海の流れをつくる（自然と人間の共有場所）（養殖ゴミ除去と併合）。佐伯湾全体を釣り堀に。
結局、最後は人口を増やす事しかないんじゃないかな？若者にも中高年にも出会いの場を提供する。この事を是非、市を上げてやって頂きたい。でなければ、佐伯市は消滅しますよ。AI ですべてはできないんだから。金銭面も含めて、全て市が責任を持ってやって欲しいです。
行政も家庭も同じで収入ありきでの生活になる。多種多様な企業を誘致して、高校卒業者、大学卒業者が働ける場を作らなければ、その先の福祉や町の活性化は取り組めない。まず、職場を創り、地元商店の競争により発展、経済的に活性化して、余裕をもってその他の環境整備が必要。
まちづくりの成功事例などを柔軟に取り入れ、スピーディーにお願いします。若者が住みたいまち、働ける環境を作っていきたいと思います。行政もよろしくお願いします。
大きな企業を作り、若者が佐伯市に帰って生活が豊かにでき、子供が多くてにぎやかな佐伯市ができたなら幸せです。
買い物する場所がなく、住みにくい。車を持っていない人間はおいていかれる。中小企業ばかりだと雇用は生まれない。地元企業のみ大事にしても、若者は外に出てしまう。目先ばかりを見ないでほしい。アンケートが多すぎる。もう少し考えて!!耳ざわりの良い言葉だけ並べて中身がない。
年金生活者への補助や老人家庭への助け舟。
貴重な数の子供が外で 1 人でも遊べる設備（壁）を設置してあげる。テニス（壁打）、野球（投球）、サッカー（シュート）の練習が出来るよう。老人がグランドゴルフをしている一角に造ってあげる。現在、老人がグランドゴルフをしているグランドの除草は、2 代目の市の 0B がボランティアで行なっている。かなりの労力を要するので大変です。佐伯市で乗用草刈機を購入、貸し出してほしい。
桜ホールの活用法と周辺の整備を強く要望。
観光を通過型じゃなく、滞在型にする。泊まりたくなる理由を増やす。釣り、山、星空、古民家宿など。移住したい町として売り出す。
公共の建物を建てる際、津波の避難所（一次、二次）に利用できるように考えて建ててほしい（桜ホール

回答一覧
は残念)。佐伯は良い所だが、津波がくるからと外部の人から聞きます。移住を考える人やリターンを考える人も、その点がネックになっている。避難ビルを増やす等の対策が急務だと思う。
いつも思いますが、何もない町です。市の歌もどの町、どの市、どの県でもいけるような歌詞で、佐伯だ！という特徴がないのか、佐伯を表しているのだと思います。ただ、本当に自然災害は少なく、住みやすさは実感しています。それだけ自然豊かなんだとも思います。スーパーが減り、ドラッグストアがこんなに増えている状況を見ると、高齢者にやさしい町なのかは少し疑問が残ります。道路での案内表示が小さすぎます。あとひとつ、道路での案内表示が小さすぎます。若いころは見えていましたが、このごろは見えずらく感じるようになってきました。
知りあいの住んでいる町（都城とか福岡）は、高齢者にやさしく大変うらやましい。バス料金が安い。免許返納者にはタクシー券の配布とか…ふるさと納税でうるおっている都城では税金も安い。介護保険なども。佐伯市も何かうるおがあれば、老後安心して暮らせるのにと毎日不安です。よその自治体をみてるのもありかな？
人口は減少するのに市職員、市議多すぎ。5割カット。市民税、固定資産税高すぎ。佐伯市に住んでもなにもメリットがない。
旧市内の人達ばかりの話を聞くのではなく、郡部の人達の話も聞いてください。
折角、海や山に大自然がありながら、日常の生活に慣れてしまって良さがわかってない。佐伯から外に出て生活された方はわかっていると思いますが、他の土地にはない良さがそれぞれわかると思います。もっと佐伯の良さをPRできるようにして下さい。私は佐伯に住むようになって47年になります。一番感動した食べ物は、ごまだしうどんです。いまだに自慢できますよ。
同じ店を何店舗も建てないこと。若い人が好む店を建てること。パチンコ店を建てさせないこと。税金をむだ遣いしないこと。都会を見習うこと。
地元の自転車屋を通じてマウンテンバイク（自転車）の大会をやりませんか？個人的に豊後大野で大会をやっています。佐伯の城山から下るダウNHILとか、宇目のコースで大会をやったら人が集まると思います!!私の大会では、北は岡山から南は鹿児島から人が来ましたよ!!
いなかの方は何もしてもらえないので、少ししかない子供達も遊ぶ公園すらない。近くの公園は何も整備されず、草は茂っている状態。唯一のBGプールも台風で屋根がとんで修理されないまま3年放置。子供が減ると人口は減る。子供達の生活を充実させることをやってほしい。市内ばかり活動されてもいなかの人達は参加もむずかしい。
まちづくりについて日頃あまり考えた事はなく、今の生活を維持する事で精一杯で、何を考え何をすれば良くなるのか、少しずつ考えてみようと思います。市民のためのアンケートありがとうございます。
このアンケート自体が一般住民にはわかりにくい。
市の「稼ぐ」力を充実させてほしい。企業誘致や地場産業の拡大が進めば雇用拡大が発生し、佐伯で働こう、それなら近場に住もう、戻ってこようで若年層の定着につながると思う。これがなければ、その先の「子ども・子育て」は発生しない。「子育て支援」の前段階へ注力する時であると、一市民として思うところであります。
私たちの子供の時に比べて、行事の参加者も少なくなり、まずはご近所さん楽しく皆さんで会話出来るむかしの佐伯になってほしいと思います。中学生、高校生など防災などに参加して、若い人の力を借りるべきだと思います。AIにたよるだけでなく人間同士のコミュニケーションが必要。この頃痛切感じる。
新しいデジタルマネーは使えるようだが、年寄りでも持っているクレジットカードが未だ役所の各種支払いに使えないのが残念。ふるさと納税や電子マネーの手数料を考えれば、クレジットカードこそ使えるべきだ。縦割り行政の予算のせいか、地域の活動の窓口が多すぎて、一部では独裁組織の様なメンバーにな

回答一覧
っている。めんどくさいので参加したくない。避難場所の意味がない。駅と高速道路はあるが、大分市内、大分空港にも行けない。大入島のとんど火祭りですが、これを全国に知らす努力もなく、また残す努力もせず中止などありえません。神楽や祭りは文化です。
佐伯市には大きな企業がない。若者が働ける所がないので、他へ出て行き残るのは老人といった事となる。老人もなくなれば空家が増えることとなり、負のローテーションを繰り返して、人口減少が続いている。活気有る町（市）とは言えないと思う。
デジタル化が進んでいる中、人との関係が徐々に希薄になっている気がします。「生活、人、安心」のキーワードを中心に情に熱い佐伯市に盛り上げていきたいです。昔のように。
若い人が佐伯市に移住を考えているようなまちにしないと、どんどん若者ばなれが進むと思うので、まずは大きな企業を誘致するなどして、人を集めるのが大事と思う。せっかく九州一の広さを持つまちなので、それをうまく活用してほしい。子どもの休日当番医もあるが、午前中だけなので、夜間などの対応はしてもらえないことが多い。24時間いつでも診てもらえると、子育て中の方々は助かると思う。
災害に強いと思われる所は家を建て、人が住み、増える。河川の中の土を取り、氾濫がなければ安全だ。土砂災害が起きそうな所は対処しておく等々。専門校のようなものがあると、若者が増え、その専門を生かした産業が何かがあれば定住してくれるかもしれない。
人口減少を受け入れ、それを前提に「まちづくり」を進めるべき。韓国第2の都市は「15分都市」政策を推進中。国内外の状況を調査し、早めに方針転換すべき。また、政府にもそう働きかけるべき。外国人労働者に対する「日本語教育ボランティア」を組織化すべき（専門知識を持たずとも日本語検定のテキストと一緒に学ぶことで可）。旧町村地域の事業所に働く外国人には学ぶ機会が少ない。契約期間中の定着を図り、日本のファンをつくるためにも必要。
これ以上外国人を入れないで下さい。佐伯市が崩壊します。
佐伯のまちづくりで市報が大変役にたっています。その時、その時の地区のニュース、そして職員の皆様の言葉、市を良くしていく有様が分かります。皆さんのお力がある、市民私達の生活も成り立っています。これからもなお一層頑張ってもらって、発展の為、佐伯を盛り上げて下さい。海山河ときれいなところですね。食を楽しみたいです。
ゆっくりくつろげる公園、施設等があったらいい。
デジタル化を上手く利用して行政コストの削減を。議員数、歳費は妥当なのか、不要な部署施策はないのか、など考えるべきことは多いと思う。住民税の半減へ。
高齢者にこれからの事についてはむずかしい。アンケートは若い人に。
土、日、祝、だけでなく誰でも参加できるイベント開催。公共交通機関（電車、バス、）時間帯を増やしてほしいです。コミュニティバス1日1便じゃ足りない、昼、夕も足すべき。コンビニ、ドラッグストアはこんなに必要ない。ディスカウントショップ、スーパーを増やしてほしいです。子どもも行ける娯楽施設など。
人が集まる場所作り、佐伯海の朝市、山の朝市を一ヶ所に集中固定し毎月定期開催、仲町商店街の有効利用。漁体験ツアー、海のハイキング（シーキング）、島・港巡り（渡し船などで）。初等～中等教育期における地域愛（シビックプライド）の醸成。金属加工技術日本一の町作り…何ができるかをまとめた情報を都市、工業地域、工業団体に発信。市の観光ブランド推進部、政策企画課には市の活性化、地域振興を真剣に考え、思いの強い人材を配置する。人材は民間上がりの者を半数登用する。さらに他への異動は、最小限にする。短期にかなう仕事ではない。市長、副市長、政策課は人脈づくりを仕事にする。特に佐伯出身の有力者は大事。佐伯の外に回った「袖振り合わねば縁も無し!!」。

回答一覧
もっともっと佐伯市には発展していただきたい。今の若者が気軽に働ける職を増やしてほしい。せっかく海の物、山の物おいしい物たくさんあるのに、もっと PR してほしい。あと車に乗らないので、小さいバス 1 時間に 1 本とかにしてほしい。市内中心行き帰りこまります（土日も）（夜も）。
佐伯市は働く場所であって、住む場所ではないと感じます。通勤時間が長くなっても他の市に移り住んだ方が、生活環境はより整います（大分市や延岡市）。あと 20 年もすれば、佐伯市は合併して他の市に吸収されるのではないのでしょうか？このアンケートすら DX 化すればよいのでは？QR コード等の利用、スマホで入力。
早期に企業誘致を。遅れると過疎化の進行もあり、人材不足で誘致が困難となる。
番匠川に橋をかけてほしい。女島→灘→鶴見、蒲江等への交通の便がよくなり、観光の面でも大いに期待出来ると思う。早く取組んでほしい。
今年 2 月に歩いて 5 分の場所にあったスーパーが閉店となり、毎日歩いて 30 分程度のショッピングモールに通っています。地域住民が買い物をしやすい環境は維持して欲しいです。
デジタル化の中であって、アナログ世代が落伍して行く今は、素直に考えてもなかなかついて行けないもどかしさ。食事をするにも画面にて注文をしないと食事ができない時もあり、店員はこの画面にて注文してくれと言いつける。客によっては注文できない場合もあり、なれないとできないし、注文をミスすることにもつながる。その客のためになる判断をしたら良いのに、してくれない。従来のペーパーによる注文がなつかしい。駅でも時間表がなくなった。なんと便利の悪いことか！デジタル化も便利を捨て去って不便にしてくれている。便利なのか合理性優先なのか…。住みにくいご時世になった。七つ星か何かしらないが、都会ではりっぱな電車が次々に作られて走っている。佐伯も JR の数も減って不便な時代。あきらめるしかないのか？
自然災害被害の早期対策。
大阪より移住して 3 年目になります。海と山が近くにあり、自然豊かな環境で生活できるようになり、心も豊かになりました。地元の方が自分の町を好きで居続けられるような町作りをお願い出来ればと思います。
市民の健康の手本として市職員全員禁煙を達成させてはどうか。本気度を見せてもらいたい。タバコのポイ捨ても無くなる。若者で仕事について無い人がいる。仕事の斡旋をしてあげて欲しい。本人はもちろん親御さんにも喜ばれる税収も増える。近隣住人も安心する。何でも協力します。戸長の末裔です。
人口減少に歯止めを立てたい。佐伯市を PR し発展させたい。佐伯市の実施している計画の周知度を知りたい。など、このアンケートは内容が多岐に渡りすぎ統一性が無いため、回答する者として困惑します。特に問 23 は最たるもので、設問が漠然としているため、回答する側の置かれた状況や捉え方で全く違ったものになってしまいます。今回のアンケートの回収率がどの程度になるか分かりませんが、もう少しテーマを絞ったアンケートを実施しないと、現実を映すデータは収拾できないと思います。若い人たちが住みやすい環境を作らないと人口減少は止まりません。産科のない佐伯市で子供を産もうとする若者は居ません。そのような環境整備は必須だと思います。就労の場も少なすぎます。食品やガソリンなど物価も高いです。都市計画については番匠川に架かる橋が少なすぎます。番匠川河口付近やコスモタウン近辺の橋梁の計画はどうなっているのでしょうか。
せめて 24 時間営業のコンビニが 1 軒でもあればいいと思います（鶴見の方）。外国人が増えるのでコンビニがないと便利が悪いと思います。
子供の数が減るのが心配になります。
人口が増えて、市が発展するためには企業誘致が必要だと思います。生活の基盤ができていなければ、どんどん都会に若い人は出て行くと思います。本題とはずれるかもしれませんが、市の施設で陸上競技場を

回答一覧
よく利用しますが、計測器は壊れていて、大会などあって市外から人が来た時に恥ずかしいと思いました。隣の野球場の電光掲示板がとても立派なので、差がありすぎると感じます。
佐伯市は土地が広いので、工場、農業に活かしてほしい。
広域合併をする度に地域の核がなくなりさびれる。行政効率も大切だが、地域の核をなくさないことが重要。その意味で学校も核として重要。
コミュニティバスは土日祝運行しない。買い物、病院なにかと不便です。
佐伯はとても美しく住みよいまちなのに、高校を卒業したら帰って来る場所（就労先、進学先）が少ないことが、とても残念です。優秀な子ほどそうだと思います。そうした若者が定着できるよう大学の誘致と企業誘致、都会の人がリモートワークできる環境、佐伯に来ることで体験できるサービス（空の公園でのグランピングなど）の充実を図っていただきたいと思います。高齢者や体が不自由な人が、津波の際などに安全に避難できる経路や施設の用意もしていただきたいと思います。
隣どうしが声をかけ合う。
ごみを燃やしたらいけないことはわかっていますが、木の枝等多量に出た時、困っています。地域で月に一度か二度集めてもらえたらうれしいです。
この量のアンケートを無償で行わせるな。
高齢者福祉の充実をもっと。
小学生を育てる親として、児童館がなくなり、遊び場を失いました。冬の寒い日や暑い日、雨の日など安心して無料で遊べる場所がありません。ゲームセンターか家でゲーム。小さい子の支援はたくさんありますが、小学生も体を動かして遊べる場所があったらいいなあと思います。
高齢のため（98才）最後まで答えることが出来ませんでした。
中山周辺から現在運行しているバスの運行時間も追加して下さい。今、佐伯市には外国人の居住者や就労者が増えているため、大変助かります。また、大分部品へ向かう坂道は、夜間に暗く危険なため、街灯などの照明設備を増設していただけますようお願いします。
衰退都市を自覚し、何に力点を置くのかを考え、予算を使うべき。自然や寿司はこの市町村にもある。過大に誇張するのはいかなるものか。住む人の住みやすさを第一とするべきでは？
毛利高政公は現在神の位に昇格しております。この件についてお話しします。現在より10年位前に神託があり、城の頂上階段を昇ったところに石像があります。毎日風雨にさらされ非常に難儀をされているそうです。小さくても良いから社殿を作ってくれないかとお告げがありました。早速宮大工に見積り。150万と言われ市教育委員会に打診したところ、にべもなく却下され中止となりました。費用は自己負担です。
海山川自然に恵まれ大切に。城山の四季は佐伯市の宝。良い所いっぱい。大切にしたいと思います。ありがとう。若者が暮らしていきたいと思えるレジャー、ショッピングモール、収益の安定した仕事。子育てしやすい、医療の充実した、教育の充実した魅力あるまちになってほしい。
自然を生かしたレジャー、スポーツ、グランドゴルフ、パークゴルフ等が楽しめる場所の確保。県外、市外から遊びに行きたいと思えるような場所作り。
キーワードについて。佐伯市はすばらしいと思う。ぜひ佐伯に来て堪能できるようなアピールをしてはどうか？
城山桜ホールはインテリだけの物ですか？クラシック系の催し物ばかりですね。年金受給者の行く所がないような気がします。予約なしで行けて、無料で健康に役立つような所があったらいいなと思います。
雑草のない公園を実現する。道路の補修。公共事業を大幅にふやす。
市職員を中心に今後もよい街づくりを頑張りたい（熱心な方と、そうでない方との差がどんどん激しくなっている気がする）。

回答一覧
アンケートを取りたいという気持ちはわからないではない。住民の気持ちを知ること大事なのでしょう。けど、住民の希望を優先するのはちがうと思う。アンケートよく張りすぎ!!
若い人などと笑ったりして高齢者の楽しみの場所がほしいです。
子ども中心といった言葉はわかるが、高齢者に対しても安心して暮らせる事も大きく言っていただきたい。将来ばかりいって現在の事ももっと安心させていただきたい。
私は高齢のため、くわしい事はわかりません。ただ毎月の物価で国民年金なので大変困っています。
熊本のように大企業を呼んで活性化してほしい。
高齢者福祉支援。施設賃金安すぎ。外国人支援に頼っている。
いいものは残し、再生して使う。
水はとても綺麗で、魚は美味しいのに、全く魅力が他県へ届いておらず、もったいないな…と思います。
人口が減少傾向にある為、大きな企業を誘致し若者を始めとする多くの人が安定し働ける環境を作り出す。他の地域や県からの移住者を大切に、打ち解け易い地域の環境作りが必要。SNS 等の宣伝として可能な媒体から大きく宣伝が必要。
海あり山ありで広範囲な佐伯市は、掘り起こせば眠っている産業や観光資源もあるんだろうけど、あまりにも範囲が広すぎる。何もかもが上手くいくようには出来ないので数年ごとに的を絞って集中的に力を入れても良いと思います。
地域全体で市を作ろうという積極的な気持ちにさせてくれるようなワクワクする政策
企業誘致をし、人口 up につなげる
何時も一生懸命でご苦労さまです、頑張ってください。
佐伯市だけのことでありませんが、大分～佐伯間の高速道路を全区間 4 車線にしてほしいです。
若い人の市外への流出を減らす政策。障がい者福祉雇用の充実。安心安全な街づくり
・ 小学校が古い所が多い（明治小は人数のわりに教室もぎゅうぎゅうで狭く、そして古い）。人数的に弥生は統合してもいい気がする。
・ 高齢者向けのバスやタクシーをもっと気軽に利用できるようにして欲しい。祖父母の住まいが田舎ということもあり、高齢になってもなかなか免許を手放せない。
・ 大分県で一番子育てしやすい市になって欲しい。小中高で給食費無料、学費免除など手厚い支援があれば他の市からもきっと人が来てくれると思う。子どもにお金がかかるので、三人目以降産む勇気がない。あと産婦人科が少ない。
・ 大分市に行かなくてもいいように、老若男女楽しめる施設が欲しい。同じ店（コスモスなど）が多い。トライアルや業務スーパーなど、新しい店を入れるべき。
・ せっかく歴史の町をうたっているのだから、佐伯図書館を城下町の方でリニューアルしてみても？自分は図書館巡りが好きなのですが、今は前衛的なデザインなところが多く、和テイストの図書館は少ないので海外からの観光客も増えると思う。
・ 就職できる場所が少ない。将来子どもにはできれば佐伯で働いて欲しいので、就職においてもたくさんの選択ができる市であって欲しい。
・ 子どもが圧倒的に減っているので、見直すならまずは子どもの政策だと思います。
色々な面で生活しづらい。
もう少し商業施設や公園が増えて欲しいです
交通機関も少ないが若い世代が住みやすい様に観光や娯楽が充実化
どこに人材とお金をかけるかが最も重要な課題であると考えます。子育てに対して非常に手厚いことは助

回答一覧
かりますし感謝しております。ただ子供達の親は仕事あつてのことですので、佐伯の優秀な企業を大切に、今後も発展していただけるような行政に期待します。
外国人が多い。もっと地元の人の雇用を多くして欲しい
もっと市役所の職員が、市民のために行動をするべきだと思います。市民がイベントした際には、市役所職員はボランティアで参加しないのか？参加しないなら、市のイベントで、市民を頼るのはおかしいと思います。市民のことを思っていると申したらそれは市が勘違いしているだけであって、全然思われていないです。もっと市民に寄り添うために、市役所職員全体で考え直して欲しいです。
若者が「収入」と「やりがいのある職場」を得ること。収入さえ得れば、遊びに行くのは大分市や福岡に行って遊べばいい。若者が佐伯に住む理由を増やす。ネットがあればゲームは出来るが、人の繋がりを増やす趣味や交流の場づくり。 別府の「うみぼうず」みたいなバッティングセンターがあれば、佐伯や津久見の人が集まる。土日には野球の大会に家族で応援に行く。佐伯で時間を費やせるきっかけが出来る。総合運動公園はその意味ではかなり充実している。ただし、子どもの習い事は送り迎えをしているので、コスモタウンやトキハ周辺の施設でスポーツや文化系の習い事を気軽に「学べる」・「教える」事ができる施設を作る。(スーパーの片隅でOK)福岡はイオンモールでやっている。子どもの習い事の間に買い物ができる。リモートでもできることがあれば、近くの施設や自宅で習い事が学べる・教えられる。
発展、観光などの為にも城山鶴谷城の再建がカギになると思う。難しい問題ですがレブリカでも効果は見込まれる観光かつシンボルにもなると思います。
一個人と見える景色、見なければならぬ者の大小あると思いますが、どうか地方を救って頂きたいです。昔みたいに、隣のばあちゃんが漬物を持ってきてくれたり、隣のじいちゃんが犬の散歩がてら干し柿を持ってきたり。昔はカブを乗っていた方々がシニアカー、寝たきりや施設に入り亡くなっていく。致し方ない事ではあるのですがとても寂しく思います。地域に残っている同級生もほとんどいません。子どもを近所の人に預けたり、田んぼの稲刈りは地域の皆が手伝ったりして豊作の喜びを分かち合う。そんな故郷が大好きでした。昔のようにとはいかないのは百も承知ですが、地域の皆の目に活力が戻ることを切に願っております。
雇用の創出は必要不可欠です。子どもをまん中にし、大切に育てていくためにも経済基盤は重要です。また、高齢者福祉の充実に向けても同様であり、何事も絵に描いた餅にならないような施策が必要であると思います。
佐伯市郊外のインフラを強化して欲しい。 このWEB アンケートにおけるスマートフォンで見た時のUI で回答の見直しが不便であった。(見直す為に前へを何度も押す必要がある)
室内練習場等、スポーツ施設のエアコン設備をお願いします。 スポーツ系の団体や選手を招待しても、整備されてないと意味ないので。エアコンなしで夏場はスポーツできません。
広大な国、県、市が管轄する土地を有効活用し企業誘致を進め、稼ぐ民間企業を支援する事で町は活性化。当面、市職員は市の文化財、施設、消防団、地域の活動など、市、市民のため献身的に活動する。同時進行で省人化を進めて、魅力ある民間へ就職。これが活性化のサイクルではないか。
少し前からどの公園もキレイにしてくれていますが、子供たちからの切実な意見です。どの公園も全く同じで小さい子供向け遊具になって公園に行っても面白くない。ボールも使えない。遊ぶ場所がなくなっています。渡町校区は公園が多く以前は良く外で遊んでいました。遊ぶ場所がないと家でゲームなどの遊びば

回答一覧
かりになります。 これから先の子供たちも同じようになると思います。どうか子供たちの声が届きますように。
若者が地域で働ける職場が増えて欲しいです。子どもも皆地域を出てしまっている状況です。 難しいですね。
移住者を受け入れる体制を整えるべき
働ける環境がなければ全てはうまくいかない。観光資源も特色は海だけなので釣客に全振りした施策を打たないと特色のある街作りは出来ない。あれもこれもや全方向の市民が満足する施策は無いし実行不可能を理解するべき。
2025 年あたりから市報の文字が多くなって読みづらいです。
佐伯から出なくてもよい何事も便利で長く住める環境を作ることが人口減を防げるように思えます。 今の佐伯市は高校、大学と市外にでて、もうそのまま市外で働き、家族を持ち…戻ってくる流れが出来てない。 我が子にもそう望みます。 昔からの事を復活して守るのではなく、新しい事をどんどん取り入れて街を作ってもらいたい。
犬祭が 10 年続いたが佐伯市の支援がないので今年出来ません!佐伯市の PR にもなるので支援して復活させてほしい!
最近個人的な悩みとして、後継者がいないことによる墓じまいや仏壇じまいをどうすればいいのか情報がなく困っています。 市の方で相談窓口を設けていただけたらありがたいと思います。(お坊さんの紹介や、料金の明確化) 公共の納骨堂など増えれば、市外からのニーズもあるのではと考えます。
子育てしやすい地域になってほしい。 どんな人も受け入れる、否定をしない多様性のあるまちになってほしい。
私は佐伯市で生まれ育ってきたので当たり前の感覚になっていましたが、大分市で生まれ育った妻からすると、買い物に行けるところが少なく夜遅くまでしているお店もないので生活がとても不便なようです。 また、高校なども選択肢が少なく、公立高校は定員割ればかりの状況もあり、子どもの可能性を広げることができるのかという心配もあります。そのため、私は生まれ育った佐伯市に愛着はあるのですが来年大分市に移住する予定になっています。若い世代はこのような理由で佐伯が好きだけどリターンしづらいという状況があると思います。このままだとどんどん地域の力が失われていくのでは、と心配しています。 これから、佐伯市のためにできることはしたいと思っているのでぜひ若い世代にとって住み良いまちづくりを行ってください。よろしくお願いします。
自然をアピールして移住者を呼ぶ。買い物などで郡部から中心地へ行きやすいように道路を整備する
わたしが 5 年前、林道や港に隣接する公園の維持管理に従事していたときと比べると草や芝は伸び放題で行政サービスが行き届いてないことがはっきりわかります。各課に振り分けていた草刈り作業を一つの課への一本化した結果、手薄となったことが景観が損なわれる原因に繋がったのだと思います。人口減少に伴う人員削減は、やむを得ないと思いますが佐伯市のまちづくりを考える上で先ずきれいな景観維持から取り組んでみてはどうでしょうか。キレイな街づくりが人を呼びそこから何かが変わっていく気がします。
子どもたちが遊ぶ公園の遊具を綺麗に整備してほしい。ずっと使えない状態になってたり、撤去されたり、草木がボーボーだったり。公園に全然子どもたちがいなくて寂しい。 公民館も無くなって、遊ぶ室内施設がさくらっ子しかない。 さくらっ子には満足しているが、同様の遊び場施設を増やしてほしい。
アンケート初めてで楽しかったです

回答一覧
人が減るのは仕方がない。今の環境、現状でどれだけ良くなるかを考えないと変わらない。 無難を選択すると選ばれない。誰かに選ばれる、今の現状を変えるには思い切ったアイデアが必要。 中途半端なことをすると周りの市町村と一緒に。 どれだけ他と差別化できるかをみんなで考えないと何も変わらない。 佐伯市が好きだからこそうにかしたい。でも行政、企業、市民が同じ方向を向けていないから何も変わらない。何かを変えるための圧倒的なリーダーシップが必要です。
人工が毎年千人程度減っており、若者がどんどん都会にいてしまっており、将来の佐伯市がどうなるのかが不安になる。 そのためにも大企業への土地の誘致であったり、もしくは原発を設置し、関連企業なども増え、人工を増やす取り組みであったり、大型ショッピングモールを建設するように企業に誘致し、佐伯市に税金がはいってくる仕組みをつくっていくべき。
今のままでは、ここでは暮らせなくなるのではないかと考えています。親の介護（基礎年金だけでは施設費用が不足）にお金がかかるので、（親の老後も大切ですが、自分の老後も考えなければならないので）もっと高収入を得られる都市に出ていかなければならないのか？と… 佐伯市は食も自然も好きですが…危機を感じている所です。
佐伯市及び各自治体の方達がまちづくりに力を入れて頑張ってください各地域の催し物が増えて賑わいを見せています、これからも少しづつ人が集まる行事や催し物の場を増やしてもらえたら良いかと思います。
子どもを中心に学校での教育を充実させたり、放課後子どもたちが安心して過ごせる場所を用意してくれるとありがたいです。現在の佐伯市も大切ですが、次代を担う子どもたちに投資することのほうが大切だと思います。そう感じている人は多いと思いますので、その様な取り組みをしていることをアピールすれば、自然と佐伯市に集まる人も増え、最終的に現在の佐伯市の活性化にもつながると思います。
一人暮らしでテレビを観たりスマホを操作したりで満足している。今回のアンケートで分からないことばかりだが、別に知りたいとか参加したいとは思わない。年齢もあると思う。一日に何度も大声で笑ってドラマやバラエティを観てます。それから、編み物をしたり数独をしたりして脳活をします。 まちづくりに協力出来ないかな？すみません！！
老人から若者に。今のままでは、未来が見えません。
月曜日から土曜日まで昼夜問わず大型トラックや大木を乗せたトラックが騒音を立てながら通るのが非常にうるさく困っている。エトウ釣具店から新佐伯大橋へ向かう道路が 50 キロ規制であるためかなりのスピードが出ており、業務上仕方がないのはわかるが朝 5 時から騒音を立てるのは控えてほしい。窓を開けられない。道路に段差があることも騒音の原因だと思われる。
これからも佐伯市に住みたいと思えるように頑張ってもらいたい。
せっかく自然豊かで魚も美味しいのに活かせる店が無さすぎる。 全国色々まわってきたが地魚がこんなに美味しい場所はない。なのに活かせる店が無さすぎてほんとに悲しい。観光もっと市が PR していくべき。 西嶋・田中市長は何も出来なかったが富高市長には期待したい！
中学生の部活動が地域移行され、部活ならかからなかった費用、負担が増えています。 子どもが真剣に取り組んでいるスポーツに対して、親の負担は仕方ないと思いそこは割り切ります。 ただ、指導者の負担は減らされたらなあと感じます。 地域移行のために行動を起こして下さった指導者の方々のために佐伯市として支援があればなあと思います。

回答一覧
田中市長から、富高市長に変わって、子どもと教育というが、その対象者が減少しているのに、それをやり続ける意味があるのかわからない。 今の佐伯市は、地域に人がいないから、人を増やすことを考えないと、市としての税収も望めないし、子育てする世帯も増えないから子どもは増えない。いい政策があっても使う人がいないと意味がない。 そもそもの社会の仕組みを市長は、きちんと見るべきだと思う。働く場所やそれに伴う収入、制度があって、初めて子育てしたいと思う。 子供を３人育てている私は、申し訳ないけど市長が変わって、公約？とかで、生活が良くなったと実感することはない。 あなたを支持するみんなの願い事とか、絵空事を言えるほど佐伯市は豊かではないし、そんな時間はない。 市長の発言ひとつでいろんなことが変わることに、それに対して職員やそれを取り巻く他の人に迷惑をかけていることがある、その事実を知ってもらいたい。地に足をつけて、ちゃんと、政治家として考えてください
透析患者において津久見市等は病院の送迎があるが佐伯市はないため日々のタクシー代が負担になっている。
歴史や自然を守っていきながら新しい価値観を生み出し、市民にとって誇れる街にする。 市の面積が広いのに、それを活かしていない。進学・就職によって若者が市外、県外に出ていくこと。働く場所が少なく、公共交通機関も不便でバスや電車の本数の見直しをするべき。 娯楽施設や交流が少なく、発展があまり感じられない。 ただただ広い市であって、住みたい場所とはならない。発展している地域と発展していない地域の差がすごく、何をしたらこの市に住みたくなるかという理由を作るべき。 子育ては比較的しやすく、自然がいっぱいだからこそ都会の方とはちがってのびのび育てる・育つことが出来るが、車がないと不便、病院が遠い、塾や進学先の手段が少ないというデメリットの方が大きく感じて、都市部へと流れていくことになるからそこを改善して欲しい。 治安などは比較的いいと思うし、市内の方やコスモタウンの方は発展しているためどこにでも行けるけれど山間部と沿岸部に住んでいる人からしたら不便なのではないかと思う部分もある。 自然も広さもあるからこそ、それを活かして豊かに暮らせる市を作っていくべき。
人口減少、少子高齢化は止められないと思っています。 財源や人に限りはあるので、本当にお金と労力をかけてすべき価値のある制度なのか、本当に必要なことなのか、きちんと精査してほしいです。 ①結婚支援について 出会いがあれば結婚してこどもが増えるという考えには疑問です。 先行きがわからず情報があふれ、物価高騰が続くなかで、安心して働ける仕事があり、結婚して子育てをできると思えるだけの給料、環境がなければ子どもは増えないと思います。 もしくは、こどもを産まなくても今まで単身で暮らしていた人同士が結婚し、生活費が削減できる、または老後１人になる確率が減るということも目的としているのならどの程度のことを目標にしているのか、それにかかるコストと労力に対して見合うだけの成果が出るのかと考えます。 ②移住者支援について 子育て世帯や若者をターゲットにするのであれば、仕事と給料や環境を含めて、もともと住んでいる市民が子育てしやすい、きちんとした教育を受けられるということが一番ではないかと考えます。そこに魅力

回答一覧

を感じて移住してくることが理想であり、PR して何度か佐伯市に来てもらって体感してもらうことに重きを置くべきであると思う。

③幼少中の教育について

全国的に教員不足で、教育の質の担保は難しくなっているのは当たり前だと考えます。

教員としての業務以外のことが多過ぎるということから、「業務の 3 分類」を実施していくということをホームページで見たのでとても期待しています。ただ、教員が多くの時間を費やしていた教員でなくてもできる業務を誰がするのか、既存のままの人数や少し増やすということで改善できるのか、どのように考えているのか知りたいです。

また、学校に過度な要求をしている保護者の話を時々耳にします。我が子を思っていることもあるかもしれませんが、話だけを聞くと理不尽なものもあり、先生たちが大変過ぎると思いました。聞いた話なので本当かどうかはわかりませんが、自分自身も気をつけなければならないと思いますが、過度な要求が先生たちに負担をかけ、子どもたちと向き合ってもらえる時間や心の余裕を奪ってしまっていると思います。先生たちもプライベートがあり、家庭もあることを忘れないでほしいです。

④AI と DX

私は疎いのでわかりませんが、疎い私でもできると有難いと思っています。きっと目から鱗なこともたくさんあると思うので、簡単にできることを教えてほしいです。Zoom の講義を聞いて終わりだと結局実践はできませんでした。自分のレベルに合っておらず、難しかったということがありました。

⑤最後に、

行政の根幹は福祉と教育であると思っています。国や県の制度で決まっていることや、民間ではないため難しいことかもしれませんが、財政面では合理的判断が必要と考えます。

佐伯市は何を重視するのか、そのために何を削るのか、スクラップ&ビルディングではなく、スクラップを多くして欲しいです。

歴史資料館はとても立派な建物ですが、せっかく桜ホールが賑わっているにも関わらず、魅力を感じません。既に出来上がっているものですが、もっと市民が何度も行くような場所にしてほしいです。桜ホールに子どもとよく行くので図書館もいいなと思いましたが、未就学児から低学年の親子には便利ですが、それ以外の層の人達は読書をする人としらない人と既に決まっていそうなので、図書館は今の場所でも良いのかもしれないですね。

国に対してですが、給付金をもらってもこれは税金で結局子どもたちが払うのか、しかもこの給付事務に労力とお金が掛かっているから上乗せされて子どもたちに返ってくるのか、いつも思います。子どもたちが大きくなった時には、もっと過ごしやすい幸せと思える時代だと良いのですが、なかなかそうなるとは思えません。

テレビで議会が放送されているのを見たときに、これからの佐伯市全体のことを考えて話してほしいと思いました。

老人しかいないや就職先が無い交通や買い物の利便性が悪いなどそれらが原因で若者が定住しないそれを改善できる町作りを実行し継続できるように頑張りたいです。

回答一覧
今回のアンケートは質問数が多すぎて、途中で回答したくなりました。しかも似たような質問内容が多く、こんな質問が関係あるのかと疑問に思うものが多く、中には適当に答える人もいるのではないのでしょうか？私は答えながら腹が立ってきましたが、何とか最後まで回答する事ができました。こんな内容のアンケートで、市民の貴重な時間を割く意味があったのか疑問です。今回の回答内容が今後の佐伯市の発展に繋がる事を祈ります。
街中に飲食に出かけたいのですが、駅まで徒歩 30 分、駅からお店まで徒歩圏外と、手段がありません。往復タクシーを使うほどお金もありません。
大学や、大型商業施設を作るなど、若い人が来るように出来たらいいのかなと思います。
市長が代わり、子育て支援がかなり充実しており、現在子育て世代の方々は恩恵を受けていますが、これまで支援が少なかった、私達のような 50 代に近い大学生の子供がいる子育て終わりがけ世代、子供が 2 人しかいない世代にも、支援がもっと欲しいです。
専門性を重視した役所内人事、採用
物価高騰対策としてのプレミアム商品券の取組は毎年行ってほしいと思います。
共働き家族が主な時代です。小学校の子供がいますが、夏休みには必ず学童を利用しないといけません。毎日の弁当作りが大変で、夏休みに関わらず学童にも給食を出してほしい。
Hebat（訳：すごい）※インドネシア語
子育て世代に優しい環境が進んでほしい。
大入島埋め立て反対運動から佐伯市は壊れてしまった。失われたものは余りにも大き過ぎた。ダイハツ九州は中津に行き、地元出身御手洗キャノンすら来ない。もう取り戻すことは出来ない。何故こうなったのか？誰がこんな佐伯市にしたのか？当時反対した者たちに責任を取って貰いたい。あと佐伯市に残された可能性があるとするれば、海上自衛隊佐伯分遣隊の基地化または原発しかない。
子どもがいるので子供目線の話になりますが、歩いていける範囲で公園がないのが悩みです。以前はあったのですが、唯一あった滑り台が撤去されて、更地になり、何にもない広場になりました。車で行っても停められる所がなく、なかなか遊べる所が少ないのが悩みです。 また夏は暑くて外では遊べないので、なかなか子供を遊ばせられる所がないのが悩ましいです。
他県の人が見る佐伯は、高い税金、働く場所がない、市役所の人員が多い、交通便が悪い、買い物するところがない、いい医者がない、人の冷たさ、運転者のマナー悪い など佐伯の姿は悪いそうです。
安心して住める街にするため、災害整備を整える
市民任せにしないで、役所職員はちゃんと働けとしか思わない。清掃活動等市民にして欲しいならまずは職員が率先してやって欲しいですね。
「まちづくり」というものが本当は何なのかよくわかりません。無理につくらなくても、そこに暮らす人たちの日々の営みの結果でいいのではないかと思います。まちも人も変わらないものは変わらないし変わるものは自然に変わっていくものなのかと思います。
佐伯市内で子どもが遊べる場所が少なく、市外へ出なければならない。佐伯市内で遊べる環境を整えて欲しい。屋内、屋外どちらも。
道路の整備
桜ホールなどの中心地区が、やっているなと言う印象。 広大な土地があり自然が豊富なのにいかせていない。ここでしか出来ない何かがあればもっとチャンスが生まれるのではないかなと思う。

回答一覧
地場産業の向上だけではなく、大企業誘致等によって労働者の収入の安定化が必要だと思います。 (収入、長期に)安定して働ける場があれば、子育てした時に子供の将来まで安心して暮らせると考えてもらえ、それが地元民の定着(Uターン含む)や移住者の増加に繋がると思います。 自然環境の観光というのは、世の流れで飽きられたらおしまいなので、世の流れに左右されないエッセンシャルな産業の呼び込み、立ち上げに尽力すべきだと思います
佐伯市民は、なるべく佐伯市で買い物や飲食をして地元にお金を落とす。特に佐伯市職員には、買い物や飲食をしてもらいたい。
せっかく住みやすい所なので、積極的に発信して欲しい。今のままだと勿体ない。公共交通機関を充実し起業誘致に力を入れ、若者達が増えてくると思います。
小中学校統合の見通しを、早期にお示しいただきたいです。
平和や豊かさや発展、信頼や安心できる子育ても、全て食べものの自給率が安定しているからこそ実感できることと思います。 外から得ることばかりにならず、地産地消や地域で循環するつながりを育む取り組みを期待しています。急がず着実に。
私は結婚を機に佐伯市に来ました。来た当初は、今ほどオンラインも普及しておらず、買い物に不便さを感じていましたが、今はネットで注文すればなんでも届くので、便利になったなーと感じています。ただ、児童館はなくなり、子どもたちが放課後遊ぶ場所もそれぞれが家でゲームをするような様子はよろしくないなーと感じています。のびのびと遊ぶ子どもたちの姿が見たいなーと思います。
道路や建物などにお金を費やすのではなく、公共交通機関などを充実してほしい。 <理由> ・観光客などがアクセスしやすくなる(商売の機会向上) ・高齢者が免許を返納しても、生活できるようにしてほしい(高齢者の生活環境向上) ・子供が1人で公共交通機関で出かけやすくしてほしい(塾通い、通学、受験など) ・飲酒運転などを減らす意味でも、車でなくても移動できる環境の方が好ましい(商売の機会向上) ・市外からの通勤などに活用できる方が便利(企業誘致の向上) など
行政職員のみ、年功序列での仕組みでは対応が難しい世の中になってきていると感じます。外部専門員(非常勤等)の雇用や、ジャンルに応じての若手抜擢など、市役所内部からの改革が地域にも好循環をもたらすことと感じます。 既存の公共サービスを残すことが必ずしも正義とはならない時代になっていると感じますので、数年先の暮らしを予測想定したサービスの在り方(学校などから道路まで)を見直し、必要な投資は適切に行っていくことが大切かと思います。
佐伯市の場所が県内でも端っこなので企業誘致は難しいと思います。地場産業の発展が大事だと思います。いずれ帰って来る人材を育てて欲しい。素晴らしい教育者や医者、経営者、芸術家等育てて欲しいと思います。
佐伯市城東町のひょうたん小路のところからコスモスに渡る横断歩道に信号をつけて下さい。危ないです。過去に子供が事故にあった場所です。
生まれ育った場所なので、住みやすい街です。 行政の方々もがんばってくれていると思いますが、良いところを発信する方法とか内容がイマイチ。

回答一覧
災害対策については、本当によく取り組んでくれている印象です。そういう良いところをうまく発信してほしい。
佐伯市民は他所者を受け入れないイメージがあります。 市民が日常に満足し、充実した生活を送れているのか疑問です。 前例がないという言葉で片付けられる事がしばしばあるのが理解できません。
地域は魅力的な場所が多いが、魅力を外に発信出来ていない。 若者が転出しないような魅力ある施設や就労場所の環境を整えなければ佐伯市としての未来はなく人が居なければ産業は衰退し市としては消滅すると危惧している。
せっかく美味しい幸があるので、もっと観光面に力を入れて欲しいです。
企業や外部のものに対して受け入れなさすぎる。
熊本菊陽町のような一発逆転はありませんか？様々問題も発生しているようですが、、 山田水産のウナギ養殖のように、どこで世界に冠する技術発展が起こるかも、わからず。なのでせめて可能性が大きくなるよう、港湾整備などの投資が必要ではないでしょうか。
病院ばかりが建ち、若者の遊ぶ施設などが無く。若い人は大分市まで出て行っているのが現状だと思います。これで人口減少と言われてもそれはそうだとしか思えません。
市内に人が集まらない状況。 賑わいを取り戻さなければ終わる。 人を呼び込むには何をすれば良いか。 食と環境から考えられるイベントしかない。
番匠川を境に橋向こうには大きな拠点となる病院等がなく災害時などは、少し不安。 自分の住んでいる地域（高畠）は道路が寸断されると孤立する地域でもあるのでそういう所も不安。 防災スピーカーももうひとつくらいあると安心感があるので検討してほしい。 そして、橋向こうになると一気に不便になるので高齢者などはほんとに大変だと思う。 特に稲垣地域はちょっと買い物するにも橋を渡らないとなにもできないので、 車がある若い世代でも、不便だなと感じる事が多いです。
佐伯市の中心地がどこかよくわからず駅前もお店が少ないです。
無駄なもの、無駄な出費の排除。限りある自然資源の維持管理 リデュース、リユース、リサイクル♻の充実モデル都市を目指したい
佐伯は自然豊かで人との関わりもしやすい本当に住みよい町です。でももう少し活気があったらいいなと思うのと、交通の便が悪すぎます。他県との行き来に本当に苦労します。県外へのアクセスがよくなれば若い人も佐伯に住み続けたい人も増えるのではないのでしょうか？
市長には期待しています！ 僕らも仕事頑張るので行政のバックアップお願いします！
若者が働ける場、楽しめる場がないと佐伯市は先細りする一方だと思うので、そういった場を作って欲しいです。 また、地域の支え合い事業で交通手段を確保しないと、買い物もままならない方が増える一方だと思うので、地域コミュニティと自治体協働で推進してください。
催しがあっても周知されていない。後で行事があったことを知る。細かい行事も必要だが県外からも参加できるような大きなイベントを考えてみては？

回答一覧
田舎住まいなので、佐伯市内が住みやすくなったところで、あまり変化がないです。 移民は反対しませんが、治安が悪化しそうな気がして微妙です（年寄りが多いので…）。
交通手段のない高齢者の為に、コミュニティバスよりも細やかな配慮のできる交通手段の充実を希望します。
学生が地元佐伯を好きでも、働く場所が無ければ離れざるを得ないかと思います。せめて資格や免許を取得して、佐伯に帰ってきて貰えるように学生に魅力を伝えて欲しいです。高校卒業後も大学や専門学校など、学べる場所があると移住者も増えてくれるのではないかと思います。そして佐伯に働ける場所をたくさん作って欲しいです。
子育て支援に力を入れるべき
子どもたちのために、本当に、変わって行ってほしいと心から願っております。このままでは、学べる場も職も少ない佐伯市では、子どもたちも私たちも、佐伯市から出る選択肢しかありません。子どもたちが学びたいと思える学校づくりをし、就職先に困らない、魅力ある街づくりをよろしくお願いいたします。
若い世代の移住したいと思えるような支援や就労の場の強化 佐伯に帰って来たい、移住したいと思っても仕事が無い、家賃が高いや車が無ければ生活出来ないのが現実です。
子供が遊ぶ公園が少ない。
九州一の広大な面積を持つ当市において、著しい人口減少が進む中、これまでの「前例踏襲」や「個別分野ごとの部分最適な対策」では、市の存続自体が危うくなると強い危機感を抱いています。医療、公共交通、仕事の減少などはすべて連動した一つの課題であり、市が縮小していく構造そのものへ切り込む抜本的な大改革が必要です。 未来の当市を維持するため、以下の4点を一体的な政策として強く提言いたします。
1. 居住地の集約化（コンパクトシティ）と移動インフラの整備 分散しすぎた居住地は、水道や生活交通などの行政コストを際限なく増大させます。居住地は旧市街地とその周辺に集約し、空き家活用や家賃低減策で若者が住みやすい環境を作るべきです。その上で、居住地と就業地を円滑に結ぶ道路網の効率的な整備を求めます。
2. 広大な農地の集約と「半官半民企業」による若者の雇用創出 農業従事者の高齢化を踏まえ、放置されている、または細分化されている広大な農地を強制的に集約し、市と民間が連携した「半官半民」の農業法人を設立すべきです。若者を「サラリーマン（正社員）」として安定した待遇で雇用し、当市の基盤である農業を持続可能な産業へと再生させてください。
3. 「雇用」と連動した子育て環境の抜本的改善 市長が掲げる「子ども真ん中」の姿勢には大変共感しますが、親の働く場所がなければ移住・定住には結びつきません。また、現在お世話になっている児童クラブを例に挙げても、施設の広さや環境、指導員の先生方の働き方・給与体系など、安心して預けられる環境としては未だ課題が多く、雇用と子育て環境の双方を底上げする「両輪の施策」が必要です。
4. 時代に即した地域コミュニティ（自治会）への変革 地域の維持に欠かせない自治会の活性化には、若い世代の参画が不可欠です。そのためには、若者の意見を積極的に取り入れ、時代に合わない「謎ルール」や古い慣習を撤廃すること、そして活動を「無報酬の

回答一覧
義務」とせず、負担に応じた適正な対価を支払う持続可能な仕組みへ移行することが重要です。
全ての産業が成り立たなくなる「負のスパイラル」を断ち切るため、一朝一夕にはいかない大改革であっても、市としてできることから即座に行動を起こしていただくよう切に願います。
色々な意見があるかと思いますが、民主主義の考えで、住みやすい街づくりをお願いします
私はこの質問に答えるために、時間を測りました。佐伯が良くなることへの参加をしようと思っています。しかしながら、この質問にできるだけ考えられることを素早く深く考えるようにしましたが、50 分かかっています。この回答が有意義に、使われますことを望んでいます。
自然豊かで農水産物も豊かで住みやすい町だが雇用先が少ない これといった特性もなく高速開通しても通り過ぎる町と化してる 土地はありもっと企業誘致し雇用促進すべきだと感じます。
移住者等の外部の人への補助よりも今住んでいる人への補助を手厚くしてほしい。
トライアルの様な近隣の市の人々が来る店があると良いと思う。
人口減少によるコンパクトシティ化と同時に、地球温暖化による自然災害の巨大化や安全保障の高まりに晒されている山（森林）、里山、海（離島）の国土保全（強靱化）も忘れてはならない課題です。まちづくりが点のみに偏ることのないように、まちは単独で存立できるわけではないことを強調したいと思います。
デジタル化できるものはどんどん進めてほしいです。地元企業へ若者が就職したくなるように福利厚生や賃金の上昇、それを補助できるような市政のバックアップをお願いしたいです
市民の税金を使っているので、本当に必要なものを作って欲しい
もっと観光に力を入れ、観光客が増え、お店も増えると良いと思う 新しいものを受け入れがたい風土があるのかもしれないが、企業誘致し、人口減少を止めることが最重要だとおもう。
市営の囲碁・将棋・麻雀が出来る場所が欲しい。 高齢者が多い遊びなので高齢者が多い佐伯に1つはあって欲しく市営であると安心できる。 建物でなくても週1,2回程度の頻度でいいので桜ホールで集まれる機会があるといい。 その際は初心者向けの教室と自由に対戦できるスペースが同じ部屋にあればレベルが違う人でも交流できてよいと思う。 遊ぶにあたり年齢や体力は関係なく誰でも始められるのは、地域交流の助けにもなると思う。 個人で遊ぶ際は場所を選ばず遊べ、費用も少額で済むので、ある程度盛んになれば市が何もしなくても個人レベルで交流が増えていく可能性も見込める。 競技人口が増えれば大会を開くこともでき、大会としてある程度の実績ができれば市外や県外からも人が来てくれる観光資源にもなりえるのではと思う。 人と対戦するという関わり方は、協力や鑑賞といった関わりとはまた性質が違うので地域交流の新しい手にもなると思う。 また、祭りやイベントでもなく趣味という分類でより生活に近い、深く長くの人付き合いも構築しやすいのではないかと思う。 近年の佐伯市は祭りやイベントのようなたくさん人が来る大きな催しが多く、そちらに力を入れていると感じますが、こういった小さな催しを地道に長く続けるのも大きなことをするのと同じほど大切なことなのではないかと思いました。
これから佐伯市を国内外にアピール、セールスするのなら町がどこにあるのか分かりやすいように「東九州市」という市名にしたらどうだろうかと考えたりします。（費用等の事も考えずに述べていますが）

回答一覧
佐伯市を作って来られた先人の偉業や町の歴史には敬意を抱いていますが佐伯は奈良や京都のように歴史で潤える町ではないので、ならば未来を見据えて生まれ変わるのもいいのかとも思います。(上記のキーワードたちと矛盾しているようでしたらすみません)
佐伯市に観光に来たいと思ってもらえる魅力あるまちづくりを期待します。 大学卒業した若者が地元就職したいと帰ってくるようなまちづくり。大学奨学金の返済負担などにも取り組んでほしい
区長が毎年同じ内容の要望をしているということは、何も対応がされていないということ。地方は後回しなのは仕方ないことですか？
市外、県外の方から佐伯市の中心街はどこですか？とよく聞かれます。 その質問が今の佐伯市を象徴していると思います。 観光 PR、または PR する物、事象、目玉となる場所、インフラ、全てがチグハグです！
我が家には、発達障がい、知的障がいの子どもがいます。 近年、障がいを持った子。グレーゾーンな子。不登校な子。そのような、困難を抱えている家庭が増えていると思います。 本匠小学校、中学校の小規模特認校など、子ども達にとって選択が増える取り組みは、素晴らしい事だと思いました。 今、支援学校に入れる子も、基準が高くなり難しくなっているようです。支援学級を希望する生徒も増えていると感じています。 そのような、少し困難を抱えている子どもが少しでも、目標や楽しみを持ちながら通える場所が増えるといいのでは、と思っています。 少子化により、空いている幼稚園の教室や校舎を、児童発達支援センターや放課後等デイサービスへ再活用や療育の場へ再活用できないものか、と障がいを抱える子の母として、考えたりします。 不登校の子も増えていますが、より多くの選択ができるようになり、その子達の将来につながる場があれば、佐伯の子育てもより豊かになるのではと考えます。
まちづくりについての意見という割に若者目線ではなく、高齢化していく社会の中でそのターゲット層をどんな風に取り込んでいくのかというアンケートだなんて感じました。 佐伯市に帰省して初めに感じたのは家賃の高さ。1K で 40,000 円/月が安い方と言われた時は驚きました。 その土地に居住する上で必ず発生する固定費が高いのに長期的に留まってくれるイメージがわかりません。 防災訓練で地域の交流は多く、地域毎の祭りの開催や草刈り等高齢者同士のコミュニケーションも取れていると思うので、家賃などそういった必ず発生する固定費にも目を向けてみてはいかがでしょうか
大企業誘致などの考えは捨て、資本主義のみに重きを置かず、江戸時代の様な循環型社会をモデルにしながらも二十一世紀に相応しい新しい地域社会を作っていくべき。
引っ越しを考えた時に家賃が高いという印象を受けた。
私自身リターン移住者ですが、移住を検討する上で買い物環境、住居のコスト、医療機関は重要です。佐伯市は医療機関は維持出来ている方だと思いますが、商店が閉店したまま跡地に何も出来ない（代謝がない）点と空き家が多い点が気になります。無駄になっている土地を活用する仕組みをご検討頂きたいです。
今年の春まつりはあまりにもシンプル過ぎて物足りなかった。 例えばプラスバンドとかもう少し賑やかなものが欲しかった。

Ⅲ 市民意識調査（参考分）の概要

1 調査の目的

市民意識調査（参考分）は、市のまちづくりの基本となる計画である「第3次佐伯市総合計画」（令和10年度～令和16年度）の策定にあたって、今後の市政運営や施策推進に対する市民の皆様の御意見をお聞きし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

なお、市民意識調査（参考分）は、市民意識をより幅広く把握する観点から、市民アンケート調査における設問項目の一部を抜粋し、市公式ホームページ等を通じて広く市民の皆様から御意見・御提言を募集・集約したものです。

2 調査概要

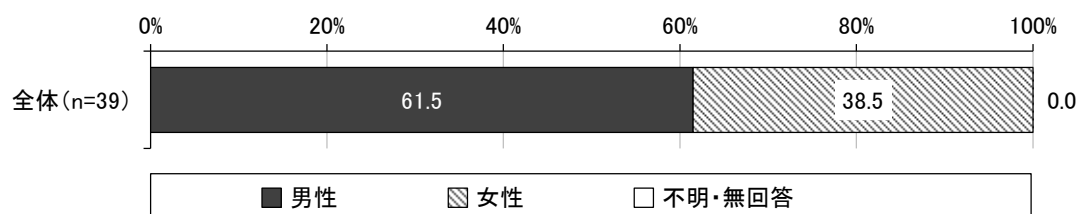
項目	市民意識調査
調査対象者	市内在住の方
調査期間	令和8年6月1日（月）～令和8年6月16日（火）
調査方法	佐伯市ホームページに掲載した Web アンケート
有効回答数	39 件

IV 市民意識調査（参考分）結果

1 あなた自身のことについて

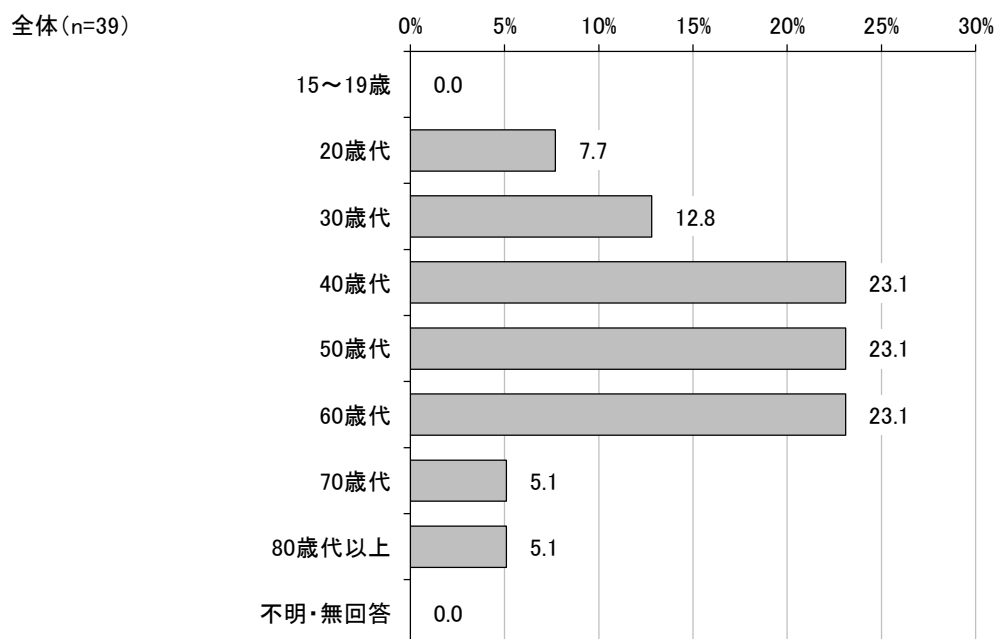
問1 性別をお答えください。【1つに○】

「男性」が61.5%と最も高く、次いで「女性」が38.5%となっています。



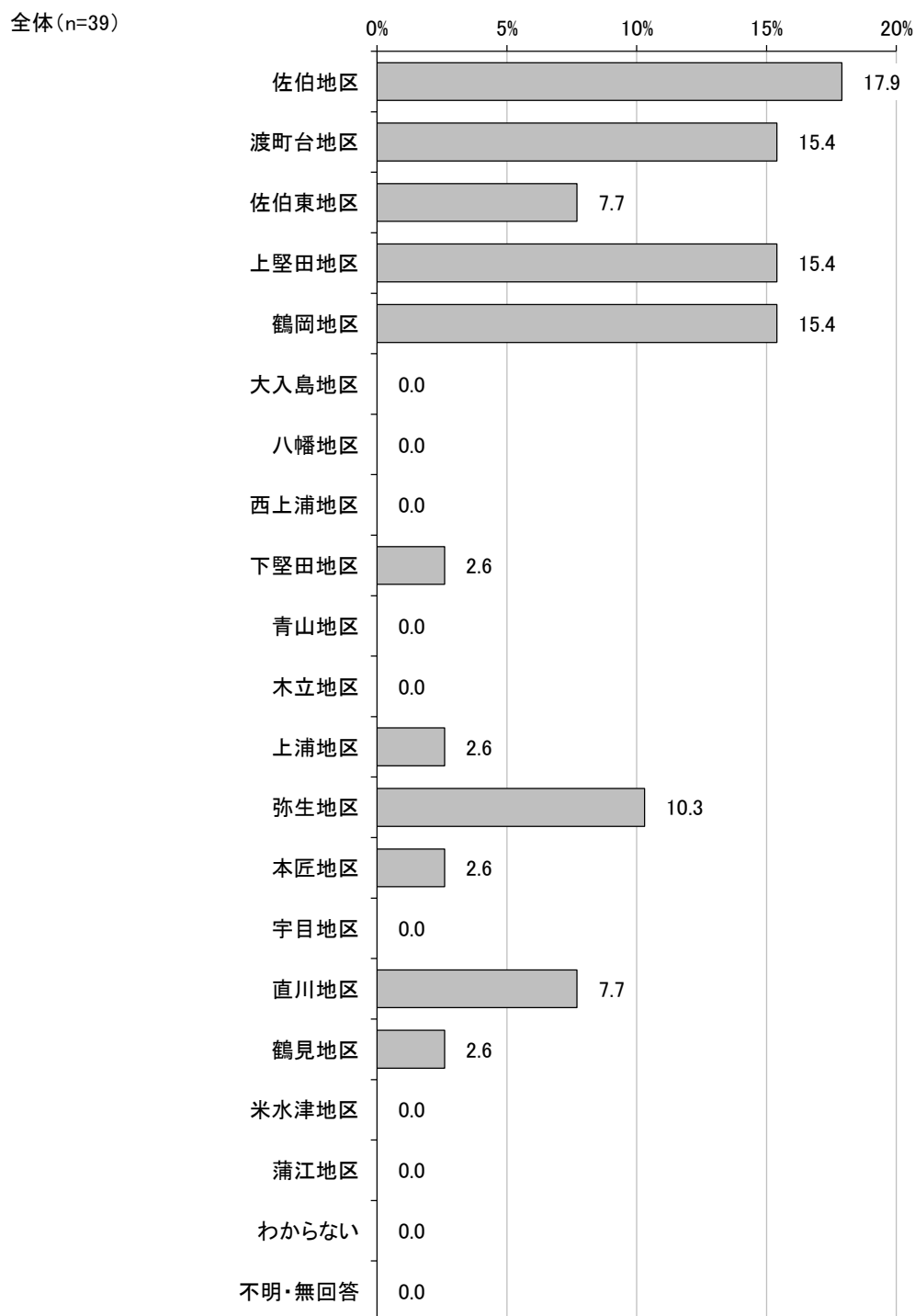
問2 年齢をお答えください。【1つに○】

「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」が23.1%と最も高く、次いで「30歳代」が12.8%となっています。



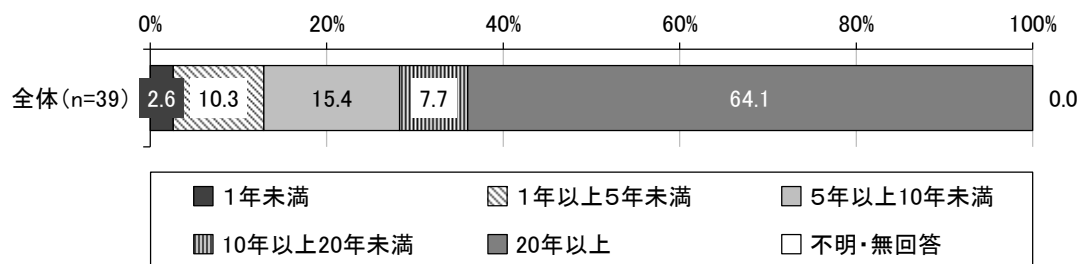
問3 お住まいの地区はどちらですか。【1つに○】

「佐伯地区」が17.9%と最も高く、次いで「渡町台地区」、「上堅田地区」、「鶴岡地区」が15.4%となっています。



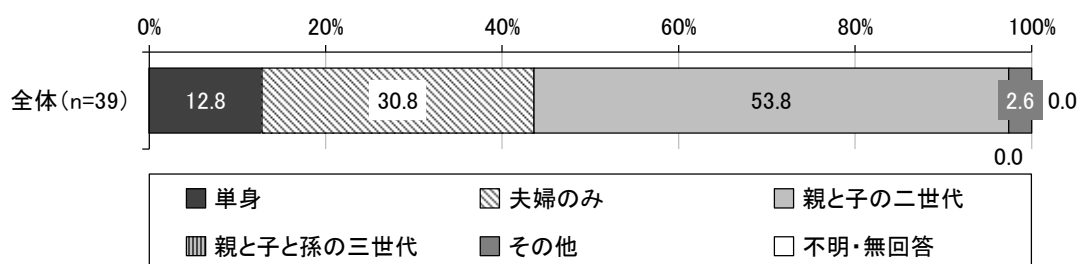
問4 佐伯市に何年住んでいますか。(合併前の旧市町村含め)【1つに○】

「20年以上」が64.1%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が15.4%、「1年以上5年未満」が10.3%となっています。



問5 家族構成をお答えください。【1つに○】

「親と子の二世帯」が53.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が30.8%、「単身」が12.8%となっています。

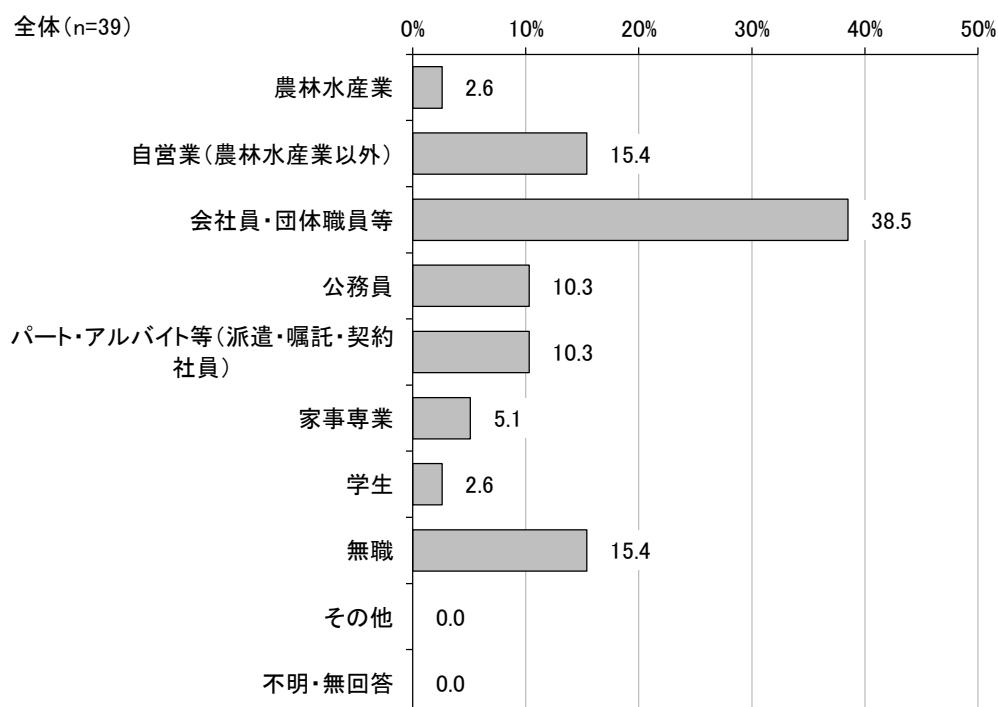


【その他回答】

・親族との同居

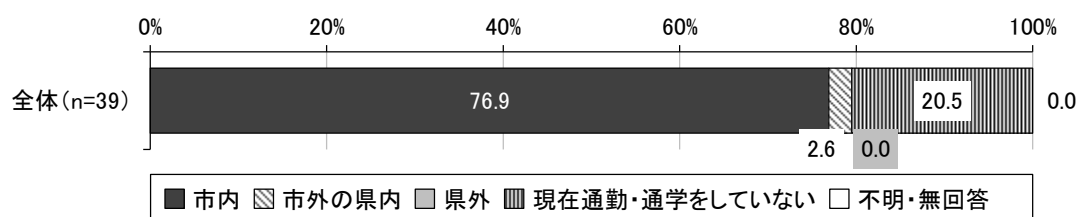
問6 主たる職業をお答えください。【1つに○】

「会社員・団体職員等」が38.5%と最も高く、次いで「自営業（農林水産業以外）」、「無職」が15.4%となっています。



問7 通勤先・通学先をお答えください。【1つに○】

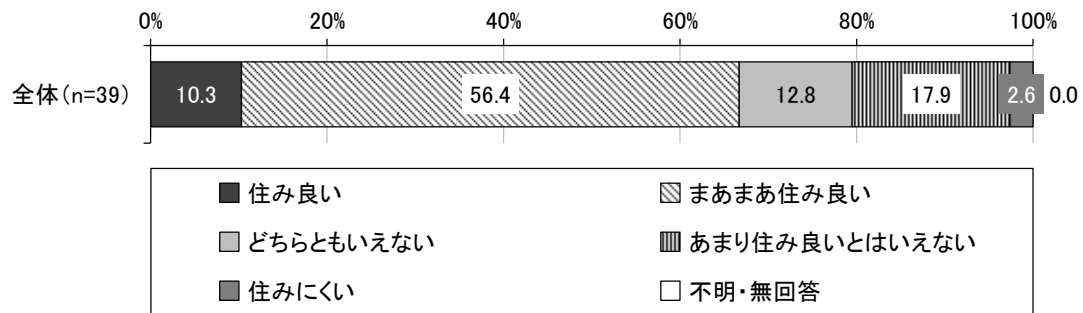
「市内」が76.9%と最も高く、次いで「現在通勤・通学をしていない」が20.5%、「市外の県内」が2.6%となっています。



2 佐伯市での暮らしについて

問8 佐伯市は、住み良いまちと思いますか。【1つに○】

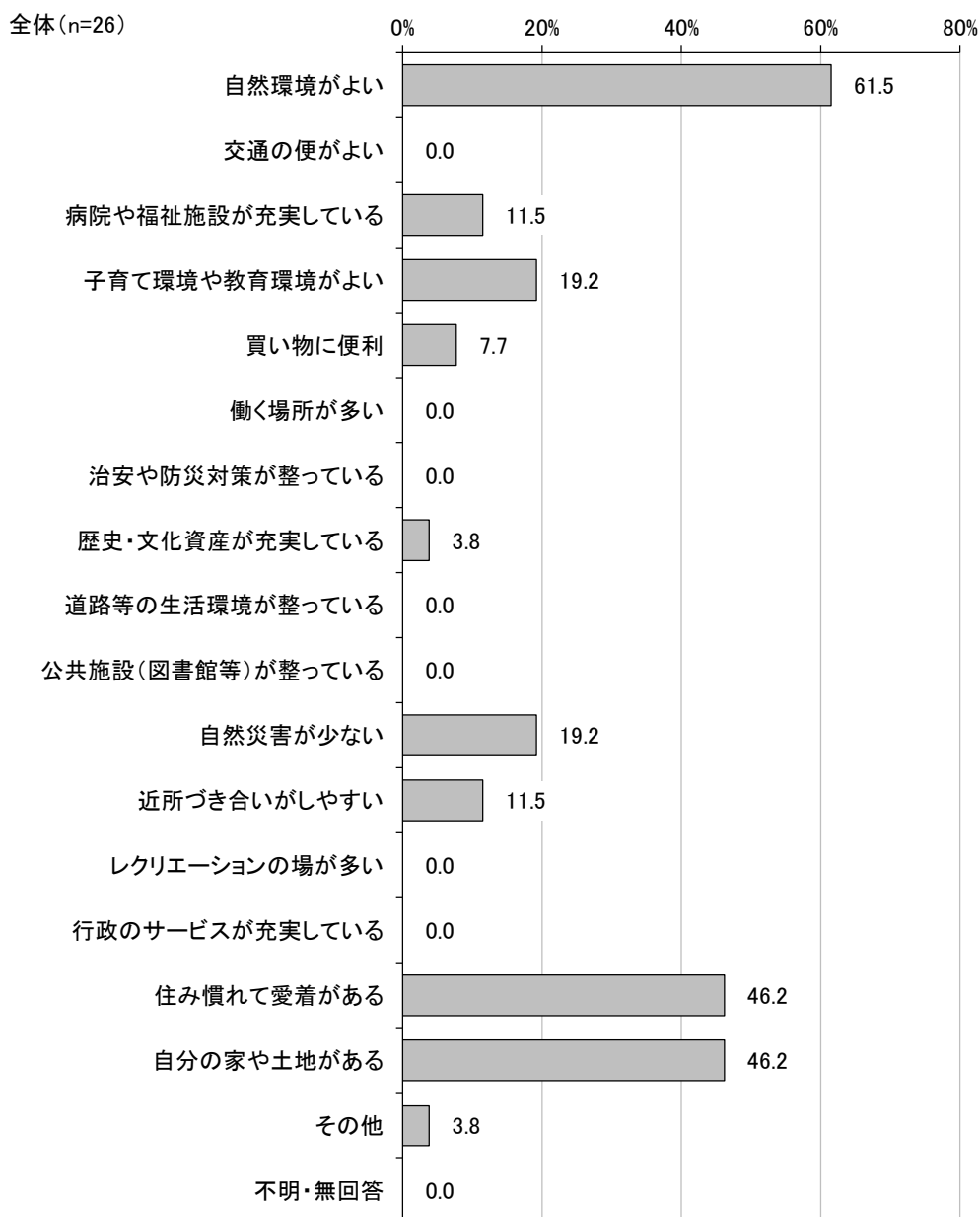
「まあまあ住み良い」が56.4%と最も高く、次いで「あまり住み良いとはいえない」が17.9%、「どちらともいえない」が12.8%となっています。



問8で「住み良い」または「まあまあ住み良い」を回答した方

問9 佐伯市が住み良いと感じる理由は何ですか。【3つまで○】

「自然環境がよい」が61.5%と最も高く、次いで「住み慣れて愛着がある」、「自分の家や土地がある」が46.2%となっています。

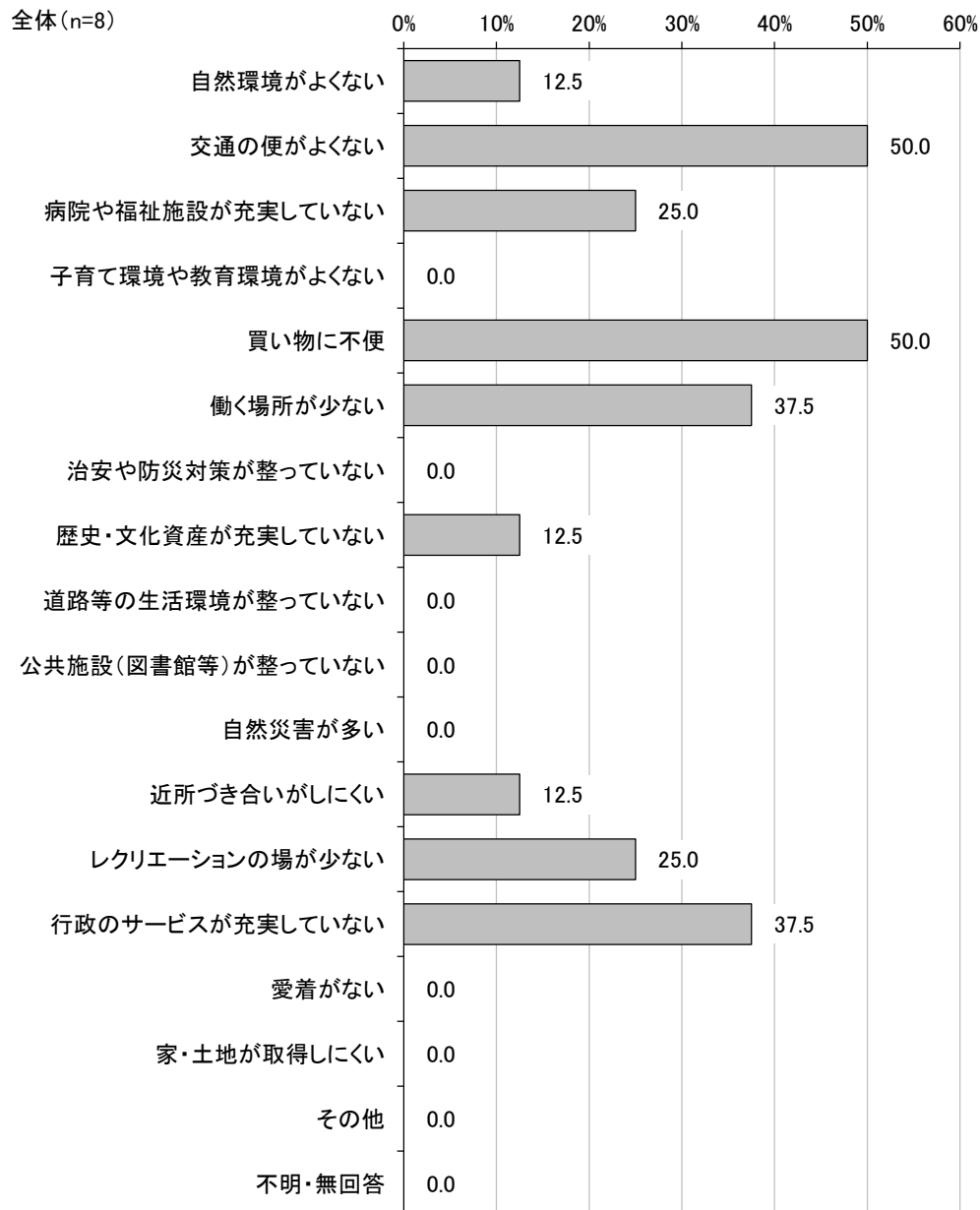


【その他回答】

・都会過ぎず田舎過ぎず、気候など全てが概ね程よい。

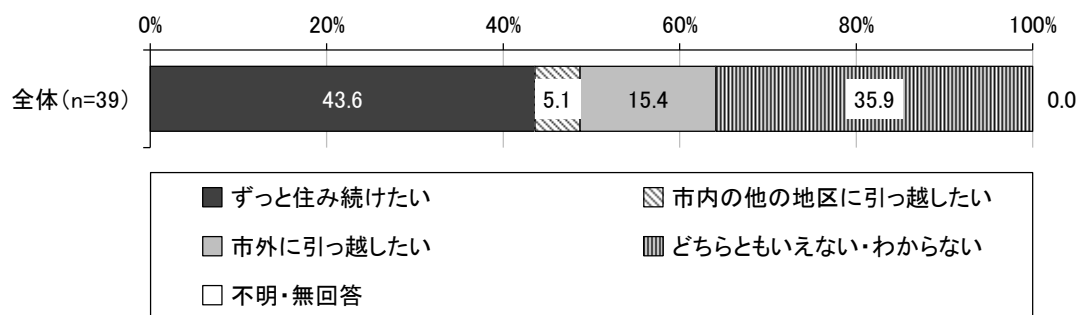
問8で「あまり住み良いとはいえない」または「住みにくい」を回答した方
 問10 佐伯市の住みにくいと感じる理由は何ですか。【3つまで○】

「交通の便がよいくない」、「買い物に不便」が50.0%と最も高く、次いで「働く場所が少ない」、「行政のサービスが充実していない」が37.5%となっています。



問 11 あなたは、将来も今住んでいる地区に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

「ずっと住み続けたい」が43.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない・わからない」が35.9%、「市外に引っ越したい」が15.4%となっています。

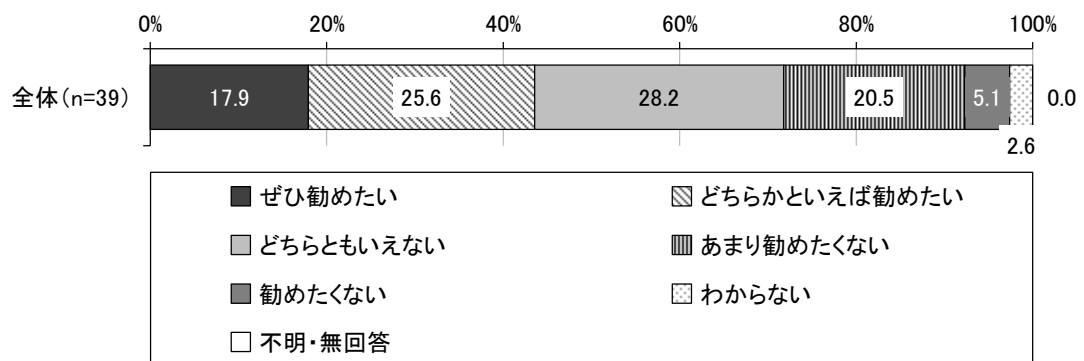


問 12 佐伯市が持っている多くの魅力のうち、あなたが特に誇れるもの・大切にしたいものは何ですか。【具体的に下の枠内に2つまで記入】

回答一覧	
食べ物が美味しい特に魚	自然が魅力的
美味しい食べ物	海、山など特色ある自然
海山川の三拍子そろった自然	佐伯人(さいきんし)気質(かたぎ)
番匠	城山
食文化	ラーメン
人情	海産物
自然	住民同士の緩やかな繋がり
寿司、刺身など魚を中心に飲食	釣り場
自然環境	水産資源
山と川のある町	台風等気候関係が良い
自然環境、山川海	人との繋がり、人情
豊後二見ヶ浦	空気が澄んで月と星が綺麗
魚	城下町
魚が美味しい	風光明媚
自然(山と海)	ツールド佐伯
自然環境	海
自然環境	自然の豊かさ
海鮮がおいしい	人情
川・海など自然豊か	渋滞知らず
海	佐伯ラーメン
佐伯の自然	佐伯城趾など歴史
人	番匠川、城山、山、川、海
魚	在宅保育の人が遊べる場所
漁業関係[魚、釣り、水産加工品]	林業
水がおいしい	海に見える景色
海の幸	自然(海・山・街)
番匠川	造船
食べ物が美味しい。特に海産物	災害に強い。人的被害が少ない。
魚	人と人とのつながり
魚が美味しい	造船業がさかん
魚が美味しい	安全(治安の良さ)
食べ物が美味しい特に魚	自然が魅力的
美味しい食べ物	海、山特色ある自然
佐伯市の魅力佐伯市は人口減少が進んでいますが、祭りや消防団、自治会活動、地域行事など、まだ人と人とのつながりが残っています。	
小さな店の数々(居酒屋、カフェ、スナック、花屋、不動産などなど)	

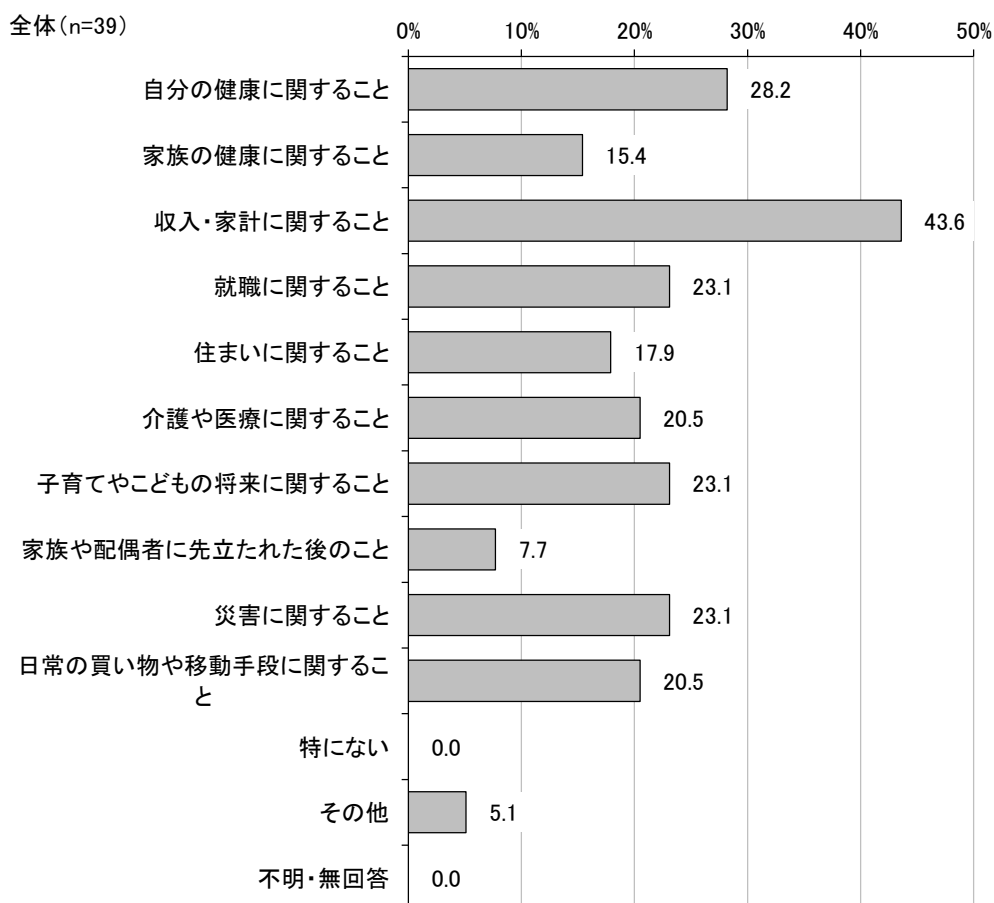
問 13 あなたは、佐伯市での暮らしを市外の人に勧めたいと思いますか。【1 つに○】

「どちらともいえない」が 28.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば勧めたい」が 25.6%、「あまり勧めたくない」が 20.5%となっています。



問 14 あなたは、現在の暮らしについて、どのような不安や悩みを感じますか。【3つまで○】

「収入・家計に関すること」が43.6%と最も高く、次いで「自分の健康に関すること」が28.2%、「就職に関すること」、「子育てやこどもの将来に関すること」、「災害に関すること」が23.1%となっています。



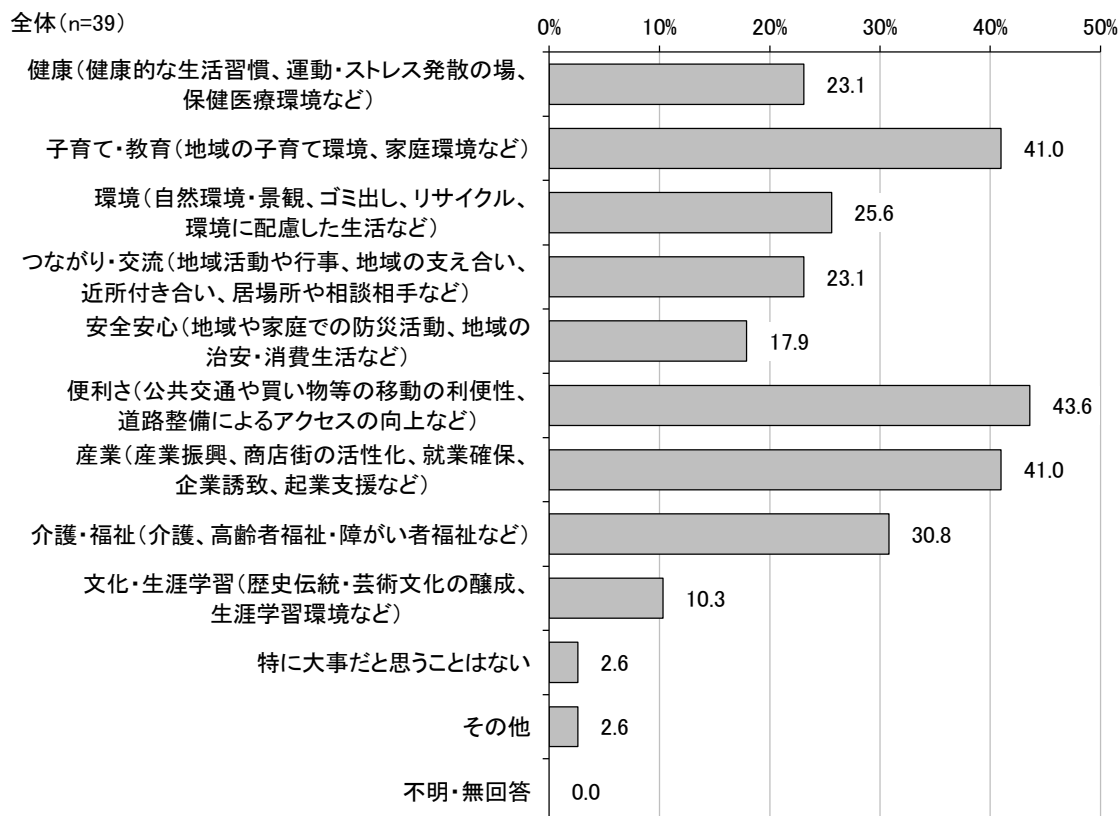
【その他回答】

- ・たくさんいる人材(市内・市外)が活かされていない。自然景観について、もっと発信するとよいのに、発信力が弱く、もったいない、残念である。
- ・今後もこの魅力ある佐伯市が存続していけるのか、存続させるため、今の子供たちへと継承してゆくために市民ひとりひとりがどうすべきかわかりかねてます。

問 15 あなたは、佐伯市で暮らすにあたって「特に大事」だと思うことはどれですか。

【3つまで○】

「便利さ（公共交通や買い物等の移動の利便性、道路整備によるアクセスの向上など）」が 43.6%と最も高く、次いで「子育て・教育（地域の子育て環境、家庭環境など）」、「産業（産業振興、商店街の活性化、就業確保、企業誘致、起業支援など）」が 41.0%となっています。

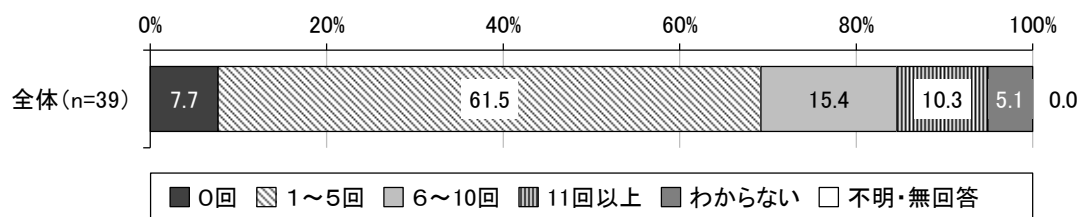


【その他回答】

・地域経済の循環

問 16 あなたが、市役所本庁舎を1年間に利用する頻度はどれくらいですか。【1つに○】

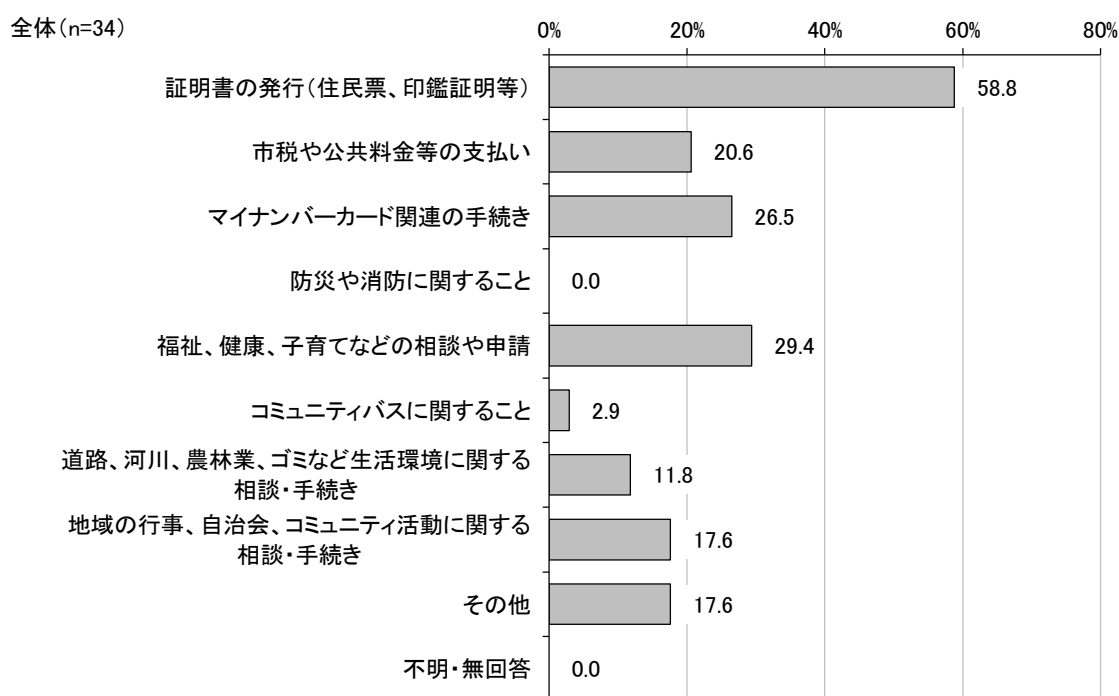
「1～5回」が61.5%と最も高く、次いで「6～10回」が15.4%、「11回以上」が10.3%となっています。



問 16 で「1～5回」、「6～10回」または「11回以上」を回答した方

問 17 市役所本庁舎を利用する際、どのような目的が多いですか。【3つまで○】

「証明書の発行（住民票、印鑑証明等）」が58.8%と最も高く、次いで「福祉、健康、子育てなどの相談や申請」が29.4%、「マイナンバーカード関連の手続き」が26.5%となっています。

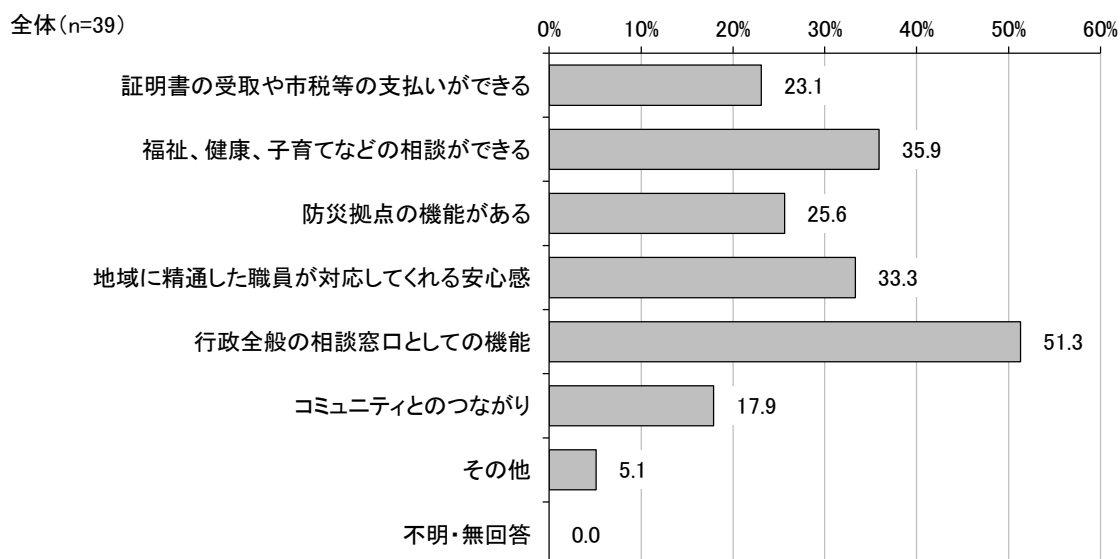


【その他回答】

- ・相続に関して
- ・会議
- ・期日前投票
- ・県外に住んでいる子供の保健の証明書など
- ・行政との協業
- ・仕事関係、ワークショップ開催

問 18 市役所本庁舎に求めるものは何ですか。【3つまで○】

「行政全般の相談窓口としての機能」が 51.3%と最も高く、次いで「福祉、健康、子育てなどの相談ができる」が 35.9%、「地域に精通した職員が対応してくれる安心感」が 33.3%となっています。

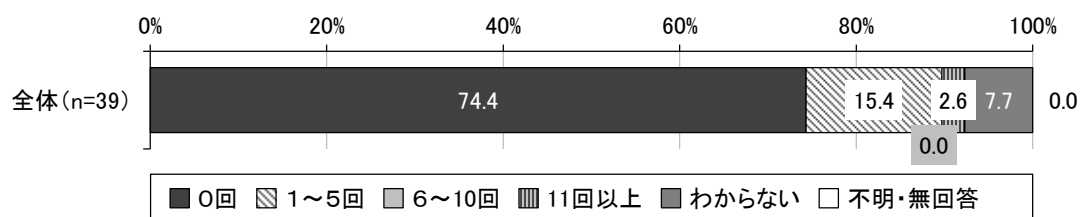


【その他回答】

- ・担当業務なのにそれに対する知識が不足していると思われる場面に何度も出くわす。
- ・異動があると窓口の人があまり理解していないので、異動をするのであれば、もう少し長く働いてからでもいいのではないかな。

問 19 あなたが、振興局や出張所を1年間に利用する頻度はどれくらいですか。【1つに○】

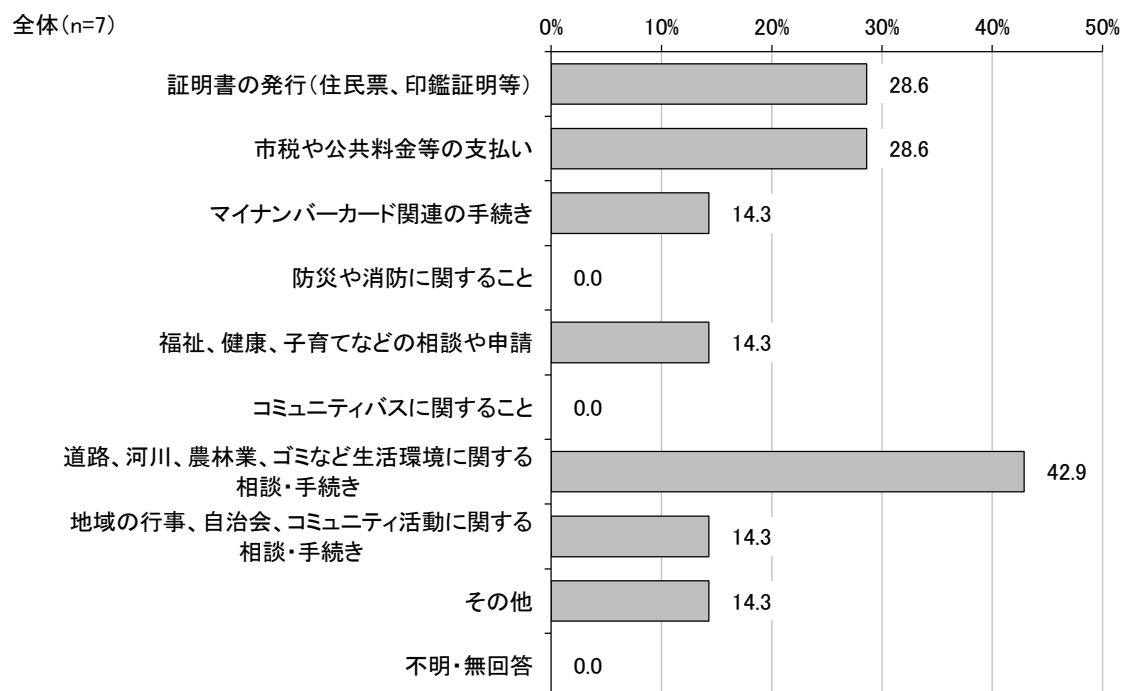
「0回」が74.4%と最も高く、次いで「1～5回」が15.4%、「わからない」が7.7%となっています。



問 19 で「1～5回」、「6～10回」または「11回以上」を回答した方

問 20 振興局や出張所を利用する際、どのような目的が多いですか。【3つまで○】

「道路、河川、農林業、ゴミなど生活環境に関する相談・手続き」が42.9%と最も高く、次いで「証明書の発行（住民票、印鑑証明等）」、「市税や公共料金等の支払い」が28.6%となっています。

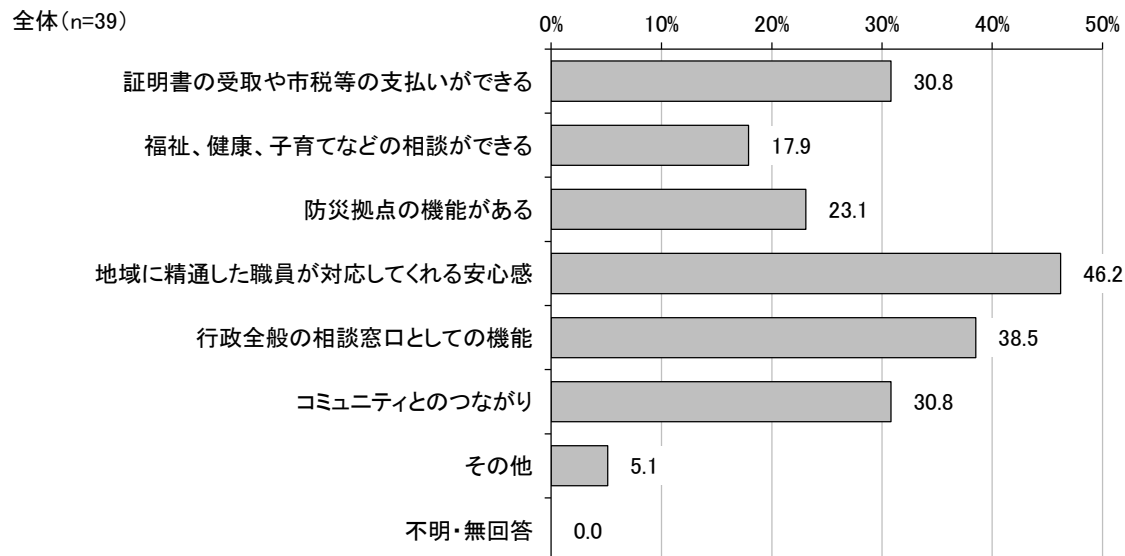


【その他回答】

・地区区長として色々

問 21 振興局や出張所に求めるものは何ですか。【3つまで○】

「地域に精通した職員が対応してくれる安心感」が46.2%と最も高く、次いで「行政全般の相談窓口としての機能」が38.5%、「証明書の受取や市税等の支払いができる」、「コミュニティとのつながり」が30.8%となっています。

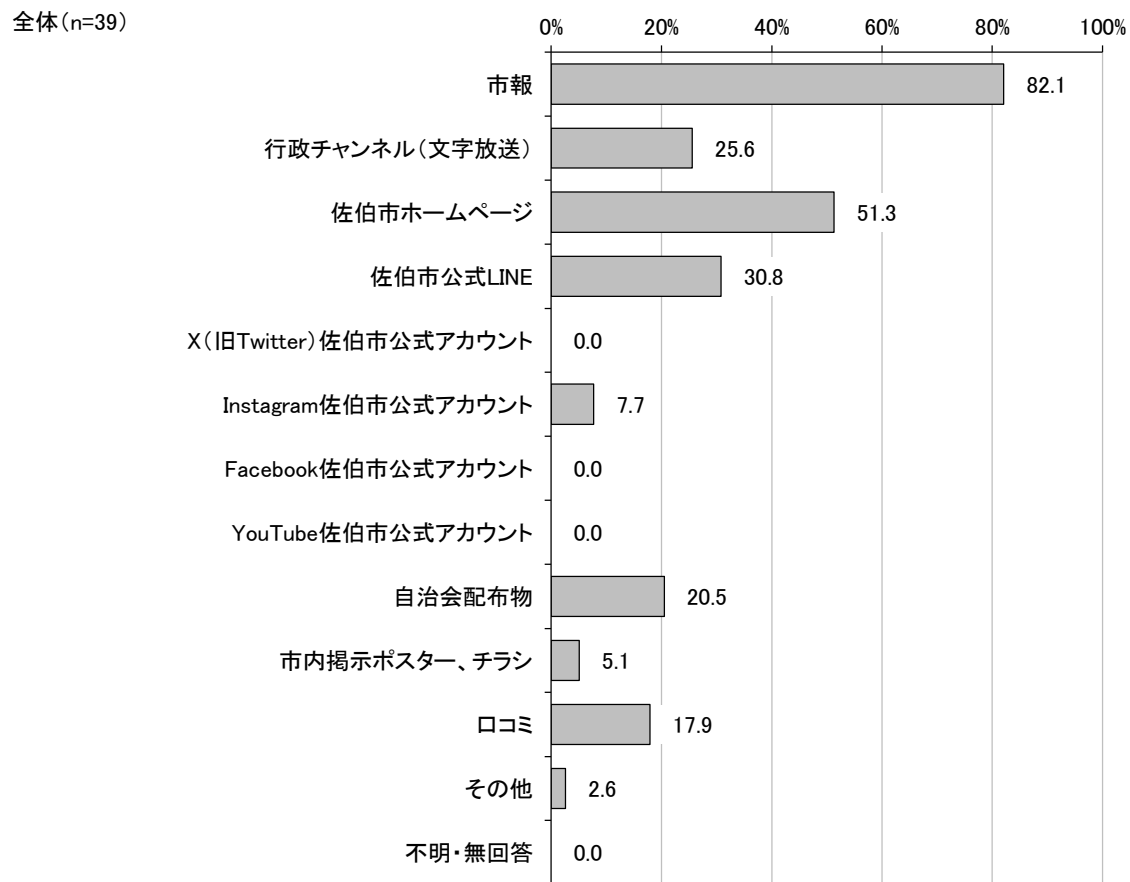


【その他回答】

・バス定期券とゴミ袋を売ってほしい。

問 22 佐伯市内の情報を得ている主な手段はどれですか。【3つまで○】

「市報」が 82.1%と最も高く、次いで「佐伯市ホームページ」が 51.3%、「佐伯市公式 LINE」が 30.8%となっています。



【その他回答】

・市議からの連絡

3 施策の満足度・重要度について

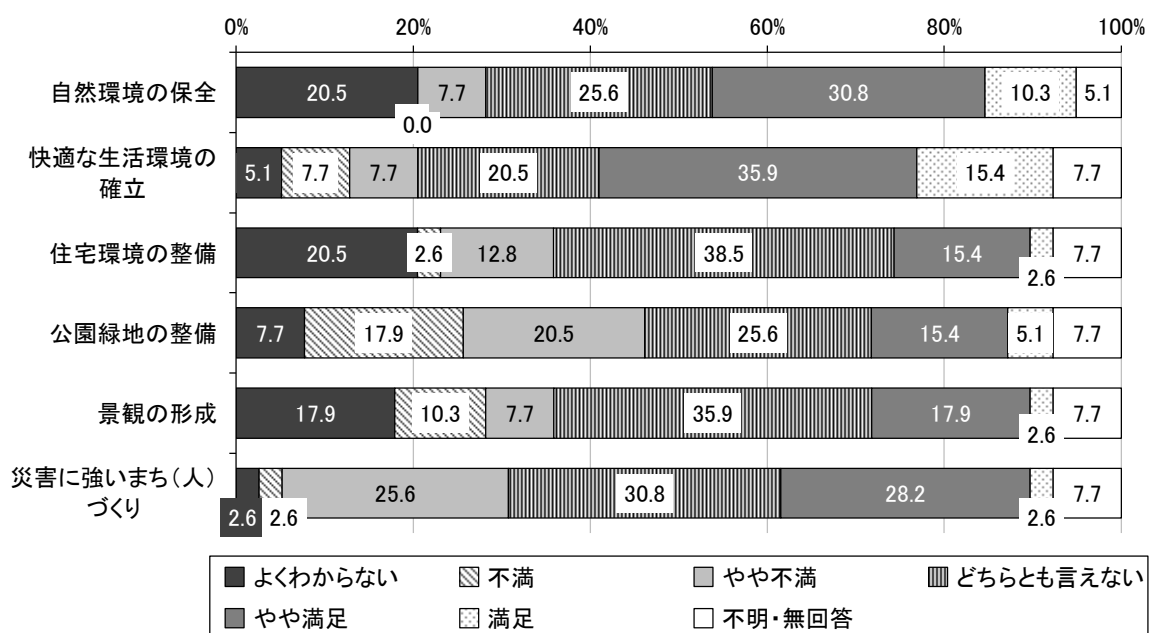
問 23 佐伯市では「第2次佐伯市総合計画」に基づき、各種取組を推進しています。

「これまで進めてきた取組の評価（満足度）」と「これから進めていく上での期待（重要度）」についてどのように感じているのか、現時点でのお考えを伺います。

「第2次佐伯市総合計画」の7つの基本目標のうち（1）～（7）ごとの取組について、満足度・重要度の項目の中から、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

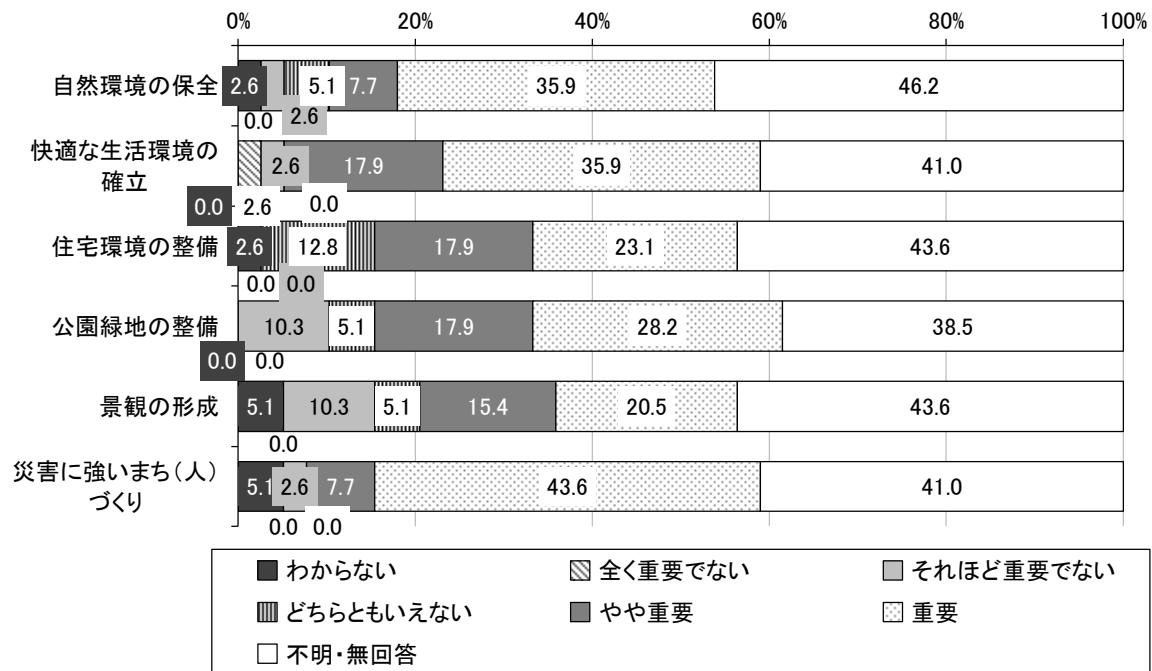
【満足度】（1）〔豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生〕【それぞれ1つに○】

〔自然環境の保全〕〔快適な生活環境の確立〕では「やや満足」、その他の項目では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



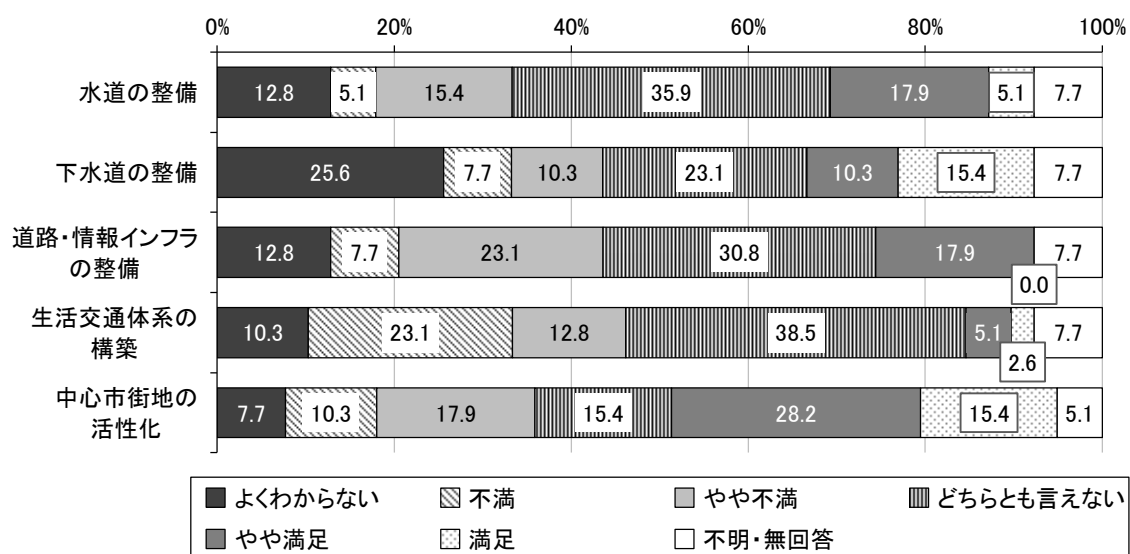
【重要度】（１）〔豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「重要」が最も高くなっています。



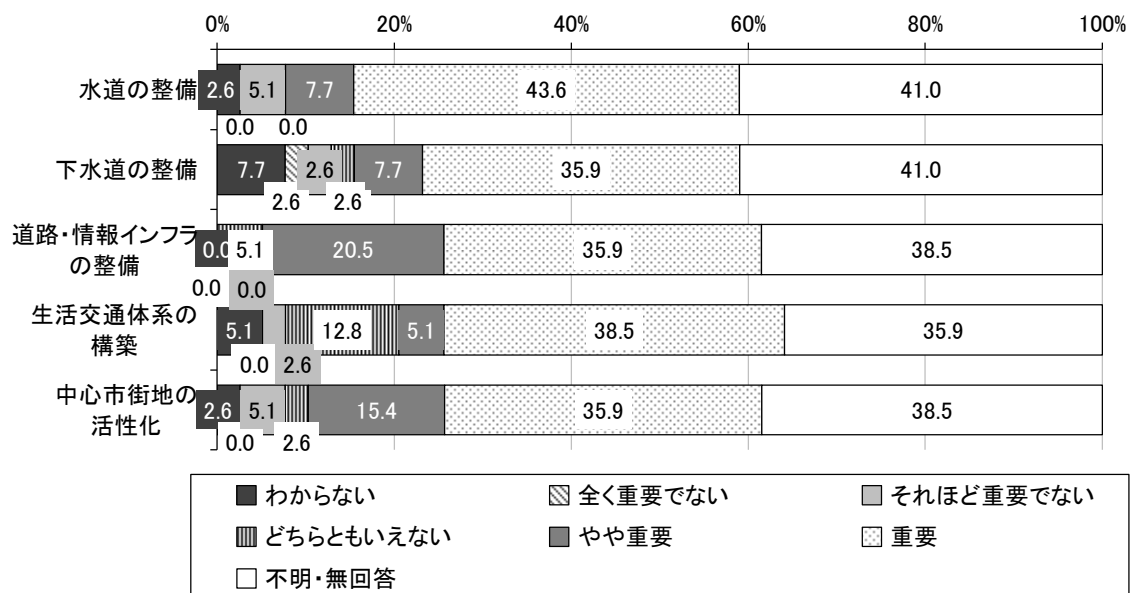
【満足度】（２）〔暮らしと産業を支える生活基盤の創生〕【それぞれ１つに○】

〔水道の整備〕〔道路・情報インフラの整備〕〔生活交通体系の構築〕では「どちらとも言えない」、〔下水道の整備〕では「よくわからない」、〔中心市街地の活性化〕では「やや満足」が高くなっています。



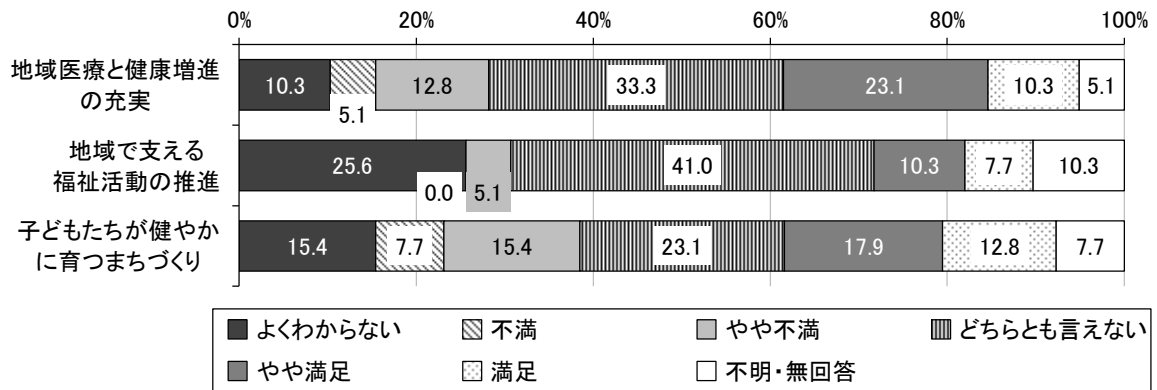
【重要度】（２）〔暮らしと産業を支える生活基盤の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「重要」が最も高くなっています。



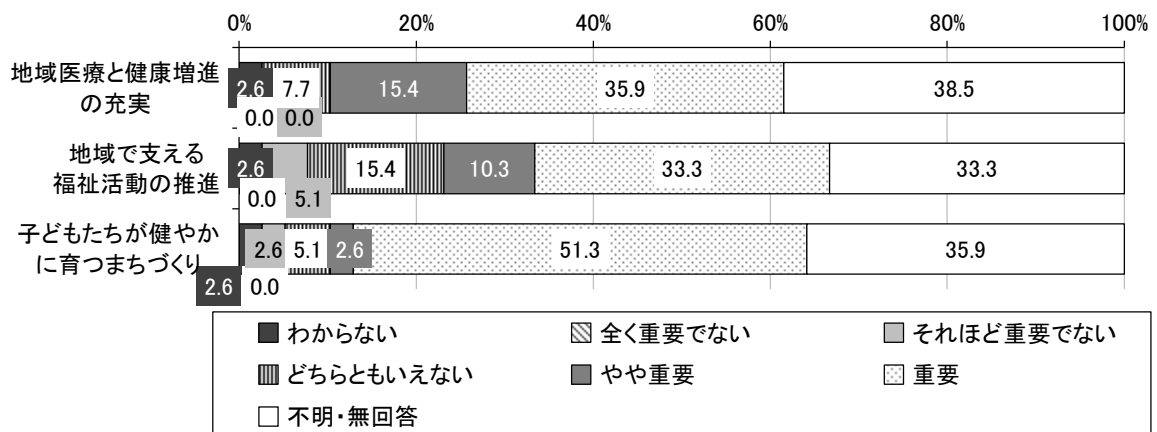
【満足度】（３）〔健康で安心して暮らせる共生社会の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



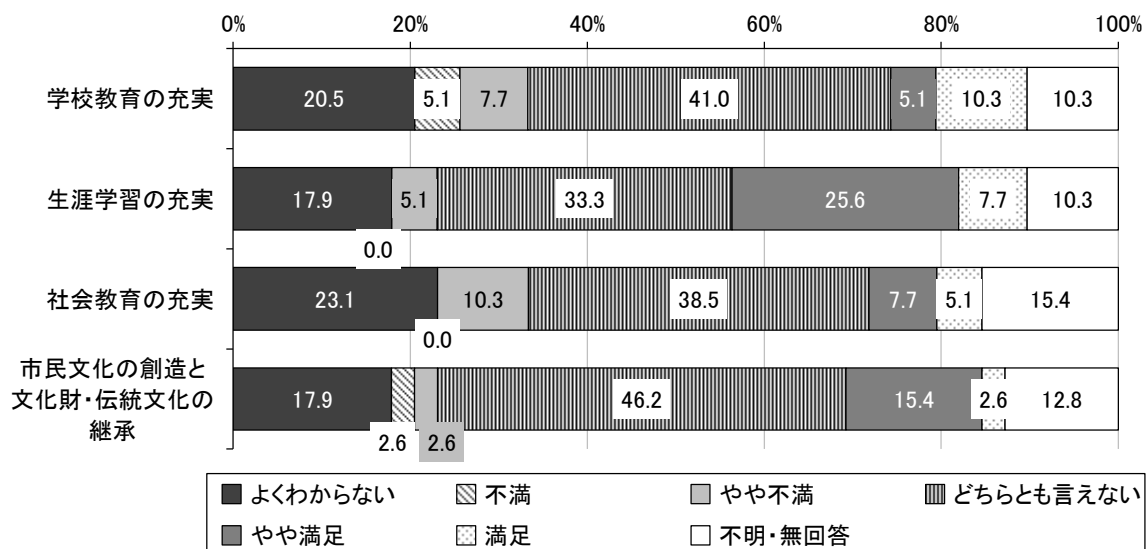
【重要度】（３）〔健康で安心して暮らせる共生社会の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「重要」が最も高くなっています。



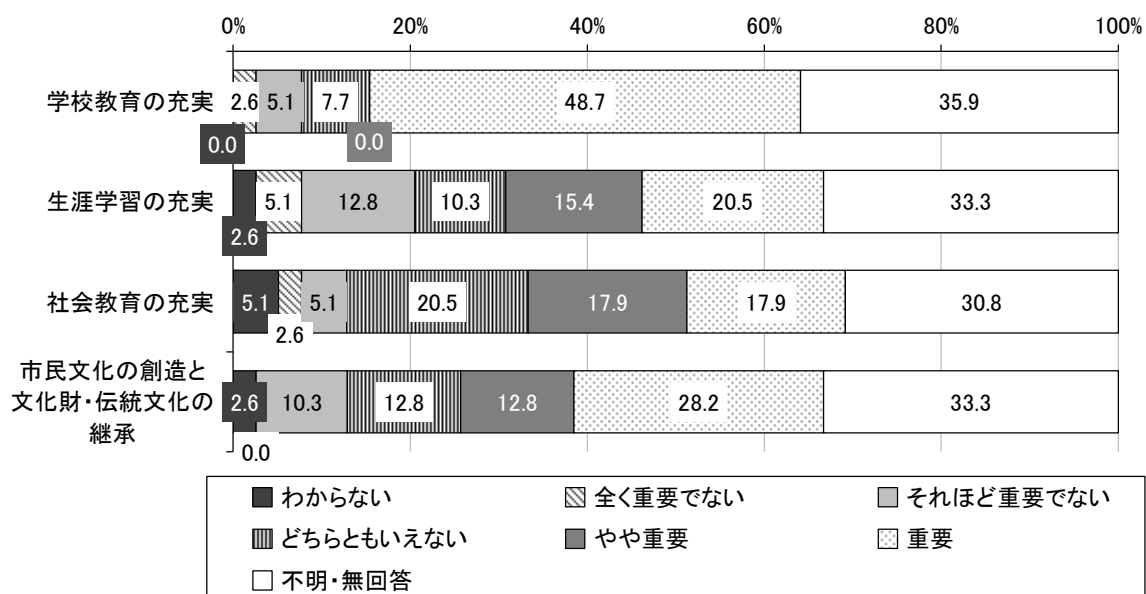
【満足度】（４）〔人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生〕【それぞれ１つに○】

すべての項目で「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



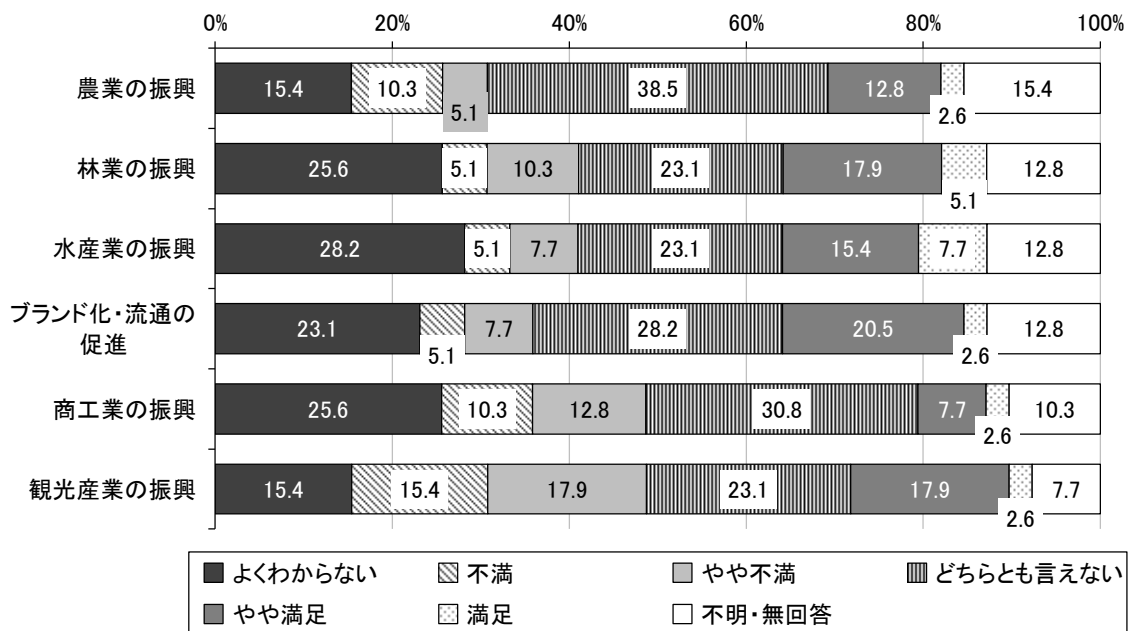
【重要度】（４）〔人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生〕【それぞれ１つに○】

〔社会教育の充実〕では「どちらともいえない」、その他の項目では「重要」が最も高くなっています。



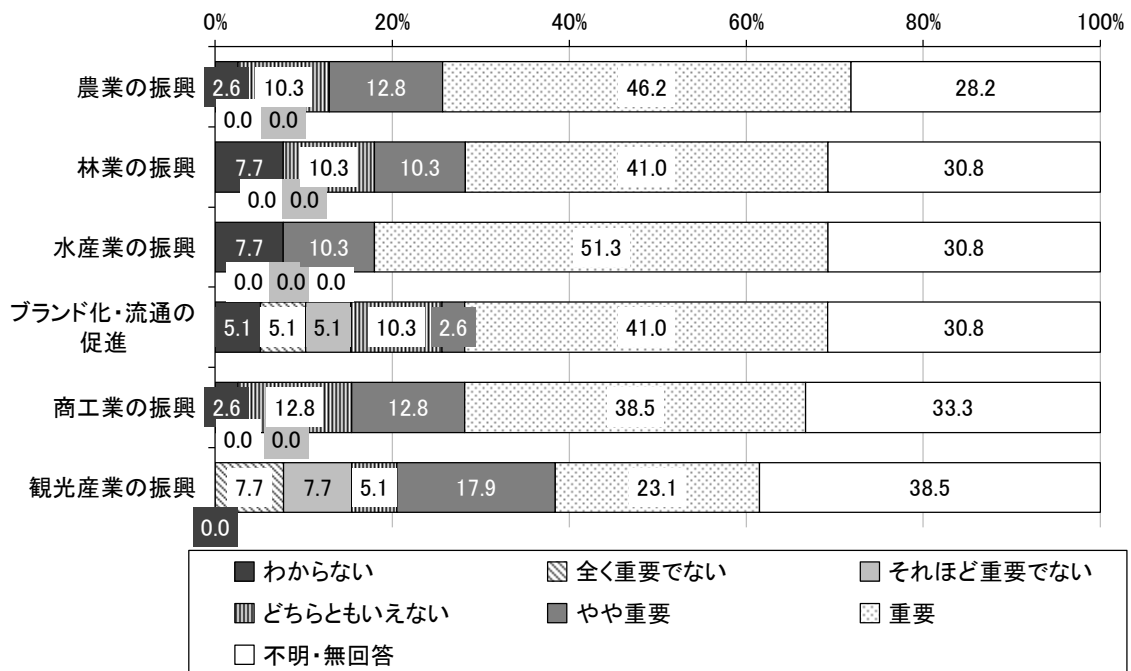
【満足度】（５）〔地域資源をいかした産業と観光の創生〕【それぞれ１つに○】

〔農業の振興〕〔ブランド化・流通の促進〕〔商工業の振興〕〔観光産業の振興〕では「どちらとも言えない」、その他の項目では「よくわからない」が最も高くなっています。



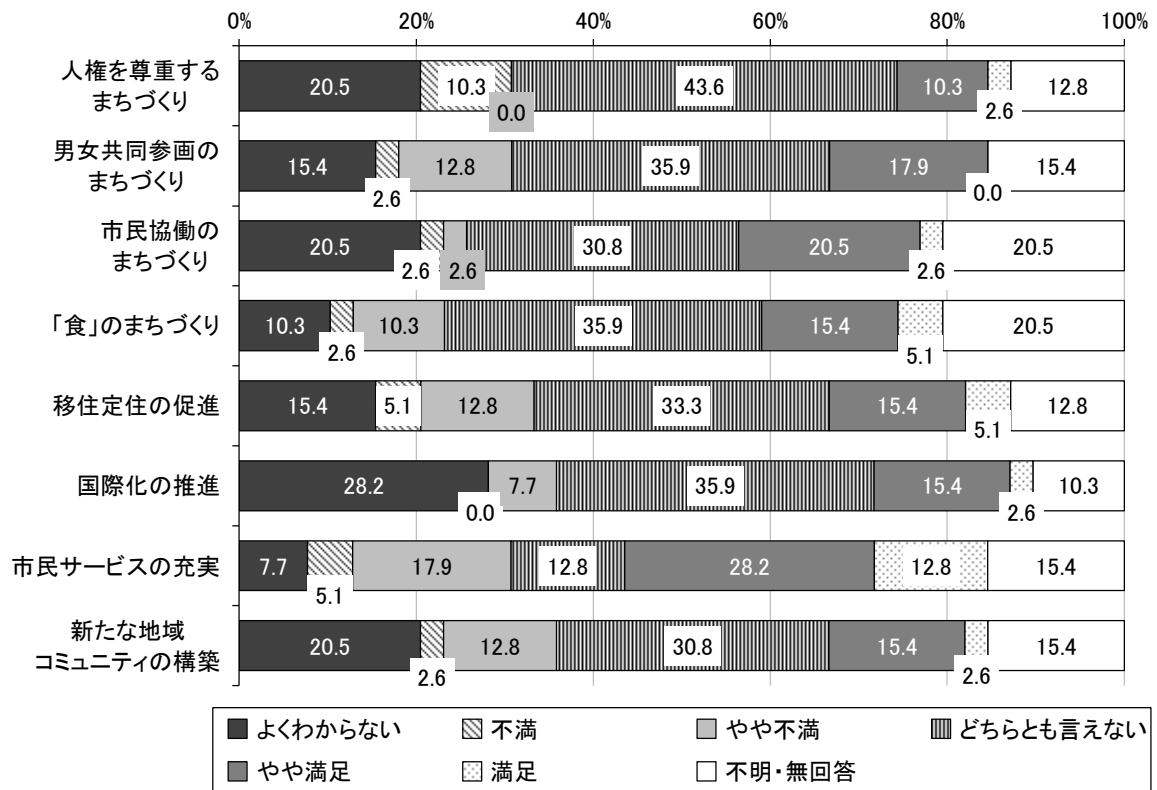
【重要度】（５）〔地域資源をいかした産業と観光の創生〕【それぞれ１つに○】

全ての項目で「重要」が最も高くなっています。



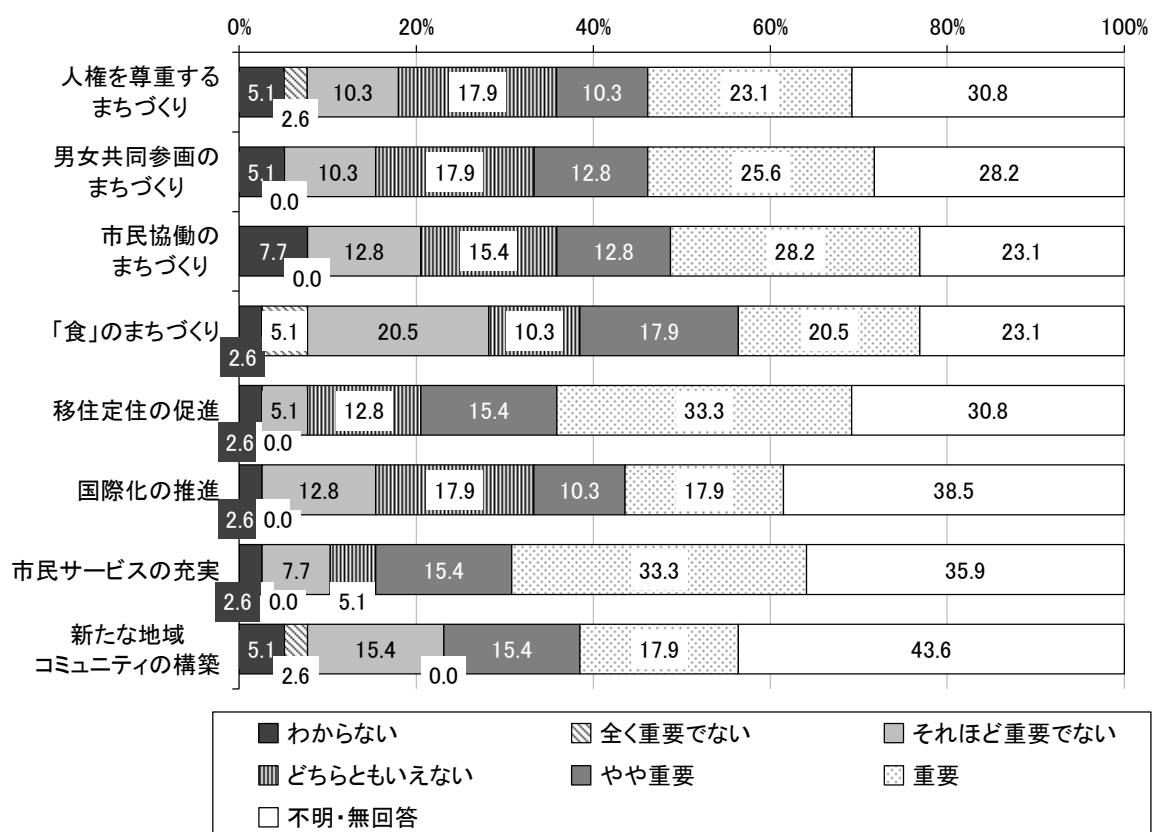
【満足度】（６）〔人が交流し、活力あふれるまちの創生〕【それぞれ１つに○】

〔市民サービスの充実〕では「やや満足」、その他の項目では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



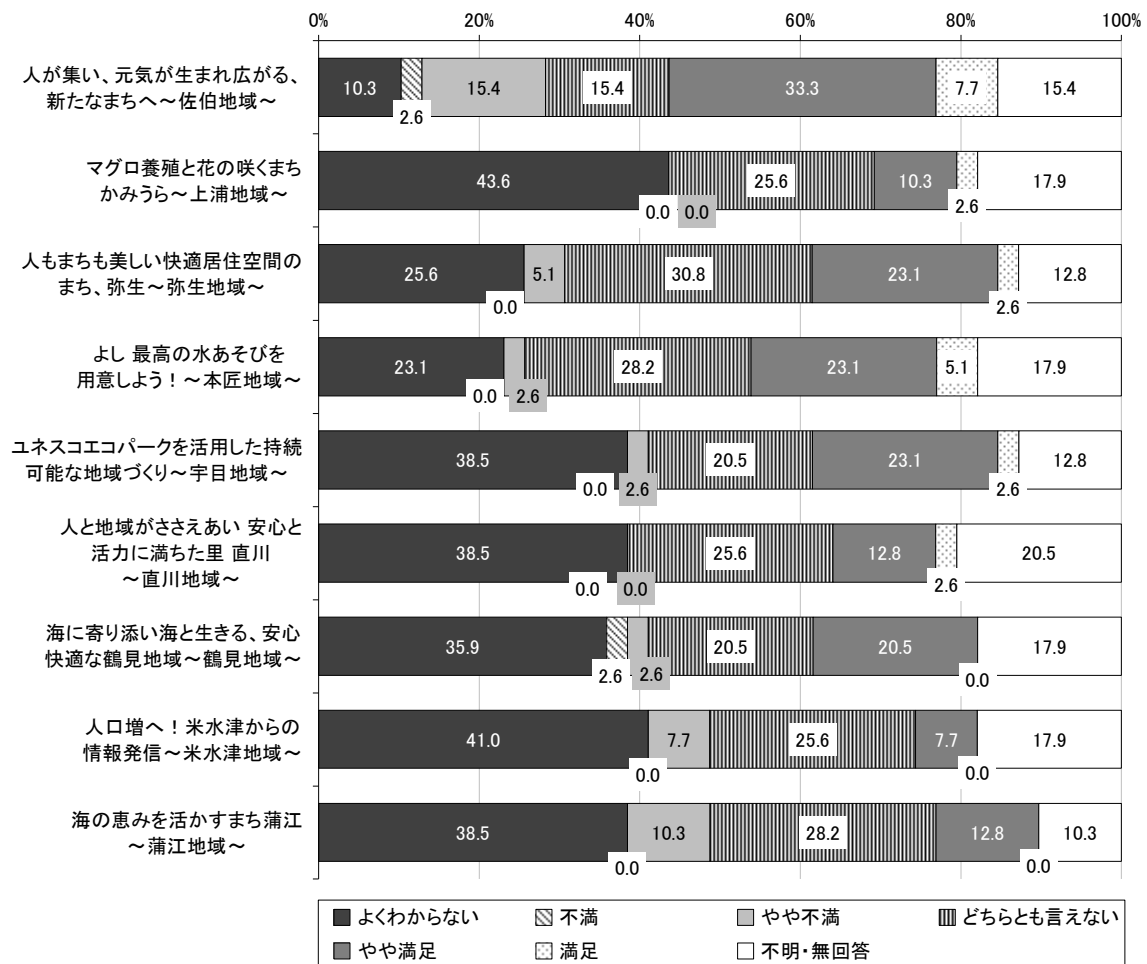
【重要度】（６）〔人が交流し、活力あふれるまちの創生〕【それぞれ１つに○】

〔「食」のまちづくり〕では「それほど重要でない」及び「重要」、〔国際化の推進〕では「どちらともいえない」及び「重要」、その他の項目では「重要」が最も高くなっています。



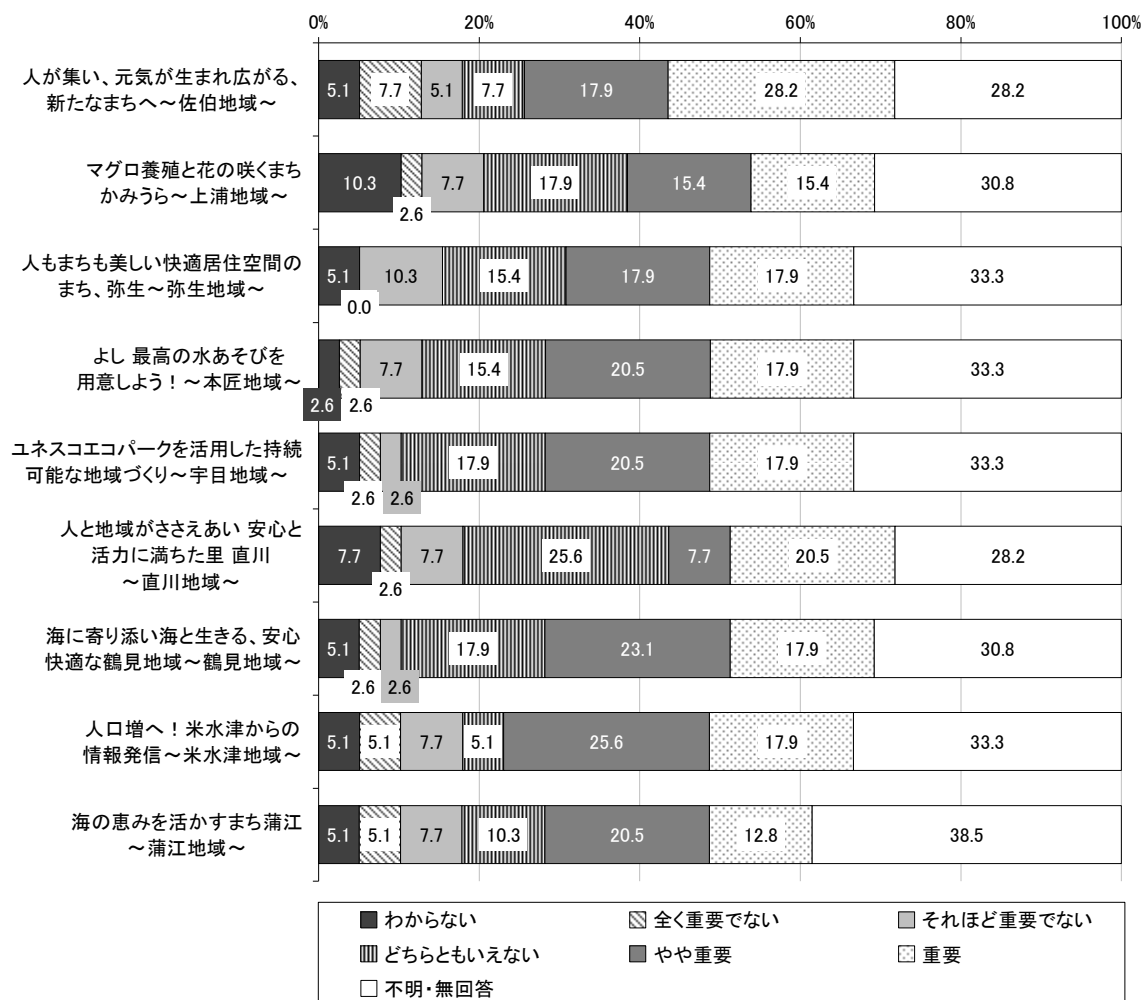
【満足度】(7)〔地域が輝くまちの創生〕【それぞれ1つに○】

〔人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ〕では「やや満足」、〔人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生〕「よし 最高の水あそびを用意しよう!」では「どちらとも言えない」、その他の項目では「よくわからない」が最も高くなっています。



【重要度】（７）〔地域が輝くまちの創生〕【それぞれ１つに○】

〔人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ～佐伯地域～〕では「重要」、〔人もまちも美しい快適居住空間のまち 弥生〕〔マグロ養殖と花の咲くまち かみうら〕では「重要」及び「やや重要」、〔人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川〕では「どちらとも言えない」、その他の項目では「やや重要」が最も高くなっています。



問 24 前問（問 23）の各種取組に対して、御意見や御提案、御要望などを御記入ください。

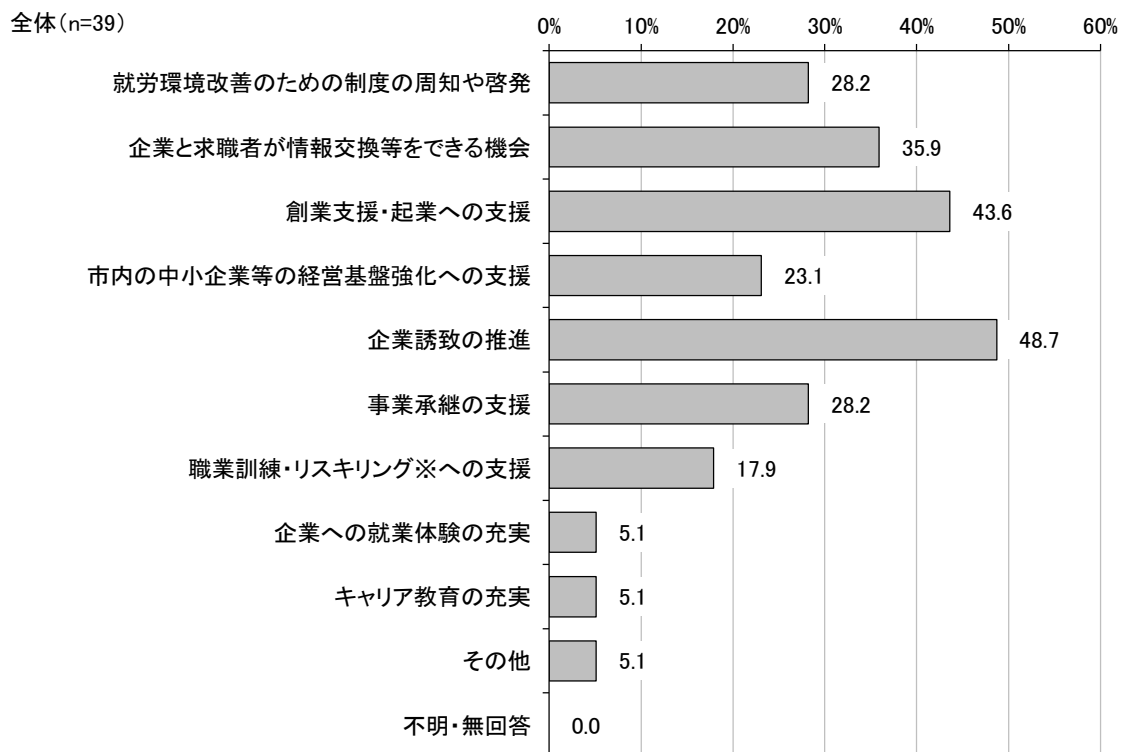
回答一覧
地区外の人にとっては、事情を外から見てどういう意見があるかについての意見があっても、それを新しく述べていうことが難しい感じがしました。 地域の方針がでていますが、これでよいか(善し悪しの選択)はできるが、折角のアンケートであるので、修正の記入、考えがあれば、書いてもらえるようにしていれば良かったのではと個人的に思いました。同じパターンの記入で、無責任な回答しかできないように、個人的に思いました。質問の出し方がもう少し工夫されては如何かと、思いました。
佐伯市が素晴らしい街であるのは間違いないと思います。ただ PR の方法が弱いと個人的に思いました…
各地域個別に見るより全体としてどうして行くかの方が大切かと思ひます
商工業の振興は、人口減少対策や地域経済の維持・発展のために極めて重要な施策であると考えます。創業支援だけでなく、現在地域経済を支えている中小企業・零細企業の事業継続支援、人材確保、人材育成、事業承継への支援強化をお願いしたいです。 特に建設業、製造業、水産業などの基幹産業では人材不足や担い手不足が深刻化しており、若者が地元で働き続けられる環境整備が必要です。 また、DX 推進による業務効率化や生産性向上への支援を進めるとともに、地域企業の受注機会拡大など、既存企業が持続的に発展できる施策を期待します。
余り体験がないので良くわかりません。良いかも知れないし、利用してないので分かりません
自然環境を豊かにして、維持して行く事で得られる恵を活かした観光、ブランド化は良いと思います。
問が多すぎ
予算は無限ではないので、将来性のあるものとなないものの精査は重要。人口増は現代社会では現実的な目標になり得ない。そこへの予算投入は非現実。
佐伯の強みは自然です。 佐伯の住民のための政策も大事ですが、佐伯以外の人が集う方向性の取り組みが弱い印象です。佐伯市は海、川、山に恵まれておりポテンシャルは計り知れない部分がありますが、現状そのポテンシャルを全く発揮できておりません。 ここは思い切った政策に踏み切っていただきたいところです。例えばリゾート地計画や、山口県の唐戸市場のような大型市場など。 和歌山県の白浜も良いですね、パンダが居なくなって観光客ダウンかと思いきや、全くその傾向はありません。参考にしてみては？ このまま市民の為だけの政策を続けても人口減少は止まりません。日本中の人々が観光に訪れる場所にしていきましょう。佐伯市にはそのポテンシャルがあります。
桜ホール周辺は賑わっているが、その他の魅力が薄い。
商工業の振興を進め、雇用者を増やしてほしい。
いろんな取り組みが他の市町村のまねをしてるように見える
子ども一人一タブレットの国の施策通りやってきてその問題点や有効な点を検証されないままダラダラと言わば教師の裁量だけで使われている。 授業の一アイテムとしては有用だが後からアンケートなどで使用状況が問われるので使っていれば OK 使われていなければダメという二極化の評価しかされていない。 外国語も然り。専門の ICT 指導員や ALT の数を増やし教師の技量不足を補う要員の確保をしてより充実した時代に即した教育のレベルアップをして欲しい。

回答一覧
まちづくりは誰がしてるんですか？佐伯市はドラッグストアばかり。 業務スーパーとか流行りのものとか何もない。若者の遊び場もない。年寄り向けの街。延岡を、見習ってほしい。だから、人がいなくなる。面白くない街。
一番大事なことは市民が健康であること。健康なくしては、何もできない。子どもを大事にする取組だけではなく、市民全員が安心して暮らせるように、声をあげられない市民の声にも耳を傾け、市役所で待つ職員ではなく、手を差し伸べる職員を増やしてほしい。

4 働くことについて

問 25 雇用を創出・促進するために、どのような支援があるとよいと思いますか。【3つまで選んでください】

「企業誘致の推進」が 48.7%と最も高く、次いで「創業支援・起業への支援」が 43.6%、「企業と求職者が情報交換等ができる機会」が 35.9%となっています。

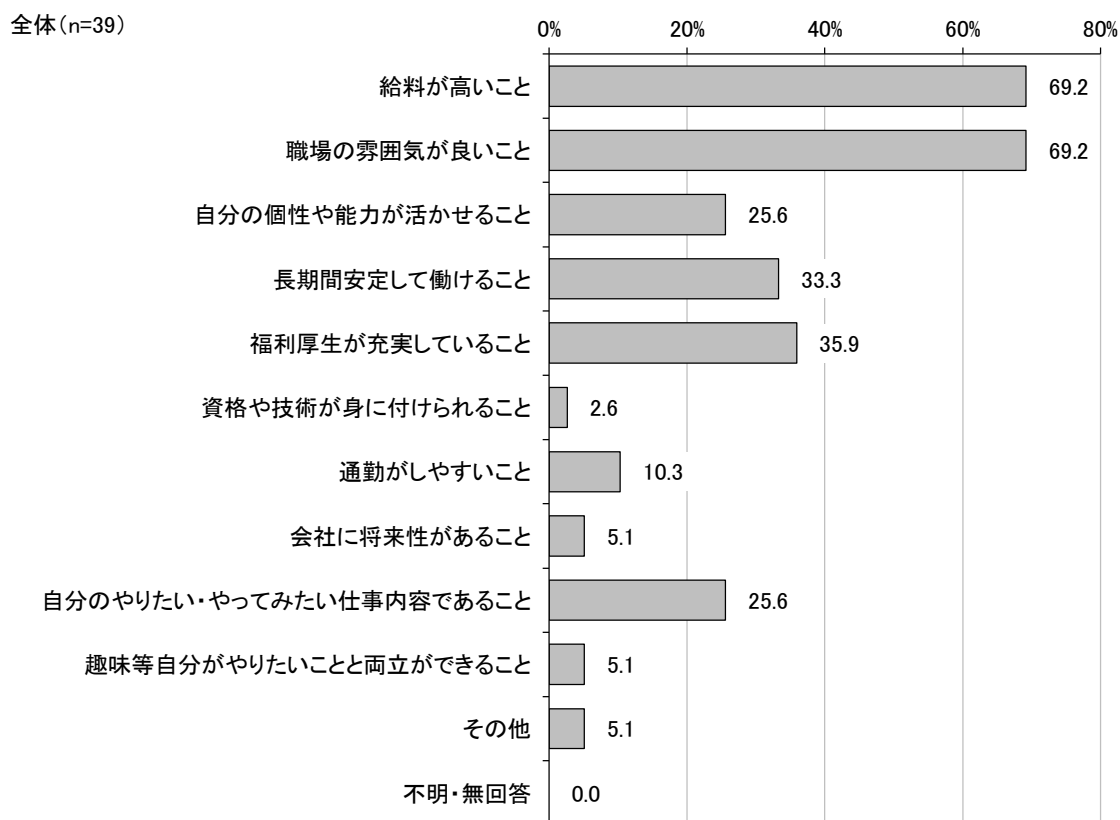


【その他回答】

- ・人口減少が進む中で担い手は圧倒的に不足する。雇用創出について、一般の人だけではなく高齢者、障がい者などもそれぞれできる力を持っている人は沢山いる。人材の宝に目を向け、新たな雇用の仕組み作りに取り組まなければ、佐伯はますます人材不足で衰退していくと思う。もっと多様な就労支援をしっかりと行ってほしい。

問 26 あなたが仕事を選ぶ際に重要と思うことはどんなことですか。【3つまで○】

「給料が高いこと」、「職場の雰囲気が良いこと」が 69.2%と最も高く、次いで「福利厚生が充実していること」が 35.9%となっています。



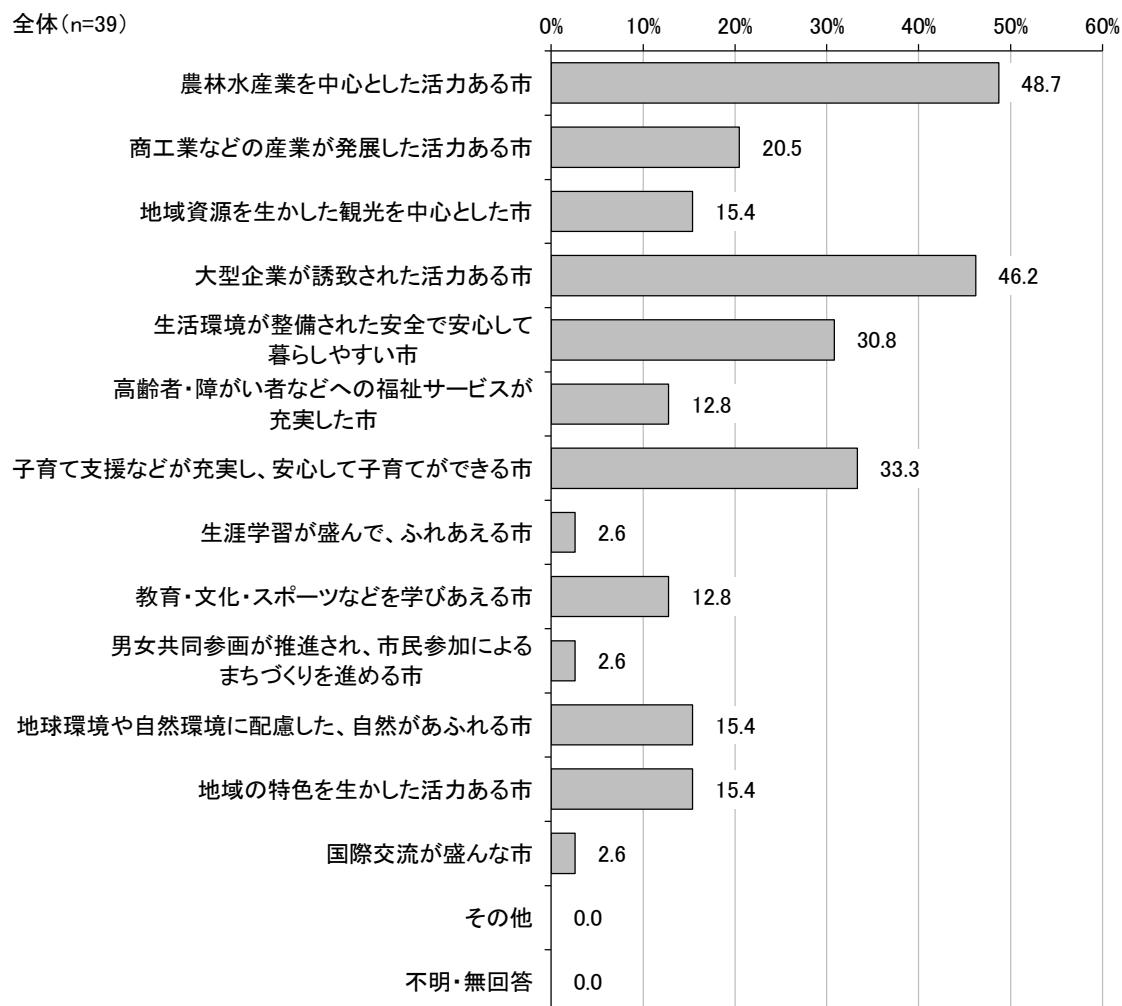
【その他回答】

- ・休みがとりやすい
- ・休みを取りやすい環境（有給、急なこどもの病気など）

5 佐伯市の将来の姿について

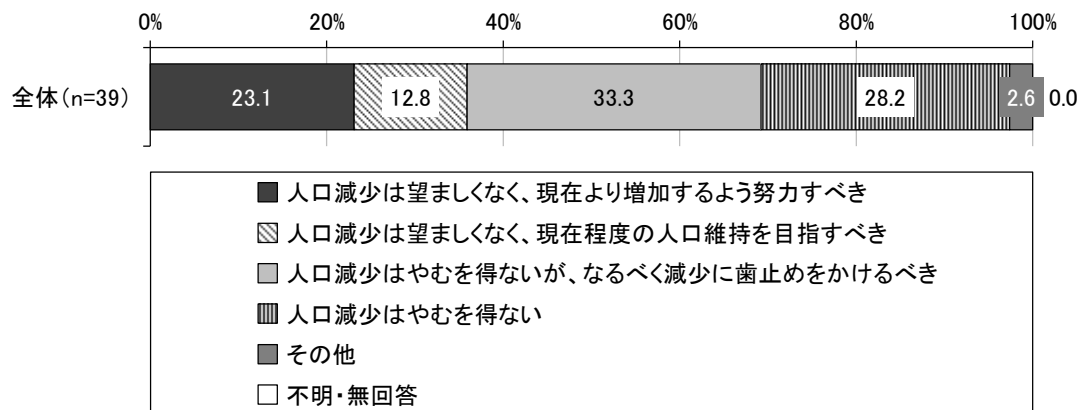
問 27 あなたが望む佐伯市の都市像（将来像）は、どのようなものですか。【3つまで○】

「農林水産業を中心とした活力ある市」が 48.7%と最も高く、次いで「大型企業が誘致された活力ある市」が 46.2%、「子育て支援などが充実し、安心して子育てができる市」が 33.3%となっています。



問 28 佐伯市の人口減少について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。【1つに○】

「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が 33.3%と最も高く、次いで「人口減少はやむを得ない」が 28.2%、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき」が 23.1%となっています。

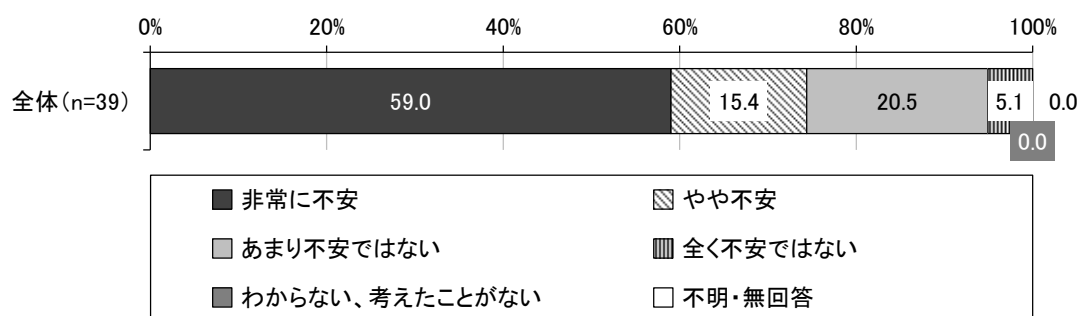


【その他回答】

・働くところがないから、いなくなるのは当たり前。

問 29 あなたは、佐伯市の人口減少が進むことに対して、将来の不安はありますか。【1 つに○】

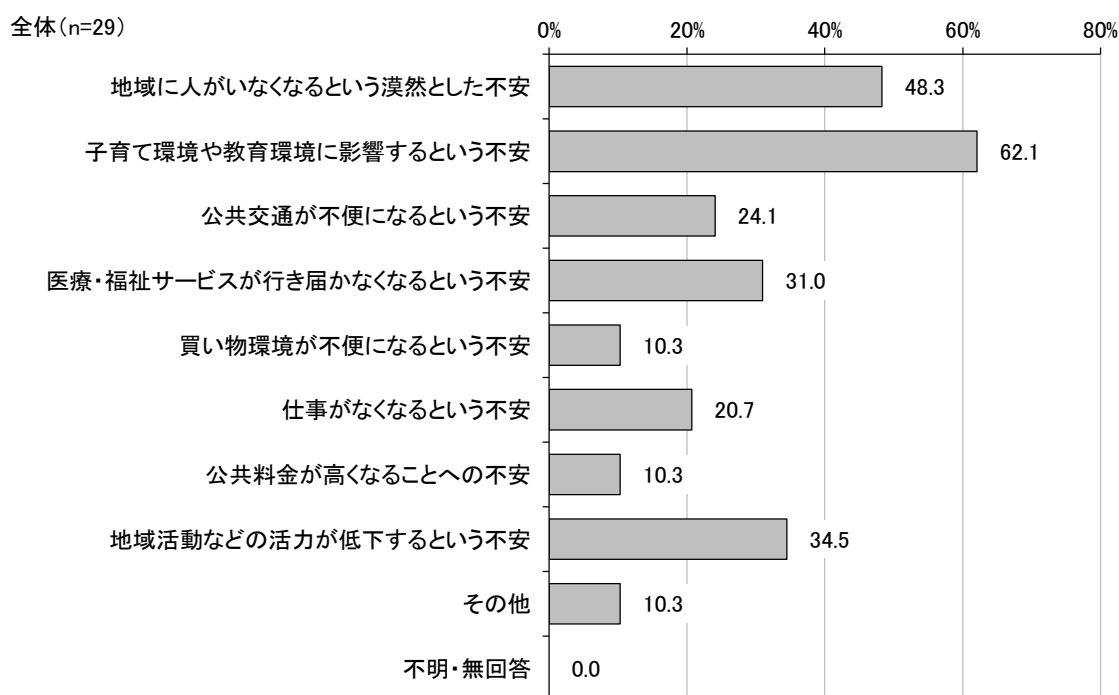
「非常に不安」が 59.0%と最も高く、次いで「あまり不安ではない」が 20.5%、「やや不安」が 15.4%となっています。



問 29 で「非常に不安」または「やや不安」を回答した方

問 30 市の人口減少について、どのようなことに不安を感じますか。【3 つまで○】

「子育て環境や教育環境に影響するという不安」が 62.1%と最も高く、次いで「地域に人がいなくなるという漠然とした不安」が 48.3%、「地域活動などの活力が低下するという不安」が 34.5%となっています。

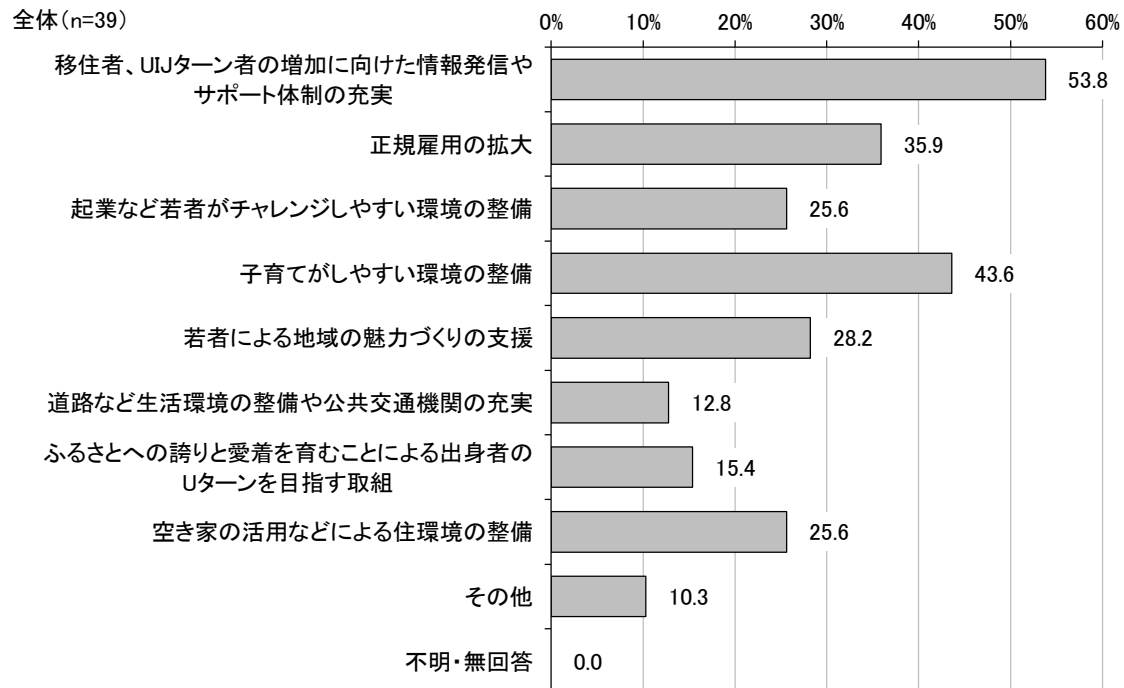


【その他回答】

- ・佐伯がもったいない
- ・佐伯市の財源が減る
- ・佐伯市はなくなると聞いた。引越しやなんやら、不安です。

問 31 転出者数の抑制及び移住促進のために、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。
【3つまで○】

「移住者、U I J ターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」が 53.8%と最も高く、次いで「子育てがしやすい環境の整備」が 43.6%、「正規雇用の拡大」が 35.9%となっています。



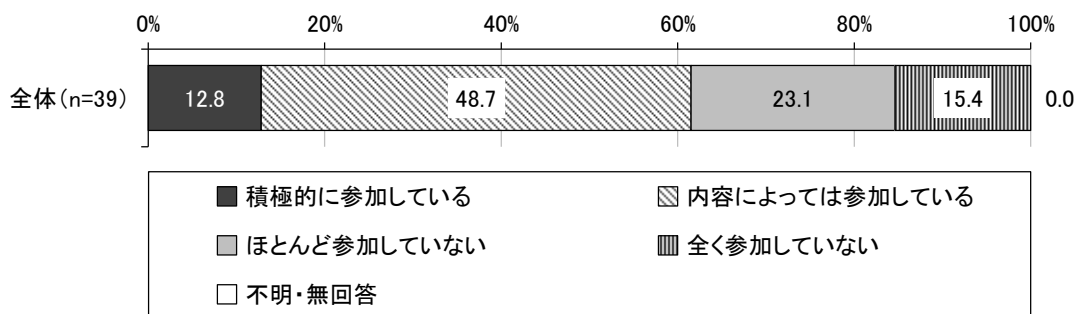
【その他回答】

- ・教育環境の整備
- ・高校までしかないため、U ターン就職が少ない。大学や専門学校など作り、若者が集う町にすべき
- ・企業誘致などによる雇用拡大
- ・企業の誘致

6 地域活動・社会参画について

問 32 あなたは、地域や様々なグループで行われる地域活動に参加していますか。【1つに○】

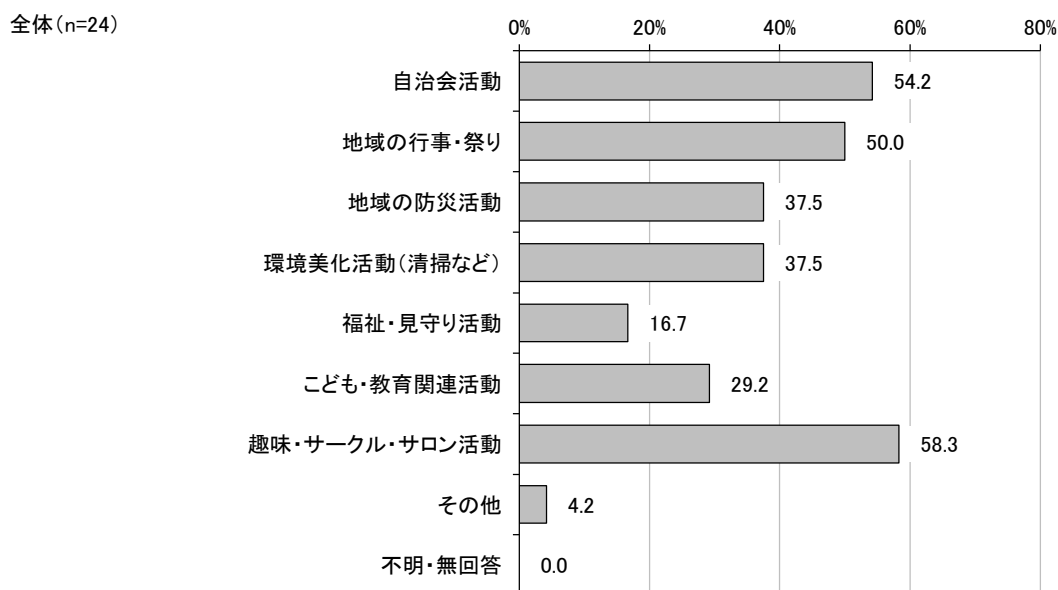
「内容によっては参加している」が48.7%と最も高く、次いで「ほとんど参加していない」が23.1%、「全く参加していない」が15.4%となっています。



問 32 で「積極的に参加している」または「内容によっては参加している」と回答した方

問 33 あなたは、どのような地域活動に参加していますか。【あてはまるものすべてに○】

「趣味・サークル・サロン活動」が58.3%と最も高く、次いで「自治会活動」が54.2%、「地域の行事・祭り」が50.0%となっています。



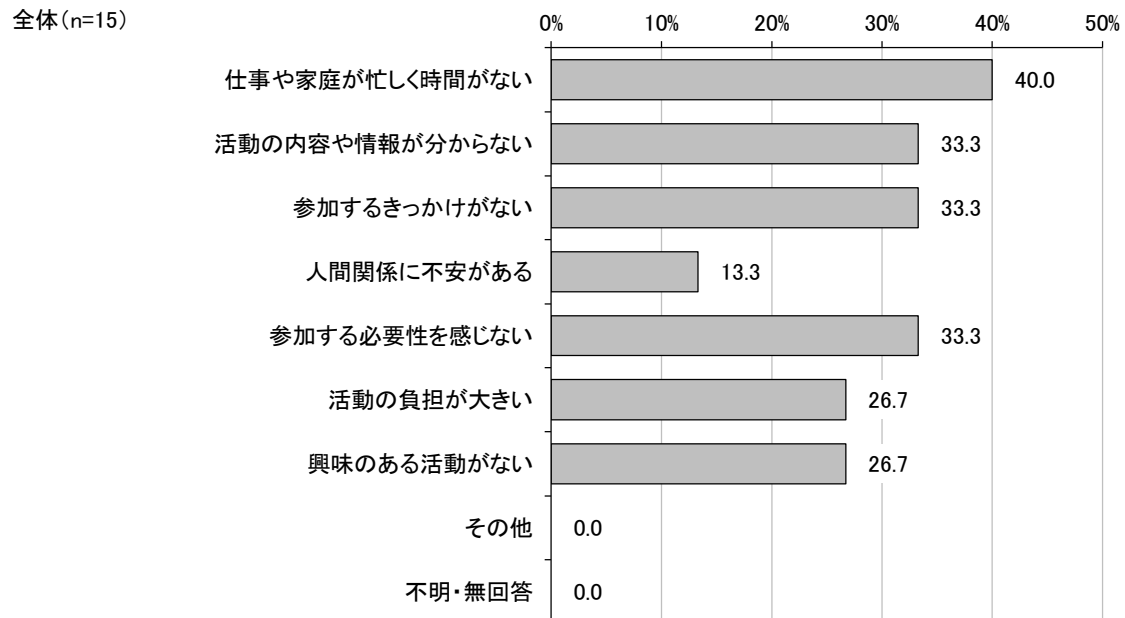
【その他回答】

・市民大学など地域づくりに係る活動

問 32 で「ほとんど参加していない」または「全く参加していない」と回答した方

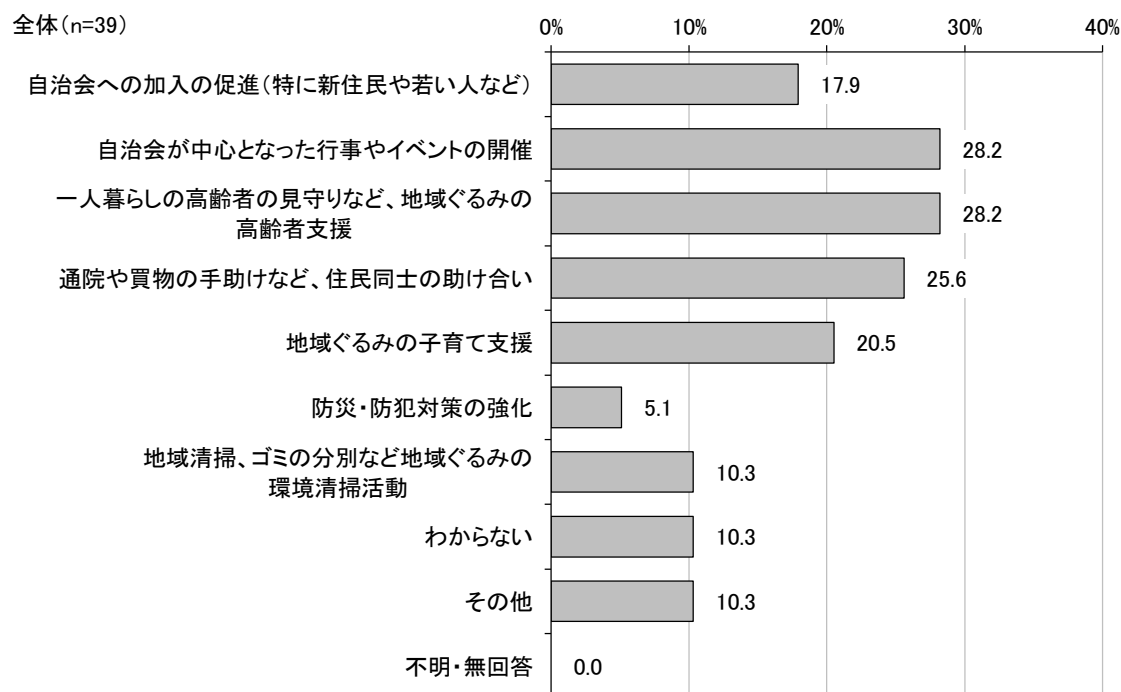
問 34 地域活動にあまり参加していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「仕事や家庭が忙しく時間がない」が 40.0%と最も高く、次いで「活動の内容や情報が分からない」、「参加するきっかけがない」、「参加する必要性を感じない」が 33.3%となっています。



問 35 あなたは、地域のコミュニティや自治会を活性化させるために重要だと思うことは何だと思いますか。【2つまで○】

「自治会が中心となった行事やイベントの開催」、「一人暮らしの高齢者の見守りなど、地域ぐるみの高齢者支援」、が 28.2%と最も高く、次いで「通院や買物の手助けなど、住民同士の助けあい」が 25.6%となっています。

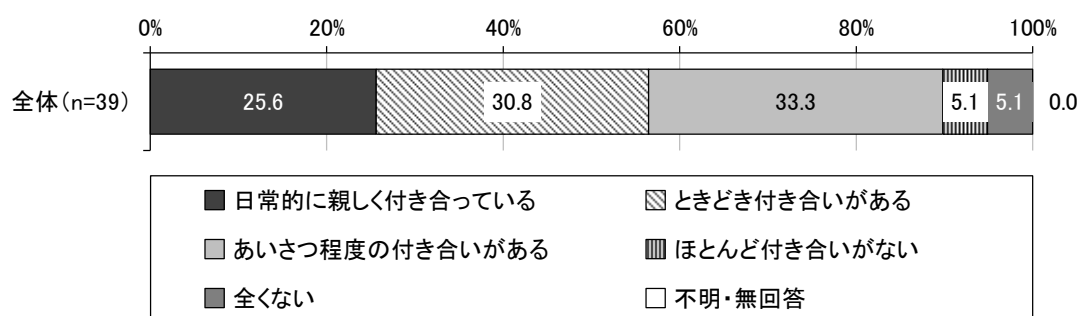


【その他回答】

- ・高齢者が昔ながらのやり方で取り仕切るのではなく、新しい世代の人達も入りやすくする工夫
- ・自治会に参加しているが、もう少しイベントが少ない方が参加しやすいのではと思う。自治会に限らず、PTA や子ども会など、それぞれがやり過ぎである。
- ・活性化していないのは、地域の高齢化が原因であると思う。地域の若者がコミュニティに関わっていないので衰退するだけだと思う。コミュニティ活動を見直し、活動を最小限にし、親も子どもをコミュニティ活動に参加するように促せば良いと思う。
- ・コミュニティは必要ない

問 36 あなたは、日頃の程度近所や地域の人と付き合いがありますか。【1つに○】

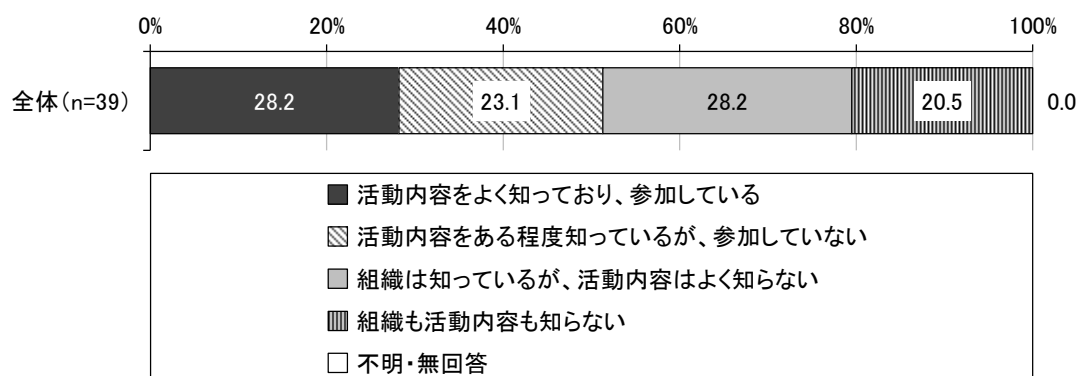
「あいさつ程度の付き合いがある」が 33.3%と最も高く、次いで「ときどき付き合いがある」が 30.8%、「日常的に親しく付き合っている」が 25.6%となっています。



問 37 あなたは、お住まいの地域にあるコミュニティ組織について、どの程度知っていますか。

【1つに○】

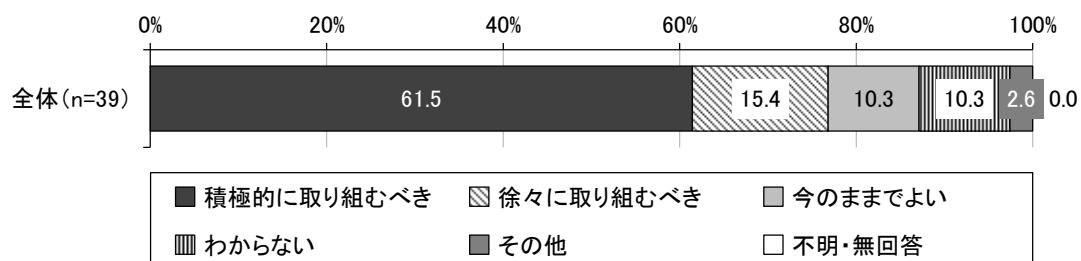
「活動内容をよく知っており、参加している」、「組織は知っているが、活動内容はよく知らない」が 28.2%と最も高く、次いで「活動内容をある程度知っているが、参加していない」が 23.1%となっています。



7 デジタル技術の活用について

問 38 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取組について、どのようにお考えですか。【1つに○】

「積極的に取り組むべき」が61.5%と最も高く、次いで「徐々に取り組むべき」が15.4%、「今のままでよい」、「わからない」が10.3%となっています。

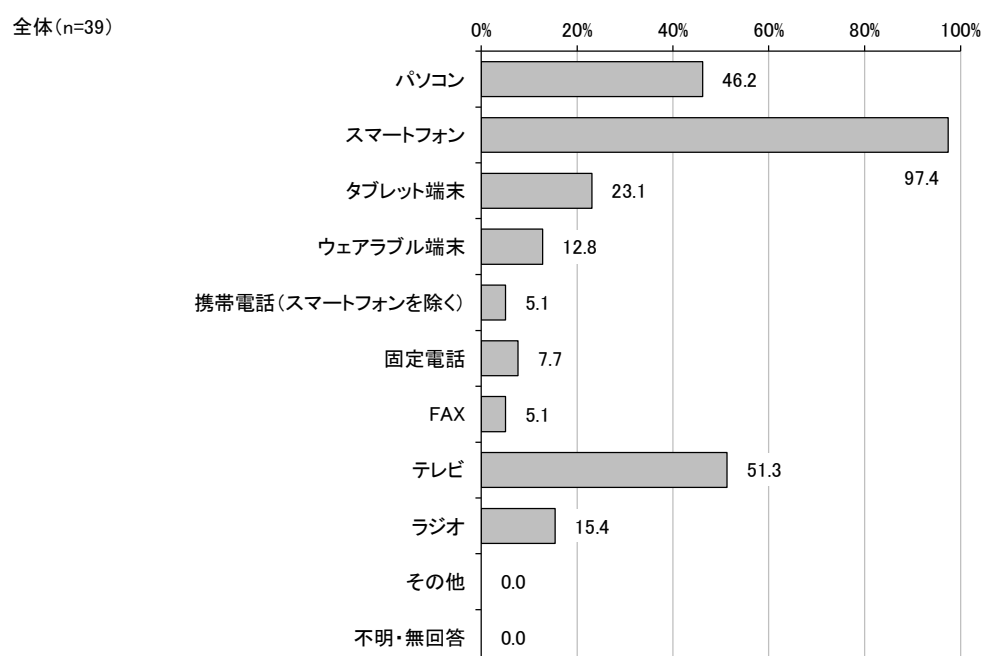


【その他回答】

- ・デジタル化のわからない人への支援が必要

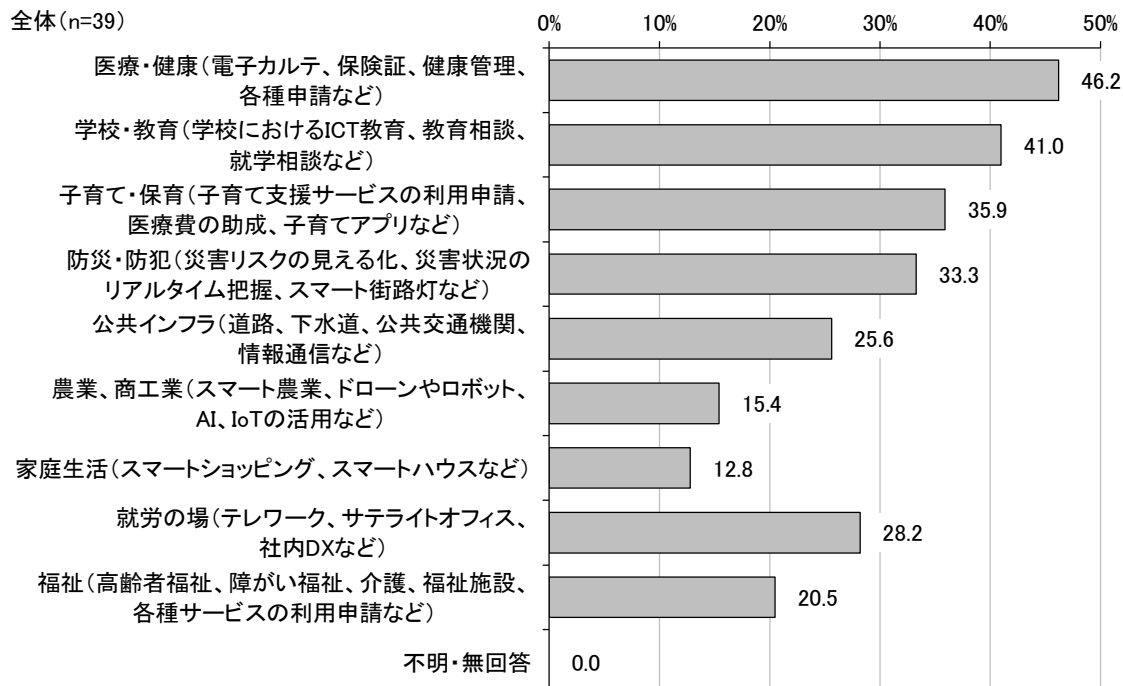
問 39 あなたが日常的に利用している情報通信機器は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「スマートフォン」が97.4%と最も高く、次いで「テレビ」が51.3%、「パソコン」が46.2%となっています。



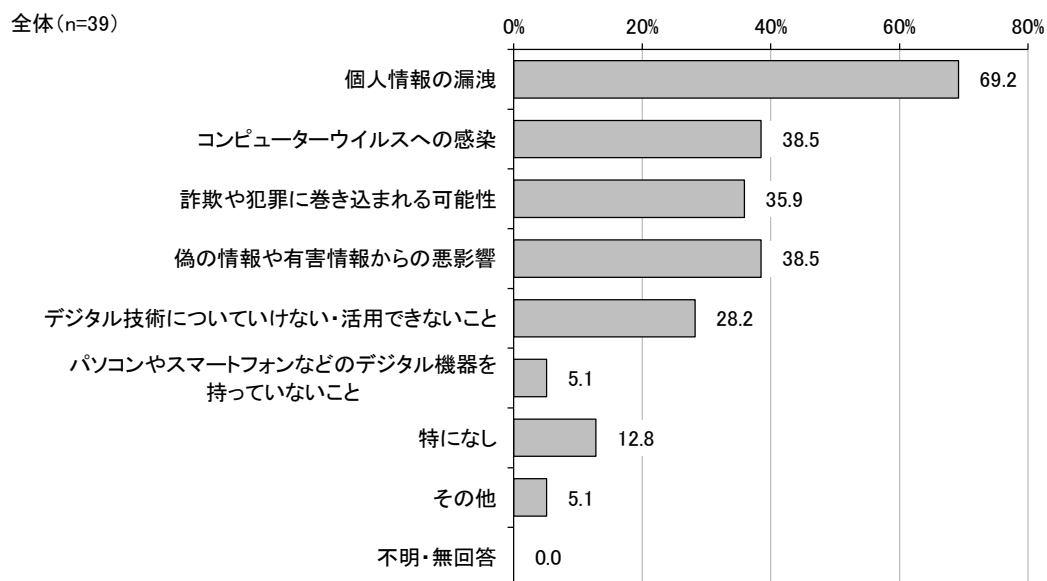
問 40 今後、佐伯市で特にデジタル技術の導入など、デジタル化の推進が必要だと思う分野は何ですか。【3つまで○】

「医療・健康（電子カルテ、保険証、健康管理、各種申請など）」が 46.2%と最も高く、次いで「学校・教育（学校における ICT 教育、教育相談、就学相談など）」が 41.0%、「子育て・保育（子育て支援サービスの利用申請、医療費の助成、子育てアプリなど）」が 35.9%となっています。



問 41 あなたは、社会のデジタル化が進む中で不安に思うことはありますか。【3つまで○】

「個人情報の漏洩」が 69.2%と最も高く、次いで「コンピューターウイルスへの感染」、「偽の情報や有害情報からの悪影響」が 38.5%となっています。



【その他回答】

- ・学校でのタブレット教育は要らない。紙が良い。
- ・高齢者が使いこなせない。登録サポートはあっても、その後なかなか使えない。

問 42 佐伯市の発展に向けて、大切にしたいキーワードは何ですか。【具体的に下の枠内に3つまで記入】

回答一覧		
便利さ	働く場所	健康
さ 佐伯の好転 「3・10年計画」、(3年、10年、30年の、短・中・長期計画)。	い 一致団結、 いっせいに一步を踏み出す。	き 危機感の醸成 ビジョンの共有。
関係人口増加	経済の地域循環	全国でも有数の「釣りの聖地」として、関係人口増加や近隣地域との差別化を図る。
DX化	自然と共に	世界に発信
人権を大切にすること	環境を大切にすること	子育て、教育を大切にすること
企業誘致	地元企業の充実発展	観光資源の更なる活用
人口減少と税収減少が進む中、全ての公共施設や行政サービスを従来どおり維持することは困難です。将来世代へ過度な負担を残さないためにも、必要な事業とそうでない事業を見極め、限られた財源を真に必要な分野へ重点的に投入する「選択と集中」の行政運営が必要です。	大型企業の誘致に過度な期待を寄せるのではなく、現在地域経済を支えている地場企業や中小企業、一次産業の維持・発展を重視するべきです。地域内で雇用と所得を生み出し、若者が働き続けられる環境を整備することが、持続可能な佐伯市の発展につながると考えます。	人口減少や高齢化に歯止めをかけることは容易ではありません。その現実から目を背けることなく、将来の子どもや若い世代が安心して暮らせる地域を残すため、長期的な視点に立った財政運営、人材育成、社会基盤の維持に取り組むことが重要です。
子供と高齢者に優しい街作り	車がないと交通手段が無いのでその解消	娯楽がない
人口の集中	小さくまとまった街	行政サービスの充実
オーガニックシティ	佐伯の殿様浦でもつ	佐伯の豊かな環境
企業誘致	少子化対策	空家の活用
高校卒業後の若者の市外流出を減らす	若者が佐伯市に残りたいと思える仕事を増やす	若者が過ごしやすい店などの誘致
自然を大切に	海産物	人間性
地域経済の循環	産業の安定と発展のための投資	コンパクトシティの形成のための理解促進
財政の適材適所への投入。	不採算部門の撤退	歴史
日本中から人々が集まる場	脱内向的政策	佐伯のポテンシャルを信じろ
若者をふやそう	自然での活動に参加しよう	リーズナブルな価格のイベントを増やそう
企業誘致	子育て支援	賃金アップ
つながり	まち活	近助
地域資源	雇用	インフラ

回答一覧		
子育て	ここにしかない、住みごたえのあるまち	活力のある街
雇用	食	観光
若者が定住したくなる街	思いやりの心	健康なまち
共生	雇用の拡充	福祉の充実
人と人	人口増加	

問 43 佐伯市のまちづくり等について御意見がありましたら、率直なお考えをお聞かせください。

回答一覧
スマホの活用： 情報が見やすいと見たくなります。 今日のイベント、次の7日間（毎日更新）の案内などを、スマホで見やすく発信できれば有難いです。 意見が出せると テーマ（問題）別に、書き込みができると書きたくなります。 誰でもが、スマホを持って、マイク入力で活字を打ち込める時代になりました。 意見を市の目安箱に投稿できる時代になりました。そういう場所があるとよいと思います。 1人1台の情報発信器を、持つ時代になりました。 A I スマホの扱い方の指導を、やさしくお年寄りにもしていただけると、佐伯市内外から、情報が集まると思います。 お年寄りに優しい指導がいただけると有難いです。
人材の活用： 65歳から75歳までの有能な人材が、もっと活かされる、何かひと工夫ないものかと思います。
まだ佐伯市へ戻って3年ですか… 高齢者が安心して次の世代へバトンタッチできるような街。また今の子供たちが大人になり、市外に出る出ないに関わらずに誇りをもって語れる佐伯市と一緒にしていきたいですね。具体策でなく、抽象的で申し訳ありません。
環境を活かし、歴史に学び平和な街にすること
人口減少や少子高齢化が進む中で、今後、地方交付税や税収の増加を期待することは難しく、佐伯市を取り巻く環境はますます厳しくなると考えます。公共施設やインフラの維持管理費も増加しており、全てを現状のまま維持することは現実的ではありません。地区によっては人口減少により地域コミュニティの維持が困難になることも想定されます。 そのため、人口増加だけを目指をするのではなく、まずは過去の実績や結果を冷静に検証し、人口減少社会を前提とした持続可能なまちづくりを進めるべきだと考えます。過去を追及するのではなく、なぜ現在の状況になったのかを検証し、その上で将来に向けた具体的な対策を考えることが重要です。 また、今後は佐伯市がどのように地域内で所得や雇用を生み出し、自ら稼ぐ力を高めていくのが重要になります。安易な増税や国の支援頼みではなく、地場企業の成長支援、人材育成、DX活用、新たな産業や付加価値の創出などにより、地域経済を強くする取組が必要だと考えます。 さらに、これからは自治体同士の連携も欠かせません。行政サービスを単独で維持することには限界があり、津久見市や臼杵市をはじめとした近隣自治体との広域連携を進め、効率的で持続可能な行政運営を目指すべきです。 地場企業同士、そして行政同士が競争するのではなく、地域全体で支え合いながら将来世代へ責任を果たすことが、これからの佐伯市に求められていると考えます。
保護猫対策をして欲しい。街作りになる可能性があると思う 今の保護猫対策は日数が掛かり余り親切でないと思っています
佐伯市民が健康で過ごせるよう、豊かな自然の恵みを大切にしながら、県外からも若い人たちが、ここは住み心地がいいねって来てもらいたいです。今後の活動、よろしくお願い致します🍷🍷
これまで見てきた個々の設問を見ると、背景には人口減少に伴う経済低迷が根底にあると思われる。これに歯止めをかけるには、種々の問題に対して補助金を出しましょうとか、注意して取り組みましょうのレ

回答一覧

ベルの話をしていただけでは、永遠に解決しない。

お金はかかるし、佐伯市だけの取り組みとしては無理だが、一番簡単に景気刺激できる施策は豊後水道に橋を作ることだと思う。

現在四国には本州から3ルートの橋があるが、四国全体でも日本全体のGDPの3%弱しかなく、ここに3ルートの盲腸線があるのはかなり勿体ない。

豊後水道に橋を架けた場合、京阪圏、関東圏から九州への最短ルートが大分経由になり、今の北九州門司の立ち位置が大分空港付近になる。

距離にして110-120キロメートルの短縮になるため、特に南九州の物流は必ずここを通ることになるだろう。

当然、周辺地域には物流センターも新規で来る、便利さに期待した新規の工場も来るであろう。

また、もう一つご検討いただきたいのは、これも地域レベルだけの話ではなくなってしまうのだが、各地域空港と各市に新規に長距離用のバスターミナルを作ってはどうかということである。

鉄道インフラを維持するためには、線路のメンテナンスなどが必ず必要になってくるが、バスターミナルを拠点拠点に作った場合、バス路線が網の目になるように作ったとしても、鉄道インフラを全部維持するよりは安上がりではないかと思われる。

首都圏の空港以外地方空港は全て現在赤字である。どうしてかということ、地方空港を利用した場合行き帰りその2日間を移動だけで時間を費やしてしまうから。

バスターミナルを空港の脇につけることは突拍子もないようなアイディアに感じるかもしれないが、ここももう10年以上長距離バス路線は拡大してきており、今ブームになってる。

長距離バスが空港の脇から発着すると深夜便も出るので、夜行で行って飛行機で当日日帰りとか、そういう強行軍もできるし、逆に飛行機で行って次の日予定を終えたら夜行のバスで帰ってこようということもできるし。かなり空港自体の使い勝手が良くなる。

また各市町村にバスターミナルを置くことで各鉄道ターミナルや空港までのアクセスの向上も見込める。

例えば空港のないエリア、最近市から長崎行きとか熊本行きとか、そういう便も出てくるであろうし、イメージで言うと中国広東省のバスの路線網みたいになるはずである。かなり便利になることは間違いない。

以上2つは地域活性化のための交通アクセスの話であったが、別の側面から一つ話を付け加えると、佐伯市で小中学校の統廃合を行った場合、開いた廃校の校舎に私立の学校法人を入れたらどうかとは思っている。学区の縛りを緩くしてどこからでも生徒を集められるようにしてあげる。もう10年以上前から特区制度を利用して私立の学校に学区の小中学校の運営を委ねることは可能になっている。

これはどういう意味かというと、どこの市町村の教育委員会でもそうだが、どんな生徒でも受け入れられなければならない、から始まって決められたことはスケジュール通りやらなければいけないということが先に立ってしまい、どうしても事なかれ主義に走ってしまう傾向がある。

私立の学校を誘致して公立学校の学区に重なり合うように設置してあげると、自然にその学校同士で競争になる。すると教育の向上も必然的に考えなければならなくなる。

もし私立の学校が不人気で撤退するとしても市や県の予算は使わなくて済む。逆に私立の学校の方が人気になってそこに生徒が集まるのであれば公立の小中学校はもっと減らしても良い。

そうすると無理に人不足の状況で先生をリクルーティングをしなくても済むから、その面でも公立学校の教育の水準が上がっていく。

あともう一つ、地域のレベルでできる交通のことで言えば、他の隣接した市町村とバスを直通運転できないのかなとは思っています。とにかく国道をまっすぐまっすぐ走るバスを可能な限りたくさん走らせる。特急電車に乗らずとも延岡や津久見、大分まで行ってしまう。時間はかかるかもしれないけども、家からバス

回答一覧
停まで近い場合、目的地では最寄りのバス停から近い場合、電車に乗り継ぐよりはこちらの方が便利になる。 現状、皆さん車で移動されていますけども、全ての人が車の運転が好きで乗っているわけではないと思います。 バスでそのまま行ってくれば楽だしいいです。 バスの運転手の人手不足の問題もありますけども、盲腸線の終点付近で、空のガラガラのバスを走らせてるのはいかにももったいないような気がします。 現状を再起動し、市街地を走る時は結構人が乗っていますけども終点に行くにしたがってどんどん人が降りてしまう。 これを隣の町への直通運転をすると市の端っこでも乗車率が高くなるはずですよ。 鉄道のデータですけども、東急東横線が渋谷―桜木町間を運転していたのに比べ、西武電車やみなとみらい線と直通運転して、10%利用客が増えたなんて言う噂も聞きます。直通運転はそれだけ利用者にとって便利なサービスです。 盲腸線のガラガラのバスで運転手を使うのはかなりもったいないと思いますので、地域となるべく協力して、是非まっすぐなバス（隣町まで行けるバス）を作っていただければと思います。 以上交通に関する3つの提案と教育に関する一つの提案をしました。 検討よろしく願いいたします。
積極的に企業誘致を行ってほしい
佐伯市は高齢者や子どもへの福祉にとっても力を入れているが、20代から50代の世代に向けたまちづくり（映画館、遊ぶところ、IT産業）についてはあまり力を入れていないように感じる。 その結果、税金を投じて医療費などを無料にして育てた子どもたちは市外は出ていってしまい、次世代の子どもたちが減るといった状況である。 子ども達を大事にする気持ちはよく分かるが、子どもを産み、育てる親世代が増えなければ人口増加も経済の発展も無いとおもう。 中学、高校生くらいから起業や投資をしっかりと学び、若者が働きやすく、住みやすいように整備していけば、人口流出は減り、市外に出た若者も戻って来るのでは無いと思う。
人口減への対応は「人口増を目指す」ことではなく、人口減少でも循環させられる市政環境の整備だと思う。人が減っていく事は、国家規模の社会問題なので、佐伯市が現実的に取り組める内容の範疇を超えている。「子供へ予算を割くな」とは言わないが、子育て世代への耳触りの良さだけに向けて予算は割くべきではないと思う。
私はこの佐伯市に30年すごしております。 佐伯市の自然が大好きです。そして佐伯市民の考え方が大嫌いです。 保守的といいますか。そんな人間が市議になり政策を進めていくのですから、佐伯が発展するわけないのです。佐伯市民による佐伯市民の為の政策、そんなものは佐伯の人口の減少スピードを少し緩やかにする為だけにしかありませんよ。いいですか？日本中から人を呼んでください。日本中の人々が観光で訪れたい場所にするんですよ。できないじゃないくて、やるしかないんですよ？それが出来なければ佐伯市は終わります。ここへの書き込みがどれほど意味のあるものかわかりません。これを読んでいるあなたは鼻で笑っていますか？無知な市民だなーって思っていますか？それだと残念です。もしあなたが本気で佐伯の為に働いているのであれば保守の声に負けず、とにかく思い切った一歩を踏み出してください。
お店やガソリンスタンドなど佐伯市の中心部しかない。総合運動公園周辺もスポーツイベントや高速の出入り口があるので、お店など増やして欲しい。

回答一覧
空いている土地は、格安で貸してチャレンジショップとして提供してみたらいいと思う。 また、チャレンジショップ後の店舗運営の場所は佐伯市内であればどこでもいいとしなければ、挑戦者は少ないと思います。 この町にきて、商店街がこんなに寂れていてびっくりしました。空き店舗の場所を格安で貸せばいいのに…老朽化しているのであれば潰して別のもの（マンションでも公共施設でもお店でも）を作ればいいのにと思います。
学びの多様化学校（不登校特例校）など不登校の子育て支援もしてほしい
少子高齢化にどう対応していけば良いのか、気になります。そんな中、産業はもちろん、教育、医療、介護、交通など様々なインフラをどう発展的に「守る」のかが大きな課題と感じています。
人口減少などの縮退を受け入れつつ、旧郡部の魅力を残しつつ、コンパクトシティを目指すべき 日々の生活にゆとりのない人が多いと思う。 自由な時間を多くとり、市内全域をゆっくり回り、もっと佐伯市を知ることが必要と思う。（知らない良い所はまだ多い）
他の自治体に取り組んでいない事業を積極的に取り組んでほしい。
規模が大きな名所となる場所がないと思います。佐伯市まで行って見たいと思う規模の観光となる場所(花の名所)がない
このアンケートの文章が、抽象的で、どんなことを尋ねているのか？よく分かりませんでした 1つの項目ごとに、例えば、～について、とか、具体的にイメージできる説明があったら、もっと答えやすかったようにあります
子育て世代だけでなく高齢者にも優しい町にしてもらいたい。どんどん寂れていくのが寂しい
延岡に負けないくらい、栄えてください。
人口が減少するのは仕方がない。人が減っても佐伯で暮らす人が安心して最後まで生活できるための仕組みづくりをしっかりとしてほしい。市役所職員や市民が、ほんの少しでもできることを広げるだけで、人口減少を埋める力を生み出せるのではないかと考えています。まずは市役所職員からその姿勢を率先して見せて欲しい。最近の職員は自分の仕事以外には無関心の人が増えてきており、寄り添う姿勢が感じられない。忙しいのは分かるが、まずは人の話をしっかりと聴く、そして困っている人に寄り添う、手を差し伸べる姿勢を持った職員を増やしてほしい。

V まとめと考察

1 調査の趣旨と全体傾向

本調査は、令和10年度から令和16年度までを計画期間とする「第3次佐伯市総合計画」の策定に向け、本市の現状に対する市民の皆様の意識や満足度、将来への期待や不安を把握するために実施しました。

調査概要として、市内在住の15歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、3,000件を配布した結果、1,419件の有効回収（回収率47.3%）を得ました。回答者の属性をみると、年齢層では60代以上が約52%を占め、職業別では「無職」が30.5%と最も高くなっています。回答者の属性を踏まえつつ、若年層や就労世代の意見を施策に反映していくことも重要です。

2 市民の暮らし

佐伯市での暮らしに関する全体的な評価として、「住み良い」「まあまあ住み良い」を合わせた肯定的な回答割合は約7割（66.8%）に達しており、多くの市民が本市での生活に一定の満足感と愛着を抱いていることが分かります。住みやすさを支える要因としては、豊かで美しい自然環境（67.7%）や住み慣れた地域への愛着（53.0%）が突出して高く、自由記述においても、城山や番匠川、リアス海岸に代表される風土や景色に加え、「寿司をはじめとする食の魅力」「水や空気的美しさ」「人情の厚さ」が本市固有の誇り・強みとして挙げられています。

その一方で、生活上の「住みにくさ」を感じる要因としては、「交通の便がよいくない（63.7%）」「買い物に不便（59.0%）」「働く場所が少ない（40.6%）」が上位を占めており、日常生活の利便性や経済的基盤に対する不満につながっています。

市民の抱える暮らしの不安や悩みを年代別・地区別に比較すると、20代から50代の就労・子育て世代では「収入・家計」に対する不安が最大の課題となっているのに対し、60代以上の高齢者世代では「自身の健康」とともに「免許返納等に伴う移動手段の喪失」や「近隣店舗の閉店による日常的な買い物難民」が深刻な問題として浮かび上がっています。さらに、中心市街地に近い地区と、旧町村部や沿岸・山間地域との間における利便性の地域格差も顕著であり、生活インフラの確保に向けた地域に応じた配慮が強く求められています。

人口減少に対する意識においては、市民の強い危機感が現れています。人口減少が進むことに対して「非常に不安」「やや不安」を合わせた回答は71.1%と7割を超えており、その具体的な内容として「医療・福祉サービスが行き届かなくなる不安（56.1%）」や「地域に人がいなくなる不安（44.0%）」といった身近な生活機能の縮小や地域コミュニティの消失に対する切実な懸念が挙げられています。

3 第2次総合計画の評価（満足度と重要度）

第2次総合計画の施策に対する満足度と重要度の分析によると、市民が本市行政に対して抱く期待の優先順位が明確となりました。特に、災害に強いまちづくりや生活道路・トンネル等の整備、生活交通体系の構築といった防災やインフラ分野の整備、学校教育の充実、並びに本市の基幹産業である農業・林業・水産業の振興やブランド化・流通促進については、重要度が非常に高く評価されているにもかかわらず満足度が低迷しており、今後、重点的に改善を検討すべき「最優先改善領域」に位置づけられます。

水道・下水道の整備や地域医療や福祉・健康増進、子育て支援などは満足度・重要度ともに高く、これまでの取組成果が結実している「重点維持領域」として今後も継続した取組が求められています。

なお、旧町村ごとの地域創生施策や一部のまちづくり事業については、「具体的にどのような取組が行われているか分からない」といった認知の不足が見受けられ、施策の目的や成果をより分かりやすく市民へ伝える広報の再構築が課題として多く挙げられました。

4 デジタル化について

行政サービスのデジタル技術（DX）の導入・推進については、「積極的に取り組むべき」「徐々に取り組むべき」を合わせて約6割（58.0%）の市民が肯定的であり、時代の変化に応じた利便性の向上や行政運営の効率化に対して高い期待が示されています。特に導入が強く求められている分野としては、「医療・健康（電子カルテや健康管理等）」が52.4%と最も高く、次いで「防災・防犯（災害リスクの見える化やリアルタイム把握等）」が44.7%、「福祉（各種利用申請等）」が30.2%となっており、市民生活の安全や健康に直結する領域での活用が求められています。

その一方で、デジタル化の推進にあたっては、「個人情報の漏洩（65.5%）」や「詐欺・犯罪に巻き込まれる可能性（54.9%）」といったセキュリティ面への強い不安が浮き彫りとなっているほか、デジタル機器の使用ができるかどうかの差（デジタルデバイド）を懸念する声も非常に多く寄せられました。

以上を踏まえると、オンライン手続きやデータ連携による迅速かつ効率的な行政サービスの拡充を着実に進める一方で、個人情報保護と情報セキュリティの強化を徹底することが不可欠です。

5 情報発信について

市民が佐伯市内の情報を獲得している主な手段においては、「市報」が81.9%と最も高く、幅広い世代において主要な情報源となっていることが確認されました。次いで「行政チャンネル（文字放送）」や「自治会配布物」が続いており、紙媒体やテレビ放送を通じた情報提供が市民生活に深く浸透しています。

しかしながら、総合計画の各種施策に対する評価では、「具体的にどのような取組が行われているか分からない」「効果の実感がない」といった回答が見受けられ、市が実施している政策の目的や成果、各地区における具体的な活動状況が、市民へ十分に届いていないことが分かります。

これらを踏まえて、情報発信の方法を検討する必要がありますが、「市報」をより読みやすく視認性の高いものへと改善を図るだけでなく、若年層や子育て世代に対しては、SNS（InstagramやLINE等）や動画コンテンツ等を活用するとともに、施策の背景や市政の変化を分かりやすく「見える化」し、市民の共感と参画を促す広報戦略が重要です。

6 道路・生活交通

「道路インフラの整備」及び「生活交通体系の構築」は、本調査において重点的な改善が求められている重要課題の一つです。施策評価では「最優先改善領域」に位置づけられており、住みにくさを感じる理由としても「交通の便がよくない（63.7%）」が最多となっています。

また、高齢者の免許返納に伴う通院・買い物の移動手段不足やバスの便数不足といった切実な意見に加え、老朽化トンネルの修繕や狭あい道路の拡幅など、ハード面の整備を求める声も挙がっています。

九州一の広大な市域を有する本市において、従来通りの路線維持や一律の道路整備は財政的・効率的に困難ではありますが、市民の移動と安全な生活を確保するため、既存のコミュニティバスの再編に加え、デマンド型交通（予約型乗り合いタクシー）やスクールバス等の有効活用など、持続可能な交通網の再構築を推進することが重要です。併せて計画的な道路修繕を進め、「拠点へのアクセス確保」と「移動手段の最適化」を目指すことが求められています。

7 産業・雇用振興と地場産業の育成

本市の将来像や人口減少への対策において、最優先の課題として強く求められているのが「経済の活性化と雇用の創出」です。望む都市像として「農林水産業を中心とした活力ある市（33.4%）」や「大型企業が誘致された活力ある市（32.6%）」が上位を占め、転出抑制や移住促進に向けた取組においても「正規雇用の拡大（37.4%）」に高い支持が集まりました。

自由記述欄においても、「高校や大学を卒業した若者が地元に残れる、あるいは帰ってこられる就職先がない」「手取り収入の向上が伴わなければ、いくら子育て支援を充実させても若年層の流出は止まらない」といった、雇用環境と人口減少の因果関係を直接的に指摘する声が数多く寄せられています。

さらに、本市の農業・林業・水産業並びに各種ブランド化・流通促進については、市民の期待度が非常に高い一方で、原油・資材価格の高騰や後継者不足、気候変動等の影響を受け、取組に対する満足度が低迷している「最優先改善領域」として位置づけられています。

今後は、本市の強みである水産・農業・造船・林業などの地場産業に対する経営基盤強化や高度化・DX推進支援、並びに六次産業化等への展開を強力に推し進める必要があるほか、同時に、若者のニーズに合った企業誘致や起業支援、リモートワーク環境の整備などを多角的に展開することが重要です。

8 子育て支援と次世代育成について

本市の将来の担い手となるこどもたちの育成や子育て環境の整備については、市民から非常に高い関心が寄せられています。本調査では、転出抑制や移住促進に向けた取組としても「子育てがしやすい環境の整備（35.4%）」が全体の上に挙げられ、15～19歳、20代、30代の若年・子育て世代では最も優先すべき政策として位置づけられています。

施策の評価においても、「子どもたちが健やかに育つまちづくり」や「学校教育の充実」は、重要度が極めて高い領域として市民に認識されています。

自由記述においては、医療費助成や保育料の無償化・給食費補助などの経済的支援に対する感謝の声が多く寄せられる一方で、こどもの室内遊び場や遊具のある公園の不足、高校・専門学校等の進学にかかる選択肢の少なさなど、成長段階に応じた具体的な環境整備を求める意見が挙がりました。

こうした声を踏まえ、子育て支援をさらに推進するためには、給付や医療・教育費助成といった経済的支援の充実に加え、こどもたちが日常的にのびのびと遊べる屋内・屋外環境の拡充及び質の高い教育環境の確保が不可欠です。子育て世代が「佐伯市でこどもを産み、育てたい」と心から思える環境を切れ目なく整えることが、若年層の流出防止と定住促進に向けた基盤となります。

9 住宅環境の整備と住みよいまちづくりについて

問 23 の施策評価における「住宅環境の整備」は、市民の重要度が高いにもかかわらず満足度が追いついていない「最優先改善領域」に位置づけられています。

市民意識の分析や問 50 の自由記述によると、人口減少や高齢化の進行に伴い市内全域で急増している、危険な空き家や空き地への対応が強く求められています。放置された空き家による防犯・防災上のリスクや景観悪化に対する不安に加え、老朽化した公営住宅の更新、さらには問 38 でも一定の回答があった「空き家の活用などによる住環境の整備」は佐伯市の重要な課題の一つとなります。

誰もが安心・快適に住み続けられる環境を整えるため、今後は危険空き家の除却促進や利活用に向けた行政の積極的な関与を強化する必要があります。併せて、若年・子育て世代に対する住宅取得や賃貸への適切な支援を推進し、安全で魅力ある居住空間を確保することが重要です。

10 災害に強いまちづくりと安全・安心の確保について

問 23 の施策評価における「災害に強いまちづくり」は、50%以上の市民が重要と回答した最重要課題の一つであり、「最優先改善領域」に分類されています。問 36・37 の将来不安や問 47 のデジタル推進分野においても、防災・防犯に対する高い関心が示されています。

具体的には、南海トラフ巨大地震や近年激甚化・頻発化する風水害への警戒感を背景に、避難路や防波堤等の整備、避難所の環境改善並びに孤立集落対策を求める切実な意見が多く挙げられています。

また、問 42 において、地域コミュニティや自治会の活性化に重要とされた取組においても、日常の防犯や見守りと並んで「防災・防犯対策の強化（27.4%）」が高く求められています。

市民の生命と財産を守るため、今後は老朽インフラの耐震化やリスクの可視化を計画的に進めていくことに加え、デジタル技術を活用したリアルタイムな災害情報の提供や地域における自主防災組織の育成・共助ネットワークの再構築を推進し、市域全体における防災力の強化が重要です。

11 地域活動・自治会組織の持続可能性について

地域や自治会で行われる各種活動への参加状況については、「内容によっては参加している（37.4%）」が最多である一方で「全く参加していない（26.7%）」、「ほとんど参加していない（21.8%）」を合わせると、約半数（48.5%）の市民が地域活動に参加できていない現状が明らかになりました。

参加できない主な理由としては、「仕事や家庭が忙しく時間がない（44.9%）」が、自由回答からは「高齢・体調不良等の身体的な負担」などが多く挙げられています。さらに、居住地域にあるコミュニティ組織について「組織も活動内容も知らない」と答えた割合が29.2%に上るなど、地域を支える団体への認知度を高めることもまた必要です。

また、自由記述においても、役員の高齢化や特定の市民への負担の偏りや若年層の自治会離れに対する不安などが数多く寄せられています。

これらを踏まえ、今後の地域行政においては、自治会や地域コミュニティ組織の負担軽減に向け、市と地域が連携して地域の人の暮らしを支えることが不可欠です。自治会の存在意義や活動内容を若い世代にも伝わる形で丁寧に発信することで、多くの人に知ってもらうとともに、負担感の少ない持続可能な組織運営体系への移行を進めることが重要です。

12 おわりに

本アンケート調査を通じ、市民の皆様が本市の豊かな自然や食文化、住み慣れた地域へ強い愛着と誇りを抱いている一方で、人口減少や生活インフラの将来に対して深い危機感を抱えている実態を把握しました。

お寄せいただいた切実な声や御意見を基に、次期「第3次佐伯市総合計画」の策定においては「雇用の創出」「暮らしの安全・安心」「生活交通やインフラの維持」などを軸とした実効性の高い施策の展開を推進する必要があります。

市民の皆様が将来にわたって誇りと希望を持って暮らし続けられる佐伯市の実現に向け、引き続き市民との十分な対話や議論を重ねながら、持続可能なまちづくりを目指していく必要があります。

第3次佐伯市総合計画策定に
関するアンケート調査
結果報告書

発行：佐伯市役所 政策企画課
TEL：0972-22-4104（直通）

発行年月：令和8年9月